このたびは　PAJERO　をお買い上げいただき，ありがとうございます。

J09200100943

この取扱説明書は，お客様のお車をいつも安全・快適に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。
また，お車のお手入れや万一のときの処置についても記載してありますので，ご使用前に必ずお読みください。
「安全なドライブのために」は重要ですので，しっかりお読みください。

安全に関する表示

● 運転者や他の人が傷害を受けるおそれがあることと，その回避方法をつぎの表示で記載しています。重要な事項ですので必ず読んでお守りください。

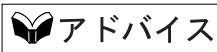
記載事項を守らないと，死亡や重大な傷害につながるおそれがあること。

注意

記載事項を守らないと，傷害や事故につながるおそれがあること。

安全のためにしてはならない行為。（イラスト内に表示されています）

その他の表示

● お車に関することやその他のアドバイスは，つぎの表示で記載しています。

お車のために守っていただきたいこと。
知っておくと便利なこと。

タイプ別装備

グレードにより異なる装備やオプション装備に表示しています。

● 取扱説明書は車の中に保管してください。
● 保証および点検，整備内容については，別冊のメンテナンスノートをご覧ください。
● 三菱マルチコミュニケーションシステムおよび DVD 内蔵後席 9 インチワイド液晶ディスプレイの取り扱い要領については別冊の取扱説明書をご覧ください。
● お車をゆずられるときは，取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。

・装備仕様の変更などにより，本書の内容がお客様のお車と合わないことがありますので，あらかじめご了承ください。
・ご不明な点は，担当営業スタッフにお問い合わせください。

目次

計器盤まわり

J00100101861

•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。
＊別冊の三菱マルチコミュニケーションシステム取扱説明書をご覧ください。

AAF004808

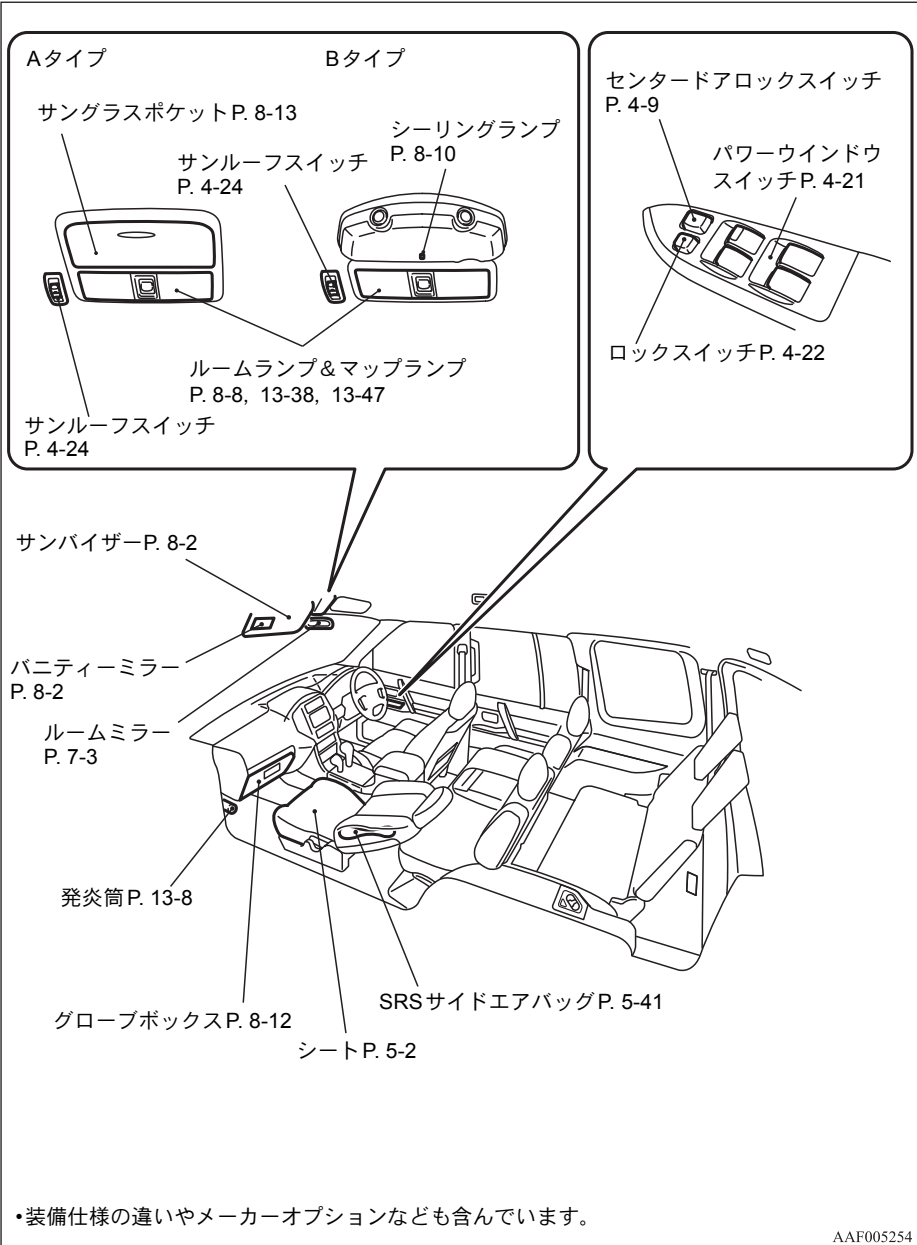
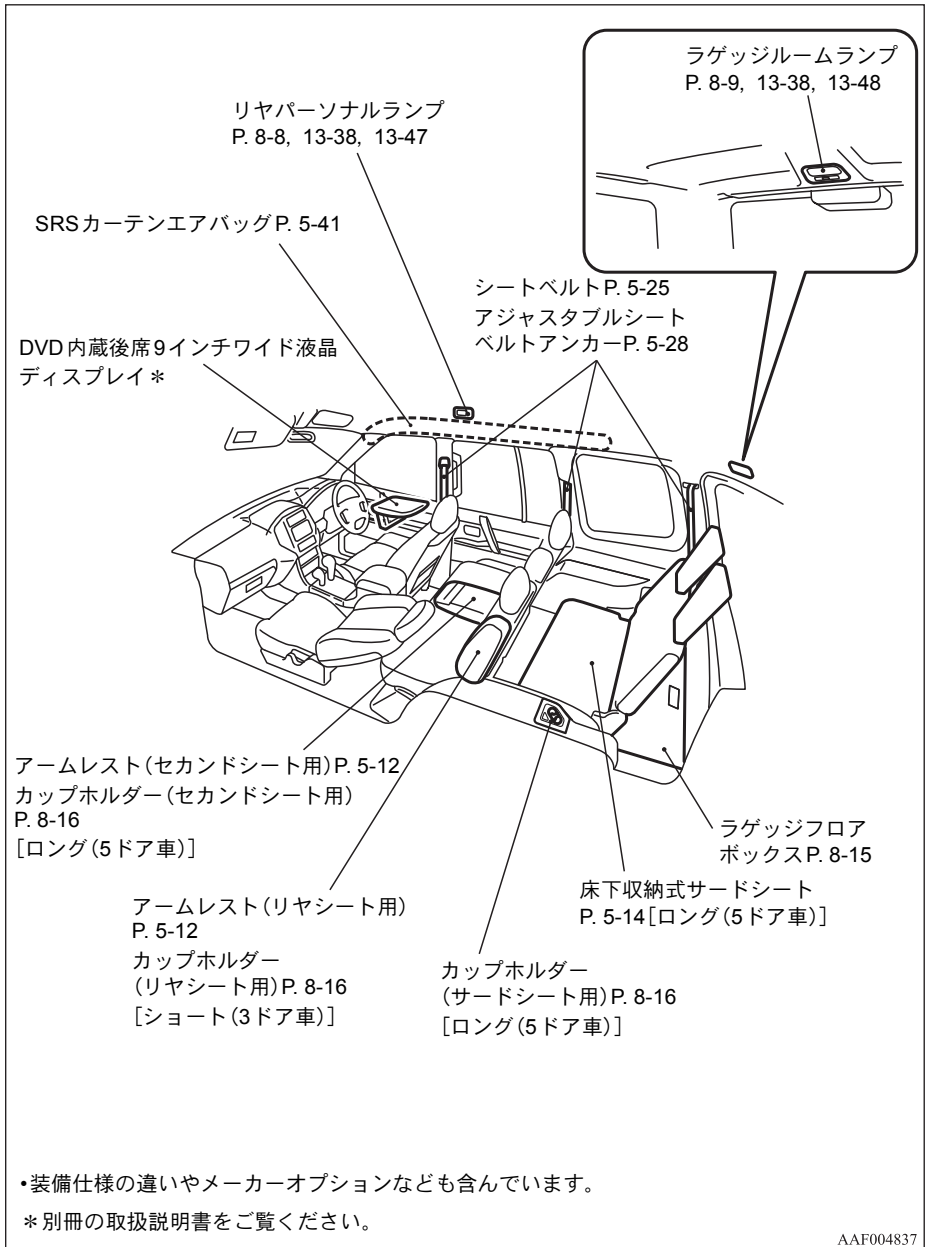
•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

＊別冊の取扱説明書をご覧ください。

AAF005241

室内

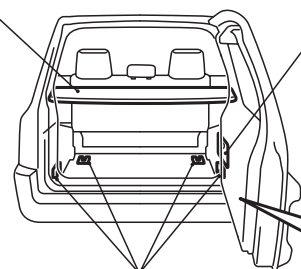
J00100301397

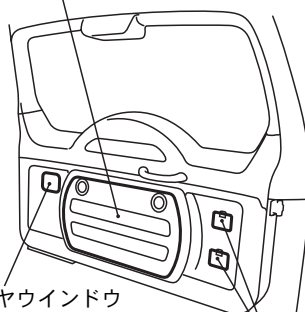
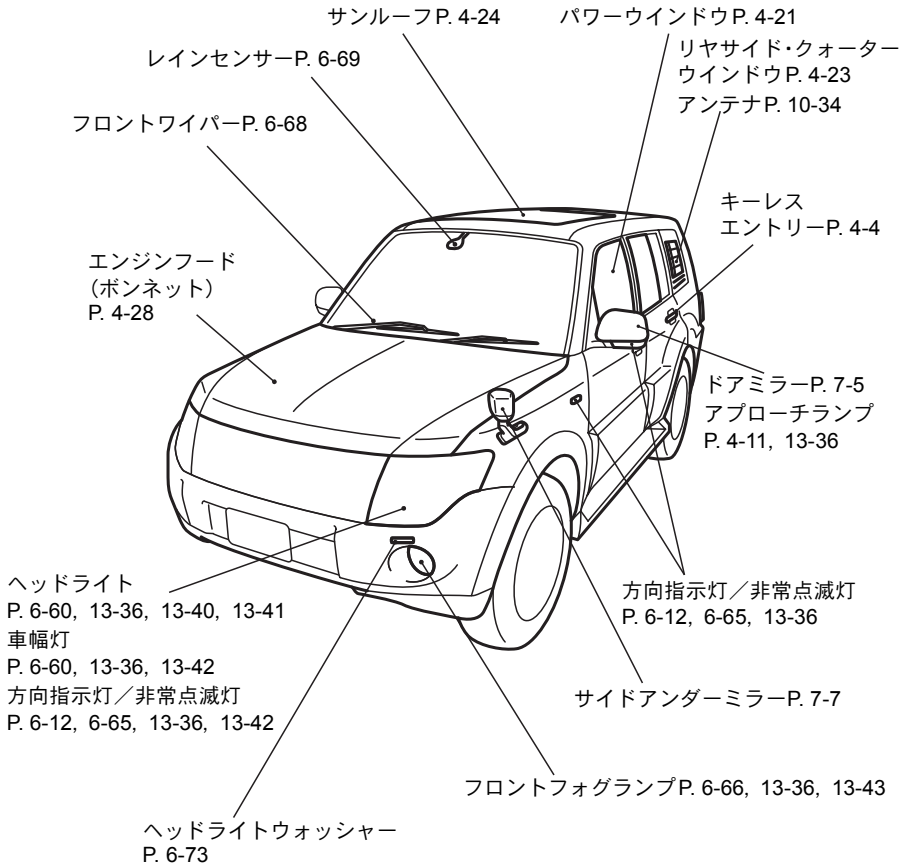
•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AAF005254

•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

＊別冊の取扱説明書をご覧ください。

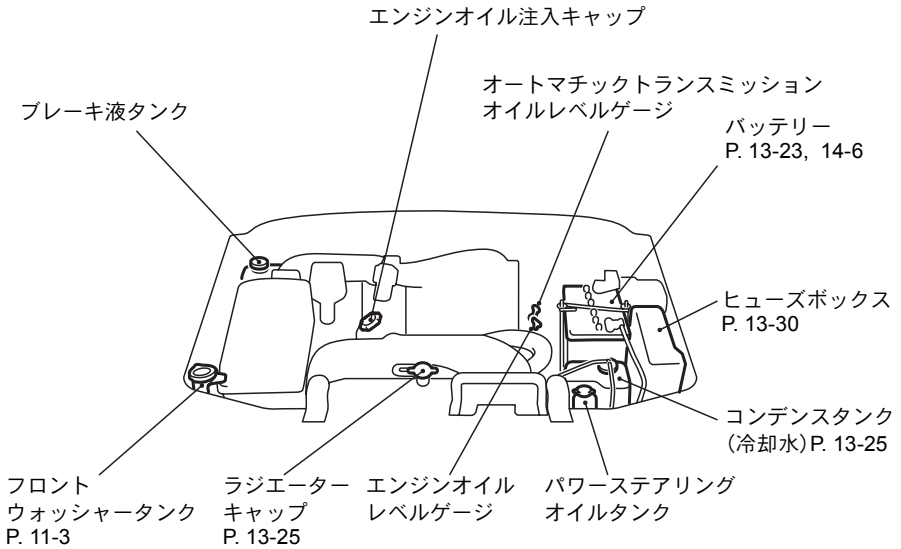
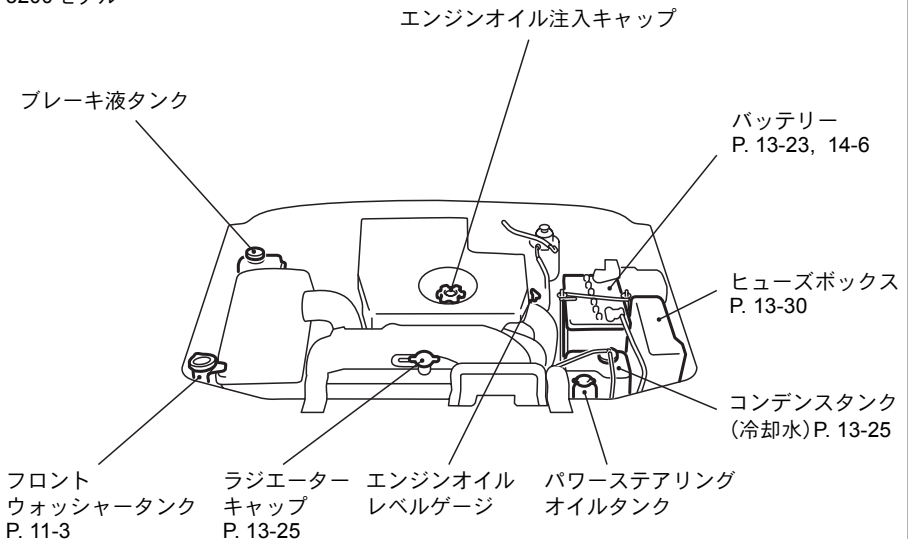
AAF004837

ラゲッジルーム

J00100600494

外まわり

J00100401675

ハイマウントストップランプ
P. 13-36, 13-46
リヤワイパーP. 6-72
スペアタイヤ
P. 13-17
バックドアP. 4-11
フューエルリッド
(燃料補給口)
P. 4-29
番号灯P. 6-60,
13-36, 13-45
タイヤ, ホイールの
サイズP. 14-8
タイヤの空気圧
P. 14-10
タイヤ交換P. 13-19
タイヤローテーション
P. 11-4
タイヤチェーンP. 12-6
リヤビューカメラ
P. 7-54
リヤフォグランプ
P. 6-66, 13-36, 13-44
スペアタイヤガーニッシュ
(ライセンスプレート一体型)
P. 13-17
ショート(3ドア車)
方向指示灯/非常点滅灯
P. 6-12, 6-65, 13-36, 13-45
制動灯P. 13-36, 13-45
尾灯P. 6-60, 13-36, 13-45
後退灯P. 13-36, 13-45
ロング(5ドア車)
方向指示灯/非常点滅灯
P. 6-12, 6-65, 13-36, 13-45
後退灯P. 13-36, 13-45
制動灯P. 13-36, 13-45
尾灯P. 6-60, 13-36, 13-45
•装備仕様の違いやオプションなども含んでいます。
AAF005267

エンジンルーム

J00100501504

安全なドライブのために

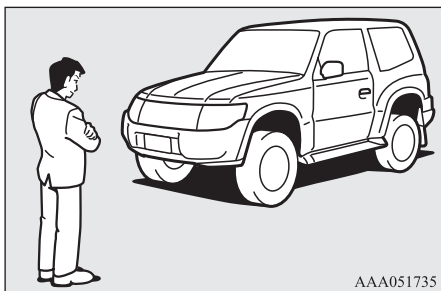
お車のご使用前に知っておいていただきたいこと，守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
重要ですので，しっかりお読みください。

日常点検

J00200100852

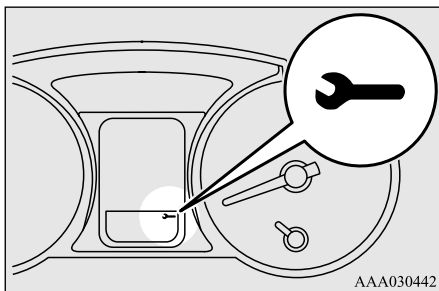
点検，整備を忘れずに

● 日常点検整備と定期点検整備は，お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。事故や故障を未然に防ぐため必ず実施してください。
● 日常点検整備は，長距離を走行するときや，洗車，給油時などにお客様自身で行う点検整備です。
● 日常点検整備の項目および点検のしかたについては，別冊の「メンテナンスノート」に記載してありますので必ずお読みください。

AAA051735

● サービスリマインダーが点灯したら三菱自動車販売会社で定期点検整備を受けてください。

サービスリマインダー

次回定期点検までの残り月数と残り距離をお知らせする機能です。
定期点検時期に近づくと，エンジンスイッチをLOCKからONにしたときにメーター内のスパナマークが数秒間表示され，定期点検時期であることをお知らせします。
→「サービスリマインダー」P. 6-5

AAA030442

エンジンルームを点検するときは

●エンジン回転中はエンジンルームに手を入れないでください。
手や衣服がドライブベルトなどに巻き込まれるおそれがあります。
●エンジンルーム内の部品には高温になるものがあります。
やけどをするおそれがありますので，各部が十分冷えてから点検してください。
●排気ガスなどが定められた基準に合うように調整されていますので，アイドリング回転数などのエンジン調整は三菱自動車販売会社で行ってください。

ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水）が熱いときは

●ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水）が熱いときは，ラジエーターキャップを外さないでください。
蒸気や熱湯が吹き出しやけどをするおそれがあります。

燃料は指定されたものを補給

J00202000709

ガソリン車

●必ず無鉛ガソリンを補給してください。
●軽油や有鉛ガソリン，粗悪ガソリン，高濃度アルコール混合燃料，三菱自動車純正以外のガソリン添加剤（含む，水分除去剤）を使用しないでください。
排気ガス浄化装置や燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
→「メンテナンスデータ：燃料の量と種類」P. 14-2

ディーゼル車

●必ず軽油を補給してください。
●燃料の添加剤（凍結防止剤など，あらゆる種類の添加剤）を使用すると噴射装置が損傷するおそれがありますので添加剤は絶対に使用しないでください。
→「メンテナンスデータ：燃料の量と種類」P. 14-2

三菱自動車販売会社で点検を受けて

J00202100175

●つぎの場合は車が故障しているおそれがあります。
そのままにしておくと走行に悪影響をおよぼしたり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- いつもと違う音，臭い，振動がするとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- 地面に油の漏れたあとが残っているとき

出発前は

J00200201355

シートベルトは必ず着用

- 運転する前に必ずシートベルトを着用してください。
  →「シートベルト」P. 5-25
- 同乗者にもシートベルトを着用させてください。

AAA003372

燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まない

- 燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まないでください。
  容器が破裂したり，蒸発ガスに引火し爆発するおそれがあります。

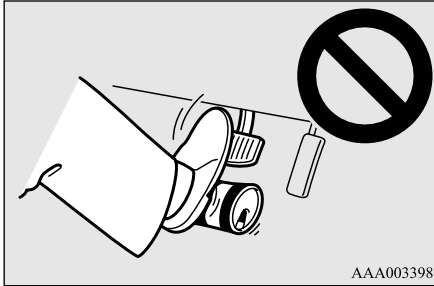
AAA003385

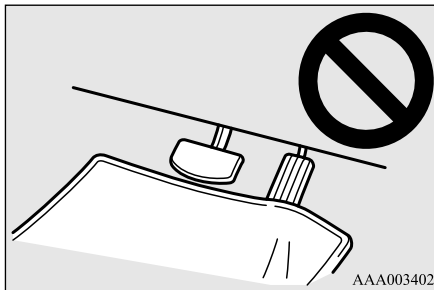
窓越しにエンジンをかけない

- 正しい運転姿勢で運転席に座り，エンジンをかける習慣をつけましょう。
- セレクターレバーがⓅの位置にあることを確認します。
  いずれの場合も思わぬ事故を避けるため，ブレーキペダルを右足でしっかり踏んでエンジンをかける習慣をつけてください。
  →「エンジンのかけ方」P. 7-10

運転席の足元付近を点検

● ブレーキペダルの下に物がころがり込むと，ブレーキ操作ができなくなるおそれがあります。
出発前に運転席の足元付近を点検してください。

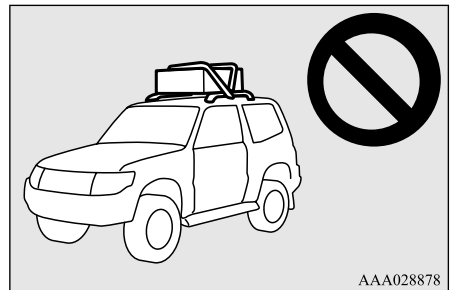
AAA003398

● フロアマットはペダルに引っかからないよう，車にあったものを正しく敷いてください。
→「フロアマット」P. 8-19
正しく敷かないと，ペダル操作の妨げになり，重大な事故につながるおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
- ずれないよう固定クリップで確実に固定する。
- ペダルをおおわない。
- 重ねて敷かない。
- アクセルペダルの下に敷かない。

AAA003402

荷物を積むときは

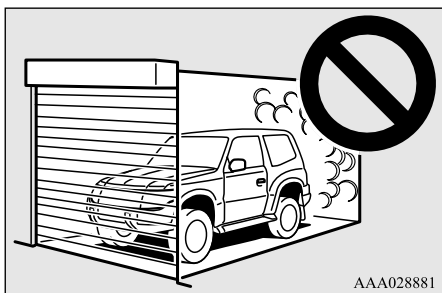
● 荷物はできるだけ低くし，シートの高さ以上に積まないでください。
後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたとき，荷物が前方に飛び出してケガをするなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
また，コーナリングのとき，車の揺れが大きくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
● 重い荷物はできるだけ前の方に積んでください。
後ろの方が重くなるとハンドルが不安定になります。
● 荷物は荷くずれしないようにしっかりと固定してください。

ルーフレールに直接荷物を積まない

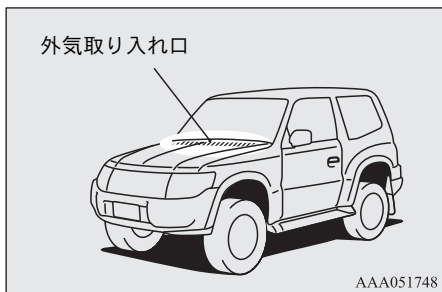
● 荷くずれを起こして思わぬ事故につながるおそれがあります。走行安全上，ルーフレールに直接荷物を積んだり，不用意にロープをかけないでください。
● ルーフに荷物を積むときは，専用のルーフキャリアを使用してください。
その際は，重心が片寄らないようにバランスよく積んでください。

AAA028878

周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない

- 周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。
  排気ガスが車内や建物内などに充満して，ガス中毒になるおそれがあります。
- やむを得ないときは，換気を十分に行ってください。

AAA028881

フロントガラス前部の雪，落ち葉などは取り除く

- フロントガラス前部の外気取り入れ口に雪，落ち葉などが付いているときは取り除いてください。
  そのままにしておくと，車内の換気が十分にできずガラスが曇り，視界が悪くなるおそれがあります。

AAA051748

お子さまを乗せるときは

J00200300997

お子さまは後席に座らせる

- 助手席ではお子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけでなく，お子さまが運転装置にふれて，重大な事故につながるおそれがあります。
- やむを得ず助手席にお子さまを乗せるときでも，つぎのことをお守りください。
  - 必ずシートベルトを着用する
  - シートをできるだけ後方に下げる
  - シートに深く腰かけて，背もたれに背中がついた正しい姿勢で座らせる
- お子さまがシートベルトやチャイルドシートを使用せずにインストルメントパネルの前に立っていたり，助手席に正しい姿勢で座っていなかったりすると，SRS エアバッグが膨らむ際，SRSエアバッグにより，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAA014314

お子さまにもシートベルトを必ず着用させる

- ひざの上にお子さまを抱かないでください。
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，腕だけでは十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAA003239

- 後席でも必ずシートベルトを着用してください。

お子さまにはチャイルドシートを使用する

- シートベルトを着けたとき，肩部ベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまには，体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
  →「チャイルドシート」P. 5-31
  通常のシートベルトでは，衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 6 才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- 乳児用シート（ベビーシート）は助手席に取り付けないでください。
  助手席に取り付けると助手席エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向き乳児用シート（ベビーシート）の上部にかかり，背もたれに押しつけられて，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまの安全のための装備

- お子さまの安全のため，つぎのような装備があります。
  使い方を一度お読みになって，お子さまの安全にお役立てください。

◆ ISO[*1] FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカー

[*1] ISO は International Standardization Organization（国際標準化機構）の略語です。

- ISO FIX 規格に対応したチャイルドシート[*2]を取り付けるための固定専用バーおよびテザーアンカーです。
  この固定専用バーおよびテザーアンカーを使用するときは，チャイルドシートを車両のシートベルトで固定する必要はありません。
  →「ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーでの取り付け方」P. 5-38

[*2] お客様のお車用として認可を受けたチャイルドシートのみ使用できます。

◆ セーフティー機構付パワーウインドウ

- 万一，お子さまが手や首などをはさんだとき，自動的にドアガラスが少し下がります。
→「セーフティー機構」P. 4-23

◆ セーフティー機構付サンルーフ タイプ別装備

- 万一，お子さまが手や首などをはさんだとき，自動的にサンルーフが少し開きます。
→「セーフティー機構」P. 4-25

◆ ロックスイッチ

- ロックスイッチを ON にすると，助手席，後席のパワーウインドウスイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
→「ロックスイッチ」P. 4-22

◆ チャイルドプロテクション

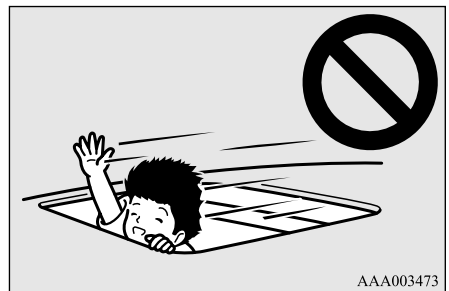
ロング（5 ドア車）

- ドアにあるレバーを施錠側にしておくと，後席ドアが車内から開けられなくなります。
→「チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）」P. 4-10

ドア，ウインドウ，サンルーフ，シートの操作は大人が行う

- 手や顔などをはさまないよう注意して操作してください。
- お子さまが誤って操作しないよう，パワーウインドウにはロックスイッチをお使いください。

窓やサンルーフから手や顔を出させない

- 窓やサンルーフから手や顔を出していると，車外の物などに当たったり，急ブレーキをかけたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまをシートベルトで遊ばせない

● お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると，窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
万一，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

AGA002982

車から離れるときはキーを抜いてお子さまも一緒に

● お子さまだけを車内に残さないでください。
炎天下での車内は高温となり，熱中症になるおそれがあります。

● キーを差したままにしておくと，お子さまのいたずらにより，パワーウインドウなど電装品の誤った操作，車の発進，火災など，重大な事故につながるおそれがあります。

AAA011225

お子さまを荷室で遊ばせない

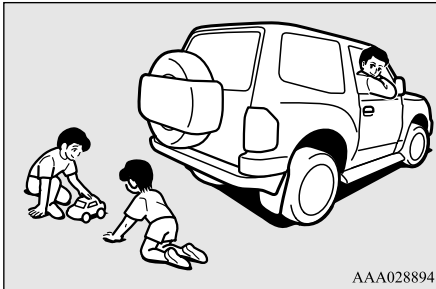
● 荷室は人が乗る構造になっておりません。
お子さまを乗せたり，遊ばせたりしないでください。
万一の場合，重大な事故につながるおそれがあります。

走行するときは

J00200400321

発進するときは

- 駐車後や信号待ちなどで停車したあとは，子どもや障害物など，車のまわりの安全を十分確認してから発進してください。
- 車をバックさせるときは目で後方を確認してください。
  バックミラーでは確認できない死角があります。

AAA028894

同乗者はシートを倒して寝ころばない

- 走行中，同乗者はシートを倒して寝ころばないでください。
  シートを倒して寝ころんでいると，急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，身体がシートベルトの下にもぐり込み，重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAA003431

2

走行中はエンジンを止めない

- 走行中にエンジンを止めると，ブレーキの効きが悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

AAA003444

急発進，急加速，急ブレーキ，急ハンドルは避けて

- 急ブレーキや急ハンドルは車両のコントロールができなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  スピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。

雨天時や水たまりを走行するときは

J00202200277

- 雨天時やぬれた道路ではスピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。
  特に雨の降りはじめは路面が滑りやすいため注意してください。
- 水たまり走行後や洗車後，ブレーキに水がかかると一時的にブレーキの効きが悪くなることがあります。
  ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
- わだちなど水のたまっている場所を高速で走行すると，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。
- タイヤがすり減っていたり，空気圧が適正でないと，スリップしたり，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

AAA028908

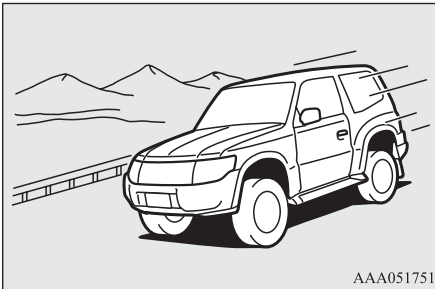
ハイドロプレーニング現象とは…

- 水のたまっている道路を高速で走行するとき，あるスピード以上になるとタイヤが路面の水を排除できず，水上を滑走する状態になり，車のコントロールが効かなくなる現象。

下り坂ではエンジンブレーキを併用

J00202300803

● ぬれた道路や凍結した道路での急激なエンジンブレーキは避けてください。
スリップして重大な事故につながるおそれがあります。

● 長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると，ベーパロックやフェード現象を起こし，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
坂の勾配に応じて必ずエンジンブレーキを併用してください。

AAA051751

エンジンブレーキとは…

● 走行中，アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力のことで，低速ギヤほどよく効きます。
スポーツモード走行中に3速，2速または1速に入れてください。

ベーパロックとは…

● ブレーキ液がブレーキの摩擦熱により過熱されて沸騰することにより気泡が発生し，ブレーキペダルを踏んでも気泡を圧縮するだけでブレーキが効かなくなる現象。

フェード現象とは…

● ブレーキパッドの摩擦面が過熱されることにより摩擦力が低下し，ブレーキの効きが悪くなる現象。

ブレーキペダルをフットレストがわりにしない

J00202400022

● ブレーキペダルに常に足をのせ，フットレストがわりにすることは避けてください。
ブレーキ部品が早く摩耗したり，ブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。

スタック（立ち往生）したときは

J00202600024

● スタックしたときは，タイヤを高速で回転させないでください。
タイヤがバースト（破裂）したり，異常過熱により，思わぬ事故につながるおそれがあります。
→「タイヤがスリップして発進できない」P. 13-6

寒冷時にブレーキの効きが悪くなったときは

J00202700139

● 寒冷時や雪道走行ではブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。

段差などを通過するときは

J00203300015

段差などを通過するときは，できるだけゆっくり走行してください。
段差や凹凸のある路面を通過するときの衝撃によりタイヤおよびホイールを損傷するおそれがあります。

走行中に異常に気づいたら

J00200500856

万一，走行中にエンストしたときは

● 走行中にエンストしたときは，運転操作に変化がおきますので，つぎの点に注意して車を安全な場所に止めてください。
- ブレーキ倍力装置が働かなくなるため，ブレーキの効きが非常に悪くなります。
  通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。
  ブレーキペダルから足を離し，再び踏み直すと，ブレーキの効きがさらに悪くなります。
- 万一，スピードが落ちないときは，駐車ブレーキを慎重にかけてください。
  このときも，ブレーキペダルは強く踏み続けてください。
- パワーステアリング装置が働かなくなるため，ハンドルが非常に重くなります。

走行中にタイヤがパンクまたはバースト（破裂）したときは

● 走行中にタイヤがパンクまたはバーストすると，車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
ハンドルをしっかり持ち，徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。

● つぎのようなときは，パンクやバーストが考えられます。
- ハンドルがとられるとき
- 異常な振動があるとき
- 車両が異常に傾いたとき

警告灯が点灯または点滅したときは

● 警告灯が点灯または点滅したときは，安全な場所に停車し，適切な処置をしてください。
→「警告灯が点灯または点滅したときは！」P. 13-2
点灯または点滅したまま走行すると，思わぬ事故を引き起こしたり，エンジンなどを損傷するおそれがあります。

車体床下に強い衝撃を受けたときは

● 車体床下に強い衝撃を受けたときは，すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検してください。
ブレーキ液や燃料の漏れ，損傷などがあると，思わぬ事故につながるおそれがあります。
漏れや損傷などが見つかったときは，そのまま使用せず三菱自動車販売会社にご連絡ください。

オートマチック車の取り扱い

J00200600554

オートマチック車の特性

クリープ現象とは…

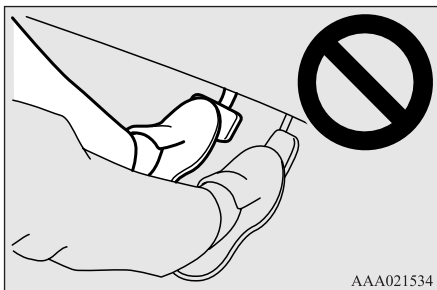
- セレクターレバーをⓅ，Ⓝ以外に入れると動力がつながった状態となり，アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出すオートマチック車特有の現象。

キックダウンとは…

- 走行中にアクセルペダルを深く踏み込むと，自動的に低速ギヤに切り換わり急加速ができます。これをキックダウンといいます。

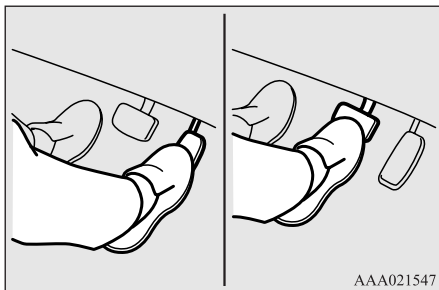
ブレーキペダルは右足で

- 左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。

AAA021534

エンジンをかける前に

J00201100455

- アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

AAA021547

- セレクターレバーがⓅの位置にあることを確認してください。

AAA007237

エンジンをかけるときは

J00201200283

- ブレーキペダルを右足で踏んだままエンジンをかけます。
  アクセルペダルを踏まないとエンジンがかかりにくいときは，エンジンをかけてから足をブレーキペダルに踏みかえます。
  →「エンジンのかけ方」P. 7-10

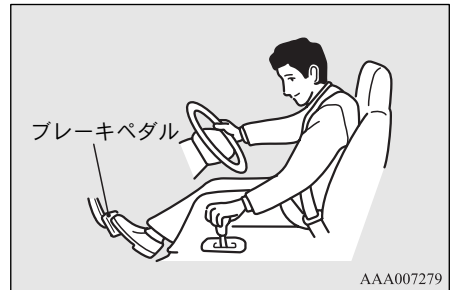
エンジン始動後

J00201300024

- エンジン始動直後は，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。
  ブレーキペダルをしっかり踏んでください。

セレクターレバーを操作するときは

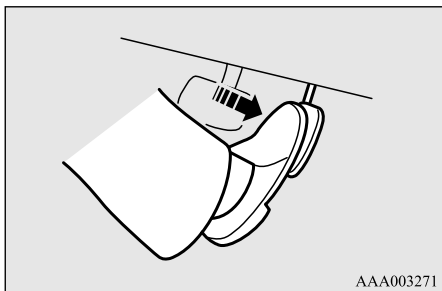
J00201400230

- ブレーキペダルを右足で踏んだままセレクターレバーを操作します。

- アクセルペダルを踏み込みながらセレクターレバーを操作しないでください。
  急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。
  また，トランスミッションの故障の原因になります。
- Ⓡに入れるとブザーが鳴ります。
  ブザーは車の外には聞こえませんので注意してください。

発進するときは

J00201500039

- 発進するときは，ブレーキペダルから徐々に足を離し，アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。

AAA003271

走行中は

J00201600421

- 走行中は，セレクターレバーを🅝に入れないでください。
  エンジンブレーキがまったく効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  また，誤って🅟，🅡に入れてしまった場合，トランスミッションの故障の原因になります。

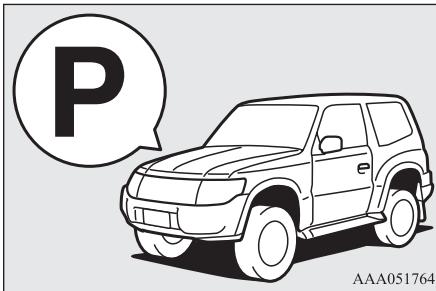
停車中は

J00201700031

- エアコン作動時などは，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。
  ブレーキペダルをしっかり踏んでください。
- 停車中は，むやみに空ぶかしをしないでください。
  万一，セレクターレバーが🅟，🅝以外に入っていた場合，思わぬ急発進の原因になります。

駐車するときは

J00201800579

- 駐車するときは，ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れます。
- 車が完全に止まらないうちにⓅに入れると，急停止してけがをするおそれがあります。
  また，トランスミッションの故障の原因になります。
- 車から離れるときは，必ずエンジンを止め，キーを抜いてください。
  エンジンをかけたままにしておくと，万一，セレクターレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

その他に気をつけること

J00201900118

- 車を少し移動させるときでも，正しい運転姿勢をとり，ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
- 少しだけ後退したときなどは，セレクターレバーがⓇに入っていることを忘れてしまうことがあります。
  後退した後は，すぐにⓇからⓅまたはⓃに戻す習慣をつけましょう。
- 車を後退させるときは，身体を後ろにひねった姿勢になり，ペダルの操作がしにくくなります。
  ブレーキペダルが確実に踏めるように注意してください。
- 切り返しなどでⒹからⓇ，ⓇからⒹと何度もレバーを操作するときは，そのつどブレーキペダルをしっかりと踏み，車を完全に止めてから行ってください。
  車が動いているうちにⓅやⓇに入れると，トランスミッションの故障の原因になります。

4WD車の取り扱い

J00200800064

「4LLc」で走行するときは

2

- オートマチック車は，「4LLc」では約70km/h を超えないようにしてください。
  オートマチックトランスミッション保護のため，エンジン制御が働くことがあります。

乾いた舗装道路および高速道路は「4H」または「2H」で

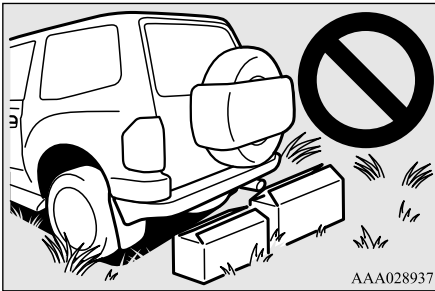
- 乾いた舗装道路は「4H」または「2H」で走行してください。特に乾いた高速道路は絶対に「4HLc」または「4LLc」で走行しないでください。
  乾いた舗装道路を「4HLc」または「4LLc」で走行すると燃料の消費量が多くなったり，騒音，タイヤの早期摩耗を発生することがあります。
  また，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなど重大な故障の原因となるおそれがあります。必ず「4H」または「2H」で走行してください。

駐停車するときは

J00200701220

燃えやすいものの近くには車を止めない

● 枯草や紙など燃えやすいものの近くには車を止めないでください。
走行後の排気管は高温になっているため，火災になるおそれがあります。

AAA028937

長時間のアイドリングは避ける

● 長く停車するときは，エンジンを止めてください。
燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

車から離れるときは

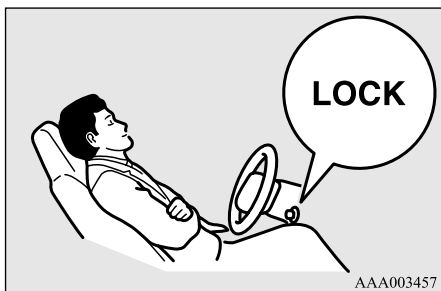
● 車が無人で動き出したり，盗難にあうおそれがありますので，車から離れるときは必ずつぎのことをお守りください。
•駐車ブレーキをかける。
•セレクターレバーを🅟に入れる。
•エンジンを止める。
•キーを抜き，ドアを施錠する。
また，施錠していても車内に貴重品を置いたままにしないでください。

車を移動するときは必ずエンジンを始動する

● エンジンがかかっていないと，ブレーキの効きが非常に悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。
坂道で車を移動させるときも，必ずエンジンをかけてください。

仮眠するときは必ずエンジンを止める

- 排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
- 無意識にシフトレバーやセレクターレバーを動かしたり，アクセルペダルの踏み込みにより，不用意な発進など重大な事故につながるおそれがあります。
- 無意識にアクセルペダルを踏み続けたときに，オーバーヒートを起こしたり，エンジンや排気管などの異常過熱により，火災事故が発生するおそれがあります。

AAA003457

坂道に駐車するときは

- 坂道に駐車するときは，駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーを🅟に入れてください。さらに輪止めをすると効果があります。
  輪止めは三菱自動車販売会社でお買い求めください。
  輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。
- 急な坂道での駐車は避けてください。無人で車が動き出すなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

雪が積もった場所や降雪時に駐車するときは必ずエンジンを止める

- エンジンがかかった状態で，車のまわりに雪が積もると排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

- パワーステアリング装置が損傷するおそれがあります。

こんなことにも注意

J00200901408

運転中に自動車電話や携帯電話を使用しない

- 運転中，運転者が自動車電話や携帯電話を使用すると周囲の状況に対する注意が不十分になり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転中，運転者がハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

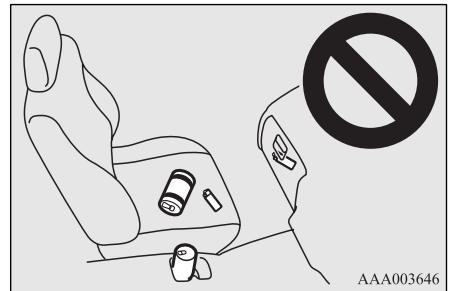
オーディオなどの操作は停車してから

- 走行中にオーディオまたは，カーナビゲーションなどの操作をしないでください。
  操作に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

喫煙しながらの運転は控える

- 喫煙しながらの運転は控えてください。
  注意がおろそかになり，思わぬ事故を招くことがあります。

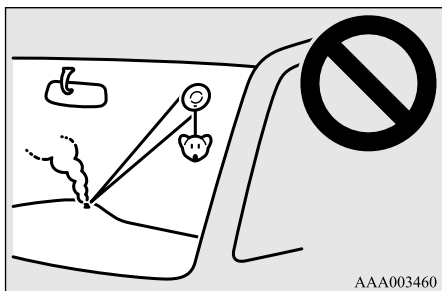
車内にライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しない

- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。

灰皿を使用したあとは

- 灰皿を使用したあとは，マッチやタバコの火は確実に消し，必ず閉めてください。
  万一の場合，火災になるおそれがあります。

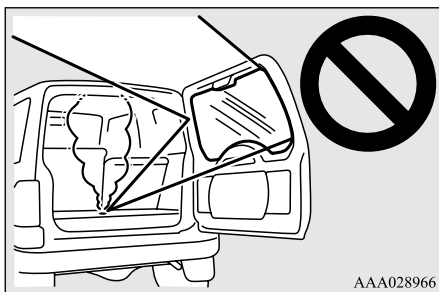
アクセサリー取り付け時の注意

- ウインドウガラスなどにアクセサリーをつけたり，インストルメントパネルの上に芳香剤などを置かないでください。
  運転の妨げになったり，吸盤や芳香剤の容器がレンズの働きをして火災など，思わぬ事故の原因となります。

AAA003460

- 塗装が施されている部分にはアクセサリーなどをつけないでください。
  吸盤に含まれる特殊な成分により，塗装面がはがれたり，変色したりするおそれがあります。

ウインドウフィルム装着時の注意

市販の鏡面タイプのフィルムは使用しないでください。
万一の場合バックドアのガラスに太陽光線が反射し，火災など思わぬ事故の原因となります。

AAA028966

タイヤ，ホイールは指定サイズを使用

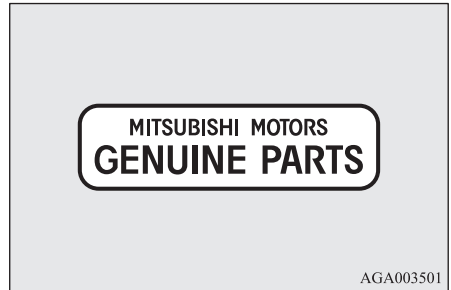
- タイヤ，ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
  →「タイヤ，ホイールのサイズ」P. 14-8
- 4WD車は4つのタイヤに駆動力がかかるため，必ず同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に悪影響をおよぼしたり，故障など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。
  お手持ちのものを使われるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

ジャッキアップしたままエンジンをかけない

- ジャッキアップしたままエンジンをかけると，ジャッキから車体が外れ，重大な事故につながるおそれがあります。

違法改造はしない

- 法律で認められている改造以外は行わないでください。
  また，三菱自動車純正以外の部品を装着すると，車の性能や機能に影響し，思いがけない事故が発生するおそれがあります。

AGA003501

電装品や無線機などの注意

- 電装品や無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
  配線が車体に干渉したり，保護ヒューズがないなど取付け方法が適切でないと，電子機器部品に悪影響をおよぼしたり，火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは

J00201000409

燃料の取り扱いに注意

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。
- 気化した燃料を吸わないように注意してください。燃料には有毒な成分を含んでいるものもあります。
- 給油中はドアおよびドアガラスを閉めてください。車内に気化した燃料が侵入するおそれがあります。
- 燃料をこぼさないように注意してください。塗装の変色，シミ，ひび割れの原因になります。付着したときは，柔らかい布などでふき取ってください。

静電気は確実に除去する

- フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
  静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
- リッド（補給口）の開口，フューエルキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
  複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

フューエルキャップの取り扱いに注意

- フューエルキャップを開けるときは，急激に回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。
- フューエルキャップを閉めたときは，確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料が漏れ，火災になるおそれがあります。
- 三菱自動車純正以外のフューエルキャップは使用しないでください。

ガソリンスタンドの注意事項を守る

- ガソリンスタンドに掲示されている注意事項を守ってください。
- 補給口に給油ノズルを確実に差し込んでください。
  給油ノズルが正しく差し込まれていないと，燃料がこぼれるおそれがあります。
- 給油ノズルが自動的に停止したら給油を終了してください。
  つぎ足しを繰り返すと燃料があふれ出るおそれがあります。
- 給油方法についてご不明な点は，ガソリンスタンドの係員にご相談ください。

環境にやさしく快適なドライブのために

3

経済的な運転をするために

J00300200290

ムダな荷物を載せない

- 不要な荷物を降ろして重量を軽くしてください。

発進，加速はスムーズに

- 不必要な急発進，急加速，急減速など，アクセルペダルをバタつかせるような運転は避け，アクセルペダルの操作はゆるやかに行ってください。

スピードに応じた変速位置に

- 変速位置は，走行速度に応じた正しい位置を選択してください。

速度はできるだけ一定に

- 法定速度を守り，できるだけ一定のスピードで運転してください。

後輪駆動またはフルタイム4WDで走行

- 一般道路または高速道路では後輪駆動 (2H)，またはフルタイム 4WD (4H) で走行しましょう。

空ぶかしは禁物

- 空ぶかしは，燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となりますので避けてください。

駐車時はエンジンストップ

- 携帯電話の使用や休憩などで長い間，車を止めるときは，エンジンを止めてください。燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

タイヤの空気圧は定期的にチェック

- タイヤの空気圧はこまめに点検し，常に規定の空気圧に調整してください。

エアコンは控えめに

- エアコンは燃費に影響します。
  冷やしすぎに注意して適温を心がけてください。

その他に気を付けること

- 車間距離を十分にとり，不必要なブレーキをかけないようにしてください。
- 下り坂では早めにアクセルペダルを戻し，エンジンブレーキを使用してください。
- 高速道路でも不必要な高速走行は避けてください。

機能を上手く使うために

J00300300028

携帯電話やパソコンなどの電子機器からの影響

- 車内で携帯電話を使用すると，オーディオから雑音が出ることがあります。
  このときは，携帯電話をオーディオからできるだけ離して使用してください。
- 車内や車の近くでパソコンなどの電子機器を使用すると，カーナビゲーションが正常に作動しないことがあります。
  このときは，電子機器を車からできるだけ離して使用してください。

環境保護のために守っていただきたいこと

J00300400162

廃棄物を処理するときは

J00301500014

- バッテリーは，鉛や希硫酸が使われています。
  使用済みのバッテリーは，新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。
- タイヤを燃やすと有害なガスが発生します。
  使用済みのタイヤは，新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルを地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  エンジンオイルを交換する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 冷却水を地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  冷却水を交換する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

エアコンの冷媒ガスについて

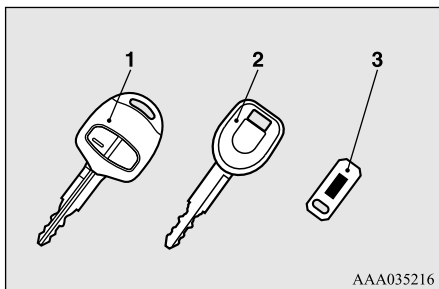
J00301600015

- エアコン冷媒は，オゾン層を破壊させない代替フロンガス HFC-134a (R134a) を使用していますが，この代替フロンガスにも地球を温暖化させる働きがあります。エアコンの効きが悪い場合は三菱自動車販売会社でガス漏れの点検を行い，ガスの大気放出を防止してください。

各部の開閉

キー

J00400101037

キーが2本ついています。

1- エンジンイモビライザーおよびキーレスエントリー用キー
2- エンジンイモビライザー用キー
3- キーナンバープレート

⚠警告

- 航空機内にキーを持ち込むときは，機内でキーのスイッチを押さないでください。スイッチを押すと電波が発信され，航空機の運航に悪影響をおよぼすおそれがあります。
  かばんなどに入れて持ち込むときも，簡単にスイッチが押されないようにしてください。

アドバイス

- お車によりキーの組み合わせは異なります。
- あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンがかかりません。
  →「エンジンイモビライザー」P. 4-3
- キーを保管するときは磁石などと一緒に保管しないでください。
  →「エンジンイモビライザー」P. 4-3
- 万一，キーを紛失したときキーナンバーを三菱自動車販売会社へ連絡していただければ，キーを作ることができます。
  キーナンバーはキーナンバープレートに打刻してあります。キーナンバープレートはキーとは別に大切に保管してください。

アドバイス

- セキュリティーアラームを「作動する」に設定したときは，つぎの点にご注意ください。
  →「セキュリティーアラーム」P. 4-13
  - セキュリティーアラームをシステム作動可能状態にしているときは，キーやセンタードアロックスイッチを使って解錠した後ドアを開けると警報が作動します。
  - セキュリティーアラームを「作動する」に設定していても，キーレスエントリーを使わないで施錠した場合はシステム準備状態になりません。

エンジンイモビライザー（盗難防止装置）

J00400200174

エンジンイモビライザー（盗難防止装置）は，車両盗難防止のため，あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンがかからないようにした装置です。

アドバイス

● つぎのようなときは，車がキーからの信号を受信できずエンジンスイッチをSTARTに回してもエンジンがかからないことがあります。
- キーグリップに金属製のリングをのせたままのとき

AGZ000345

- キーグリップと他のキーの金属部分が接しているとき

AGZ000576

- キーが他の車両のエンジンイモビライザー用キーと重なっている，または近いとき

AGZ000361

● このようなときは，キーに接している金属や他のキーを取り除いてからエンジンスイッチをACCまたはLOCKに戻し，再度エンジンをかけます。
エンジンがかからないときは，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

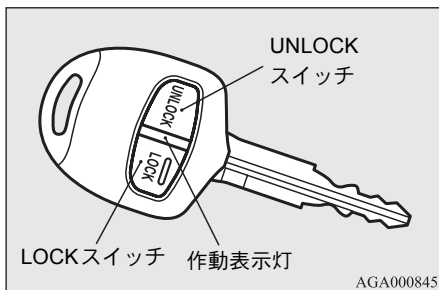
4

アドバイス

- キーは信号発信器が内蔵された電子機器部品です。つぎの点に留意してください。
  - キーを無理に曲げたり，強い衝撃を与えない
  - ダッシュボードの上など高温になる場所にはキーを放置しない
  - 水にぬらさない
  - キーと磁石を近づけた状態で保管しない
  - 分解，改造をしない
- 強い電波を発する物や設備の近くでは正しく作動しないことがあります。
- キーを紛失したときや，新しいキーを作りたいときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。同じ車両で最大8本まで登録することができます。このとき，残りのすべてのキーとお車を三菱自動車販売会社へお持ちください。

キーレスエントリー

J00400301042

リモコンスイッチですべてのドア（含む，バックドア）の施錠・解錠をすることができます。
また，ドアミラー，パワーウインドウ，サンルーフを操作することもできます。

ドアおよびバックドアの施錠・解錠

J00406300034

LOCKスイッチを押すとすべてのドア（含む，バックドア）が施錠し，UNLOCKスイッチを押すとすべてのドア（含む，バックドア）が解錠します。
UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアまたはバックドアを開けなければ自動的に施錠されます。

アドバイス

- リモコンスイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定しているときは，施錠と同時にシステム準備状態，続いてシステム作動可能状態になります。
  詳しくは「セキュリティーアラーム」をお読みください。→P. 4-13
- UNLOCKスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ 施錠・解錠時の作動確認

J00406400019

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，ルームランプの点滅・点灯はルームランプのスイッチが中間(DOOR)位置のときに限られます。

施錠時： ルームランプと非常点滅灯が1回点滅

解錠時： ルームランプが約 15 秒間点灯し，非常点滅灯が2回点滅

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみまたは解錠時のみにする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を働かなくする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。

ドアミラーの格納・復帰

J00406600112

LOCK スイッチを押して施錠した後，約30秒以内にLOCKスイッチをさらに続けて2回押すとドアミラーが格納されます。UNLOCK スイッチを押して解錠した後，約 30 秒以内に UNLOCK スイッチをさらに続けて 2 回押すとドアミラーは元の位置に戻ります。

パワーウインドウの閉じ方

J00406700142

LOCK スイッチを押して施錠した後，約30 秒以内にLOCKスイッチを再度約 1 秒以上押し続けるとすべてのドアガラスが閉まります。
途中で止めたいときは LOCK または UNLOCKスイッチを押します。

サンルーフの閉じ方

J00406800039

サンルーフ付き車

LOCK スイッチを押して施錠した後，約30 秒以内にLOCKスイッチを再度約 1 秒以上押し続けるとサンルーフが閉まります。途中で止めることはできません。

アドバイス

- リモコンスイッチによるつぎの操作を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - •パワーウインドウとサンルーフの「閉じる」操作をできなくする
  - •パワーウインドウの「開ける」機能を追加する
  - •ドアミラーの格納・復帰をドアの施錠・解錠と連動させる
- リモコンスイッチは車から約 1m 以内で作動します。
  近くにTV塔や変電所，放送局があるなど周囲の状況により作動距離が変わることがあります。
- つぎのようなときはリモコンスイッチは作動しません。
  - •エンジンスイッチにキーが差してあるとき
  - •ドア（含む，バックドア）が開いている，または半ドアのとき
- ダッシュボードの上など直射日光が当たる場所にはリモコンスイッチを放置しないでください。リモコンスイッチが故障するおそれがあります。
- リモコンスイッチを紛失したときや，新しいリモコンスイッチを作りたいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。最大4個まで作ることができます。
- リモコンスイッチ内部は精密なためつぎの点に留意してください。
  - •衝撃を与えない
  - •水にぬらさない
  - •分解，改造をしない
- つぎのときは電池の消耗が考えられます。
  - •正しい距離でリモコンスイッチを押しても施錠・解錠しないとき
  - •作動表示灯が暗い，または点灯しないとき

  電池が消耗した場合は，新しい電池に交換してください。
  →「電池交換のしかた」P. 4-6

電池交換のしかた

J00415100155

⚠警告

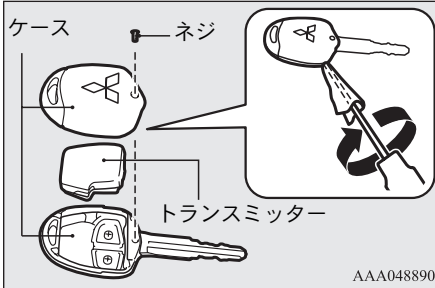
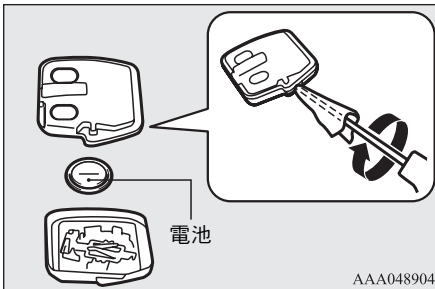
- **電池および取り外した部品は，誤ってお子さまが飲み込まないように注意してください。**

アドバイス

- 電池交換をする際は，キーを破損するおそれがあるため，三菱自動車販売会社での交換をおすすめします。
- キーは信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，内部の金属部分や回路に触れないでください。また，水やゴミを付着させないでください。
- 電池は三菱自動車販売会社，時計店またはカメラ店などでお買い求めください。

使用電池：CR1616

1. 電池交換をする前に部屋のドアノブなどの金属部分に触れて，身体の静電気を除去してください。

2. 三菱マークを上にしてネジを取り外します。
先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでケースを外し，トランスミッターを取り出します。

3. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでトランスミッターを開きます。
新しい電池は－極を上にして取り付けます。

4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

ドア

J00400400017

⚠警告

- 車から離れるときは，火災や盗難などを未然に防ぐため，必ずエンジンを止めドアを施錠してください。
法的にも義務づけられています。
お子さま連れのときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
また車内に貴重品を置いたままにしないでください。

⚠注意

- ドアを閉めるときは，確実に閉め，メーター内の半ドア警告灯が消灯していることを確認してください。半ドアでは，走行中にドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

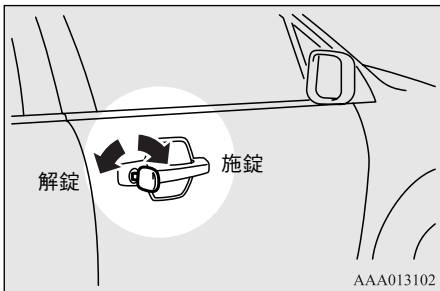
4

車外から施錠・解錠するときは

J00404400770

◆ キーを使って施錠・解錠するときは

キーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

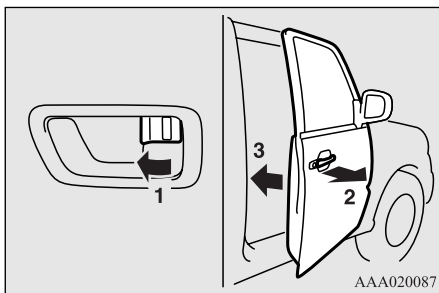
AAA013102

アドバイス

● キーを使って施錠・解錠したときは，運転席ドアのみ施錠・解錠します。
すべてのドア（含むバックドア）を施錠・解錠するときは，センタードアロックまたはキーレスエントリーの操作で施錠・解錠してください。
→「センタードアロック」P. 4-9
→「キーレスエントリー」P. 4-4

◆ キーを使わずに施錠するときは

フロントドア

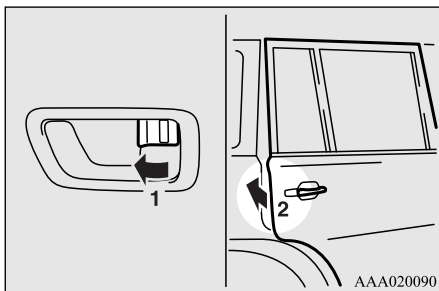
1. ドア内側のロックノブを車両前方に倒し，
2. ドアハンドルを引いたまま
3. ドアを閉じます。

AAA020087

アドバイス

● キー抜き忘れ防止のため，キーを持ってドアを閉じてください。

リヤドア／ロング（5 ドア車）

1. ドア内側のロックノブを車両前方に倒し，
2. ドアを閉じます。

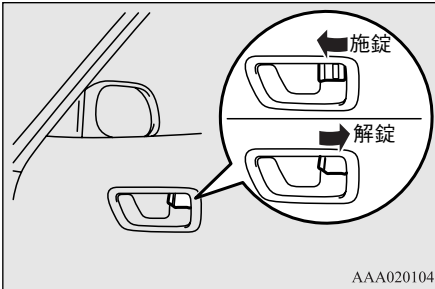
AAA020090

◆ キー抜き忘れ防止機構

J00404500188

エンジンスイッチを切り，キーを差したまま運転席ドアを開くとキー抜き忘れ警告ブザー（ポーン，ポーン）が断続的に鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。
また，キーを差したまま運転席ドアを開け，ロックノブを車両前方に倒して施錠しようとしても施錠されません。

車内から施錠・解錠するときは

J00404600772

ロックノブを車両前方へ倒すと施錠し，車両後方へ倒すと解錠します。

AAA020104

アドバイス

- センタードアロックスイッチの操作で運転席とすべてのドア（含む，バックドア）を施錠・解錠することができます。→「センタードアロック」P. 4-9
- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

センタードアロック

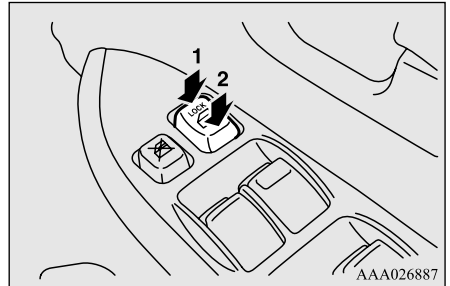
J00400500975

つぎの操作ですべてのドア（含む，バックドア）の施錠・解錠ができます。

アドバイス

- 運転席ドアのキーを使って施錠・解錠したときは，運転席ドアのみ施錠・解錠します。
- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

センタードアロックスイッチを使って施錠・解錠するときは

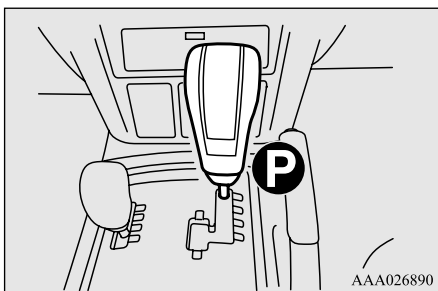
センタードアロックスイッチ(1)側を押すとすべてのドア（含む，バックドア）が施錠し，(2)側を押すとすべてのドア（含む，バックドア）が解錠します。

AAA026887

セレクターレバーを使って解錠するときは

J00411300120

オートマチック車

エンジンスイッチが ON のときにセレクターレバーをⓅに入れるとすべてのドア（含む，バックドア）が解錠します。

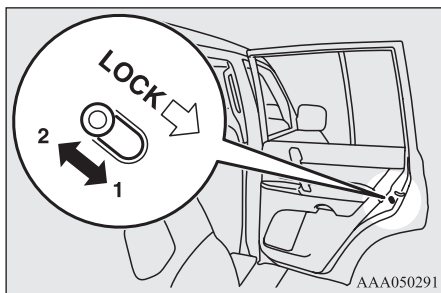
工場出荷時は「解錠しない」に設定されています。「解錠する」に変更したいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

アドバイス

- パワーウインドウのロックスイッチを ON にすると，セレクターレバーをⓅに入れても解錠できないようにすることができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）

J00400600530

ロング（5ドア車）

レバーを施錠側（1）にしてドアを閉めると，ドアのロックノブの位置に関係なく，車内からはドアが開けられなくなります。
お子さまを乗せるときにご使用ください。

1- 施錠
2- 解錠

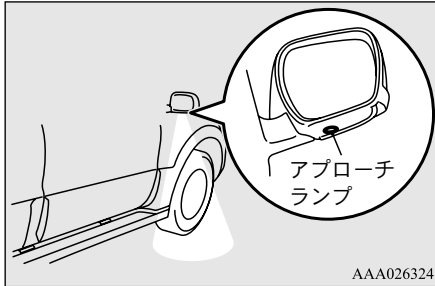
ドアを開けるときは車外のドアハンドルで開けます。

アドバイス

- 万一のときなど車内からドアを開けたいときは，ドアのロックノブを解錠状態にしてドアガラスを下げ，窓から手を出して車外のドアハンドルを引いてください。

アプローチランプ

タイプ別装備　J00410200021

乗車または降車時の足元確認のためドアミラー下部のランプが点灯し，路面を照らします。

つぎのようなときに点灯または消灯します。

- キーレスエントリーまたはセンタードアロックスイッチによりすべてのドア（含む，バックドア）を解錠すると点灯し，約15秒後に消灯します。
- いずれかのドアまたはバックドアを開けると点灯し，約2分後に消灯します。点灯中にすべてのドア（含む，バックドア）を閉じると約30秒後に消灯します。

アドバイス

- 点灯中につぎの操作をすると消灯します。
  - キーレスエントリーまたはセンタードアロックスイッチによりすべてのドア（含む，バックドア）を施錠したとき
  - エンジンスイッチをONにしたとき

バックドア

J00401000111

⚠警告

- 走行前に必ずバックドアが確実に閉じていることを確認してください。
  開けたまま走行すると，車内に排気ガスが侵入し，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- 道路上でバックドアを開けて駐停車するときは車両後方に停止表示板などを置いてください。
  バックドアを開けたときに非常点滅灯などが後方の車両から確認できなくなる場合があるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- 坂道や風の強いときなどにバックドアを開閉するときは，十分注意して行ってください。
  バックドアが急に動いて思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ラゲッジルームの荷物を出し入れするときは，排気管の後方に立たないでください。
  排気熱によりやけどをするおそれがあります。

アドバイス

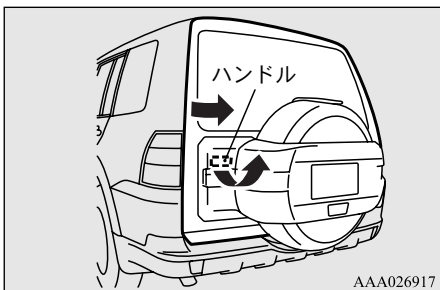
- バックドアにはオイルダンパー式のバックドアストッパーを装備しており，任意の場所でバックドアを保持することができます。
- バックドアの開閉操作時に，軽い引っかかりを感じることがありますが，これはバックドアを支えるためのバックドアストッパーの構造によるものであり，異常ではありません。

バックドアの施錠・解錠

センタードアロックまたはキーレスエントリーの操作で，バックドアの施錠・解錠をすることができます。
詳しくは，つぎの項をお読みください。
→「センタードアロック」P. 4-9
→「キーレスエントリー」P. 4-4

開けるときは

解錠後，ハンドルを引いて開けます。
バックドアを開くとラゲッジルームランプが点灯します。
→「ラゲッジルームランプ」P. 8-9

AAA026917

⚠注意

- バックドアを開けるときはまわりに人がいないことを確認してください。

閉めるときは

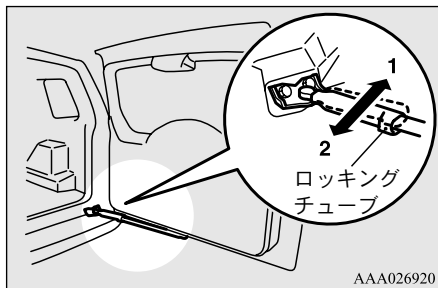
ハンドルから手を離し，閉じます。
バックドアを閉じるとラゲッジルームランプが消灯します。
→「ラゲッジルームランプ」P. 8-9

⚠注意

- バックドアを閉じた後は必ずバックドアが確実に閉じていることを確認してください。走行中に開くと，荷物が落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

バックドアストッパーの使い方

バックドアを全開にし，ロッキングチューブに手をかけLOCK 位置(1)にすると全開 の状態でバックドアを保持することができます。解除するときはUNLOCK位置(2)に戻します。

AAA026920

1- LOCK
2- UNLOCK

⚠注意

- バックドアを確実に手で支えながら，バックドアストッパーを解除してください。
  万一の場合，手をはさむおそれがあります。
- バックドアを閉める前にバックドアストッパーのロッキングチューブがUNLOCK 位置 (2) にあることを確認してください。
  ロッキングチューブがLOCK 位置(1)のままバックドアを閉めると，バックドアストッパーが破損し，バックドアが閉まらなくなるおそれがあります。

セキュリティーアラーム

J00401201035

セキュリティーアラームは，車両内への不正侵入防止のため，キーレスエントリーで解錠せずにドアやバックドアを開けたとき，またはエンジンフードを開けたときに警報を作動させ，周囲に異常を知らせるシステムです。
さらに室内センサー付き車は，つぎのときも警報作動します。

● 車体を不正に動かそうとしたとき（車体傾斜検知機能）
● 室内で動くものを検知したとき（室内侵入検知機能）
● バッテリー端子を外したとき

工場出荷時は, セキュリティーアラームが, 除く室内センサー付き車は「作動しない」に, 室内センサー付き車は「作動する」に設定されています。
設定を変更するときは「セキュリティーアラームの設定変更のしかた」の手順にしたがって操作してください。→P. 4-15

アドバイス

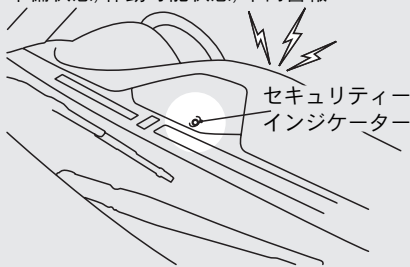
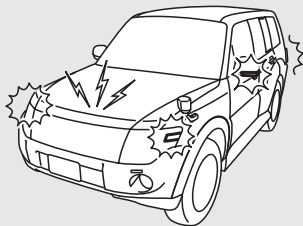
● キーレスエントリー以外の操作で（キーやセンタードアロックスイッチを使って）ドア（含む，バックドア）を施錠したときは，このシステムは働きません。
● 三菱自動車純正部品以外の部品を装着すると，セキュリティーアラームに影響をおよぼすおそれがあります。
● 室内センサー付き車は，キーレスエントリーによる施錠・解錠操作をしても非常点滅灯が点滅しないときは，セキュリティーアラームの異常が考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

● 室内センサー付き車は，以下のときは正常作動しない場合があります。
  • 洗車機を使用したとき
  • 車両をフェリーに乗せたとき
  • 車両を立体駐車場に乗せたとき
  • 車内に人や動物を乗せたままのとき
  • 窓やサンルーフを開けたままのとき
  • マスコットやアクセサリーなど動きやすい物が車内にあるとき
  • ひょうや落雷など，連続的な衝撃や振動を車両に受けたとき

  状況に応じて車体傾斜検知機能および室内侵入検知機能を停止してください。
  →「車体傾斜検知機能および室内侵入検知機能を停止または作動させるときは」P. 4-18
● 車体傾斜検知機能および室内侵入検知機能の感度を変更する事ができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

システムの基本状態

セキュリティーアラームにはシステム準備状態，システム作動可能状態，警報作動, システム作動解除の4つの状態があります。
それぞれの状態に応じて, ブザー, セキュリティーインジケーター，非常点滅灯またはホーン（室内センサー付き車はサイレン）がつぎの通り作動します。

◆ システム準備状態：約20秒間

（ブザーが断続的に鳴り，セキュリティーアラームインジケーターが点滅する）
キーレスエントリーの LOCK スイッチを使ってすべてのドア（含む，バックドア）を施錠した後，システム作動可能状態になるまでの準備時間です。
車内に荷物を忘れたり，ドアガラスを閉め忘れたのに気がついて，一時的にキーレスエントリーを使わずにドアを開けたときに警報しないよう，この状態を設定しています。

◆ システム作動可能状態

（ブザーは停止し，セキュリティーインジケーターの点灯時間が短くなり，点滅し続ける）
システム準備状態が過ぎると，システム作動可能状態になります。
作動可能状態のとき，不正にドアなどが開けられると警報が作動し，周囲に異常を知らせます。
さらに室内センサー付き車は，車体を不正に動かそうとしたり，室内への侵入を検知しても警報が作動します。

◆ 警報作動

車内警報（約10秒間）：
　ブザーが鳴り，車内に異常を知らせます。（除く室内センサー付き車）
車外警報（約30秒間）：
　非常点滅灯が点滅し，ホーン（室内センサー付き車はサイレン）が鳴り，周囲に異常を知らせます。

→「警報作動」P. 4-19

アドバイス

- 警報が停止した後も警報作動する状況が繰り返されると，車外警報が再び作動します。

◆ システム作動解除

システム準備状態，システム作動可能状態のときにシステムの作動を解除することができます。
また，警報が作動しているときも警報作動を解除することができます。

→「システム作動の解除のしかた」P. 4-19
→「警報作動の解除のしかた」P. 4-20

アドバイス

- 他の人にお車を貸されるときや，セキュリティーアラームの作動について知らない人が運転されるときは，セキュリティーアラームについて十分ご説明いただくか，セキュリティーアラームを「作動しない」に設定してください。セキュリティーアラームについて知らない人が誤って解錠すると，警報が作動し，周囲への迷惑となります。

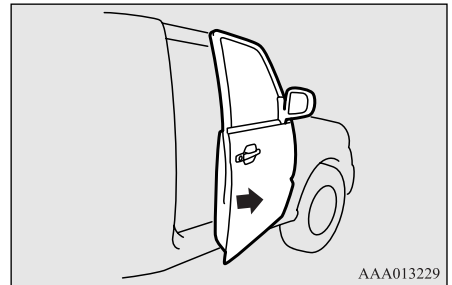
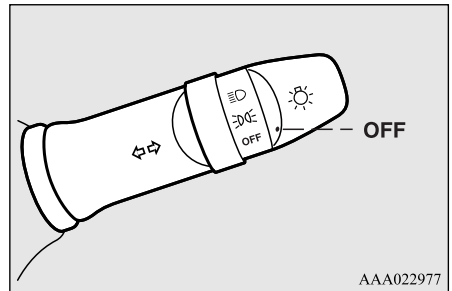
セキュリティーアラームの設定変更のしかた

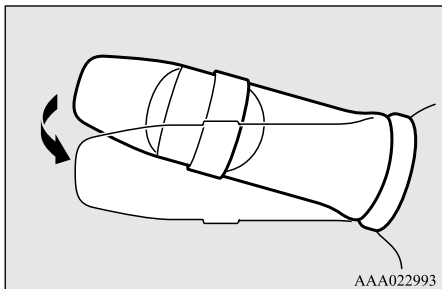
J00402700896

セキュリティーアラームの設定を「作動する」または「作動しない」のいずれかに変更することができます。つぎの手順にしたがって設定を変更してください。

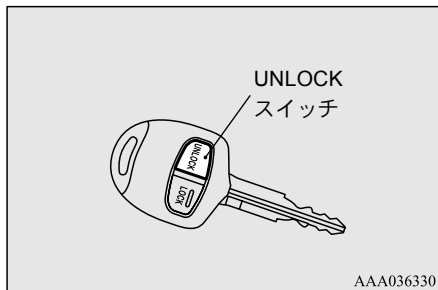
1. エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. ライトスイッチをOFF位置にして，運転席ドアを開いたままにします。

AAA022977

AAA013229

3. フロントワイパー・ウォッシャースイッチを手前に引いたまま保持します。
(エンジンスイッチが LOCK にあるため，ウォッシャー液は出ません。)

AAA022993

4. 約10秒経過するとブザーが“ピー”と鳴りますが，フロントワイパー・ウォッシャースイッチは手前に引いたまま保持してください。
(フロントワイパー・ウォッシャースイッチを離すと，設定変更モードが無効になります。
やり直すときは手順3.からもう一度操作してください。)

5. ブザーが鳴り止んだら，フロントワイパー・ウォッシャースイッチを手前に引いたままキーレスエントリーの UNLOCK スイッチを押してセキュリティーアラームの設定状態を選択します。
設定状態は UNLOCK スイッチを押すごとに切り換わり，ブザーの回数によって確認できます。

AAA036330

ブザーの回数	セキュリティーアラームの設定状態
1回	警報作動しない
3回	警報作動する

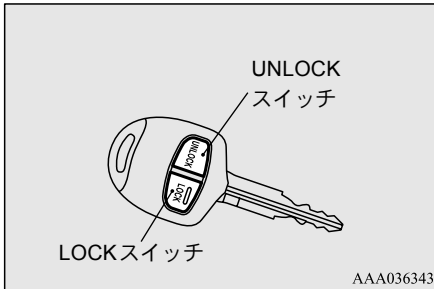
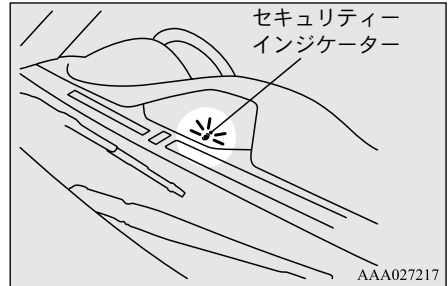
6. つぎのいずれかの操作でシステム設定変更モードが終了します。
   - フロントワイパー・ウォッシャースイッチを離す
   - 運転席ドアを閉じる
   - エンジンスイッチにキーを差す
   - ライトスイッチを OFF 位置以外にする
   - 設定を変更しないまま約30秒経過する

アドバイス

- セキュリティーアラームの設定変更がわかりにくいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定した場合も，万一のため，車を離れるときは車内に貴重品を置いたままにしないでください。

システム作動のセットのしかた

J00402800813

あらかじめセキュリティーアラームを「作動する」に設定した後，つぎの手順でシステム作動可能状態にセットします。

1. エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. 車両から出てすべてのドア（含む，バックドア）およびエンジンフードを閉じます。
3. キーレスエントリーのLOCKスイッチを押して，すべてのドア（含む，バックドア）を施錠します。
   キーレスエントリーによる施錠操作で，システム準備状態になります。このとき確認のためのブザーが断続的に“ピー，ピー”と鳴り，インストルメントパネル上のセキュリティーインジケーターが点滅します。

アドバイス

- キーレスエントリー以外の操作で（キーやセンタードアロックスイッチを使って）すべてのドア（含む，バックドア）を施錠したときは，システム準備状態になりません。
- エンジンフードが開いているときは，セキュリティーインジケーターが点灯し，システム作動可能状態になりません。
  エンジンフードを閉めるとシステム準備状態になり，約20秒後にシステム作動可能状態になります。

4

4. 約20秒後，ブザーが止まり，セキュリティーインジケーターの点滅速度が遅くなり始めたらシステム作動可能状態です。システム作動可能状態中は，セキュリティーインジケーターは点滅し続けます。

アドバイス

- 車内に人が乗っている状態，またはドアガラスが開いた状態でもセキュリティーアラームは作動します。警報の思わぬ作動を防ぐため，車内に人が乗っている状態ではシステム作動可能状態にしないでください。
- システム作動可能状態中は，キーレスエントリー以外の操作で（キーやセンタードアロックスイッチを使って）解錠してドア（含む，バックドア）を開けてもルームランプは点灯しません。

4

◆ 車体傾斜検知機能および室内侵入検知機能を停止させるときは

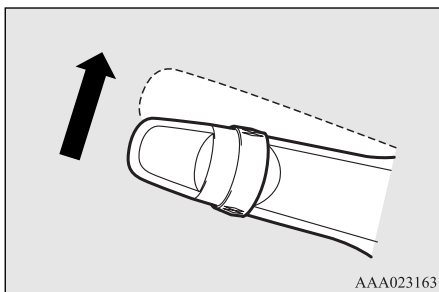
J00433200044

室内センサー付き車

機械式の立体駐車場に駐車するときや車内にペットを残したときなどに，一時的に車体傾斜検知機能および室内侵入検知機能を停止することができます。

1. エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. フロントワイパー・ウォッシャースイッチを約 3 秒間 MIST 位置に引き上げます。
   ブ ザーが“ピッ”と1回鳴り，機能が停止します。

再び機能を作動させたいときは，フロントワイパー・ウォッシャースイッチを約3秒間MIST位置に引き上げます。
ブザーが“ピッ，ピッ”と 2 回鳴り機能が作動します。

AAA023163

アドバイス

- つぎの操作を行うと，機能が再び作動します。
  - キーレスエントリーを使ってドア（含む，バックド ア）を解錠する。
  - エンジンスイッチをONまたはACCにする。

システム作動の解除のしかた

J00402900595

システム準備状態またはシステム作動可能状態のときに，つぎの方法でシステム作動を解除することができます。

- キーレスエントリーの UNLOCK スイッチを押す
- エンジンスイッチをONまたはACCにする
- システム準備状態のとき，いずれかのドア（含む，バックドア）を開けるか，エンジンスイッチにキーを差し込む

アドバイス

- システム準備状態のときにエンジンフードを開けるとシステム準備状態が中断し，エンジンフードを閉めるとシステム準備状態に戻ります。
- システム準備状態のときにバッテリー端子を外すと記憶は消去されます。
- リモコンスイッチは 4 個まで登録できます。
  登録済みのリモコンスイッチであれば，セットしたリモコンスイッチと別のリモコンスイッチを使ってもシステムを解除することができます。
  リモコンスイッチの追加登録については三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
- キーレスエントリーの作動距離は約 1 m です。正しい距離でスイッチを押しても施錠，解錠およびセキュリティーアラームのセット，解除ができないときには電池の消耗が考えられます。新しい電池に交換してください。
  →「電池交換のしかた」P. 4-6
- UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドア（含む，バックドア）を開けなければ自動的に施錠されます。このときもシステム準備状態になります。
  UNLOCKスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

警報作動

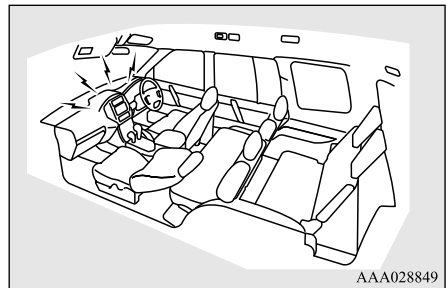
J00403000984

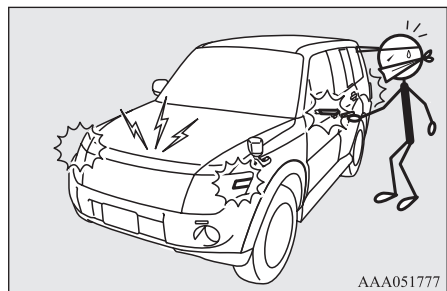
システム作動可能状態のときに，キーレスエントリーのUNLOCKスイッチを押す以外の操作で解錠し，いずれかのドア（含む，バックドア）またはエンジンフードを開けると警報作動します。

1. 車内警報が約10秒間作動します。
   （除く室内センサー付き車）

アドバイス

- システム作動可能状態のときにエンジンフードを開けると車内警報は作動せず，すぐに車外警報が作動します。

AAA028849

2. 車外警報が約30秒間作動します。
   非常点滅灯が点滅し，ホーン（室内センサー付き車はサイレン）が断続的に鳴ります。

AAA051777

3. 警報が停止した後も警報作動する状況が繰り返されると，車外警報が再び作動します。

アドバイス

- 警報作動中はルームランプは点灯しません。

警報作動の解除のしかた

J00403100510

つぎの方法で警報作動を止めることができます。

- キーレスエントリーの LOCK または UNLOCKスイッチを押す
  〔LOCKスイッチを押したとき, すべてのドア（含む，バックドア）が閉じていれば施錠し，再びシステム準備状態になります〕
- エンジンスイッチをONまたはACCにする

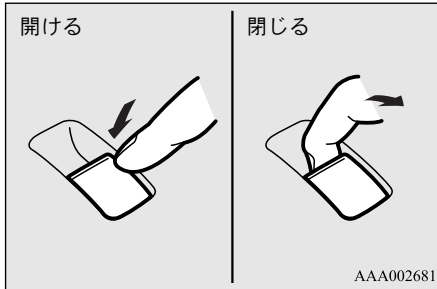
アドバイス

- 車内警報中にドア（含む，バックドア）を閉じても警報作動は解除されません。
- エンジンスイッチを ON にしたときブザーが 4 回鳴り，セキュリティーインジケーターが 4 回点滅したときは，駐車中に警報が作動したことを示しています。盗難にあっていないかお車の中を確認してください。
- バッテリーを外しても警報作動の記憶は消去されません。

パワーウインドウ

J00401500392

AAA002681

⚠警告

- パワーウインドウを閉じるときは，安全のため同乗者が窓から顔や手を出していないことを確認してください。
- 安全のためパワーウインドウの操作はお子さまではなく大人が行ってください。車を離れるときは必ずキーを抜いて，お子さまも一緒に連れて出てください。
  キーを差したままだとお子さまがいたずらをして手や首をはさむおそれがあります。

アドバイス

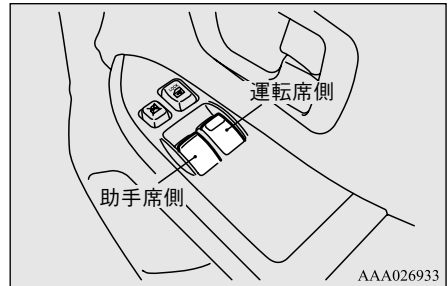
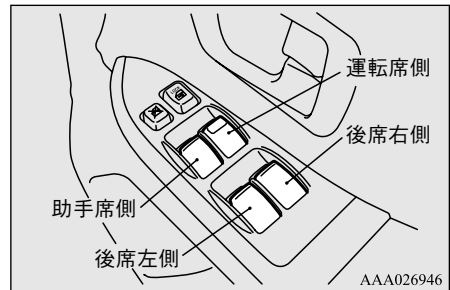
- キーレスエントリーのリモコンスイッチでもパワーウインドウを閉じることができます。
  →「キーレスエントリー」P. 4-4

運転席スイッチ

ショート（3 ドア車）

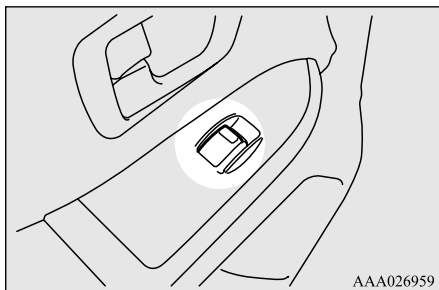
AAA026933

ロング（5 ドア車）

AAA026946

運転席スイッチで全席のドアガラスの開閉をすることができます。エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。
スイッチを強く押したり，強く引き上げると自動的に全開，全閉します。
途中で止めたいときはスイッチを軽く操作します。

助手席，後席スイッチ

エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。

AAA026959

アドバイス

● 後席ドアガラスは全開しません。

タイマー機構

J00405200531

エンジンスイッチをACCまたはLOCKにした後でも約30秒間はガラスを開閉することができます。この時間内に運転席ドアを開けるとさらに約30秒間ガラスを開閉できます。ただし，一旦運転席ドアを閉めるとガラスの開閉はできなくなります。

アドバイス

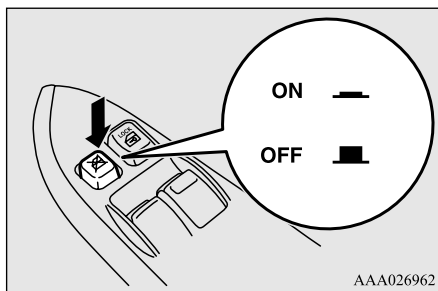
● つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  • タイマー時間を調整する
  • タイマー機能をなくす

ロックスイッチ

J00404300577

お子さまを乗せるときはロックスイッチをONにしてください。

助手席，後席スイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
解除するときはもう一度押します。

AAA026962

アドバイス

● ロックスイッチが ON でも運転席スイッチでは全席のドアガラスを開閉することができます。

アドバイス

- ロックスイッチが ON のとき，運転席スイッチでも助手席，後席のドアガラスを開閉できないようにすることができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

セーフティー機構

J00403200234

万一，手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的にドアガラスが少し下がります。
ドアガラスが下がった後，再度スイッチを引き上げるとドアガラスを閉めることができます。

⚠注意

- ドアガラスを確実に閉めるため，閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。指などをはさまないように注意してください。

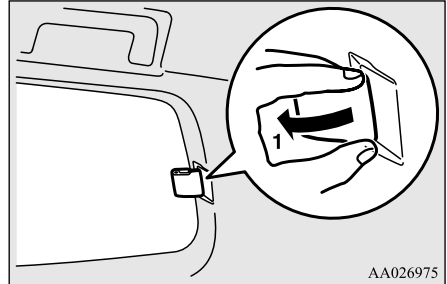
アドバイス

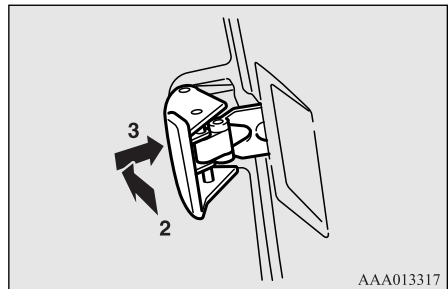
- 環境や走行条件により，手や首などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。
- 3 回以上連続してセーフティー機構が働いたときは，セーフティー機構が解除され，ドアガラスが正常に閉まらなくなります。
  つぎの方法でドアガラスを処置してください。
  ドアガラスが開いているときは，パワーウインドウスイッチを繰り返し引き上げて，ドアガラスを一度全閉します。全閉後，一旦スイッチから手を離し，再度約1秒間スイッチを引き上げてください。これにより，元通りドアガラスの開閉操作ができるようになります。

リヤサイド・クォーターウインドウ

J00401600029

開けるときは

1. レバーを手前に引きます。

AA026975

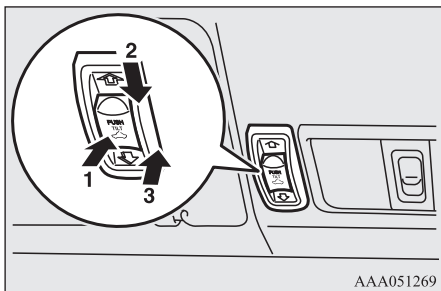
2. 外側に押し出します。
3. 車両後方に押して固定します。

AAA013317

閉じるときは

レバーを引き戻し，固定します。

サンルーフ

タイプ別装備

J00401800467

開けるときは

エンジンスイッチがONのとき, スイッチを(3)の方向に押すと全開します。
途中で止めたいときは, スイッチの(1)を押すか, または(2)の方向に押します。

閉めるときは

エンジンスイッチがONのとき, スイッチを(2)の方向に押すと全閉します。
途中で止めたいときは, スイッチの(1)を押すか, または(3)の方向に押します。

アドバイス

- キーレスエントリーのリモコンスイッチでもサンルーフを閉じることができます。
→「キーレスエントリー」P. 4-4

チルトアップするときは（サンルーフの後端を上げる）

エンジンスイッチがONのとき, スイッチの(1)を押すとサンルーフの後端が上がります。（チルトアップ）
スイッチを(2)の方向に押すとサンルーフが閉じます。（チルトダウン）

タイマー機構

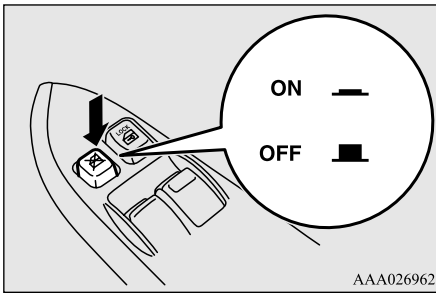
エンジンスイッチをACCまたはLOCKにした後でも約30秒間はガラスを開閉することができます。この時間内に運転席ドアを開けるとさらに約30秒間ガラスを開閉できます。ただし, 一旦運転席ドアを閉めるとガラスの開閉はできなくなります。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - タイマー時間を調整する
  - タイマー機能をなくす

ロックスイッチ

J00403400018

お子さまを乗せるときはロックスイッチをONにしてください。サンルーフスイッチを操作してもサンルーフは開閉できなくなります。
解除するときはもう一度押します。
ロックスイッチが ON のときにサンルーフスイッチを操作するとブザーが鳴り，サンルーフが開閉できないことを知らせます。

アドバイス

- ロックスイッチをONにすると，運転席スイッチ以外ではドアガラスの開閉ができなくなります。

セーフティー機構

J00403500224

万一，手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的にサンルーフが数 cm 開きます。サンルーフが開いた後スイッチでサンルーフを閉めることができます。

5 回以上連続してセーフティー機構が働いたときは，サンルーフが正常に閉まらなくなります。つぎの方法でサンルーフを処置してください。

1. スイッチを (2) の方向に繰り返し押してサンルーフをチルトアップ状態にします。
2. チルトアップ状態でスイッチを (2) の方向に約3秒以上押し続けます。
3. 再度スイッチを (2) の方向に押してサンルーフを全閉にします。
4. スイッチを (3) の方向に押して全開にした後，スイッチを (2) の方向に押して全閉にします。

アドバイス

- 環境や走行条件により，手や首などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。
- 全開，全閉の操作の途中でサンルーフを止めないでください。途中で止めた場合，もう一度“1”からの手順で操作をしてください。

5. これにより，元通りサンルーフの開閉操作ができるようになります。

⚠警告

- サンルーフを閉じるときは，安全のため同乗者がサンルーフから手や顔を出していないことを確認してください。
- 安全のためサンルーフの操作はお子さまではなく大人が行ってください。
  車を離れるときは必ずキーを抜いて，お子さまも一緒に連れていってください。
  キーを差したままだとお子さまがいたずらをして手や首をはさむおそれがあります。
- 走行中はサンルーフ開口部から手や顔，荷物などを絶対に出さないでください。

⚠注意

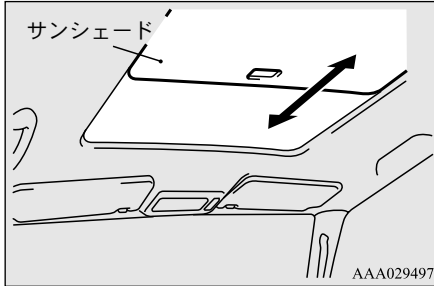
- サンルーフを確実に閉めるため，閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。指などをはさまないように注意してください。

アドバイス

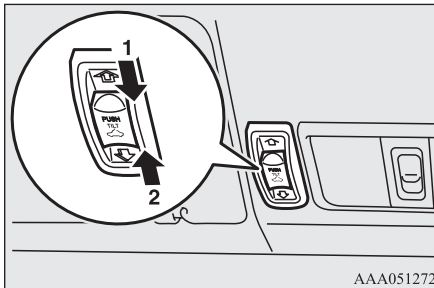
- 降雪時，厳寒時は凍結することがありますので開閉操作は行わないでください。故障の原因となります。
- サンルーフやルーフ開口部の縁に腰をかけたり荷物を乗せるなどの大きな力を加えないでください。サンルーフが破損するおそれがあります。
- サンルーフが全開または全閉した後はスイッチを押し続けないでください。
- サンルーフスイッチを押してもサンルーフが動かないときは，すぐにスイッチから手を離しサンルーフに何かはさまれていないか確かめてください。
  何もはさまれていないのにサンルーフが動かないときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- スキーキャリアまたはルーフキャリアを装着しているとき，チルトアップすると種類によってはキャリアと当たる場合がありますので気をつけて操作してください。
- 車から離れるときや洗車時にはサンルーフが完全に閉じていることを確認してください。
- サンルーフ開口部周囲のウェザーストリップ（黒いゴム）にワックスが付くとサンルーフとの密着が悪くなります。ワックスがけを行うときは気をつけてください。
- 雨が降った後や洗車後に開けるときは，車内に水が入るおそれがありますのでサンルーフの水を拭き取ってください。
- エンジンをかけずに何度もサンルーフを開閉するとバッテリーが上がることがあります。なるべくエンジンがかかっているときに操作してください。

サンシェードを開閉するときは

J00403600179

手動で開閉することができます。

⚠注意

- 開閉するときは，指をはさまれないように注意してください。

つぎの操作によりサンシェードがサンルーフに連動して開閉します。

◆ 開け方

エンジンスイッチがONのとき, スイッチを(2)の方向に押すとサンルーフに連動して開きます。

◆ 閉じ方

1. サンルーフが途中で止まっているときは，スイッチを (2) の方向に押してサンルーフを全開にします。
2. さらにスイッチを (2) の方向に押しサンシェードとサンルーフが見えなくなるまで後退させます。
3. スイッチを (1) の方向に押すとサンルーフに連動して閉じます。

アドバイス

- サンシェードはサンルーフをチルトアップすると連動して数cm開きます。
- サンシェードは必ずチルトダウンしてから閉めてください。
- サンルーフが開いた状態でサンシェードのみ閉じることはできません。
- サンルーフが開いているときに無理にサンシェードを閉めないでください。
  破損するおそれがあります。

エンジンフード（ボンネット）

J00402101044

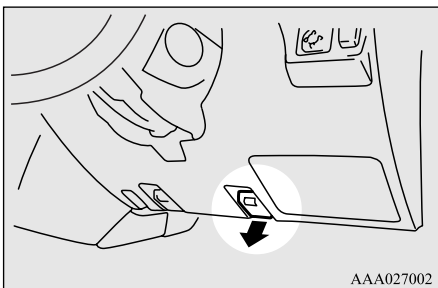
開けるときは

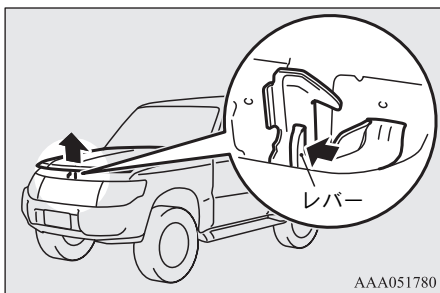
1. ワイパーアームが立っているときはワイパーアームを倒します。

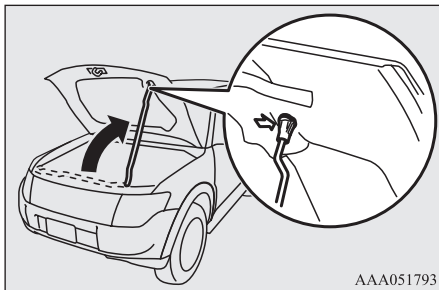
アドバイス

- ワイパーアームが立った状態でエンジンフードを開けるとエンジンフードに傷がつくおそれがあります。

2. 計器盤右下にあるレバーを引くとエンジンフードが少し浮き上がります。

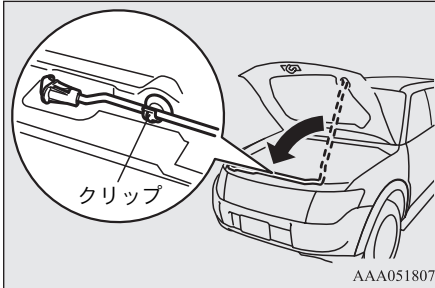
AAA027002

3. エンジンフードのすき間に手を入れ，前端中央部のレバーを左へ押しながらエンジンフードを持ち上げます。

AAA051780

4. 支持棒をエンジンフードの穴に差し込みエンジンフードを確実に固定します。

AAA051793

⚠注意

- 風の強いときにエンジンフードを開けていると，風にあおられて支持棒が外れることがあります。特に風の強いときはご注意ください。
- 支持棒は必ず所定の穴に差し込んでください。所定以外の箇所に掛けると支持棒が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

閉めるときは

1. エンジンフードを支えながら支持棒を穴から外してクリップに固定します。

2. エンジンフードを少し持ち上げた位置（約20cm）から離します。

⚠注意

- 手や物をはさまないように注意してください。

3. エンジンフードが完全に閉じていることを確認します。

⚠注意

- 走行前に必ずエンジンフードが確実に閉じていることを確認してください。
完全に閉じていないまま走行するとエンジンフードが開くおそれがあります。

アドバイス

- エンジンフードを手で強く押しつけないでください。力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

フューエルリッド（燃料補給口）

J00402300430

フューエルリッド（燃料補給口）は車両の右側後方にあります。

⚠警告

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。
燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。
- フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
- リッド（補給口）の開口，フューエルキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

アドバイス

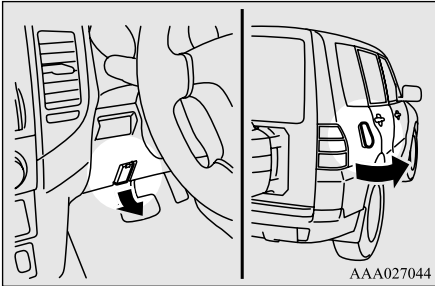
- 燃料は必ず指定された燃料をご使用ください。
→「燃料は指定されたものを補給」P. 2-3
→「メンテナンスデータ:燃料の量と種類」P. 14-2

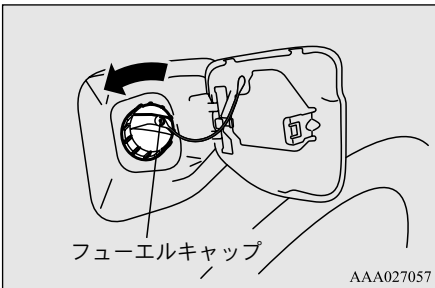
4

開けるときは

J00405000366

1. 計器盤左下にあるレバーを引いてリッド（補給口）を開けます。

AAA027044

2. フューエルキャップのつまみを持ち，ゆっくり左に回して外します。

AAA027057

⚠警告

- 急激にフューエルキャップを回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。

閉めるときは

J00405100022

1. フューエルキャップをカチッカチッと音がするまで右に回して閉めます。

⚠警告

- フューエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料が漏れ，火災になるおそれがあります。

2. フューエルリッドを手で軽く押して閉めます。

安全装備

シート

シートベルト

チャイルドシート

SRSエアバッグ

シート

J00509900872

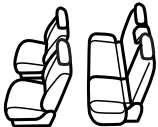
5

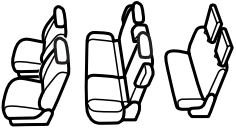
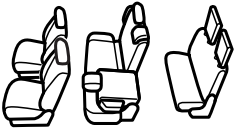
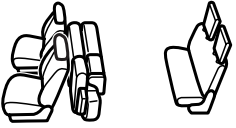
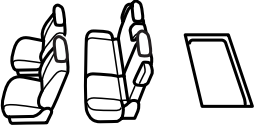
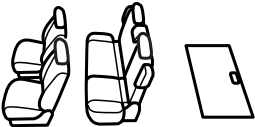
フロントシート

- 前後調整P. 5-6
- 背もたれの角度調整P. 5-6
- クッションの上下調整（運転席）P. 5-7
- ランバーサポート（腰部張り出し量調整）タイプ別装備 P. 5-8
- アームレスト（ひじ掛け）P. 5-9
- リヤシートへの乗り降り（助手席）［ショート（3ドア車）］P. 5-9
- フロントシートヒーター タイプ別装備 P. 5-10

リヤシート／セカンドシート

- 背もたれの角度調整P. 5-11
- 背もたれの前倒しP. 5-12
- アームレスト（ひじ掛け）P. 5-12
- サードシートへの乗り降り［ロング（5ドア車）］P. 5-12

サードシート［ロング（5ドア車）］

- 背もたれの角度調整P. 5-14

シートアレンジ

J00500100493

ショート（3ドア車）

お好みに合わせて，つぎのようなシートアレンジをすることができます。

<table>
<tr><td colspan="2">通常の使い方</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">フラットシート
（除く, 電動式フロントシート付き車）

→P. 5-23</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">荷室の作り方</td><td>背もたれの前倒し
（リヤシート）
→P. 5-12</td><td></td></tr>
<tr><td>リヤシートの折りたたみ→P. 5-16</td><td></td></tr>
</table>

ロング（5ドア車）

通常の使い方		
フラットシート →P. 5-23		
荷室の作り方	背もたれの前倒し （セカンドシート） →P. 5-12	
	セカンドシートの折りたたみ→P. 5-16	
	サードシートの格納 →P. 5-17	
	サードシートの脱着 →P. 5-20	

シート調整

J00500200322

シート各部の調整は走行前に行ってください。

⚠警告

- シートの調整は必ず走行前に行ってください。走行中にシートを調整すると必要以上に動くことがあり，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの調整をした後は，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- シートの調整は必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- シートを操作しているときは，シートの下や動いている部分に手足を近づけないでください。
- 後方へシートを移動したり，背もたれを倒すときは乗員に注意してください。

フロントシート

J00500300802

正しい運転姿勢がとれるように，つぎの点に注意してシートを調整してください。

⚠警告

- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。
  正しい運転姿勢がとれないため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

前後調整

J00500400513

◆ 手動式

レバーを引いたまま調整します。
調整後はシートを前後に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。

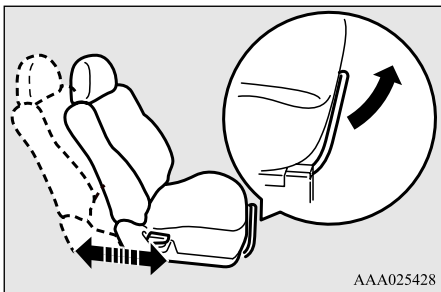
AAA025428

◆ 電動式

スイッチを前後に操作して調整します。

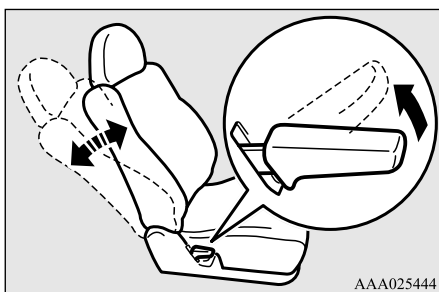
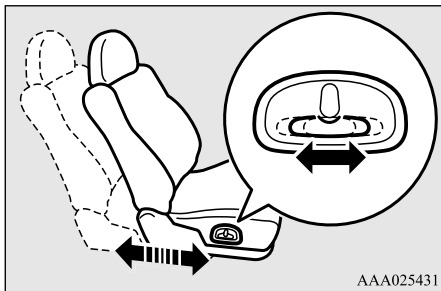
AAA025431

アドバイス

- 電動式シートの調整はバッテリー上がりを防ぐため，エンジンをかけて行ってください。

背もたれの角度調整

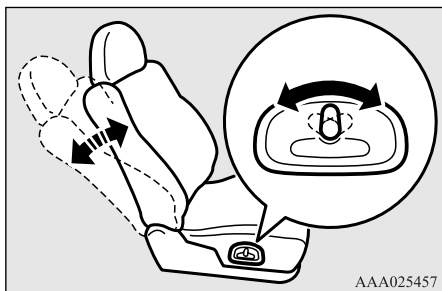
J00500500628

◆ 手動式

レバーを引いたまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されたことを確認します。

AAA025444

⚠注意

- レバーを操作するときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて行ってください。
  背もたれが急に戻り顔などに当たるおそれがあります。

◆ 電動式

スイッチを前後に操作して調整します。

AAA025457

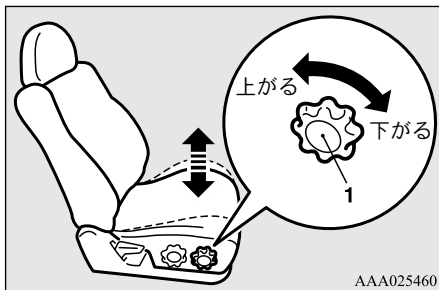
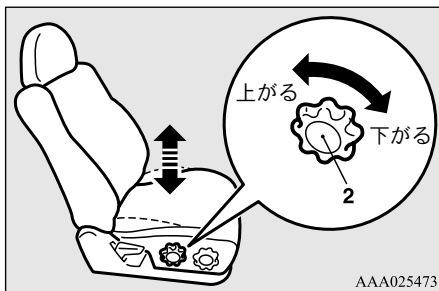
アドバイス

- 電動式シートの調整はバッテリー上がりを防ぐため，エンジンをかけて行ってください。

クッションの上下調整（運転席）

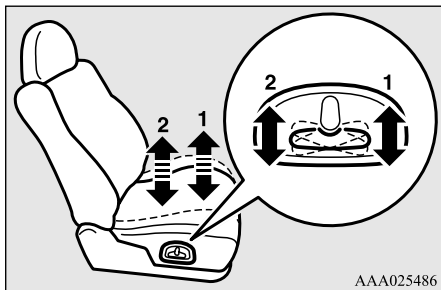
J00500600690

◆ 手動式

ノブを回して調整します。

AAA025460

AAA025473

1- シートクッション前端の調整
2- シートクッション後端の調整

◆ 電動式

スイッチを上下に操作して調整します。

AAA025486

1- 前側を操作するとシートクッション前端が動きます。
2- 後ろ側を操作するとシートクッション後端が動きます。

スイッチ全体を上下させるとシートクッション全体が動きます。

アドバイス

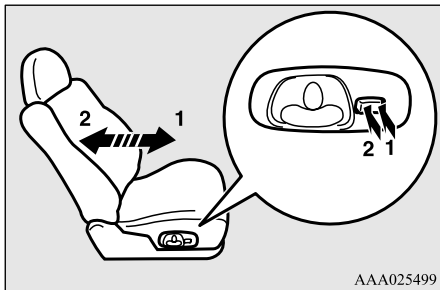
- 電動式シートの調整はバッテリー上がりを防ぐため，エンジンをかけて行ってください。

5

ランバーサポート（腰部張り出し量調整）

タイプ別装備

J00500700037

背もたれの腰部を張り出すことにより腰椎を支え，腰への負担を軽減させることができます。
スイッチを操作して張り出し量を調整します。

AAA025499

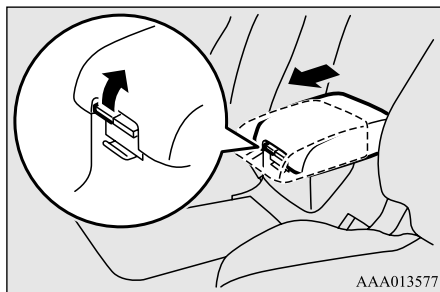
1- 前側を押すと腰部の張り出し量が多くなります。
2- 後ろ側を押すと腰部の張り出し量が少なくなります。

アドバイス

- 電動式シートの調整はバッテリー上がりを防ぐため，エンジンをかけて行ってください。

アームレスト（ひじ掛け）

J00501000415

フロアコンソールボックスのフタを前後に動かしてアームレストとして使用できます。
右側のレバーを引き上げながら調整します。

AAA013577

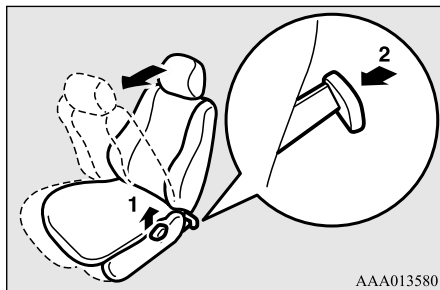
リヤシートへの乗り降り（助手席）

J00501100025

ショート（3ドア車）

⚠警告

- 背もたれを前に倒した状態で運転しないでください。シートが固定されていないため，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，重大な傷害を受けるおそれがあります。

レバー(1)を引き上げるか，またはペダル(2)を踏むと背もたれが倒れます。シート全体を前方へ押してください。
シートを元に戻すときは背もたれを起こしてシート全体を後方へ移動し，確実に固定されていることを確認してください。

AAA013580

⚠注意

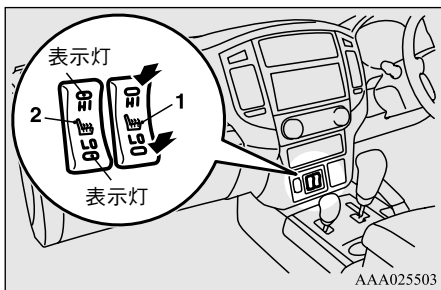
- レバーまたはペダルを操作するときは，背もたれに手を添えて行ってください。
  背もたれが急に戻り顔などに当たるおそれがあります。
- ペダル (2) の操作は足で行ってください。

5

フロントシートヒーター

タイプ別装備

J00501300245

エンジンスイッチが ON のときにスイッチを LO または HI にするとヒーターが作動し，スイッチ内の表示灯が点灯します。

1 - 運転席用スイッチ
2 - 助手席用スイッチ
HI - 急速暖房
LO - 通常暖房
OFF（中立）- 暖房停止

⚠注意

- エンジン停止状態での連続使用はバッテリー上がりの原因になります。
- 長時間の連続使用は低温やけど（水ぶくれなど）の原因になります。特につぎのような方は注意してください。
  - 乳幼児，お子さま，お年寄，病気の方，身体の不自由な方
  - 皮膚の弱い方
  - 疲労の激しい方
  - 飲酒した方およびねむけをさそう薬を飲んだ方（かぜ薬など）
- 重い荷物をシートの上に置いたり，針やくぎなどをシートに刺したりしないでください。
- 毛布や座ぶとんなど保温性のよいものをシートにかけないでください。過熱の原因となります。
- シートを手入れするとき，ベンジン，ガソリン，およびアルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。シート表面およびヒーターの損傷原因となります。
- 水，ジュースなどをこぼしたときは十分乾かしてから使用してください。

アドバイス

- ご使用にならないときはスイッチを OFF（中立）にしてください。
- スイッチのHI 側は消費電力が大きいのでシートが適温に暖められたら LO または OFF にしてください。

リヤシート／セカンドシート

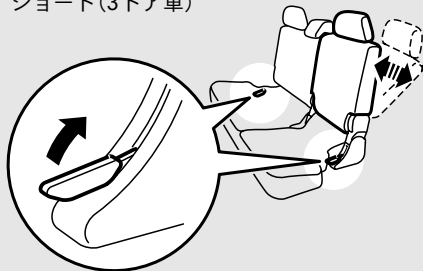
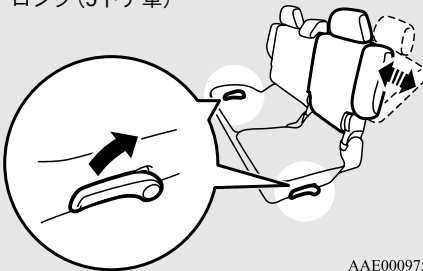
J00502100110

⚠警告

- リヤシート／セカンドシートの中央席に座る場合は，ヘッドレストを固定できる位置まで引き上げてください。
  衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ず調整してください。
  →「ヘッドレスト：上下調整」P. 5-14

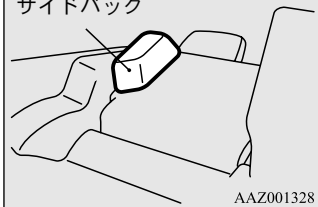
背もたれの角度調整

J00502300053

レバーを引いたまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されたことを確認します。

⚠注意

- レバーを操作するときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて行ってください。
  背もたれが急に戻り顔などに当たるおそれがあります。

アドバイス

- 背もたれの角度は片側ずつ調整できます。
- ロング（5ドア車）のサイドバック部は可倒式です。背もたれを倒すと，その位置に合わせてサイドバックも倒れます。

5

アームレスト（ひじ掛け）

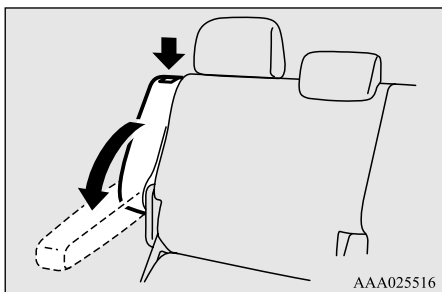
J00502500026

アドバイス

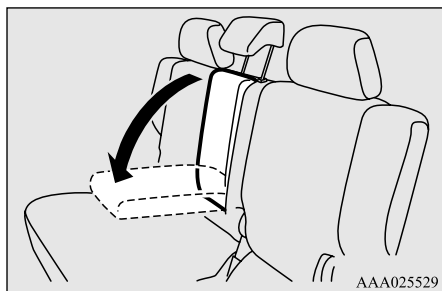
● アームレストの上に乗ったり座ったりしないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

ショート（3ドア車）

ボタンを押してアームレストを倒します。元に戻すときは，確実に固定するまで後ろに引き上げます。

AAA025516

ロング（5ドア車）

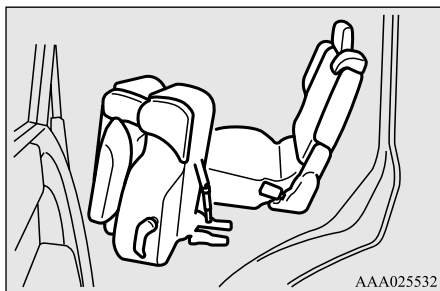
中央席のヘッドレストを引き上げた後，アームレストを倒します。
元に戻すときは，後ろに引き上げ，ヘッドレストを下げます。
→「ヘッドレスト」P. 5-14

AAA025529

サードシートへの乗り降り

J00502600072

ロング（5ドア車）

セカンドシートを折りたたんで乗り降りを行います。
→「セカンドシートの折りたたみ」P. 5-16

AAA025532

背もたれの前倒し

J00502400041

背もたれを倒すことにより，大きな荷物を積むことができます。

⚠警告

● リヤシート／セカンドシートを前倒しした状態で人を乗せたりお子さまを遊ばせないでください。急ブレーキをかけたときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

◆ 倒すときは

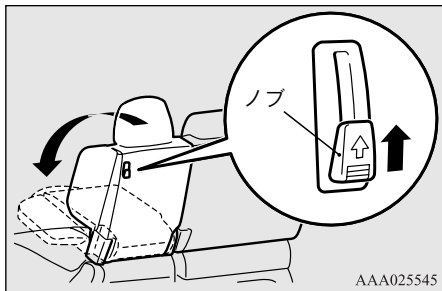
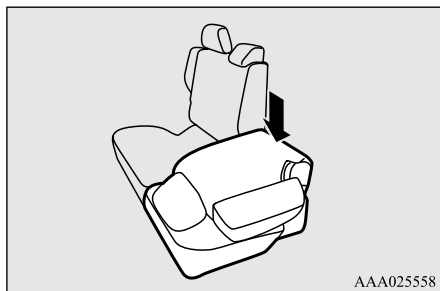
1. リヤシェルフ付き車は，リヤシェルフを取り外します。
   →「リヤシェルフ」P. 8-17
2. 背もたれの裏側にあるノブを引き上げ，背もたれを前に倒します。

AAA025545

アドバイス

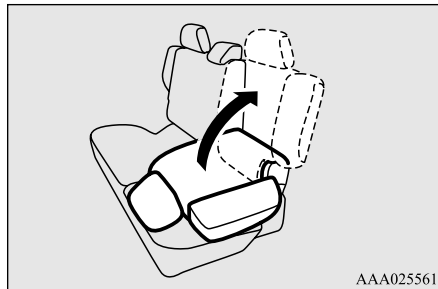
● 背もたれは片側ずつ前倒しできます。

3. シート全体をカチッと音がするまで押し付け，確実に固定します。

AAA025558

◆ 戻すときは

背もたれを確実にロックするまで戻します。操作後はシートを軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。

AAA025561

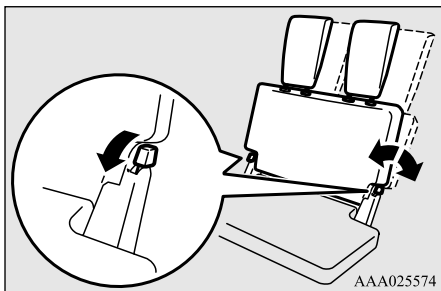
5

サードシート［ロング（5ドア車）］

J00502800087

背もたれの角度調整

レバーを引いたまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されたことを確認します。

AAA025574

⚠注意

- レバーを操作するときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて行ってください。
  背もたれが急に戻り顔などに当たるおそれがあります。

ヘッドレスト

J00503400774

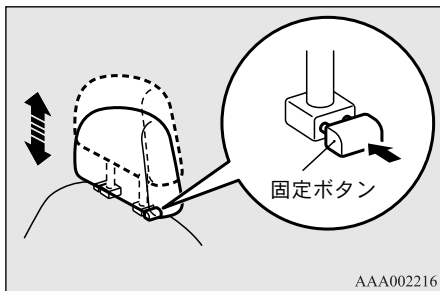
⚠警告

- ヘッドレストの固定できる高さを超えて使用しないでください。
  万一のとき安全確保に役立ちません。
- ヘッドレストを取り外したままで走行しないでください。走行前に必ず取り付けてください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

上下調整

ヘッドレストの中央部ができるだけ耳の高さになるように調整します。
耳の高さに届かない場合（特に背の高い人など）は，固定できる範囲で一番高い位置に調整してください。

上げるときはそのまま引き上げ，下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。

AAA002216

取り外すときは

J00508900019

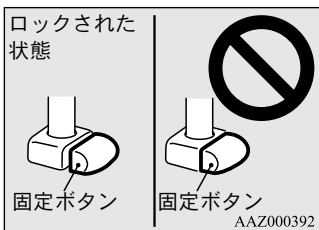
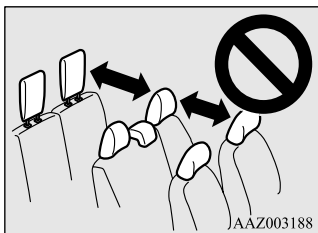
固定ボタンを押したまま，いっぱいに引き上げて取り外します。

取り付けるときは

J00509000134

固定ボタンを押しながら差し込みます。

⚠注意

- ヘッドレストを取り付けた後，固定ボタンがロックされていることを確認してください。

- シートによりヘッドレストの形状や大きさが異なります。間違えないように取り付けてください。

荷室の作り方

J00503500283

⚠警告

- 荷室を作るときは，走行中や傾斜地でのシート操作は絶対に行わないでください。シートが必要以上に動いたり，不意に動き重大な事故につながるおそれがあります。
- シートを折りたたんだり，または元に戻したときは，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。
- 走行中に荷室に人が乗ったり，お子さまを遊ばせないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- 室内にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また荷物は確実に固定してください。後方が確認できなくなったり，急ブレーキをかけたときなどに荷物が前方に飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを折りたたんだり，格納したり，脱着するときは，必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを操作するときは，手足をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

5

リヤシート／セカンドシートの折りたたみ

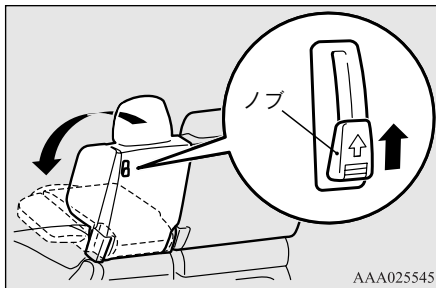
J00503600037

リヤシート／セカンドシートを折りたたんで荷室を作ることができます。
また，ロング（5ドア車）はセカンドシートを折りたたみ，サードシートへの乗り降りを行います。

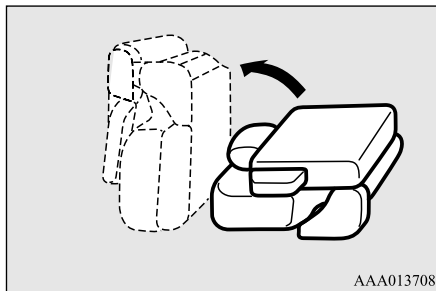
⚠警告

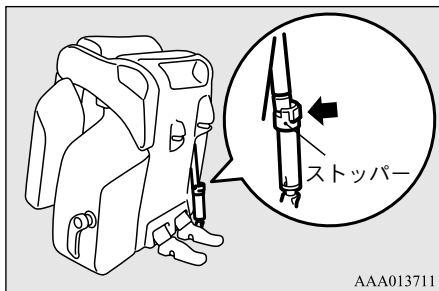
- 走行中は，セカンドシートを折りたたんだ状態のままサードシートを使用しないでください。
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにセカンドシートが後方へ倒れ，重大な傷害を受けるおそれがあります。

◆ 折りたたむときは

1. リヤシェルフ付き車は，リヤシェルフを取り外します。
   →「リヤシェルフ」P. 8-17
2. 背もたれの裏側にあるノブを引き上げ，背もたれを前に倒します。

アドバイス

- 背もたれは片側ずつ前倒しできます。

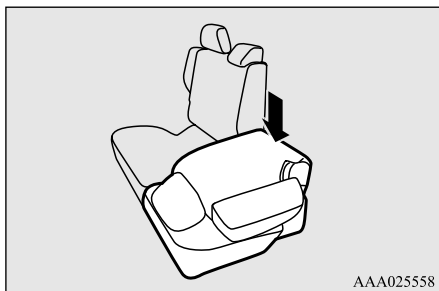
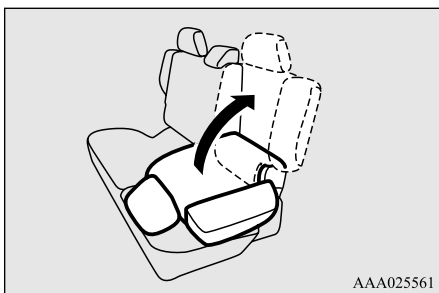
3. シート全体をカチッと音がするまではね上げます。

◆ 戻すときは

1. シートを支えストッパーを押しながら，シートをゆっくり倒します。

AAA013711

2. シート全体をカチッと音がするまで押し付け，確実に固定します。

AAA025558

3. 背もたれを確実にロックするまで戻します。
   操作後はシートを軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。

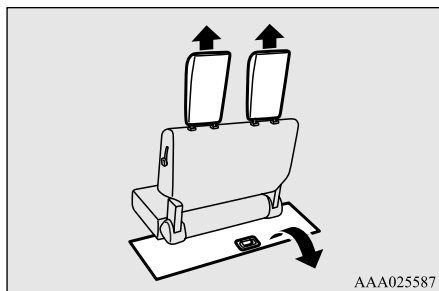
AAA025561

サードシートの格納

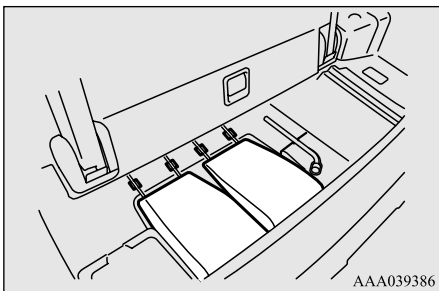
J00504300103

サードシートを床下に格納して荷室を作ることができます。

◆ 格納するときは

1. ラゲッジフロアボックスのリッドとヘッドレストを取り外します。
   →「ラゲッジフロアボックス」P. 8-15
   →「ヘッドレスト：取り外すときは」P. 5-15

AAA025587

2. 取り外したヘッドレストを，ヘッドレストの前面が上向きになるようにして，ラゲッジフロアボックスに収納します。

AAA039386

アドバイス

- ヘッドレストの前面を下向きに収納すると，サードシートの格納ができません。

3. ノブを引き上げながら，背もたれを前に倒します。

AAA013740

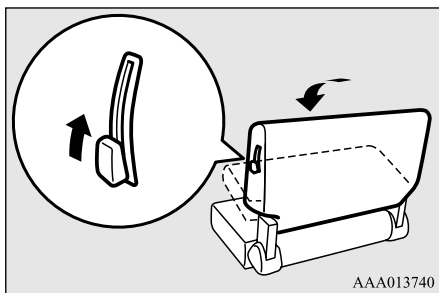
4. レバーを前方へ押しながら，背もたれをシートクッションに当たるまで前に倒します。

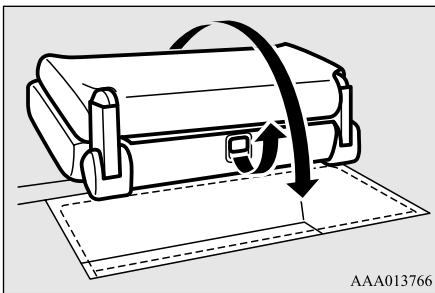
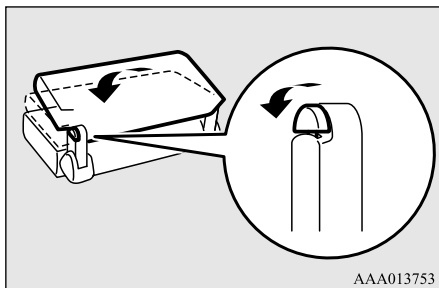
AAA013753

⚠警告

- 背もたれを前倒しした状態で人を乗せたりお子さまを遊ばせないでください。急ブレーキをかけたときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

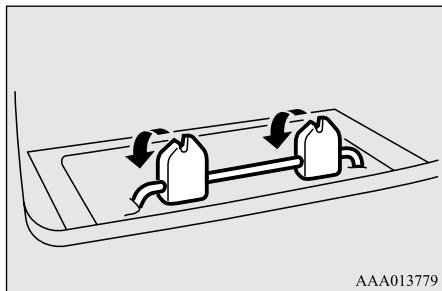
- 背もたれを前倒しした状態で，シートの上に荷物を載せて走行しないでください。

5. レバーを引いて，シート全体を後方へ倒し，床下に格納します。

AAA013766

⚠注意

- シートを格納するときは，シートを手で支えながらゆっくりと行ってください。しっかり支えていないと格納するとき，シートの重みでシートが急に倒れ，手などをはさむおそれがあります。
- シートに人が乗ったままレバーを操作しないでください。シートが後方へ倒れ思わぬ事故につながるおそれがあります。

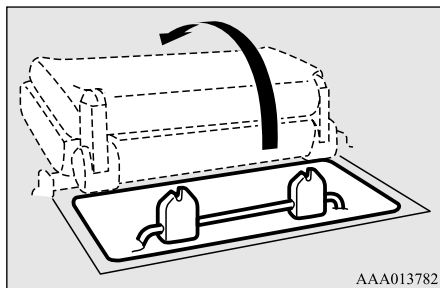
AAZ001344

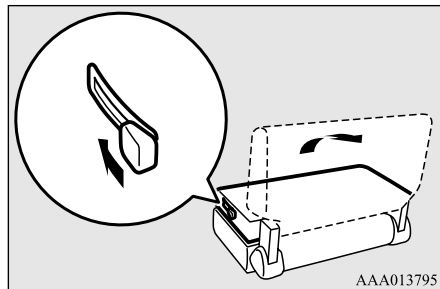
6. スタンドを折りたたみます。

AAA013779

7. ラゲッジフロアボックスのリッドを取り付けます。

◆ 戻すときは

1. ラゲッジフロアボックスのリッドを取り外し，スタンドを起こします。
2. シート全体を前方に起こしカチッと音がするまで押し付け，確実に固定します。

AAA013782

3. ノブを前方へ押しながら背もたれを起こします。操作後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されたことを確認します。

AAA013795

4. ラゲッジフロアボックスのリッドとヘッドレストを取り付けます。

サードシートの脱着

J00504400045

サードシートを取り外すと荷室をより広く使用できます。
サードシートを固定するための専用レバーはありません。

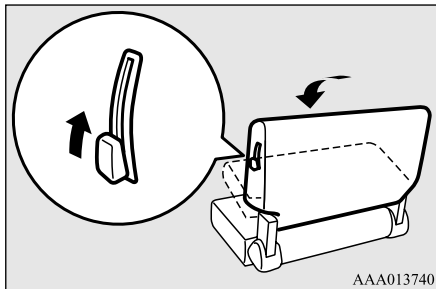
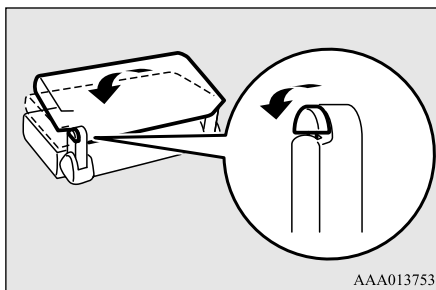
⚠注意

- シートを脱着するときは，手足をはさまないように注意してください。また，シートを落としたりつまずいたりしないように慎重に作業をしてください。必要に応じて，作業人数を増やして行ってください。
- シートを脱着するときは，ラゲッジフロアボックスのリッドを取り外さないでください。シートを動かす途中でラゲッジフロアボックスにシートが落ちて手などをはさむおそれがあります。

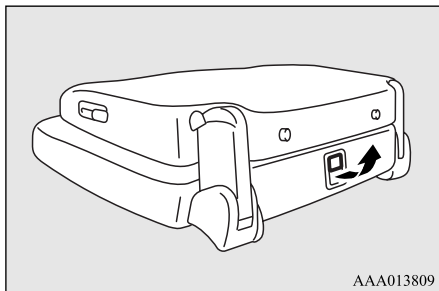
アドバイス

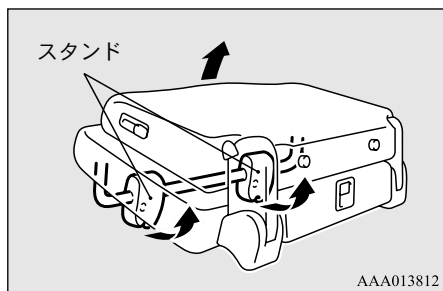
- 車検（継続検査）を受けるときは，シートを装着してください。シートを装着しないと，車検証の記載内容の変更が必要になります。

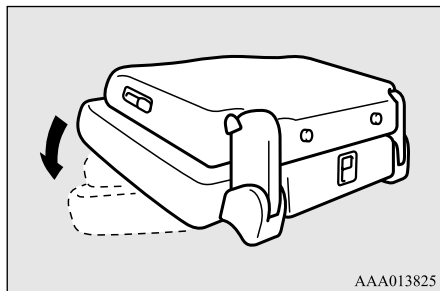
◆ 取り外すときは

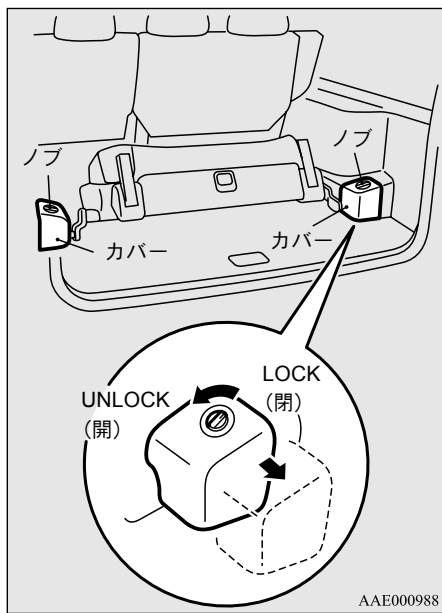
1. ヘッドレストを取り外します。
   →「ヘッドレスト：取り外すときは」P. 5-15
2. ノブを引き上げながら，背もたれを前に倒します。

3. レバーを前方へ押しながら，背もたれをシートクッションに当たるまで前に倒します。

⚠警告

- サードシートを折りたたんだ状態で人を乗せたりお子さまを遊ばせないでください。急ブレーキをかけたときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

4. レバーを引きます。

AAA013809

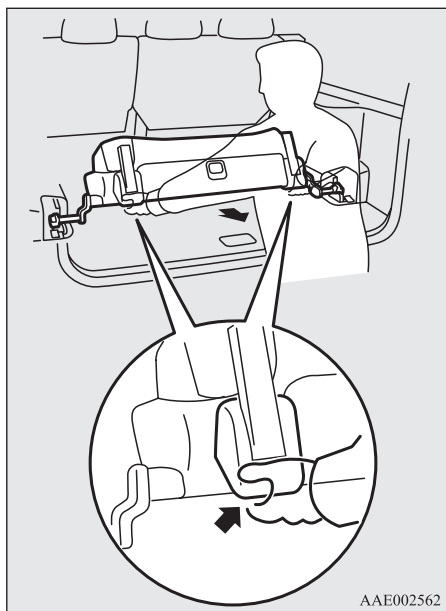
5. シート前端を持ち上げて，シートの横からスタンドを後方に折りたたみます。

AAA013812

6. シート前端をフロアにおろします。この状態でシート取り付け部のロックが自動的に解除されます。

AAA013825

7. 荷室左右にあるカバーをノブを回して取り外します。

AAE000988

8. 図の位置を持ち，シート全体を後方へ引き出して取り外します。

AAE002562

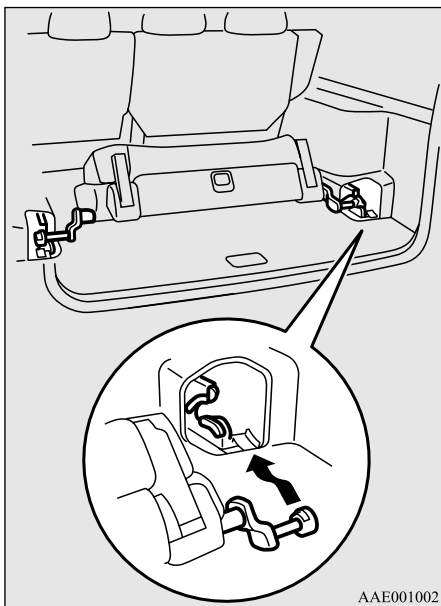
⚠注意

● 取り外したシートの上に人や荷物などを乗せないでください。シートの取り付け部が変形し，シートが車両に固定できなくなるおそれがあります。

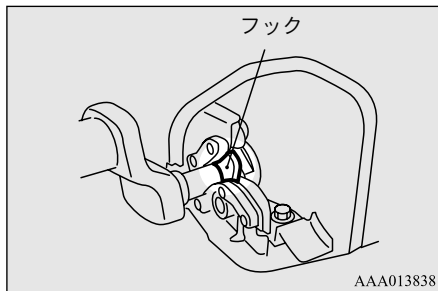
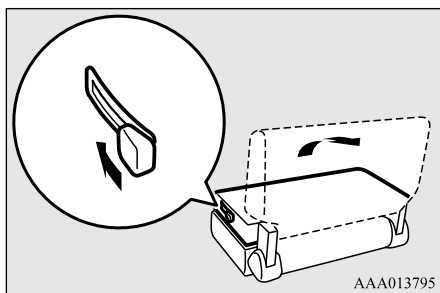
アドバイス

● 取り外すときは左右平行にして引き出してください。水平でないとシートが固定金具から外れないことがあります。

◆ 取り付けるときは

1. シートの取り付け部を荷室左右の金具へ左右同時に押し込みます。

AAE001002

2. シートの取り付け部にフックがかかっていることを確認します。

AAA013838

3. シート前端を持ち上げて，シート横からスタンドを前方へ起こします。
   シート全体をカチッと音がするまで押し付け，確実に固定します。
4. 荷室左右のカバーを取り付けます。
5. ノブを前方へ押しながら背もたれを起こします。
   操作後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されたことを確認します。

6. ヘッドレストを取り付けます。

フラットシートの作り方

J00504500479

除く，ショート（3 ドア車）電動式フロントシート付き車

シートを倒して大きな空間を作ることができます。

⚠警告

- **フラットにした状態で人や荷物を乗せて走行しないでください。**
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，重大な傷害を受けたり，荷物が飛び出して重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

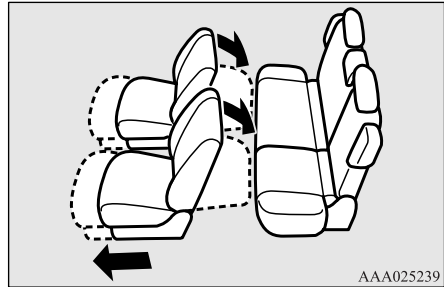
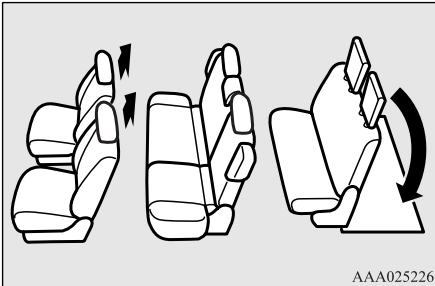
- フラットにするときは，必ず車を安全な場所に止めてから行ってください。
- フラットにする操作は必ず大人が行ってください。
  お子さまが操作すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを移動するときは，手足をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- 背もたれを元に戻すときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて操作してください。背もたれが急に戻り顔などに当たるおそれがあります。
- フラットにしたときは，シートの上を歩き回らないでください。シートから足を踏み外すと危険です。必ずシートの中央を踏んで，ゆっくり移動してください。

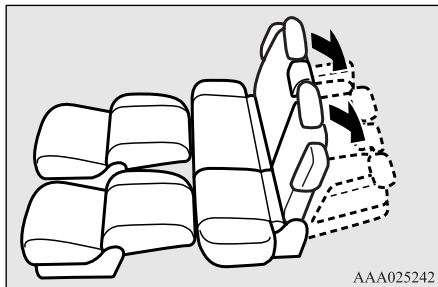
アドバイス

- フラットにしたときは，背もたれ上部に飛び乗ったり，強い衝撃を与えないでください。シートが損傷することがあります。

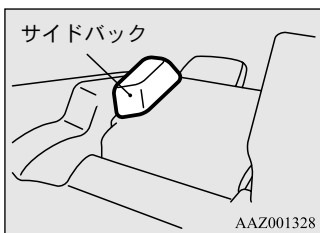
5

1. フロントシートのヘッドレストを取り外します。
ロング（5 ドア車）はサードシートをラゲッジフロアボックスに格納します。
リヤシェルフ付き車は，リヤシェルフを取り外します。
→「ヘッドレスト：取り外すときは」P. 5-15
→「サードシートの格納」P. 5-17
→「リヤシェルフ」P. 8-17

2. フロントシートを前方いっぱいまで移動させ，背もたれを倒します。
ロング（5 ドア車）は背もたれがセカンドシートに当たるまで後ろへ移動します。
→「前後調整」P. 5-6
→「背もたれの角度調整」P. 5-6

3. ショート（3 ドア車）はリヤシートのヘッドレストを取り外します。
リヤシート／セカンドシートの背もたれを倒します。
→「ヘッドレスト：取り外すときは」P. 5-15
→「背もたれの角度調整」P. 5-11

AAA025242

アドバイス

- ロング（5ドア車）のサイドバック部は可倒式です。背もたれを倒すと，その位置に合わせてサイドバックも倒れます。

AAZ001328

4. これでフラットシートの完成です。
戻すときは逆の手順で行います。

シートベルト

J00505100528

シートベルトは万一の場合，運転者と同乗者の安全を守ります。シートベルトはつぎの使用方法，注意を守り，運転する前に必ず着用してください。

AAE000092

⚠警告

- 肩部ベルトは脇の下を通さないで，肩に十分かかるように着用してください。ベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどに身体が前方に投げ出され，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 腰部ベルトは腹部にかけないでください。衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ベルトは1人用です。2人以上で使用しないでください。衝突のときなどにベルトが正常に働かず，重大な傷害を受けるおそれがあります。

5

⚠警告

- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 車に乗るときは必ず全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに身体がシートに保持されず，車外に投げ出されたりして，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトは上体を起こして，シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については「フロントシート」を参照してください。→ P. 5-5
- シートベルトはねじれのないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり，衝突したときなどに局部的に強い力を受けてシートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上に近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- 妊娠中の女性や疾患のある方も，万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし，局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので，医師にご相談のうえ注意事項を確認してからご使用ください。
  妊娠中の方は，腰部ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩部ベルトは確実に肩を通し，腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。
- シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでベルトにたるみをつけないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- ほつれや切り傷ができたり，金具部などが正常に動かなくなったときは，シートベルトを交換してください。異常がある状態で使用すると衝突時に正常に動かず，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- 万一，事故にあって，シートベルトに強い衝撃を受けた場合は，外観に異常がなくても必ず交換してください。軽い事故の場合も三菱自動車販売会社で点検を受けてください。ベルト自体が壊れている場合があり，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- シートベルトを修理または交換する場合は三菱自動車販売会社へご相談ください。
- バックルや巻き取り装置の内部に異物などを入れないようにしてください。またシートベルトの改造や取り付け，取り外しをしないでください。衝突したときなどに十分な効果を発揮できないおそれがあります。
- ベルトが汚れた場合は，中性洗剤を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤の使用や漂白，染色は絶対にしないでください。
  シートベルトの性能が落ち，十分な効果を発揮できなくなるおそれがあります。

3点式シートベルト

J00505200082

ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが，強い衝撃を受けたときは，ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

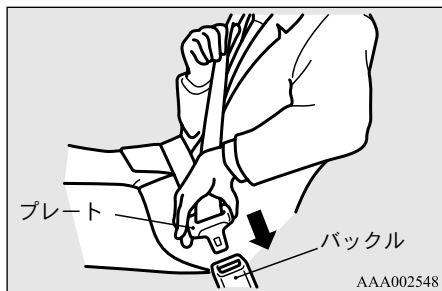
◆ 着用するときは

J00507800138

1. プレートを持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。

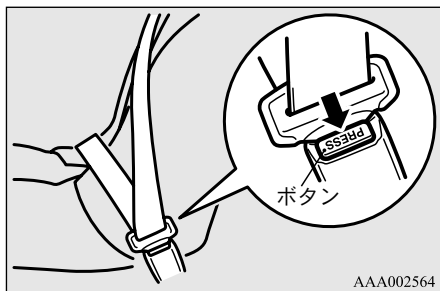
アドバイス

- シートベルトがロックしたまま引き出せないときは，一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ，再度ゆっくりと引き出してください。

2. ベルトがねじれていないか確認した後，プレートをバックルにカチッと音がするまではめ込みます。

3. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ，ベルトを引いて腰部に密着させます。

◆ 外すときは

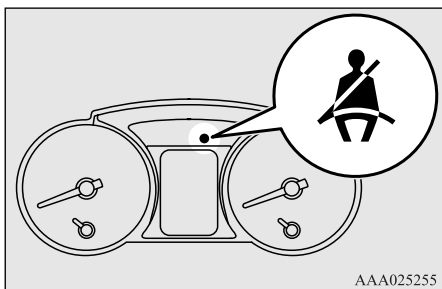
J00507900328

プレートを持ってバックルのボタンを押します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。

⚠警告

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
  ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると，窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
  万一，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

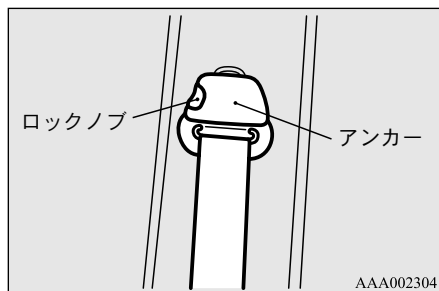
◆ シートベルト警告

J00509700056

運転席のシートベルトを着用しないままエンジンスイッチをONにすると，警告灯が点灯し，約6秒間ブザーが鳴ってシートベルトの着用を促します。
そのままシートベルトを着用せずに走行したとき，エンジンスイッチをONにしてから約 1 分が経過していると警告灯が点灯・点滅を繰り返し，ブザーが断続的に鳴ります。
警告灯とブザーの警告は約90秒で止まります。
その後，シートベルトを着用しないまま停車・発進を繰り返すと，発進するたびに警告灯とブザーによってシートベルトの着用を促します。また，走行中にシートベルトを外しても同じようにシートベルトの着用を促します。
シートベルトを着用すれば警告は止まります。

◆ ベルトが首，顔に当たるときは（アジャスタブルシートベルトアンカー）

J00508000267

フロントシート

肩部ベルトの高さを調整することができます。
ベルトが首，顔に当たったり，肩から外れて腕にかかってしまうときに調整してください。
上げるときはアンカーをそのまま押し上げ，下げるときはロックノブを押したままアンカーを下げます。
調整後はアンカーが固定されていることを確認します。

⚠警告

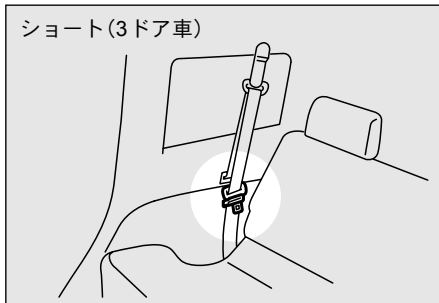
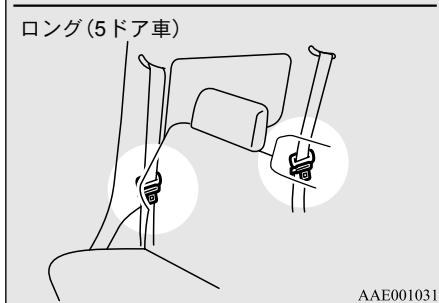
- アンカーを調整するときは，肩部ベルトが首に当たらず，肩の中央に十分かかるように調整してください。また，調整後はアンカーが確実に固定されていることを確認してください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮できず，重大な傷害を受けるおそれがあります。

リヤシート／セカンドシートベルト，サードシートベルトの格納のしかた

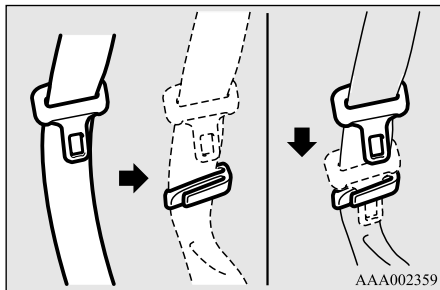
J00508700147

シートベルトを使用しないときは，プレートとバックルを図のように格納してください。

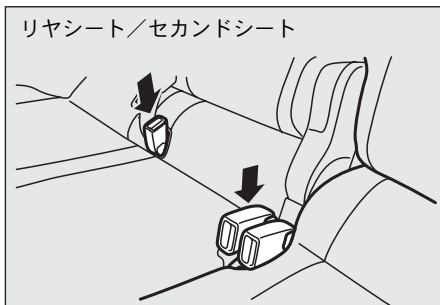
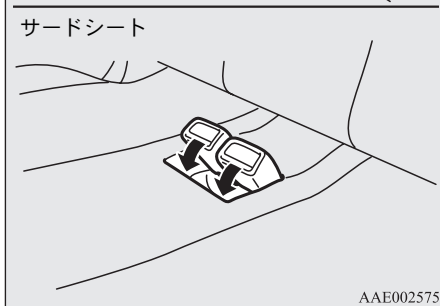
◆ プレート

格納場所

AAE001031

格納方法

リヤシート／セカンドシートの中央を除く3点式シートベルトは, ホルダーの前側と後ろ側の切り込みに格納することができます。
後ろ側の切り込みにベルト部を通した後，前側の切り込みにプレートを差し込みます。

AAA002359

◆ バックル

シートクッションの穴に差し込んで格納することができます。

AAE002575

プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト

J00505700638

プリテンショナー付シートベルトは，運転席および助手席に装備されています。

プリテンショナー機構

プリテンショナー機構は，エンジンスイッチが ON のときに運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方より受けたときに，シートベルトを瞬時に引き込み，シートベルトの効果をいっそう高める装置です。

5

⚠警告

- プリテンショナー付シートベルトの効果を十分に発揮させるため，つぎのことをお守りください。
  - シートを正しい位置に調整してください。
    →「フロントシート」P. 5-5
  - シートベルトを正しく着用してください。
    →「シートベルト」P. 5-25
- プリテンショナー付シートベルトやフロアコンソール付近の修理，カーオーディオなどの取り付けをする場合はプリテンショナー機構に影響をおよぼすおそれがありますので，三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠注意

- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。プリテンショナー付シートベルトが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。

アドバイス

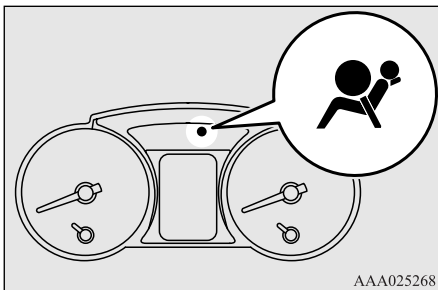
- プリテンショナー付シートベルトはシートベルトを装着していなくても，前方からの強い衝撃を受けると作動します。
- プリテンショナー付シートベルトは一度作動すると再使用できません。
  三菱自動車販売会社で運転席，助手席側を同時に交換してください。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

J00510000062

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグおよびプリテンショナー機構が作動すると，点灯したままとなります。
SRS エアバッグ警告灯はプリテンショナー機構警告灯と兼用しています。

AAA025268

⚠警告

- 警告灯がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。
  衝突したときなどにSRSエアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - エンジンスイッチを ON にしても警告灯が点灯しない，または点灯したまま
  - 走行中に警告灯が点灯する

フォースリミッター機構

J00510100018

衝突時に，シートベルトにかかる荷重を効果的に吸収し，乗員への衝撃をやわらげる装置です。

チャイルドシート

J00506001143

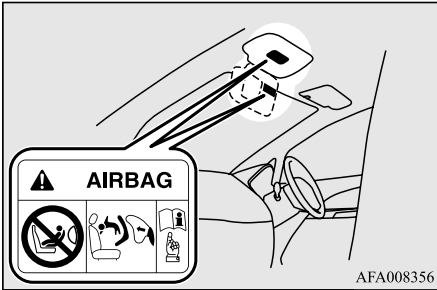
⚠警告

- シートベルトは大人の体格に合わせて設計されています。シートベルトを着けたとき肩部ベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまは通常のシートベルトでは衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
- 6 才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- チャイルドシートは後席に取り付けてください。

⚠注意

- チャイルドシートをリヤシート／セカンドシートに取り付ける場合は，チャイルドシートとフロントシートが干渉しないように，フロントシートの位置を調整してください。
- 後方へシートを移動したり背もたれを倒すときは，チャイルドシートに座ったお子さまに十分注意してください。お子さまがシートとチャイルドシートの間にはさまれるおそれがあります。

5

助手席へのチャイルドシート取り付け時の注意

J00515000025

⚠警告

- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
  また，前後向きとも装着可能なチャイルドシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
  助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられてお子さまが死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。

- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合は，必ず前向きのチャイルドシートを，助手席を一番後ろの位置にして取り付けてください。

ISO FIX 対応*チャイルドシート

J00506100642

チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーが装備された座席専用のチャイルドシートです。専用バーおよびアンカーを使用してチャイルドシートを固定します。車両のシートベルトでチャイルドシートを固定する必要はありません。
* この車は2006年10月1日施行の保安基準（国連の安全基準に準拠）に適合したISO FIX対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーを標準装備しています。

◆ 選択の目安

下の表から，着席位置に応じてチャイルドシートを選択してください。

シート位置別チャイルドシートの適合性一覧表
(ISO FIX対応チャイルドシート固定専用バーおよび テザーアンカーでの取り付け)

質量グループ（お子さまの体重）		サイズ等級*	車両ISO FIX位置 リヤシート／セカンドシート	
			左席	右席
キャリコット		F	X	X
		G	X	X
0	10㎏まで	E	X	X
0+	13㎏まで	E	X	IL*1
		D	X	X
		C	X	X
I	9～18㎏	D	X	X
		C	X	X
		B	IUF	IUF
		B1	IUF, IL*2	IUF, IL*2
		A	IUF	IUF
II	15～25㎏		X	X
III	22～36㎏		X	X

*: 国連の安全基準 ECE-R16 で定められたチャイルドシートを模擬した器具のサイズを表しています。

⚠注意

● チャイルドシートを取り付けるときに，ヘッドレストとチャイルドシートが干渉する場合は，ヘッドレストを取りはずすか，高さを調整してください。

記号の説明

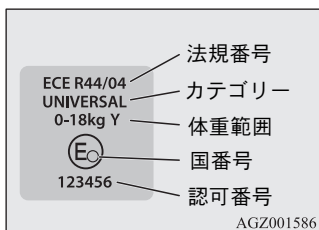
- IUF: 国連の安全基準ECE-R44に適合している汎用型（ユニバーサル）ISO FIX対応の前向きチャイルドシートのみが取り付け可能です。
- IL: 以下のリストに示す三菱自動車純正チャイルドシートの取り付けが可能です。
- X: チャイルドシートを取り付けることはできません。

三菱自動車純正チャイルドシート

ご購入，ご使用に関しては三菱自動車販売会社へご相談ください。

記号	純正部品番号	ECE NO.
IL*1	MZ525277（チャイルドシート本体） MZ525276（ベースシート）	E1-04301146
IL*2	MZ525280	E1-04301133

アドバイス

- ECE-R44に適合したチャイルドシートには，つぎの認可マークが表示されています。

除く，ISO FIX対応チャイルドシート

J00506200832

車両のシートベルトを使用して固定するチャイルドシートです。

◆ 選択の目安

下の表から，着席位置に応じてチャイルドシートを選択してください。

シート位置別チャイルドシートの適合性一覧表
(シートベルト使用による取り付け)

ショート（3ドア車）

質量グループ（お子さまの体重）		助手席	リヤシート	
			左右席	中央席
0	10kgまで	X	X	X
0+	13kgまで	X	L*1	L*1
I	9～18kg	L*2	L*2	L*2
II & III	15～36kg	L*3	L*3	L*3

前向きチャイルドシートを助手席に取り付ける場合は可能な限り助手席を後方へ移動してください。

⚠注意

- チャイルドシートを取り付けるときに，ヘッドレストとチャイルドシートが干渉する場合は，ヘッドレストを取りはずすか，高さを調整してください。

ロング（5ドア車）

質量グループ（お子さまの体重）		助手席	セカンドシート		サードシート
			左右席	中央席	左右席
0	10kgまで	X	U	X	X
0+	13kgまで	X	U, L*1	L*1	L*1
I	9～18kg	L*2	U, L*2	L*2	L*2
II & III	15～36kg	L*3	U, L*3	L*3	L*3

前向きチャイルドシートを助手席に取り付ける場合は可能な限り助手席を後方へ移動してください。

5

⚠注意

- チャイルドシートを取り付けるときに，ヘッドレストとチャイルドシートが干渉する場合は，ヘッドレストを取りはずすか，高さを調整してください。
- セカンドシートの左右席に汎用型（ユニバーサル）カテゴリーのチャイルドシートを取り付けるときは，背もたれをもっとも起こした位置にしてください。
- サードシートに三菱自動車純正チャイルドシート（MZ525277）を取り付けるときは，ヘッドレストを取りはずし，背もたれを後ろへいっぱいに倒してください。

記号の説明

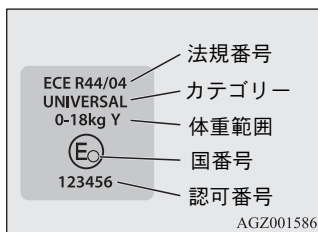
- U: 国連の安全基準ECE-R44に適合している汎用型（ユニバーサル）カテゴリーのチャイルドシートのみが取り付け可能です。
- L: 以下のリストに示す三菱自動車純正チャイルドシートの取り付けが可能です。
- X: チャイルドシートを取り付けることはできません。

三菱自動車純正チャイルドシート

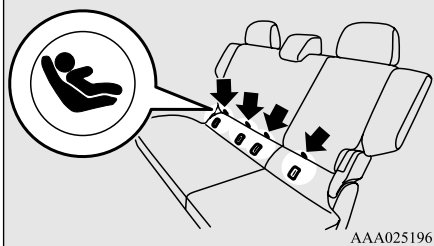
ご購入，ご使用に関しては三菱自動車販売会社へご相談ください。

記号	純正部品番号	ECE NO.
L*1	MZ525277	E1-04301146
L*2	MZ525280	E1-04301133
L*3	MZ525270	E1-04301169

アドバイス

● ECE-R44 に適合したチャイルドシートには，つぎの認可マークが表示されています。

ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーでの取り付け方

J00506300875

固定専用バーはリヤシート／セカンドシートクッションのスリットの奥に，テザーアンカーはリヤシート／セカンドシート後方の床面に，それぞれ装備されています。

⚠警告

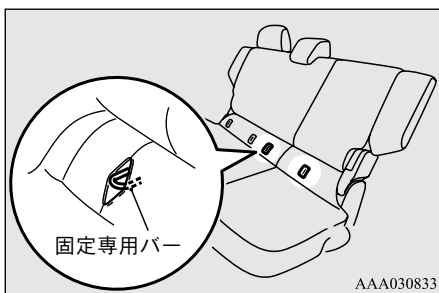
- 固定専用バーおよびテザーアンカーはチャイルドシートを固定するために装備されています。その他の装備品の固定には使用しないでください。

◆ 取り付けるときは

チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り付けます。

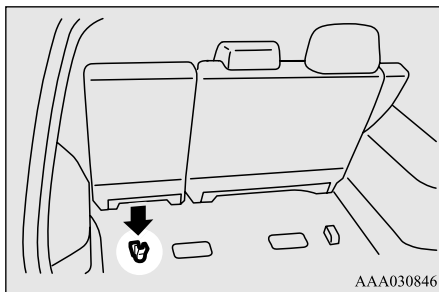
⚠警告

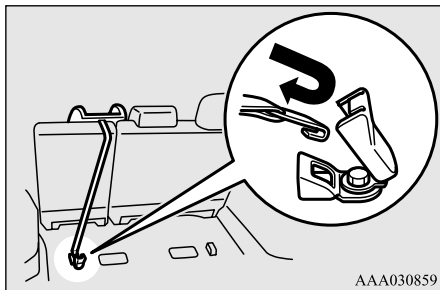
- チャイルドシートを取り付けるときは，スリット周辺およびテザーアンカー周辺に異物がないこと，シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物があるとチャイルドシートが固定されず，衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- リヤシート（ロング車はセカンドシート）の背もたれを倒した状態でチャイルドシートを取り付けないでください。
  また，チャイルドシートが取り付けられているときは，シートの調整はしないでください。

1. シートベルトのバックルを格納します。
   →「リヤシート／セカンドシートベルト，サードシートベルトの格納のしかた」P. 5-29
2. シートクッションのスリットを手で少し広げて，固定専用バーの位置を確認します。

3. チャイルドシートを固定専用バーに取り付けます。

> ⚠警告
>
> ● チャイルドシートを取り付けるときに，ヘッドレストとチャイルドシートが干渉する場合は，ヘッドレストを取り外すか，高さを調整してください。
> →「ヘッドレスト」P. 5-14

4. シートの背もたれおよびシートクッションと，チャイルドシートとの間にすきまができないように，シートの背もたれの角度を調整します。
→「背もたれの角度調整」P. 5-11
トップテザー付きチャイルドシートの場合は，手順5から8を行ってください。
トップテザーが無いチャイルドシートの場合は，手順8を行ってください。
5. チャイルドシートを取り付けた座席のヘッドレストを取り外します。
6. シート後方の床面にあるカバーを開けてテザーアンカーの位置を確認します。

AAA030846

7. テザーベルトのフックをテザーアンカーに掛け，テザーベルトを締めて確実に固定します。

AAA030859

8. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されたことを確認します。

> ⚠警告
>
> ● テザーベルトは，ラゲッジフックなどテザーアンカー以外の場所に取り付けないでください。チャイルドシートが固定できず，衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
>
>
>
> AAZ001357

◆ 取り外すときは

チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り外します。

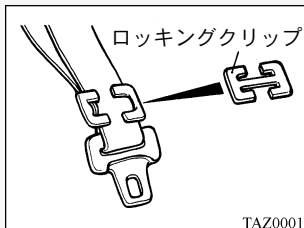
シートベルトでの取り付け方

J00506500981

チャイルドシートを取り付けるときは，つぎの手順で確実に取り付けてください。

◆ 取り付けるときは

⚠警告

● チャイルドシートの種類によって取り付け方法が異なります。必ずチャイルドシートの取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。
チャイルドシートによってはチャイルドシートに付属のロッキングクリップでの固定が必要です。

1. チャイルドシートを取り付けたい席に置きます。
2. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートをシートベルトで固定します。

⚠注意

● チャイルドシートを取り付けるときに，ヘッドレストとチャイルドシートが干渉する場合は，ヘッドレストを取り外すか，高さを調整してください。
→「ヘッドレスト」P. 5-14

3. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されていることを確認します。

◆ 取り外すときは

プレートをバックルから外して，シートベルトをチャイルドシートから取り外します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。

SRSエアバッグ

J00506600634

SRSとはSupplemental Restraint Systemの略語で補助拘束装置の意味です。

運転席，助手席SRSエアバッグ

エンジンスイッチがONのときに，運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに，シートベルトの働きを補って，運転者または助手席同乗者の頭部や胸部への衝撃をやわらげる装置です。
運転席，助手席SRSエアバッグはデュアルステージエアバッグシステムを採用しており，衝撃センサー（車両前方および車両中央床部）で制御しています。

SRSサイドエアバッグ

タイプ別装備

エンジンスイッチがONのときに，運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側面から受けたときに膨らみ，運転者または助手席同乗者の胸などの上体への衝撃をやわらげる装置です。

SRSカーテンエアバッグ

タイプ別装備

エンジンスイッチがONのときに，運転者および同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側面から受けたときに膨らみ，運転者および同乗者の主に頭部への衝撃をやわらげる装置です。

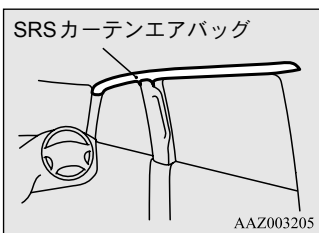
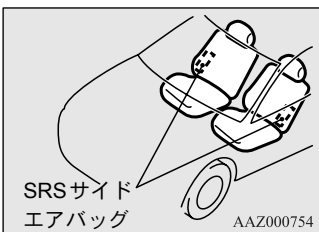
⚠警告

- SRSエアバッグはシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。
  シートベルトをしていないと急ブレーキなどで身体が前方へ放り出されることがあり，その際にSRSエアバッグが膨らむとその強い衝撃で命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトはつぎの理由により必ず着用してください。
  - SRSエアバッグが膨らんだとき，シートベルトがあなたの身体を正しい位置に保ちます。
  - SRSエアバッグが作動しないときでも，シートベルトによりけがを軽減することができます。
- シートは正しい位置に調整し，背もたれに背中をつけた正しい姿勢でシートに座ってください。
  SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRSエアバッグに近づきすぎた姿勢で乗車しているとSRSエアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRSエアバッグ構成部品およびその周辺は膨らんだ後，高温になりますのでさわらないでください。やけどをするおそれがあります。

5

5

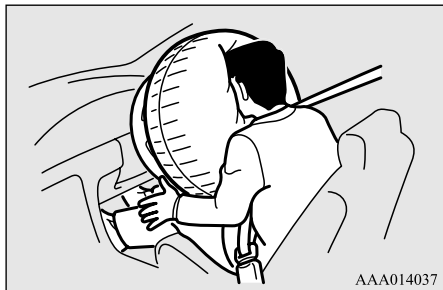
⚠注意

● SRSエアバッグが収納されている部分に傷がついていたり，ひび割れがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。

● SRSサイドエアバッグ付き車は，エアバッグが収納されているシート部分に生地のやぶれ，縫いほつれなどがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
衝突したときなどに SRS サイドエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。

アドバイス

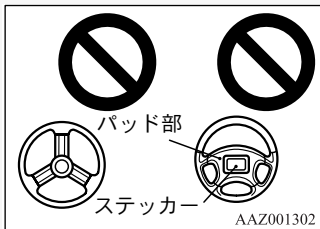
● SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRSエアバッグとの接触によりすり傷や打撲などを受けることがあります。
● SRSエアバッグが膨らむときかなり大きな音がし，白煙が出ますが火災ではありません。また人体への影響もありません。ただし，呼吸器系の疾患がある人や皮膚が弱い人の場合，一時的にのどや皮膚に刺激を感じることがあります。また，残留物（カスなど）が目や皮膚など身体に付着したときは，できるだけ早く水で洗い流してください。
皮膚が弱い人の場合，まれに皮膚を刺激することがあります。
● 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼむので運転席，助手席SRSエアバッグおよびSRSサイドエアバッグは視界を妨げません。
● SRSエアバッグは一度膨らむと再使用できません。三菱自動車販売会社でSRSエアバッグ構成部品を交換してください。
● 衝撃や助手席SRSエアバックが膨らむことにより，前面ガラスが破損する場合があります。

運転席SRSエアバッグ

J00506700433

運転席SRSエアバッグはハンドルの中に装備されています。
衝撃の大きさにより SRS エアバッグの膨らみ具合は2段階に調整されます。

AAA014037

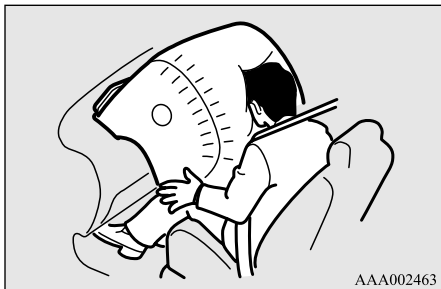
⚠警告

● ハンドルの交換や，パッド部にステッカーを貼ったり，カバーを付けることはしないでください。SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAZ001302

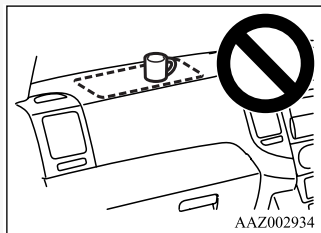
● ハンドルに顔や胸を近づけた姿勢で運転しないでください。
SRS エアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席SRSエアバッグ

J00506801154

助手席SRSエアバッグはグローブボックス上のインストルメントパネルの中に装備されています。
助手席SRSエアバッグは同乗者がいなくても運転席SRSエアバッグと同時に作動し, 膨らみ具合は衝撃の大きさにより2段階に調整されます。

AAA002463

⚠警告

● インストルメントパネルの上に物を置いたり，前面ガラスやルームミラーにアクセサリーなどを取り付けたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。
また，インストルメントパネルの上にステッカーを貼ったりしないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。

AAZ002934

⚠警告

● お子さまを乗せるときには，必ずつぎのことをお守りください。SRS エアバッグが膨らむときの強い衝撃でお子さまが死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまは後席に座らせて必ずシートベルトを着用させてください。
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまには，チャイルドシートをリヤシート（ロング車はセカンドシート）に装着してご使用ください。
- 6才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
  また，前後向きとも装着可能なチャイルドシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
  助手席SRSエアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて，お子さまが死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。

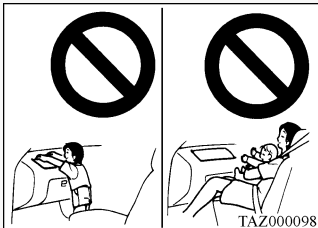
- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートを取り付けることを禁止するラベルが，サンバイザーに貼り付けてあります。

- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合は，必ず前向きのチャイルドシートを，助手席を一番後ろの位置にして取り付けてください。

⚠警告

- 助手席同乗者はシートの前端に座ったり，インストルメントパネルに手や足を乗せたり，顔や胸を近づけた姿勢で座らないでください。また，お子さまをインストルメントパネルの前に立たせたり，ひざの上に抱いたりしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際，SRS エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

TAZ000085

TAZ000098

- 助手席同乗者は，かばんなどの荷物をひざの上にかかえるなど，SRS エアバッグとの間に物を置いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際に物が飛ばされ重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRSサイドエアバッグ

タイプ別装備

J00507000299

SRS サイドエアバッグは運転席，助手席各シートの背もたれの中に装備されており，衝撃を受けた側のみ作動します。
また，衝撃を受けた側に同乗者がいなくても作動します。

AAA012873

5

⚠警告

● フロントシート背もたれのSRSサイドエアバッグ収納部に手，足，顔を近づけたり，ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。
また，お子さまなどに後席からフロントシートの背もたれを抱えたような姿勢はさせないでください。
SRSサイドエアバッグが膨らむ際，エアバッグにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

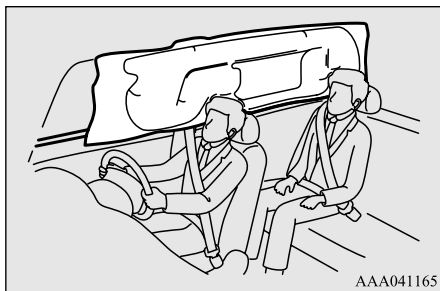
● 三菱自動車純正のSRSサイドエアバッグ専用シートカバー以外は使用しないでください。
取り付けるときはシートカバーに添付の取扱説明書にしたがい確実に取り付けてください。
また，シートのSRSサイドエアバッグが収納されている付近にカップホルダーなどのカー用品を取り付けたり，ステッカーなどを貼らないでください。
SRSサイドエアバッグが膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRSカーテンエアバッグ

タイプ別装備

J00507500278

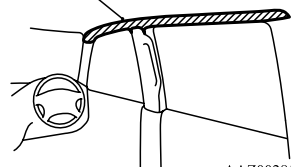
SRS カーテンエアバッグはフロントピラー，リヤピラーおよびルーフサイド部の中に装備されており，衝撃を受けた側のみ作動します。また，衝撃を受けた側に同乗者がいなくても作動します。

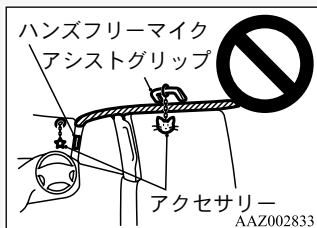
AAA041165

⚠警告

● フロントピラー，リヤピラーおよびルーフサイド部の SRS カーテンエアバッグ収納部に近づいたり，ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。
SRS カーテンエアバッグが膨らむ際，エアバッグにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
特にお子さまには注意してください。

AAZ002817

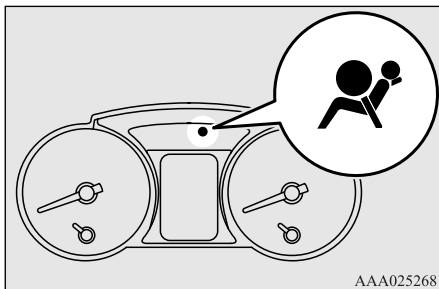
AAZ000060

AAZ000305

⚠警告

- 前面ガラス，側面ガラス，フロントピラー，リヤピラー，ルーフサイド部およびアシストグリップなどのSRSカーテンエアバッグ展開部周辺にステッカーなどを貼りつけたり，アクセサリーやハンズフリーマイクなどを取り付けたりしないでください。
  SRSエアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

J00507300205

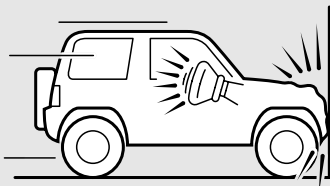
正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグおよびプリテンショナー機構が作動すると，点灯したままとなります。
SRS エアバッグ警告灯はプリテンショナー機構警告灯と兼用しています。

⚠警告

- 警告灯がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。
  衝突したときなどにSRSエアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - エンジンスイッチを ON にしても警告灯が点灯しない，または点灯したまま
  - 走行中に警告灯が点灯する

運転席，助手席SRSエアバッグの作動条件

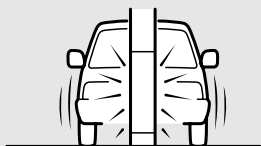
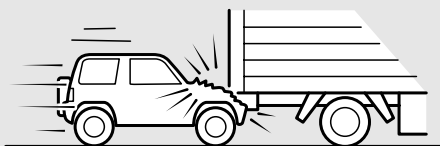
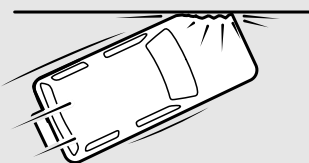
J00506900321

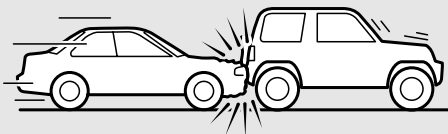
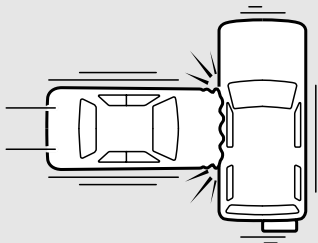
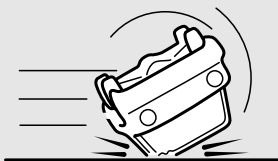
◆ 作動するとき

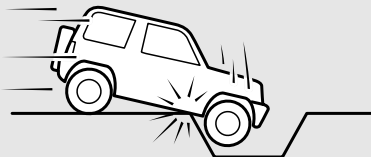
乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに作動します。

アドバイス

- コンクリートのような固い壁でなく，衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形，移動するもの）に衝突した場合は，エアバッグが作動するときの衝突速度（車速）は高くなります。

◆ 作動しないことがあるとき

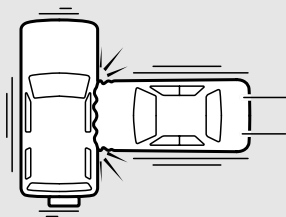
衝突により車両前部が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによってSRSエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

◆ 作動しないとき

SRSエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動したSRSエアバッグは，2回目以降の衝突では再作動しません。

◆ 作動することがあるとき

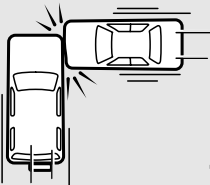
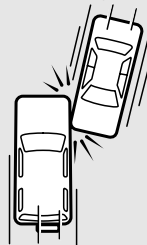
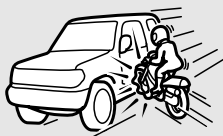
走行中，車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。

SRSサイドエアバッグ，SRSカーテンエアバッグの作動条件

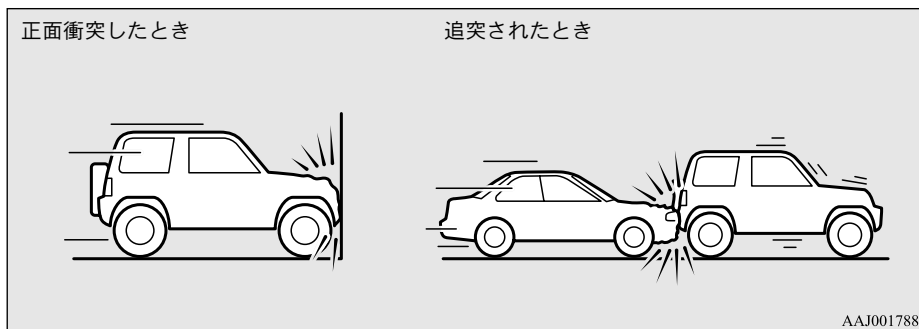
J00507100173

◆ 作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側方から受けたときに作動します。

5

◆ 作動しないことがあるとき

衝突により車両側面が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによってSRSエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。また，衝撃を受けた部分によっては，SRS サイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグが同時に作動しないことがあります。

◆ 作動しないとき

SRSエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動したSRSエアバッグは，2回目以降の衝突では再作動しません。

取り扱い上の注意

J00507400541

⚠警告

● つぎの修理または部品の取り付けをするときは，SRS エアバッグに影響をおよぼしたり，SRS エアバッグが思いがけなく作動しけがをするおそれがありますので，三菱自動車販売会社へご相談ください。
- 運転席，助手席SRSエアバッグ：
  ハンドル周り，インストルメントパネル，フロアコンソール付近の修理，カーオーディオなどの取り付け，および車両前部の修理
- SRSサイドエアバッグ（タイプ別装備）：
  前席シート，センターピラーおよびその付近の修理
  前席シートの表皮の張り替え
- SRSカーテンエアバッグ（タイプ別装備）：
  フロントピラー, センターピラー, リヤピラー, ルーフサイド部, およびその付近の修理

● サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり，サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。

● 車両前部に三菱自動車純正品以外のグリルガードやウインチなどを取り付けないでください。
SRSエアバッグの作動に影響をおよぼすおそれがあります。

● つぎのSRSエアバッグ展開部付近を強くたたくなど，過度の力を加えないでください。SRSエアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ステアリングパッド
- インストルメントパネル上部
- フロントシート側面
- フロントピラー
- センターピラー
- リヤピラー
- ルーフサイド部

⚠注意

● 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。SRS エアバッグが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。

● 電気テスターを使って，エアバッグの回路診断はしないでください。SRS エアバッグの誤作動につながるおそれがあります。

● 無線機の電波などは，SRS エアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので，無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

アドバイス

● お車をゆずられるときは SRS エアバッグ装着車であることを説明し，取扱説明書を車につけておいてください。

メーター・スイッチ

メーター

スイッチ

6

メーター

J00600100739

1- スピードメーター →P. 6-3
2- タコメーター →P. 6-3
3- リセットボタン／メーター照度調整ダイヤル→P. 6-3, 6-10
4- 燃料計→P. 6-8
5- オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）／
サービスリマインダー →P. 6-3
6- 水温計→P. 6-9

スピードメーター

J00600200020

走行速度を示します。

タコメーター

J00600300021

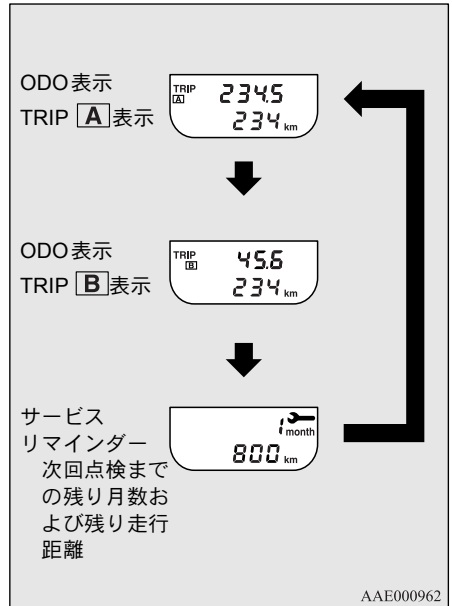
毎分のエンジン回転数を示します。

アドバイス

- 指針がレッドゾーン（赤色表示部）に入らないようにしてください。エンジンの寿命が短くなり，破損するおそれがあります。

オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）／サービスリマインダー

J00600600170

エンジンスイッチがONのとき，ODO（オドメーター）表示，TRIP（トリップメーター）表示，またはサービスリマインダーを表示します。
リセットボタンを軽く（約1秒未満）押すたびに表示が切り換わります。

アドバイス

- 新車6ヶ月点検を過ぎると，次回点検までの残り走行距離は表示しません。
- サービスリマインダー表示のとき約10秒間何も操作しないと ODO 表示画面に戻ります。

◆ オドメーター

走行した総距離をkm単位で表示します。

◆ トリップメーター

2地点間の走行距離をkm単位で表示します。

TRIP A とTRIP B があります。

＜例＞
TRIP A で自宅を出発してからの距離を測りながら, TRIP B で途中の経由地からの距離を測ることができます。

リセットするときは

0に戻すにはリセットボタンを約2秒以上押し続けます。この場合，表示されている方だけリセットされます。

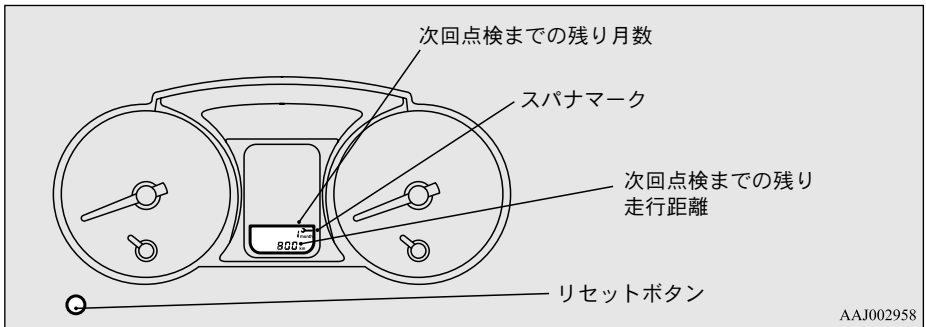
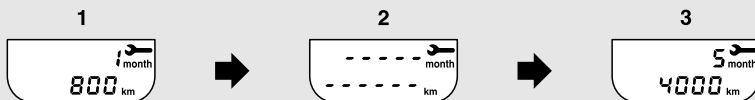
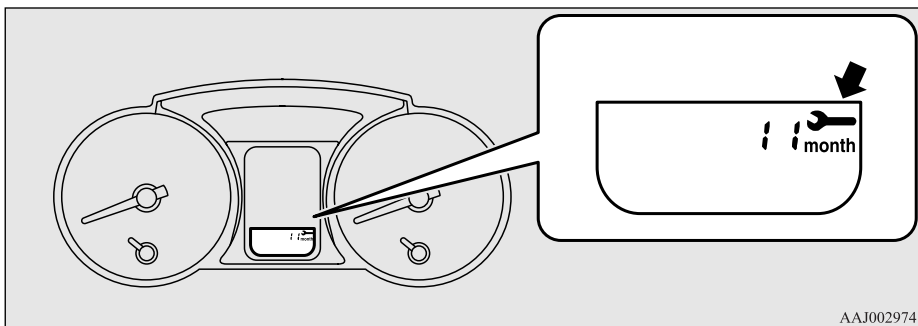
6

＜例＞
TRIP A が表示されていれば TRIP A だけリセットされます。

アドバイス

- トリップメーターはA, B共9999.9kmまで計測することができます。
- エンジンスイッチを切った後でもつぎのいずれかの操作をした場合，約30秒間オドメーター，トリップメーターまたはサービスリマインダーを表示します。
  - 運転席のドアを開けたとき
  - リセットボタンを押したとき
- バッテリー端子を外すと，トリップメーターの A 表示, B 表示とも記憶が消去され，表示が0に戻ります。

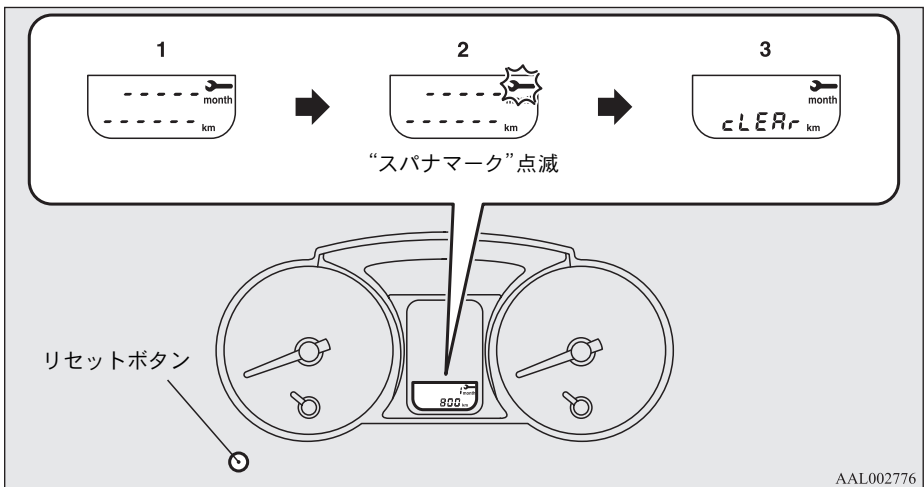
◆ サービスリマインダー

J00611400110

新車1ヶ月点検(1,000km), 新車6ヶ月点検(5,000km)とその後の12ヶ月ごとの定期点検までの残り月数および残り走行距離を表示します。点検時期が近づいたときは,“-----”を表示して知らせます。
また, このときエンジンスイッチをOFFからONにするとスパナマークが数秒間表示されます。

1. 次回点検までの残り月数および残り走行距離を表示します。
2. 点検時期が近づいたことを“-----”を表示して知らせます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
   こ のときエンジンスイッチを OFF から ON にするとスパナマークが数秒間表示されます。

3. 三菱自動車販売会社で点検を受けると，次回点検までの残り月数および残り走行距離を表示します。

アドバイス
● 距離は100km 単位，期間は1ヶ月単位で減少します。 ● 新車6ヶ月点検を過ぎると，期間のみを表示します。 ● サービスリマインダーの設定を変更することができます。 詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

リセットするときは

エンジンスイッチがOFF のときに，スパナマーク，“-----”表示をリセットすることができます。
リセットすると次回点検までの残り月数および残り走行距離を表示し，エンジンスイッチをOFF からON にしたときに表示されていたスパナマークは表示されなくなります。

1. リセットボタンを押して，次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示させます。
2. リセットボタンを長く（約2 秒以上）押して“スパナマーク”を点滅表示させます。（点滅中，約10 秒間何も操作しないともとの表示画面に戻ります。）
3. 点滅中にリセットボタンを軽く押すと “-----”が“cLEAr ”表示にかわります。その後，次回点検までの残り月数および残り走行距離を表示します。

⚠注意

- 日常点検整備と定期点検整備は, お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。
  事故や故障を未然に防ぐために必ず実施してください。

アドバイス

- “-----”表示はエンジンスイッチがON のときはリセットできません。
- “-----”表示後，一定距離及び一定期間が経過すると自動的にリセットされてつぎの定期点検までの時期を表示します。
- 誤ってリセットした場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

燃料計

J00600700403

エンジンスイッチがONのとき，燃料の残量を示します。

F- 満タンです。
（3ドア車：約69L，5ドア車：約88L）
E- 燃料を補給してください。

⚠警告

- **燃料を入れるときは必ずエンジンを止めてください。たばこ，ライターなど火気は使用しないでください。**

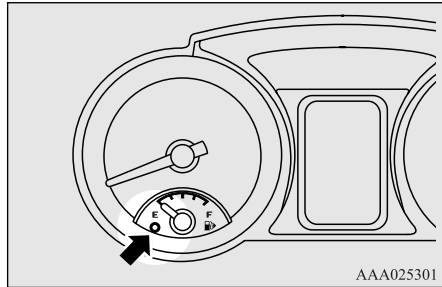
⚠注意

- 燃料切れを起こすと触媒装置に悪影響を与えるおそれがあります。警告灯が点灯したら早めに燃料を補給してください。

アドバイス

- 坂道やカーブなどは，タンク内の燃料が移動するため，指針が振れることがあります。
- 燃料補給後，指針が安定するまで少し時間がかかります。
- エンジンスイッチが ON のまま燃料を補給すると，正しい燃料残量が表示できません。
- ディーゼル車は燃料切れにより，エンジンが止まったときは，燃料を補給するだけではエンジンがかからないことがあります。
このようなときは，燃料系統にエアが混入したもので，エア抜きが必要となります。
（エア抜きの方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。）

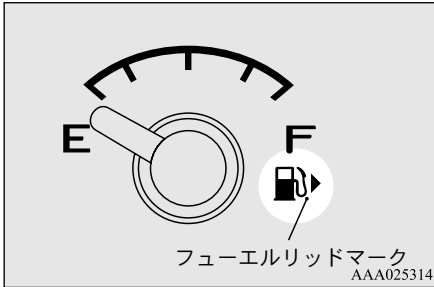
◆ 燃料残量警告灯

J00605800409

エンジンスイッチがONのとき，燃料が約10L以下になると点灯します。
警告灯が点灯したら早めに燃料を補給してください。
→「フューエルリッド（燃料補給口）」P. 4-29
→「メンテナンスデータ:燃料の量と種類」P. 14-2

アドバイス

- 坂道やカーブなどではタンク内の燃料が移動するため，正しく表示しないことがあります。

◆ フューエルリッド位置表示

J00605900237

フューエルリッド（燃料補給口）が車体の右側に付いていることを示しています。

→「フューエルリッド（燃料補給口）」
P. 4-29

水温計

J00600800084

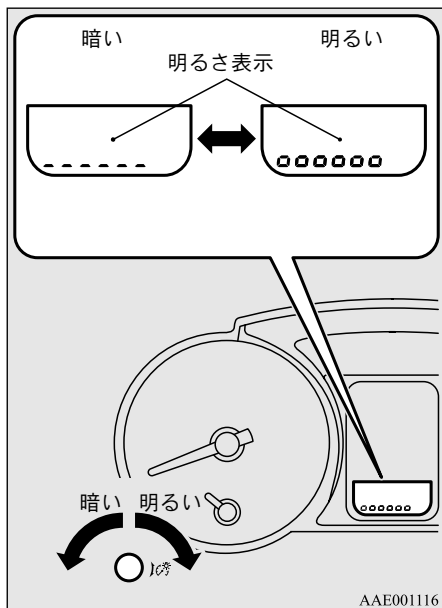
エンジンスイッチがONのとき, エンジン冷却水の温度を示します。

⚠注意

- 指針が「H」表示部に近づいたときはオーバーヒートのおそれがあります。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となりますので，ただちに安全な場所に車を止め，処置してください。
→「オーバーヒートしたときは!」
P. 13-25

メーター照度調整ダイヤル

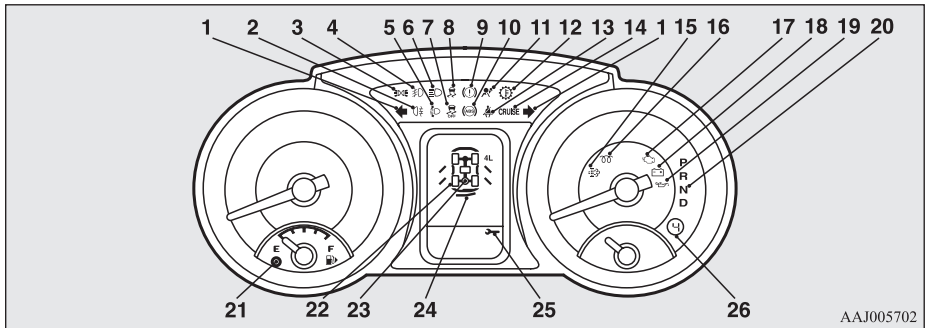
J00606600172

メーターの明るさを調整できます。
ダイヤルを右へ回すとメーター内の照明が明るくなり，左へ回すと暗くなります。

アドバイス

- メーター照度表示のとき約10秒間何も操作しないとODO表示画面に戻ります。
- ライトスイッチの位置により，つぎのとおりメーター照明が調整された明るさに切り換わります。
  <除くオートライト付き車>
  - ライトスイッチを　または　の位置にするとメーター照明が減光されます。

  <オートライト付き車>
  - ライトスイッチが AUTO,　または　の位置にあるときは，車外の明るさに応じてメーター照明が自動的に調整された明るさに切り換わります。
- エンジンスイッチを切っても，メーターの明るさの状態を記憶しています。

表示灯・警告灯

J00601501333

1- 方向指示表示灯／非常点滅表示灯 →P. 6-12
2- リヤフォグランプ表示灯 →P. 6-12
3- 車幅灯表示灯 →P. 6-12
4- フロントフォグランプ表示灯 タイプ別装備 →P. 6-12
5- ヘッドライトオートレベリング警告灯 タイプ別装備 →P. 6-64
6- ヘッドライト上向き表示灯 →P. 6-12
7- アクティブスタビリティコントロール機能OFF表示灯 →P. 7-47
8- アクティブスタビリティコントロール機能表示灯 →P. 7-47
アクティブトラクションコントロール機能表示灯 →P. 7-48
9- ブレーキ警告灯 →P. 6-13
10- ABS警告灯 →P. 7-42
11- SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯 →P. 5-30, 5-48
12- A/T油温警告灯 →P. 6-15
13- シートベルト警告灯 →P. 5-28
14- クルーズコントロール表示灯 タイプ別装備 →P. 7-50
15- DPF表示灯（ディーゼル車）→P. 7-14
16- グロー（予熱）スタート表示灯（ディーゼル車）→P. 6-12
17- エンジン警告灯 →P. 6-14
18- 充電警告灯 →P. 6-14
19- 油圧警告灯 →P. 6-14
20- セレクターレバー位置表示灯
（“N”表示灯はA/T警告灯と兼用）→P. 7-17
21- 燃料残量警告灯 →P. 6-8
22- 2WD/4WD作動表示灯 →P. 7-26
23- リヤデフロック作動表示灯 タイプ別装備 →P. 7-32
24- 半ドア警告灯 →P. 6-15
25- サービスリマインダー →P. 6-5
26- スポーツモード表示灯 →P. 7-20

6

表示灯

J00601600021

方向指示表示灯／非常点滅表示灯

J00601700208

方向指示レバー，非常点滅灯を作動させると点滅します。

アドバイス

- 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト上向き表示灯

J00601800023

ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

フロントフォグランプ表示灯

タイプ別装備

J00601900024

フロントフォグランプを点灯させると表示灯が点灯します。

リヤフォグランプ表示灯

J00602000035

リヤフォグランプを点灯させると表示灯が点灯します。

車幅灯表示灯

J00602100010

車幅灯を点灯させると表示灯が点灯します。

グロー（予熱）スタート表示灯

J00602400039

ディーゼル車

- グロープラグの予熱状態を表示します。エンジンスイッチを ON にすると点灯し，グロープラグの予熱が完了すると消灯します。
  消灯したら，エンジンをかけてください。
- DPF表示灯点灯時にDPFが自動的にすすの燃焼・除去を開始したら，点灯します。
  →「DPF表示灯」P. 7-14

アドバイス

- エンジン冷却水の温度によって消灯するまでの時間が異なります。
- エンジンが暖かいときは，エンジンスイッチを ON にしても表示灯は点灯しません。
  そのままエンジンスイッチをSTARTにしてエンジンをかけてください。

警告灯

J00602500027

ブレーキ警告灯（ブレーキ警告ブザー）

J00602600855

エンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。走行する前に，必ず警告灯が消えていることを確認してください。
エンジンをかけても，つぎのようなときは点灯します。

- 駐車ブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- ブレーキ力配分機能またはブレーキ系統の異常

◆ ブレーキ警告ブザー

ブレーキの効きが悪くなるおそれがあるとき，ブザーが鳴り運転者に知らせます。ブザーが止まらない場合は，車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へご連絡ください。

アドバイス

- ブレーキペダルを何度も繰り返して踏み込むと，ブレーキ警告灯とABS警告灯が点灯し，ブレーキ警告ブザーが鳴ります。しばらくして消灯しブザーが止まれば異常ではありません。

⚠注意

- つぎの場合はブレーキの効きが悪くなったり，急ブレーキをかけたとき車体姿勢が不安定になるおそれがありますので，急ブレーキや高速走行を避けただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へご連絡ください。
  - 駐車ブレーキをかけても点灯しないときや戻しても消灯しないとき
  - 走行中ブレーキ警告灯が点灯したまま消灯しないとき
  - ブレーキ警告灯と ABS 警告灯が同時に点灯したとき
    →「ABS 警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したときは」P. 7-43
  - ブレーキ警告ブザーが鳴り止まないとき
- ブレーキの効きが悪い場合はつぎの処置により車を止めてください。
  - ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
    ブレーキペダルが奥まで踏み込まれた状態になることがありますが，そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
  - 万一，ブレーキが効かないときは，エンジンブレーキでスピードを落としてから駐車ブレーキを慎重にかけてください。
    このとき後続車に注意を促すため，ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。

アドバイス

- エンジン始動直後やブレーキペダルを何度も繰り返して踏み込んだときエンジンルームからブレーキ装置の作動音が聞こえたり，ブレーキペダルに振動を感じることがあります。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。

エンジン警告灯

J00602700827

エンジン制御システムまたはオートマチックトランスミッション制御システムに異常があると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

注意

- エンジン回転中に点灯したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。走行中はアクセルペダルを踏んでもスピードが出なくなることがあります。停車時はアイドリング回転数が高くなり，オートマチック車はクリープ現象が強くなることがあるため，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

充電警告灯

J00602800189

充電系統に異常があると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

注意

- エンジン回転中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

油圧警告灯

J00602900207

エンジン回転中，エンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

注意

- エンジンオイルが不足したまま運転したり，エンジンオイルの量が正規であっても点灯したままで運転するとエンジンが焼き付き，破損するおそれがあります。
- エンジン回転中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車しエンジンを止め，エンジンオイル量を点検してください。
（点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。）
- エンジンオイル量が正常で点灯するときは，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

アドバイス

- 油圧警告灯はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ずオイルレベルゲージで行ってください。

6

A/T油温警告灯

J00606700098

A/T：オートマチックトランス
ミッション

オートマチックトランスミッションオイルの温度が高くなると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。

アドバイス

- 走行中に点灯したときは，車を安全な場所に止め，セレクターレバーをⓅに入れてエンジンをかけたままエンジンフードを開けて冷やします。消灯したらもとのように走行できます。
  消灯しないときや，たびたび点灯するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

半ドア警告灯

J00603200252

いずれかのドアまたはバックドアが完全に閉められていないとき，閉まっていないドアまたはバックドアの警告灯が点灯します。
半ドアのまま車速が約8km/h以上になると，警告灯が8回点滅すると同時にブザーが「ピー，ピー」と8回鳴り，半ドアを知らせます。

⚠注意

- 走行する前に，警告灯が消灯していることを確認してください。

アドバイス

- バッテリー上がりを防止するため，長く放置すると自動消灯します。
  →「インテリアランプオートカット機能（自動消灯）」P. 8-11
- ブザーの作動をつぎのように変更することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  • 鳴らなくする。
  • 連続で鳴らす。

センターインフォメーションディスプレイ

タイプ別装備

J00611700054

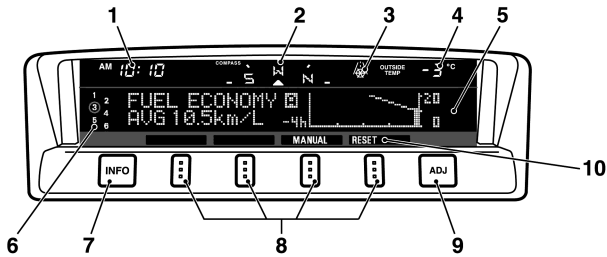
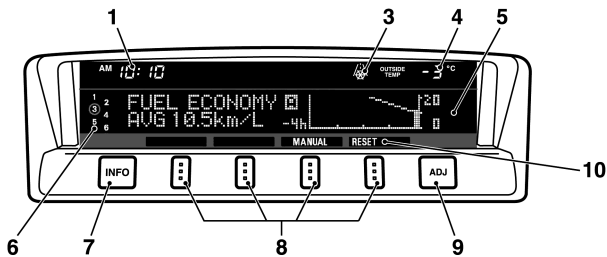
オーディオの作動状況や，車両の走行情報，車両周辺の環境情報などを画面上に表示します。

⚠注意

- 安全のため，運転者は走行中には操作しないでください。また，運転者が画面を見るときには必要最小限にとどめてください。画面に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 操作するときには，駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車して行ってください。

アドバイス

- 画面にメッセージが表示された場合は，メッセージの指示に従ってください。
- 画面を見る角度によってまれに赤みがかった横線が見えることがありますがVFD（蛍光表示管）特有の現象で故障ではありません。
- モニターの近くでトランシーバー等の無線機を使用すると，画面が一時的に暗くなることがありますが，故障ではありません。
- 本機は精密機械です。本機を分解したり，改造はしないでください。故障の原因となります。

各部の名称とはたらき

1- 時計
   時刻を表示します。
2- 方位計 タイプ別装備
   車両の向いている方位を8方向で表示します。
3- 路面凍結警告灯
   外気温が0°C以下になると表示します。
4- 外気温計
   車外の気温を表示します。
5- センターインフォメーションディスプレイ表示
   各画面の詳細を表示します。
6- ディスク番号表示
   ディスク番号を表示します。ディスクが入ってない場合は，ディスク番号を表示しません。
7- INFOボタン
   各情報画面の切り換えを行います。
8- ファンクションボタン
   ファンクションボタン表示に表示された内容を選択します。
9- ADJボタン
   時計の調整や設定画面の切り換えを行います。
10- ファンクションボタン表示
   各情報画面でのファンクションボタンの持つ機能を表示します。

時計

J00612100039

エンジンスイッチがONまたはACCのときに時刻を表示します。

◆ 時計の合わせ方

現在の時刻を調整することができます。
→「時計設定」P. 6-36

◆ 時制のあわせ方

現在の時刻を12時制から24時制に切り換えることができます。
→「ユーザーカスタム」P. 6-48

◆ 時計のみ表示

ディスプレイ表示を時計のみの表示にすることができます。
→「情報画面」P. 6-21

⚠注意

- 時刻の調整は駐車禁止区域以外の安全な場所に停車して行ってください。

方位計

タイプ別装備

J00612200030

エンジンスイッチがONのとき，車両の向いている方向を8方向で表示します。

<表示例>

北	北東	東	南東
南	南西	西	北西

アドバイス

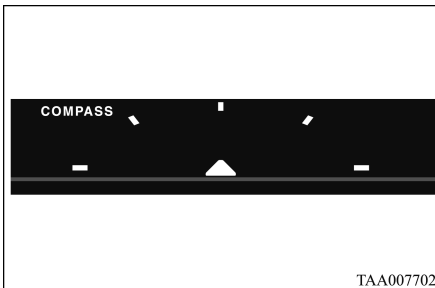
- このシステムは地磁気を利用しているため, つぎのような地磁気が乱れている場所などでは方位計が正しく方位を示さないことがあります。地磁気が安定した場所に車を移動すれば方位計は再び正しい方位を示します。
  - トンネルやビルの中の駐車場
  - 高速道路や電車の高架下
  - 地下鉄の上など
  - 変電所の近く
- 磁石で取り付けるタイプのスキーキャリア，アンテナなどは装着しないでください。方位計が正しく動かなくなります。

◆ 方位計のエラー表示

通常は走行していれば方位がずれても自動的に補正されますが，補正が完全に出来ていないときは方位が表示されません。

この場合は方位計の補正をしてください。

→「方位計の補正」P. 6-40

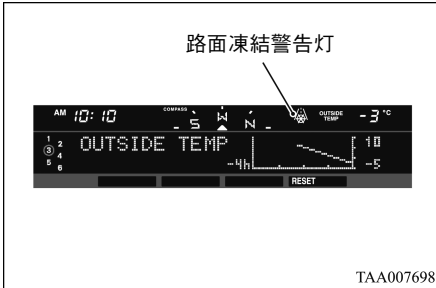
TAA007702

外気温計

J00612300028

エンジンスイッチがONのとき車外気温を表示します。

◆ 路面凍結警告灯

車外気温が0°C以下になると，外気温計横に路面凍結警告灯が約10秒間点滅すると同時にブザーが鳴り，路面凍結のおそれのあることを警告します。

TAA007698

⚠注意

- 路面凍結警告灯が点滅していなくても路面が凍結している場合がありますので注意してください。

アドバイス

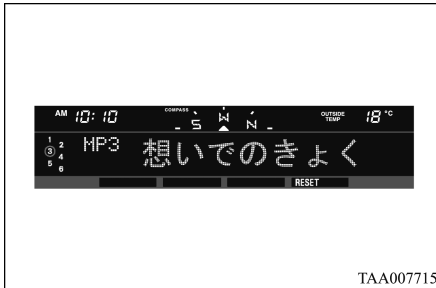
- 走行条件などにより，実際の車外気温と異なる表示をすることがあります。
- 停車しているときや約20km/h以下で走行しているときは正しい車外温度を表示しないことがあります。
- 表示する単位をお好みの設定（°Cまたは°F）に変更することができます。
→「ユーザーカスタム」P. 6-48

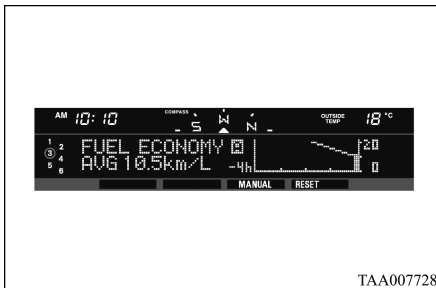
情報画面

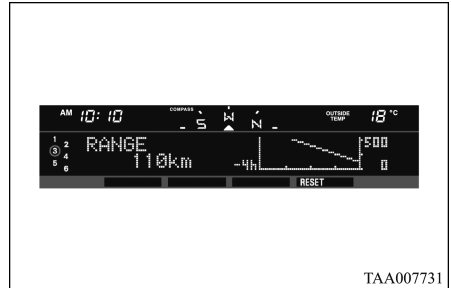
J00612400032

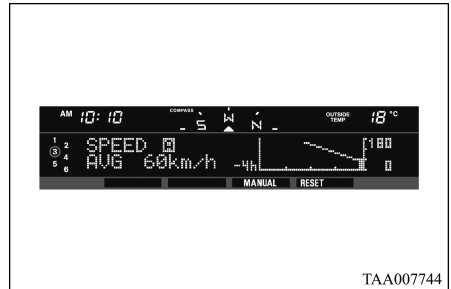
◆ 情報画面の種類

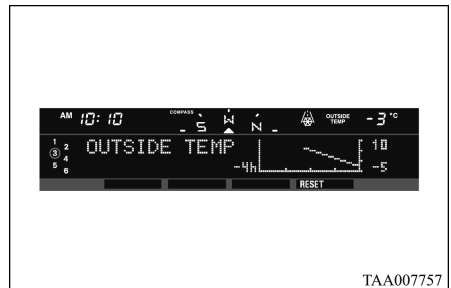
「INFO」ボタンを押すたびにつぎの順番で画面が切り換わります。
「オーディオ表示」→「平均燃費表示」→「航続可能距離表示」→「平均車速表示」→「外気温表示」→「標高表示」→「大気圧表示」→「カレンダー表示」→「時計のみ表示」→「画面の非表示」→「オーディオ表示」と切り換わります。

◆ オーディオ表示→P. 10-2

TAA007715

◆ 平均燃費表示→P. 6-23

TAA007728

◆ 航続可能距離表示→P. 6-25

TAA007731

◆ 平均車速表示→P. 6-27

TAA007744

◆ 外気温表示→P. 6-29

TAA007757

◆ 標高表示→P. 6-30

TAA007760

◆ 時計のみ表示→P. 6-33

TAA005418

◆ 大気圧表示→P. 6-32

TAA007773

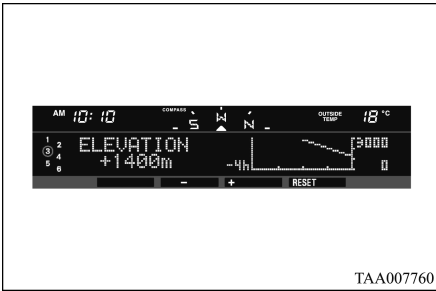
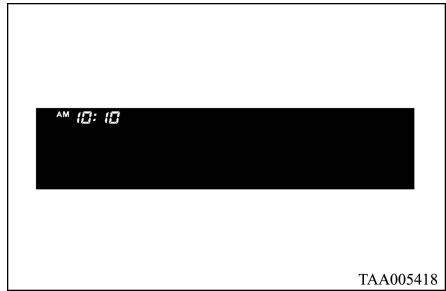
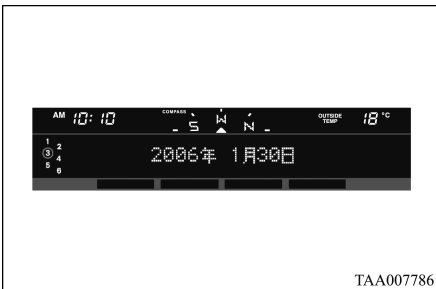
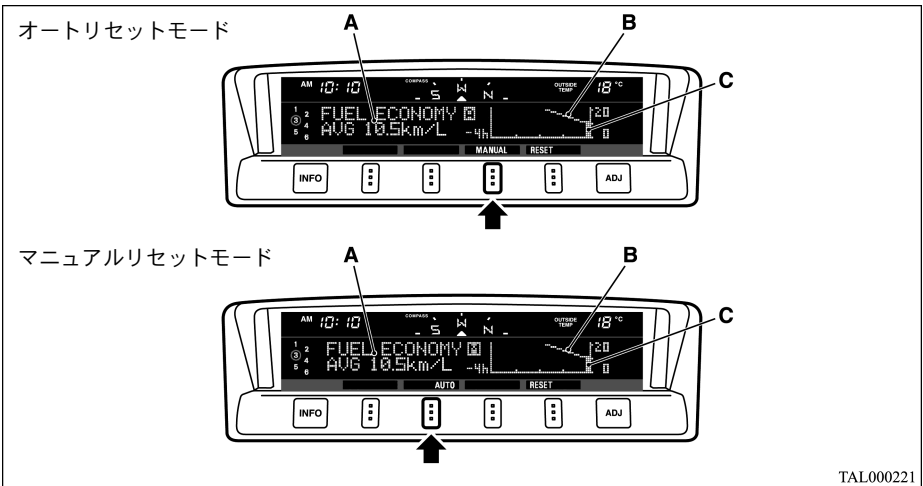
◆ 画面の非表示→P. 6-33

TAA005434

◆ カレンダー表示→P. 6-33

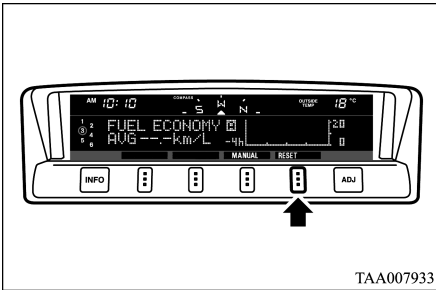
TAA007786

◆ 平均燃費表示

J00612500059

リセットしてから現在までの平均燃費を(A)部に，瞬間燃費を(C)部に表示します。
また，燃費の平均値を5分ごとにグラフ化し，最大4時間までのデータを(B)部に表示します。オートリセットモードのときにファンクションボタンの「MANUAL」を押すとマニュアルリセットモードに切り換わり，マニュアルリセットモードのときにファンクションボタンの「AUTO」を押すとオートリセットモードに切り換わります。

アドバイス

- 「マニュアルリセットモード」のときにエンジンスイッチをONからACCまたはLOCKにした後，再びエンジンスイッチをONにすると自動的に「オートリセットモード」に切り換わります。
- 平均燃費が測定できないときは“--.-”と表示されます。
- 平均燃費および瞬間燃費は走行状態（道路状況，運転のしかたなど）により変化します。実際の燃費と表示燃費が異なることがありますので，あくまでも参考としてご利用ください。
- 表示する単位をお好みの設定｛km/L，L/100km，mpg (UK GALLON)，または mpg (US GALLON)｝に変更することができます。
→「ユーザーカスタム」P. 6-48

平均燃費表示をリセットするときは

ファンクションボタンの「RESET」を押すと平均燃費の表示はリセットされます。

TAA007933

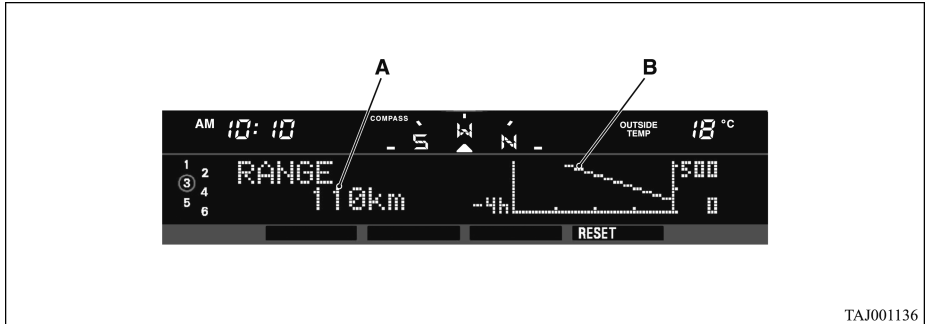
アドバイス

- 「オートリセットモード」,「マニュアルリセットモード」の各モード別にリセットすることができます。
- 「オートリセットモード」のときは，エンジンスイッチをONからACCまたはLOCKにした後，約4時間以上経過後に再びエンジンスイッチをONにすると平均燃費の表示は自動的にリセットされます。

◆ 航続可能距離表示

J00612600021

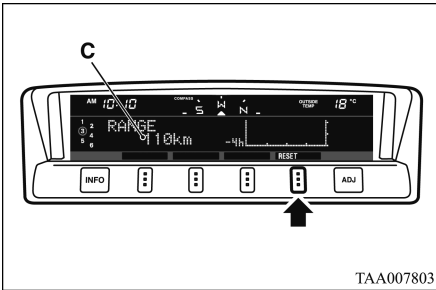
残りの燃料で走行できるおおよその航続可能距離（あと何km走行できるか）を(A)部に表示します。
また，航続可能距離を5分ごとにグラフ化し，最大4時間までのデータを(B)部に表示し ます。

TAJ001136

アドバイス

- 航続可能距離が50km以下のときや測定できないときは“----”と表示されます。
- 航続可能距離は今までの燃費データをもとに表示されますが，走行状態（道路状況，運転のしかたなど）により変化します。また，バッテリー端子を外したときは，今までの燃費データが消去されるので，それまでとは異なった値が表示されることがあります。表示はあくまでも参考としてご利用ください。
- 燃料を給油すると航続可能距離が更新されます。ただし，給油量が少ないと正しい数値が表示されませんので，給油するときはできるだけ満タンにしてください。
- 非常に急な坂道で停車した場合，まれに航続可能距離の値が増える場合があります。これは坂道でタンク内の燃料が移動したためで，故障ではありません。

6

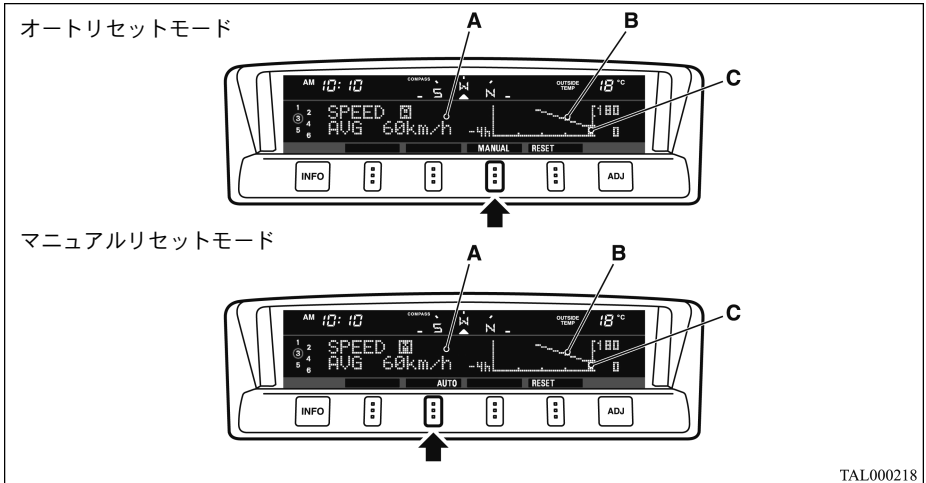
航続可能距離表示をリセットするときは

ファンクションボタンの「RESET」を押すと航続可能距離のグラフ表示はリセットされます。

アドバイス

- ファンクションボタンの「RESET」を押しても(C)部の表示はリセットされません。
- 表示する単位をお好みの設定（kmまたはmiles）に変更することができます。
  →「ユーザーカスタム」P. 6-48

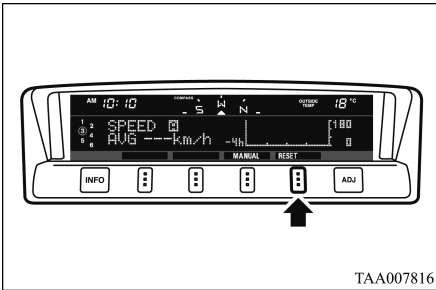
◆ 平均車速表示

J00612700048

リセットしてから現在までの平均車速を(A)部に，瞬間車速を(C)部に表示します。また，車速の平均値を5分ごとにグラフ化し，最大4時間までのデータを(B)部に表示します。
オートリセットモードのときにファンクションボタンの「MANUAL」を押すとマニュアルリセットモードに切り換わり，マニュアルリセットモードのときにファンクションボタンの「AUTO」を押すとオートリセットモードに切り換わります。

アドバイス

- 「マニュアルリセットモード」のときにエンジンスイッチをONからACCまたはLOCKにした後，再びエンジンスイッチをONにすると自動的に「オートリセットモード」に切り換わります。
- 平均車速が測定できないときは“---”と表示されます。
- 平均車速および瞬間車速は走行状態（道路状況，運転のしかたなど）により変化します。実際の車速と表示車速が異なることがありますので，あくまでも参考としてご利用ください。
- 表示する単位をお好みの設定（km/hまたはmph）に変更することができます。
→「ユーザーカスタム」P. 6-48

平均車速表示をリセットするときは

ファンクションボタンの「RESET」を押すと平均車速の表示はリセットされます。

TAA007816

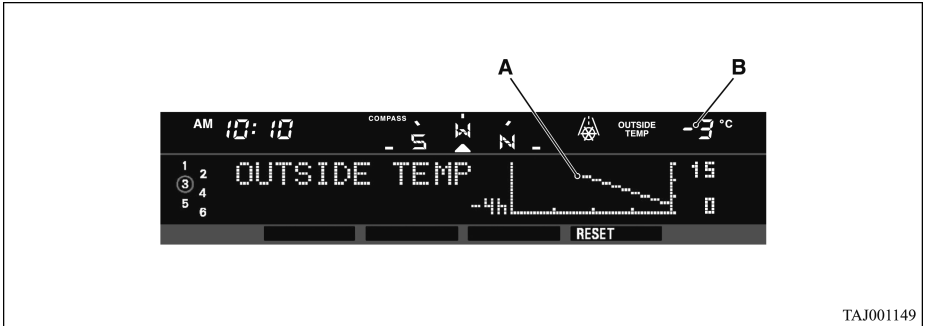
アドバイス

- 「オートリセットモード」,「マニュアルリセットモード」の各モード別にリセットすることができます。
- 「オートリセットモード」のときは，エンジンスイッチをONからACCまたはLOCKにした後，約4時間以上経過後に再びエンジンスイッチをONにすると平均車速の表示は自動的にリセットされます。

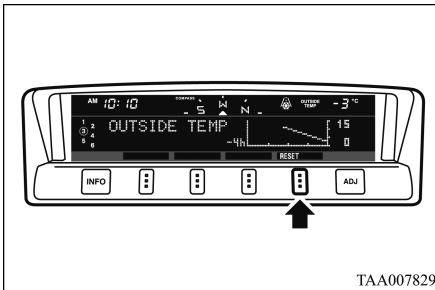
◆ 外気温表示

J00612800023

外気温を5分ごとにグラフ化し，最大4時間までのデータを(A)部に表示します。また，現在の車外の気温を(B)部に表示します。

TAJ001149

外気温表示をリセットするときは

ファンクションボタンの「RESET」を押すと外気温のグラフ表示はリセットされます。

TAA007829

アドバイス

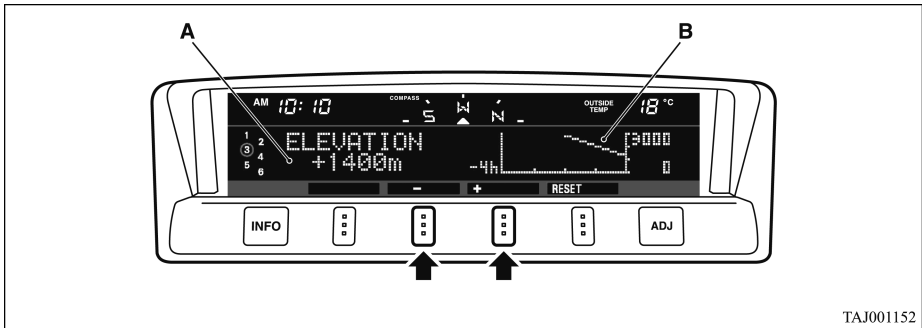
- 走行条件などにより，実際の車外温度と異なった表示をすることがあります。
- 表示する単位をお好みの設定（°Cまたは°F）に変更することができます。
  →「ユーザーカスタム」P. 6-48

◆ 標高表示

J00612900037

現在地の標高を50m単位で(A)部に表示します。また，標高を5分ごとにグラフ化し，最大4時間までのデータを(B)部に表示します。

標高表示を調整するときは

つぎのファンクションボタンで現在の標高を調整することができます。

TAJ001152

「＋」- 標高調整

ファンクションボタンの「＋」を軽く押すごとに50mずつ増加します。
また，長く（約2秒以上）押しつづけると標高を早送りします。
選択した標高に設定が変更され決定します。

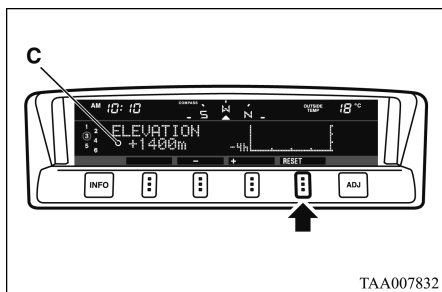
「－」- 標高調整

ファンクションボタンの「－」を軽く押すごとに50mずつ減少します。
また，長く（約2秒以上）押しつづけると標高を早送りします。
選択した標高に設定が変更され決定します。

アドバイス

- 標高は大気圧の変化を利用しているため，天候などの状況によって実際の標高と表示が異なる場合があります。同じ場所でも気圧変化の影響を受けて値が変化することがあり，標高が0m付近の場所では－（マイナス）で表示をすることもありますが故障ではありません。
- 三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車の画面でも標高の表示がありますが，計測方法の違いにより表示内容が異なることがあります。

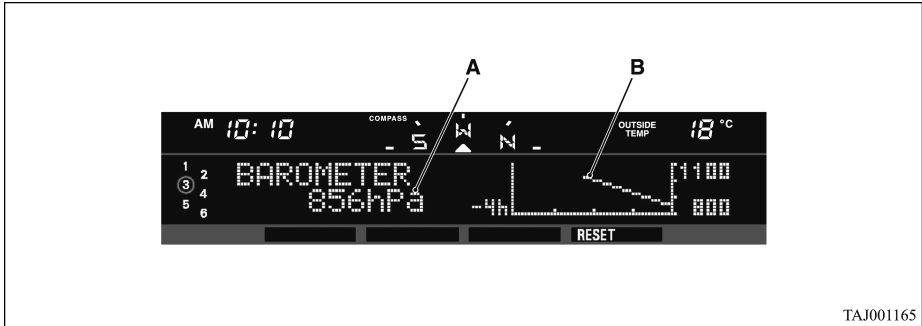
標高表示をリセットするときは

ファンクションボタンの「RESET」を押すと標高のグラフ表示はリセットされます。

アドバイス

- ファンクションボタンの「RESET」を押しても(C)部の表示はリセットされません。
- 表示する単位をお好みの設定（mまたはft）に変更することができます。
→「ユーザーカスタム」P. 6-48

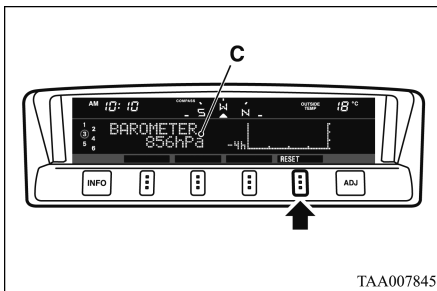
◆ 大気圧表示

J00613000022

現在地の大気圧を(A)部に表示します。また，大気圧を5分ごとにグラフ化し，最大4時間までのデータを(B)部に表示します。

TAJ001165

6

大気圧表示をリセットするときは

ファンクションボタンの「RESET」を押すと大気圧のグラフ表示はリセットされます。

TAA007845

アドバイス

- ファンクションボタンの「RESET」を押しても(C)部の表示はリセットされません。
- 表示する単位をお好みの設定（hPa，mb，kPaまたはinHg）に変更することができます。
→「ユーザーカスタム」P. 6-48

◆ カレンダー表示

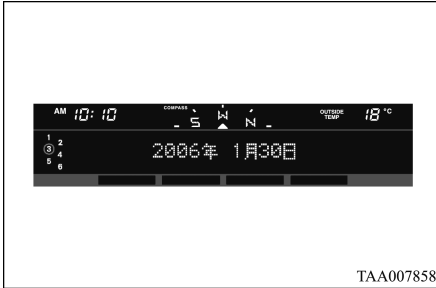
J00613100023

日付を表示します。また表示方法をお好みの設定に変更することができます。
→「カレンダー設定」P. 6-43

TAA007858

◆ 時計のみ表示

J00613200011

時計のみを表示します。また時制をお好みの設定に変更することができます。
→「ユーザーカスタム」P. 6-48

TAA005418

◆ 画面の非表示

J00613300012

画面をすべて非表示にすることができます。
このとき，ボタン照明は消えません。

TAA005434

アドバイス

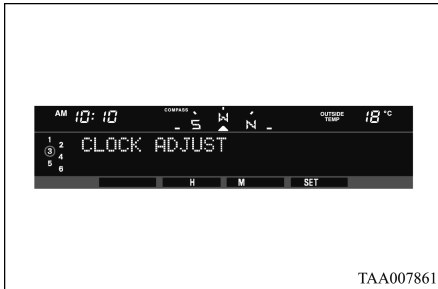
● オーディオ操作をするとオーディオ画面が割り込み表示します。

設定画面

J00613400039

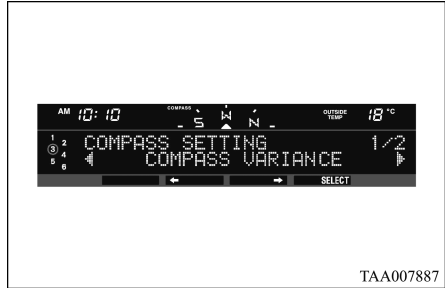
◆ 設定画面の種類

時刻や日付，表示画面などの各設定をすることができます。
ADJ ボタンを押すたびにつぎの順番で画面が切り換わります。
「時計設定」→「画面照度調整」→「方位計の補正」→「カレンダー設定」→「ユーザーカスタム」→「大気圧表示の調整」→「時計設定」と切り換わります。

◆ 時計設定→P. 6-36

TAA007861

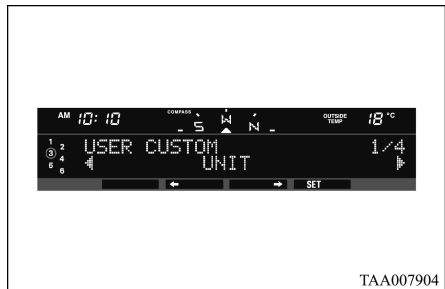
◆ 画面照度の調整→P. 6-38

TAA007874

◆ 方位計の補正 タイプ別装備→P. 6-40

TAA007887

◆ カレンダー設定→P. 6-43

TAA007890

◆ ユーザーカスタム→P. 6-48

TAA007904

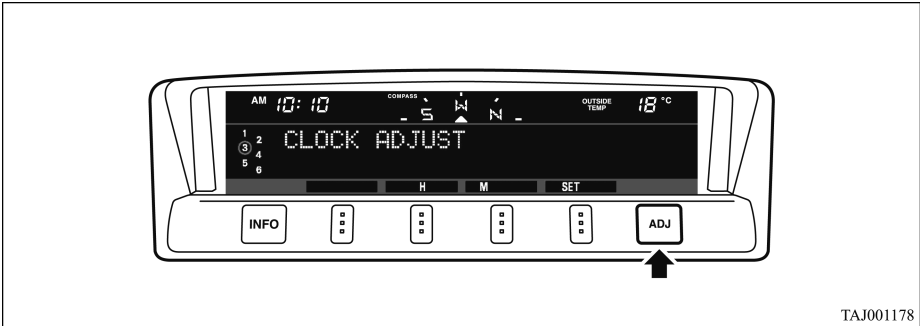
◆ 大気圧表示の調整→P. 6-56

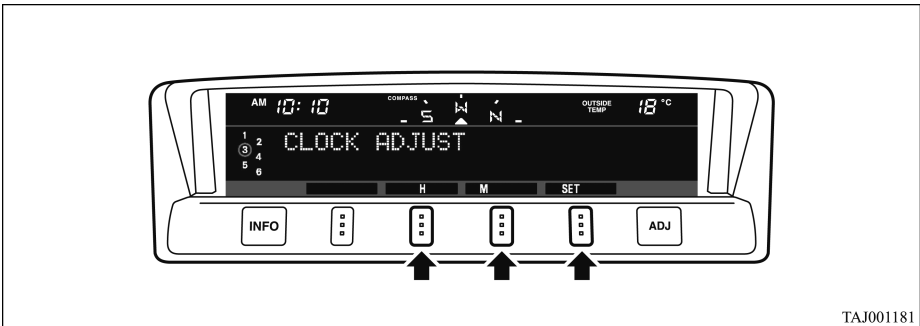
TAA007917

◆ 時計設定

J00613900034

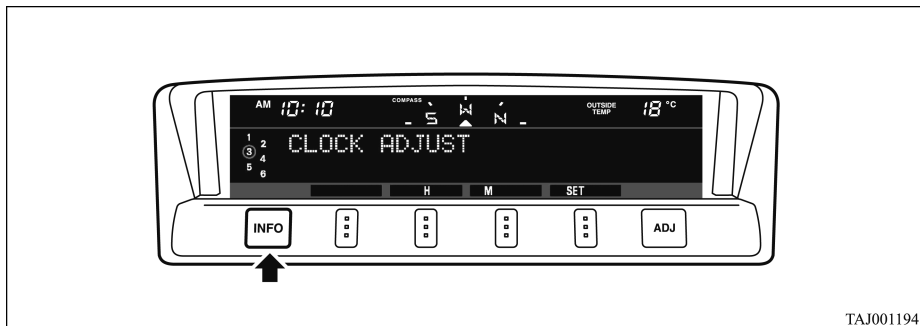
1. ADJボタンを押して“CLOCK ADJUST”（時計設定）画面に切り換えます。

TAJ001178

2. つぎのファンクションボタンで現在の時刻を変更することができます。

TAJ001181

「H」-“時”合わせ
ファンクションボタンの「H」を軽く押すごとに1時間ずつ増加します。
また，長く（約2秒以上）押しつづけると早送りします。
“時”を選択した時点で設定が変更され決定します。

「M」-“分”合わせ
ファンクションボタンの「M」を軽く押すごとに1分間ずつ増加します。
また，長く（約2秒以上）押しつづけると早送りします。
“分”を選択した時点で設定が変更され決定します。

「SET」-時報合わせ
ファンクションボタンの「SET」を押すと同時につぎのように修正されます。
・0~29分は切り下げ
・30~59分は切り上げ
このときのみ，画面が2回点滅し設定が変更され決定します。

3. 調整した後は，INFOボタンを押して情報画面に切り換えます。

アドバイス

- 三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車の画面でも時計の表示がありますが，計測方法の違いにより表示内容が異なることがあります。

◆ 画面照度の調整

J00613500027

画面の明るさを昼，夜共に13段階に調整することができます。

● BRIGHTNESS FOR DAY TIME

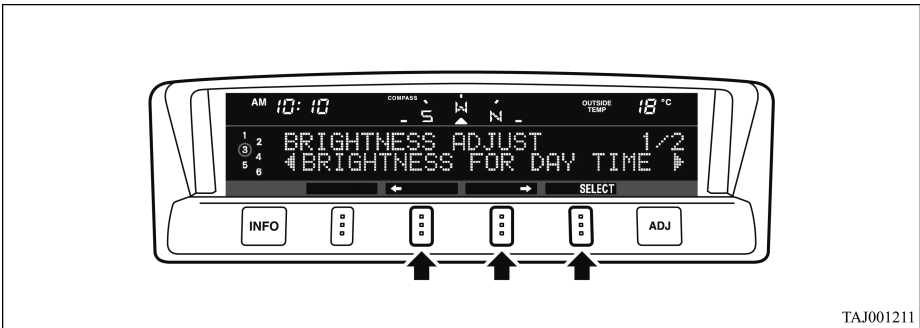
ライトスイッチがOFF位置での画面の明るさを調整します。

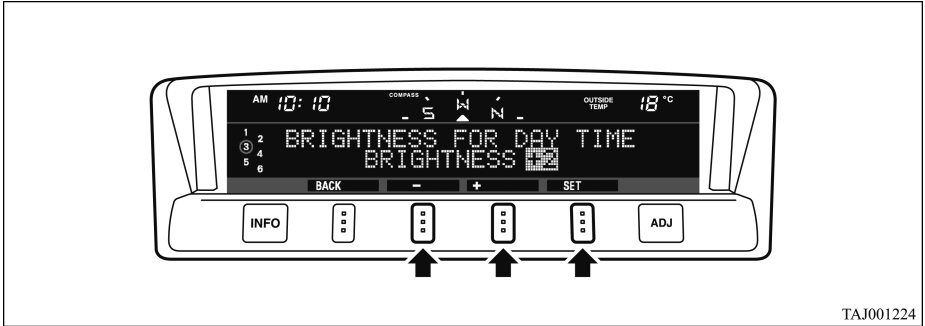
● BRIGHTNESS FOR NIGHT TIME

ライトスイッチが≣D または ≣D◁≣ 位置での画面の明るさを調整します。

1. ADJボタンを押して“BRIGHTNESS ADJUST”（画面照度の調整）画面に切り換えます。

TAJ001208

2. ファンクションボタンの「←」または「→」を押して調整したいモード（昼または夜）に切り換え，ファンクションボタンの「SELECT」を押します。

TAJ001211

3. つぎのファンクションボタンを押して明るさを調整します。

「+」- 画面を明るくする
ファンクションボタンの「+」を軽く押すごとに1段階ずつ画面を明るくします。また，長く（約2秒以上）押しつづけると自動で1段階ずつ明るくなります。

「−」- 画面を暗くする
ファンクションボタンの「−」を軽く押すごとに1段階ずつ画面を暗くします。
また，長く（約2秒以上）押しつづけると自動で1段階ずつ暗くなります。

「SET」- 明るさを決定する
ファンクションボタンの「SET」を押します。
このとき，画面が2回点滅し設定が変更され決定します。

アドバイス

● 引き続き別の調整モード（昼または夜）で調整を行うときはADJボタンまたはBACKボタンを押します。

4. 調整した後は，INFOボタンを押して情報画面に切り換えます。

アドバイス

● 画面照度の調整はセンターインフォメーションディスプレイのみで行うため，メーター内の明るさを変更する ことはできません。

◆ 方位計の補正 タイプ別装備

J00613600031

方位計の補正を行います。方位計が正しく表示されないときは，つぎの手順で方位計の補正をしてください。

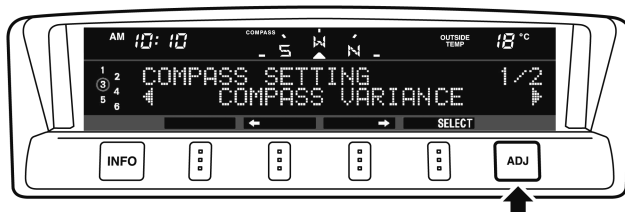
アドバイス

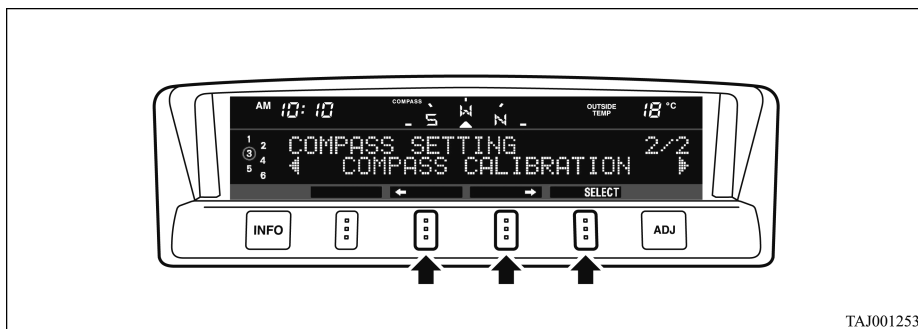
- 三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)付き車は，方位計の補正画面は表示されますが方位計の補正をすることはできません。

1. 近くに建物や車のない安全な広い場所を探します。

アドバイス

- サンルーフ付き車は方位計の補正をするときには，できるだけサンルーフを閉じた状態で行うようにしてください。
  サンルーフが開いた状態で補正すると方位を正しく表示出来ない可能性があります。

2. ADJボタンを押して“COMPASS SETTING”（方位計の補正）画面に切り換えます。

TAJ001240

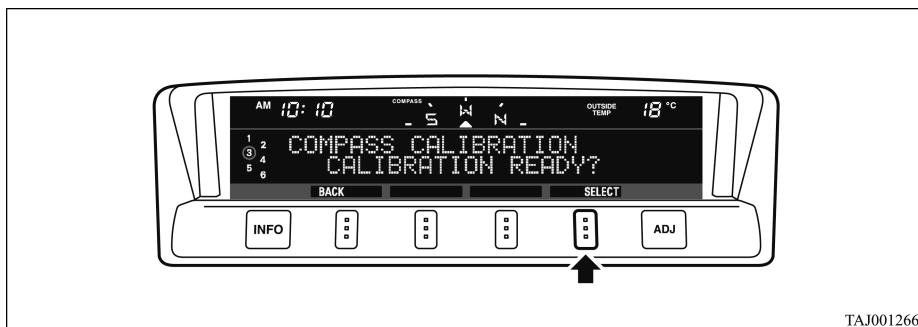
3. ファンクションボタンの「←」または「→」を押して“COMPASS CALIBRATION”に切り換え，ファンクションボタンの「SELECT」を押します。

TAJ001253

アドバイス

● “COMPASS VARIANCE”は選択しないでください。方位計が正しく表示できなくなります。工場出荷時より“7° EAST”に設定されています。

4. つぎの画面に切り換わったら，もう一度ファンクションボタンの「SELECT」を押します。

TAJ001266

6

5. つぎの画面に切り換わったら，車をゆっくり360度以上回転させます。

TAJ001279

アドバイス

- 方位計の補正を途中で取り止めるときは，INFOボタンまたはADJボタンを押します。
- 旋回を途中で中断し，元の方向に戻った場合でも，補正完了のメッセージを表示することがあります。この場合，正しく補正されないことがありますので，必ず360度以上旋回してください。

6. つぎの画面が表示されると補正完了です。その後，自動的に情報画面に戻ります。

TAJ001282

アドバイス

- サンルーフ付き車は旋回が完了した後に方位の確認をするときはできるだけサンルーフを閉じた状態で確認してください。方位表示が一定方向に固定されてしまう場合があります。方位表示が一定方向に固定されてしまった場合はもう一度，方位計の補正を実施してください。

◆ カレンダー設定

J00613700029

日付およびカレンダーの表示方法を設定します。

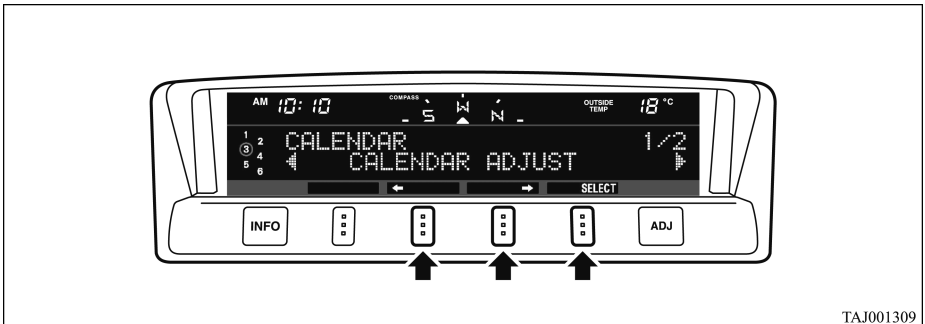
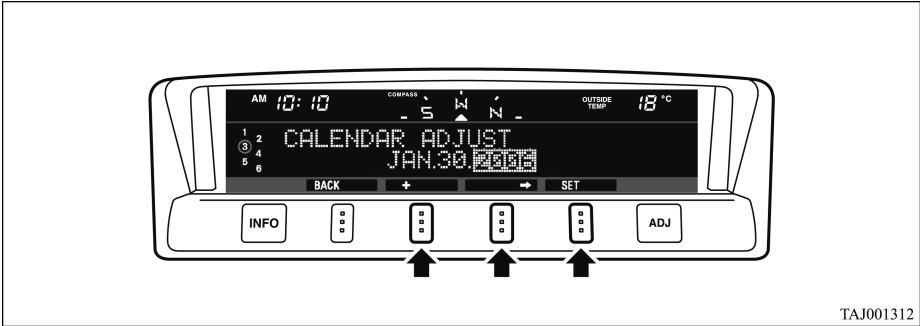
日付の設定

1. ADJボタンを押して“CALENDAR”（日付設定）画面に切り換えます。

TAJ001295

2. ファンクションボタンの「←」または「→」を押して“CALENDAR ADJUST”に切り換え，ファンクションボタンの「SELECT」を押します。

TAJ001309

6

3. つぎのファンクションボタンを押して日付を設定します。

「→」- 変更したい“年”，“月”，“日”を選択する
ファンクションボタンの「→」を軽く押すごとに“年”→“月”→“日”→“年”の順番に切り換わります。

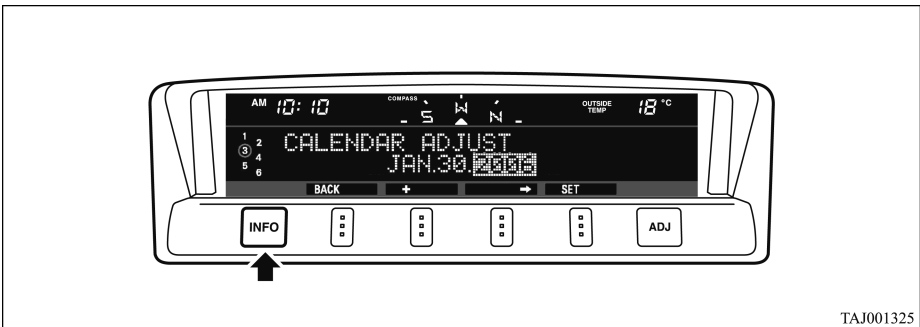
「＋」- 選択した“年”，“月”，“日”を変更する
ファンクションボタンの「＋」を軽く押すごとに選択した希望の日付に変更します。
また，長く（約2秒以上）押しつづけると早送りします。

「SET」- 日付を決定する
ファンクションボタンの「SET」を押します。
このとき，画面が2回点滅し設定が変更され決定します。

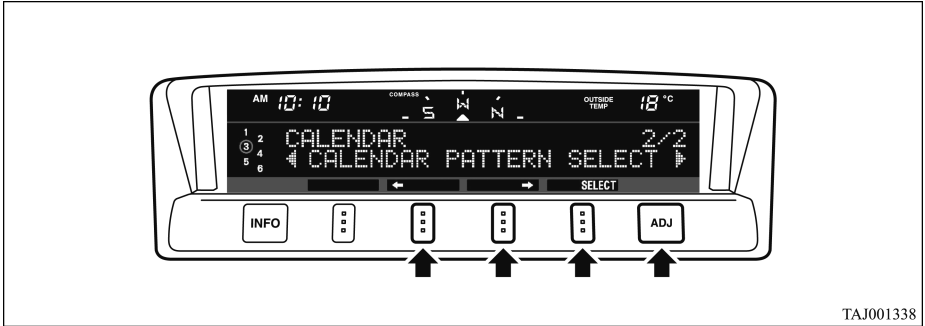
6

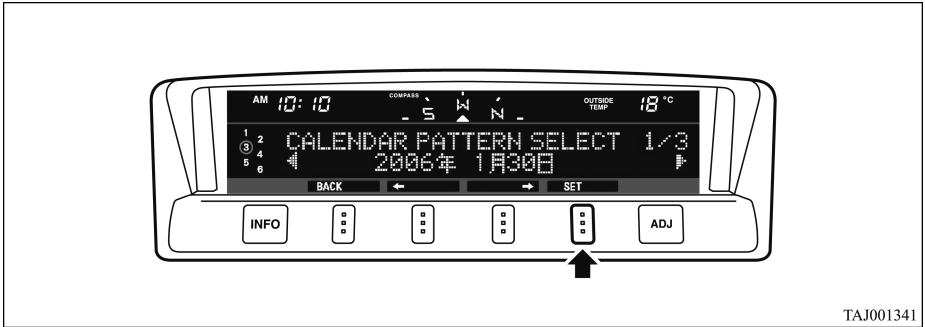
アドバイス

- 「年」は「2006年」→「2007年」→・・・・→「2099年」→「2006年」の順に切り換わります。
- ファンクションボタンの「BACK」を押すと前の画面に戻すことができます。

4. 設定後，INFOボタンを押して情報画面に戻します。

カレンダー表示方法の変更

1. ADJ　ボタンを押して“CALENDAR”（日付設定）画面に切り換えます。ファンクションボタンの「←」または「→」を押して“CALENDAR PATTERN SELECT”に切り換え，ファンクションボタンの「SELECT」を押します。

TAJ001338

2. ファンクションボタンの「←」または「→」を押してお好みの表示方法を選択します。

3. ファンクションボタンの「SET」を押すと画面が2回点滅し選択した表示パターンに設定が変更されます。

TAJ001341

アドバイス

● ファンクションボタンの「BACK」を押すと前の画面に戻すことができます。

4. 設定後，INFOボタンを押して情報画面に戻します。

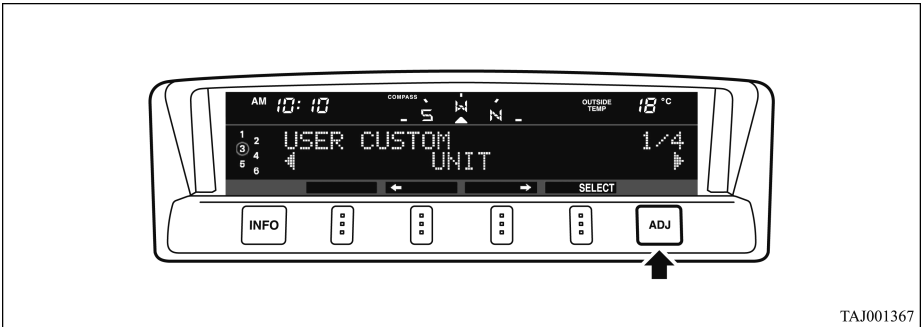
TAJ001354

◆ ユーザーカスタム

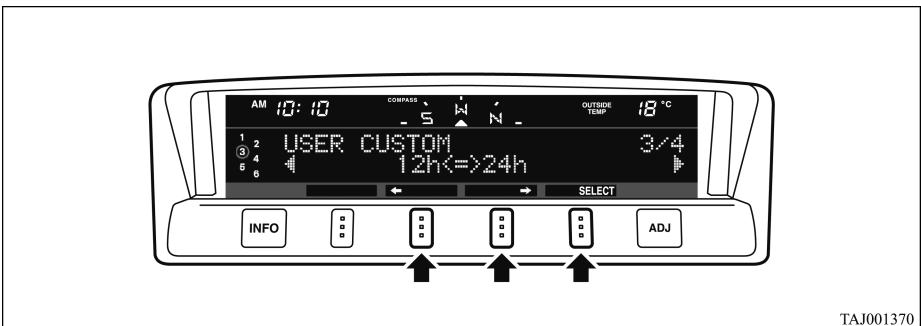
J00613800033

表示単位，表示言語，時計の時制を設定することができます。
また，これらの設定を工場出荷時の設定に戻すこともできます。

設定項目の選択

1. ADJボタンを押して“USER CUSTOM”（ユーザーカスタム）画面に切り換えます。

TAJ001367

2. ファンクションボタンの「←」または「→」を押して設定する項目を選択します。
   - “UNIT”：表示単位の設定
   - “LANGUAGE”：表示言語の設定
   - “12h ↔ 24h”：時制の設定
   - “DEFAULT”：工場出荷時の設定に戻す

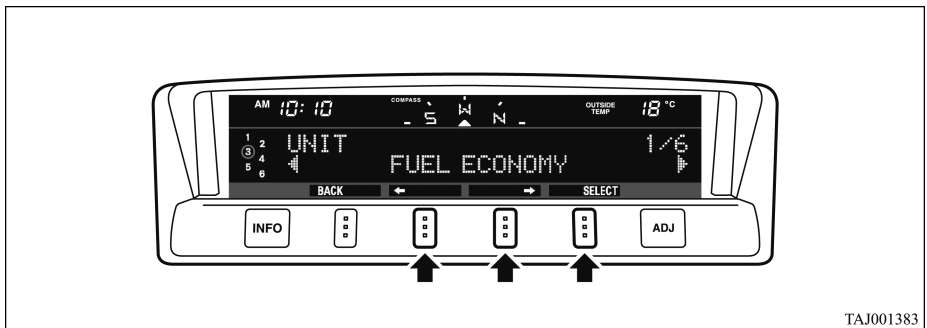
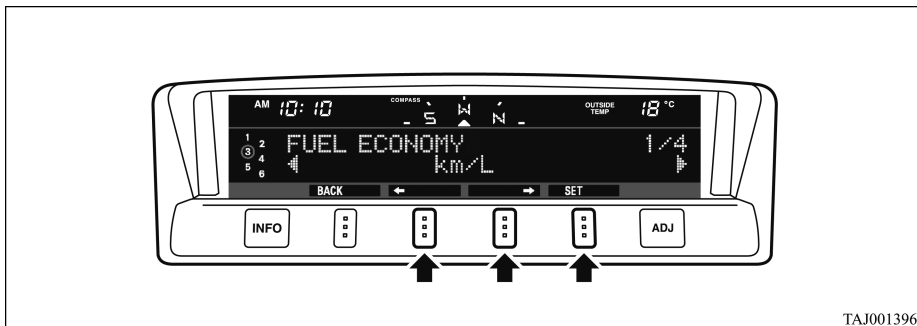
   ファンクションボタンの「SELECT」を押すと選択した項目の設定画面に切り換わります。

TAJ001370

表示単位の変更

燃費，航続可能距離，平均車速，外気温，標高，大気圧の各表示単位をつぎの通り変更することができます。

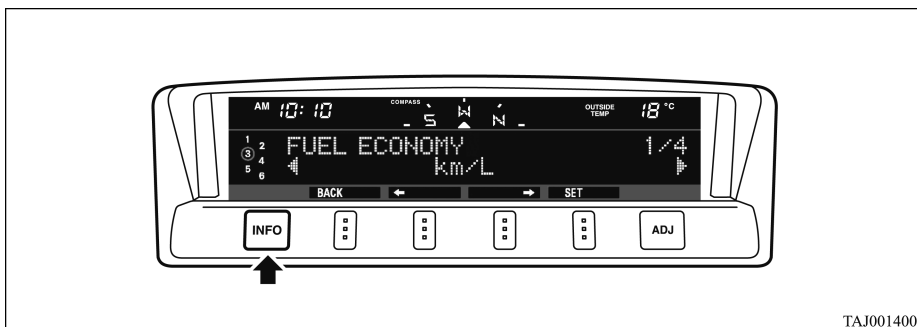
燃費 （FUEL ECONOMY）	km/L→L/100km→mpg（UK GALLON）→mpg（US GALLON）
航続可能距離 （RANGE）	km→miles
平均車速 （SPEED）	km/h→mph
外気温 （OUT SIDE TEMPERATURE）	°C→°F
高度 （ELEVATION）	m→ft
大気圧 （BAROMETER）	hPa→mb→kPa→inHg

● 燃費の表示単位をkm/Lに切り換えたいとき

1. ファンクションボタンの「←」または「→」を押して“FUEL ECONOMY”に切り換え，ファンクションボタンの「SELECT」を押します。

2. ファンクションボタンの「←」または「→」を押して“km/L”に切り換え，ファンクションボタンの「SET」を押すと画面が2回点滅し選択した単位に設定が変更されます。

TAJ001396

アドバイス

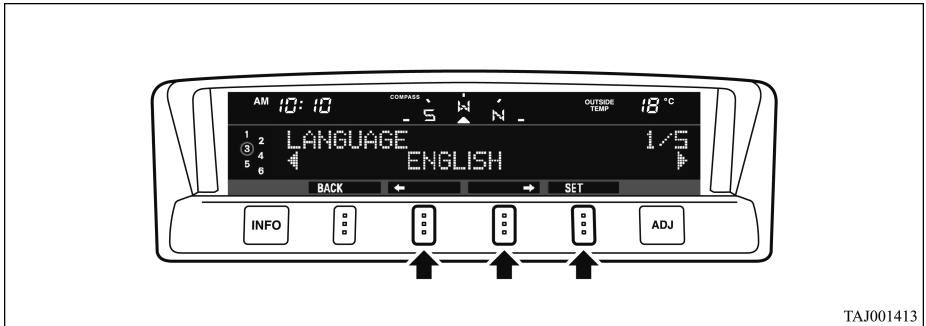
● ファンクションボタンの「BACK」を押すと前の画面に戻すことができます。

3. 設定後，INFOボタンを押して情報画面に戻します。

TAJ001400

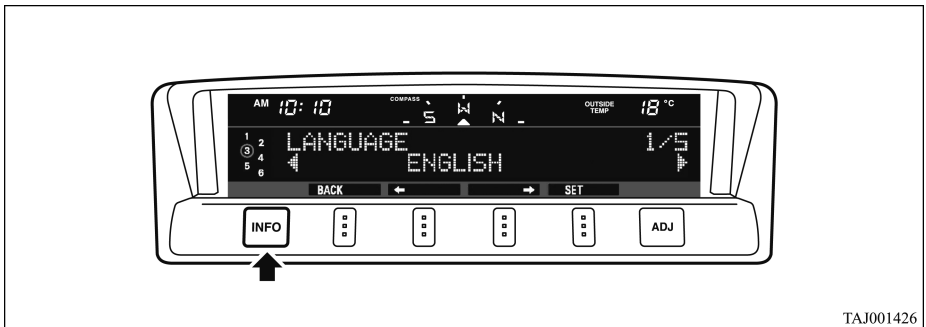
表示言語の変更

センターインフォメーションディスプレイに表示する言語を変更することができます。

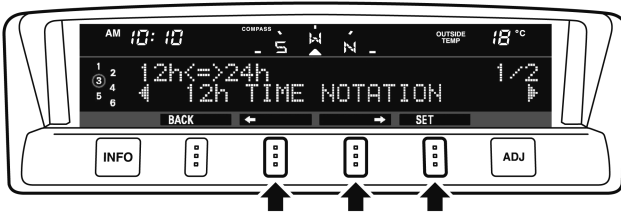
●表示言語を英語に切り換えたいとき

1. ファンクションボタンの「←」または「→」を押して“ENGLISH”に切り換え，ファンクションボタンの「SET」を押すと画面が2回点滅し選択した言語に設定が変更されます。

アドバイス

●ファンクションボタンの「BACK」を押すと前の画面に戻すことができます。

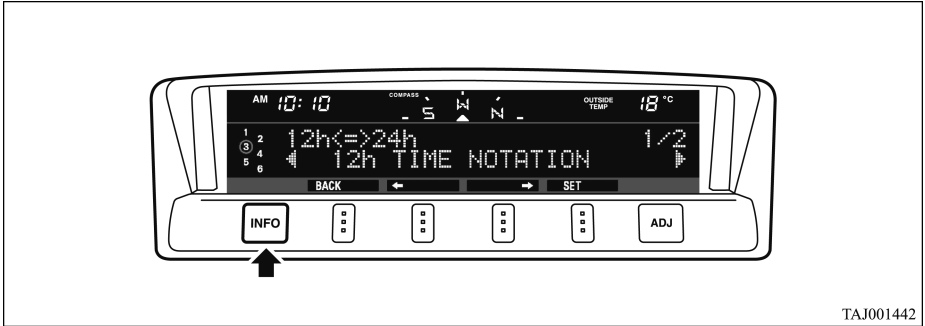
2. 設定後，INFOボタンを押して情報画面に戻します。

時制の変更

時刻表示を12時制または24時制に変更することができます。

1. ファンクションボタンの「←」または「→」を押して“12h TIME NOTATION”または“24h TIME NOTATION”に切り換え，ファンクションボタンの「SET」を押すと画面が2回点滅し選択した時制に設定が変更されます。

アドバイス

● ファンクションボタンの「BACK」を押すと前の画面に戻すことができます。

2. 設定後，INFOボタンを押して情報画面に戻します。

TAJ001442

出荷時の設定に戻す

各種設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

アドバイス

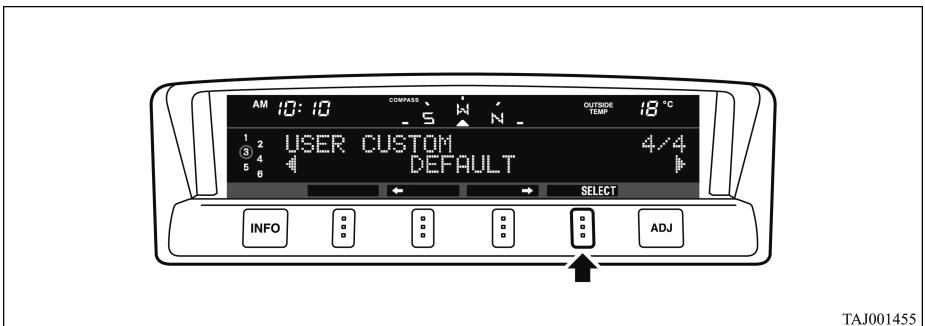
● 工場出荷時の設定はつぎのとおりです。

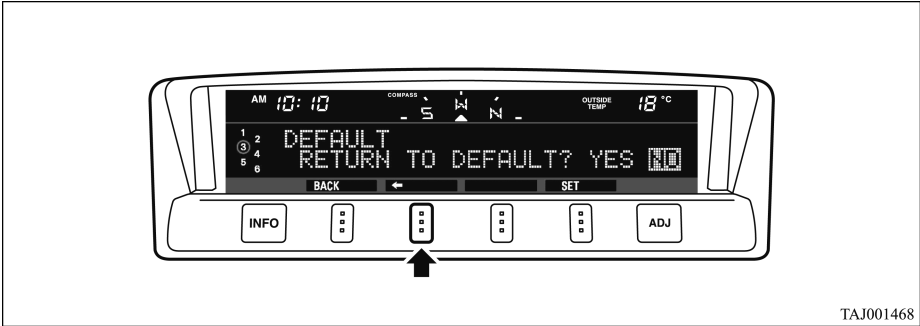
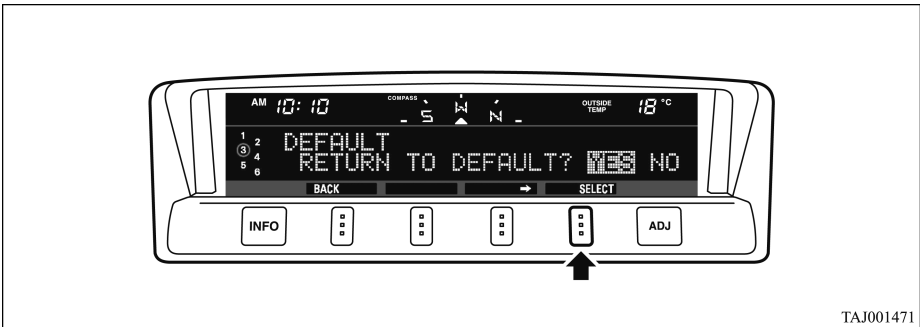
- 燃費表示単位：km/L
- 航続可能距離単位：km
- 平均車速表示単位：km/h
- 外気温表示単位：°C
- 標高表示単位：m
- 気圧表示単位：hPa
- 表示言語：英語
- 時制表示：12時制

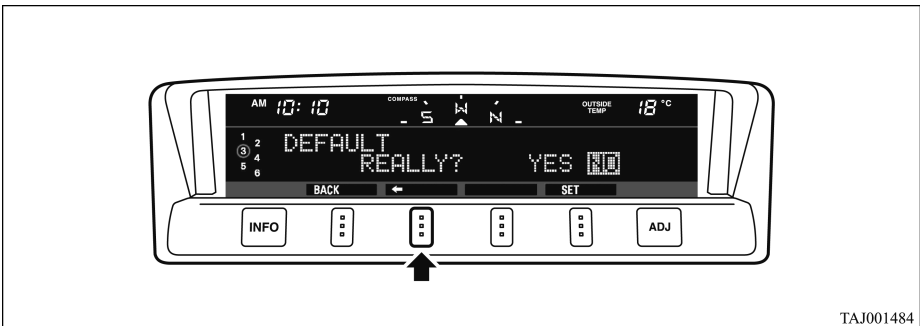
1. ファンクションボタンの「SELECT」を押します。

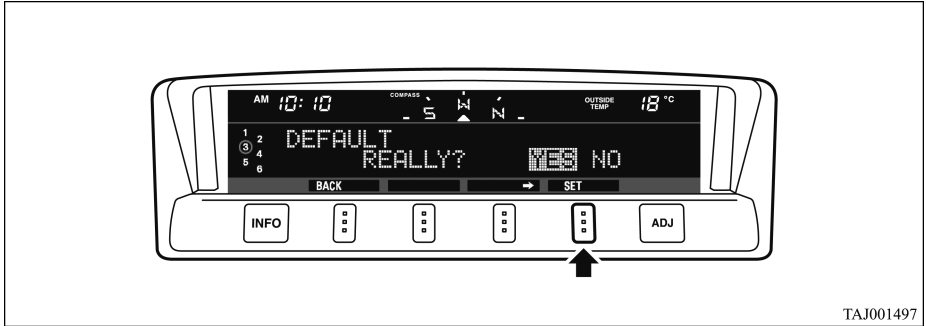
TAJ001455

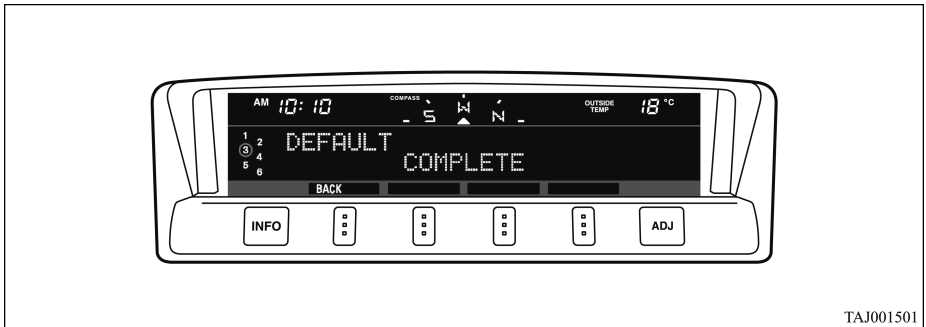
2. ファンクションボタンの「←」を押して「YES」を選択します。

TAJ001468

3. ファンクションボタンの「SELECT」を押します。

TAJ001471

4. 再度ファンクションボタンの「←」を押して「YES」を選択します。

TAJ001484

5. ファンクションボタンの「SET」を押します。

TAJ001497

6. つぎの画面が表示され各種設定が工場出荷時の設定に戻ります。

TAJ001501

6

アドバイス

● バッテリー端子を外したときは，日付や時刻などの設定が取り消されることがあります。再度，設定しなおしてください。

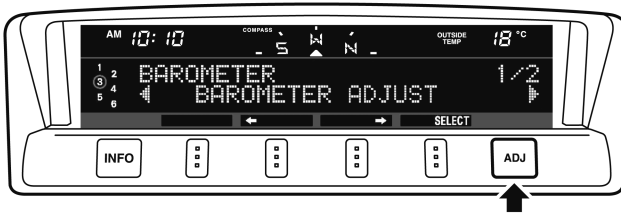
◆ 大気圧表示の調整

J00614100020

大気圧表示の調整および大気圧表示を工場出荷時に戻すことができます。

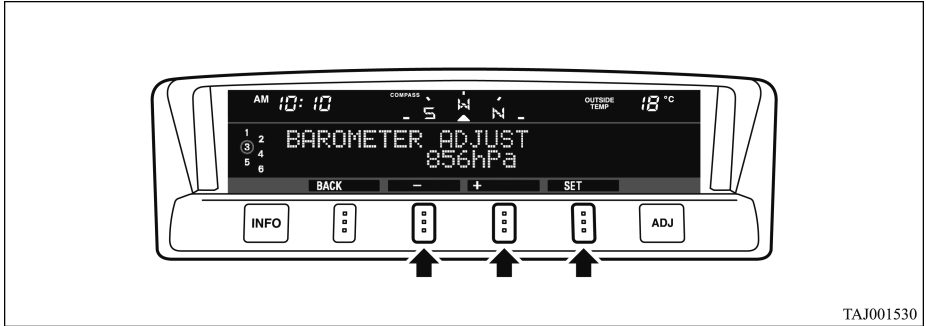
アドバイス
● 大気圧表示は工場出荷時に調整されていますのでお客様が調整する必要はありません。ただし，調整を行いたい場合は，正確な気圧計を使用して調整してください。

大気圧表示を調整するときは

1. ADJボタンを押して“BAROMETER”（大気圧調整）画面に切り換えます。

TAJ001514

2. ファンクションボタンの「←」または「→」を押して“BAROMETER ADJUST”に切り換え，ファンクションボタンの「SELECT」を押します。

TAJ001527

3. つぎのファンクションボタンを押して大気圧の調整を行います。

「＋」- 大気圧調整
ファンクションボタンの「＋」を軽く押すごとに2hPaずつ増加します。
また，長く（約2秒以上）押しつづけると大気圧を早送りします。

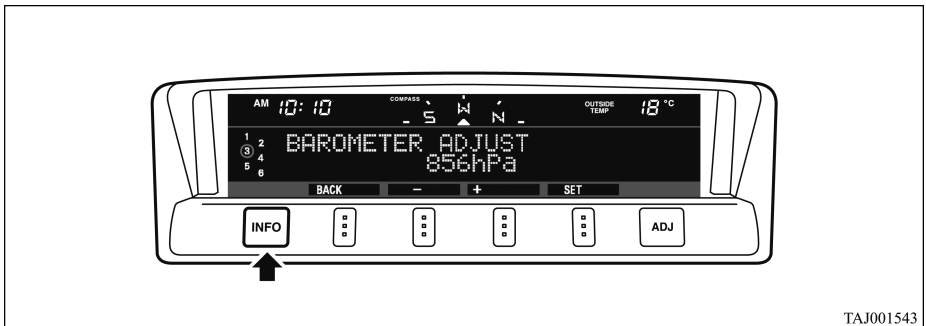
「－」- 大気圧調整
ファンクションボタンの「－」を軽く押すごとに2hPaずつ減少します。
また，長く（約2秒以上）押しつづけると大気圧を早送りします。

「SET」- 大気圧を決定する
ファンクションボタンの「SET」を押します。
このとき，画面が2回点滅し設定が変更され決定します。

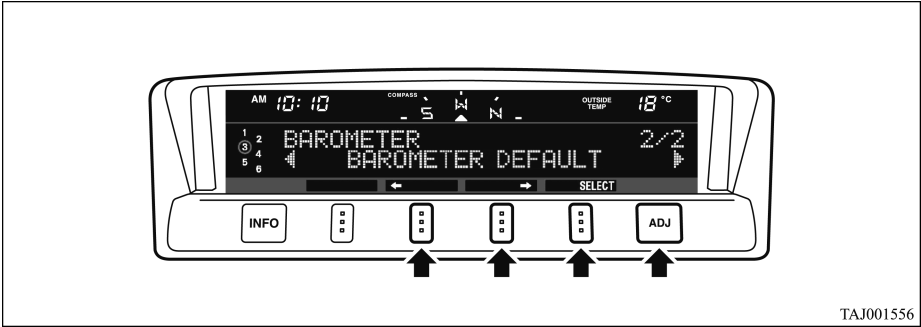
アドバイス

● ファンクションボタンの「BACK」を押すと前の画面に戻すことができます。

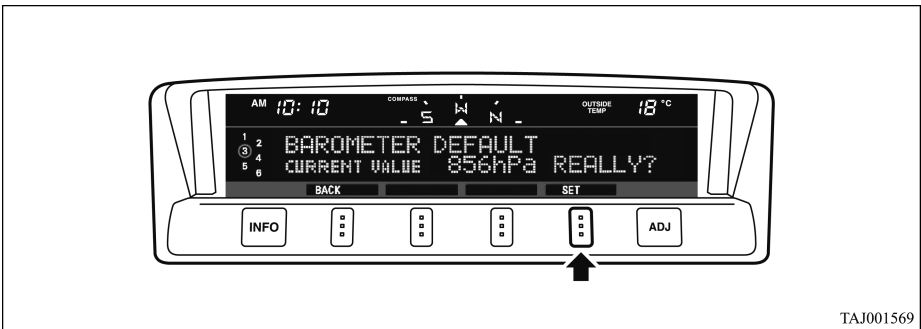
4. 設定後，INFOボタンを押して情報画面に戻します。

6

工場出荷時に戻す

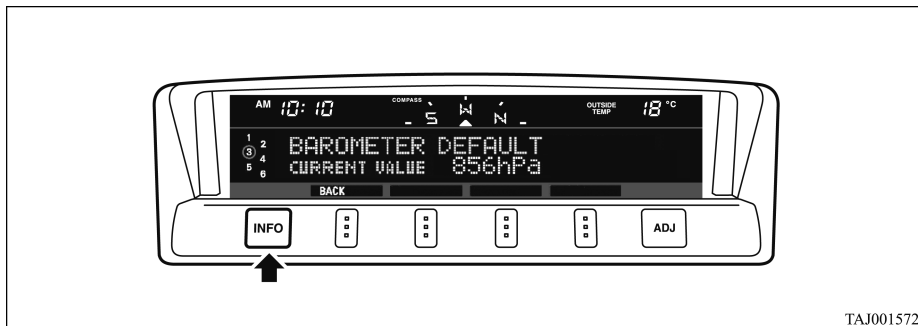
1. ADJボタンを押して“BAROMETER”（大気圧調整）画面に切り換えます。
   ファンクションボタンの「←」または「→」を押して“BAROMETER DEFAULT”に切り換え，ファンクションボタンの「SELECT」を押します。

TAJ001556

6

2. ファンクションボタンの「SET」を押すと画面が2回点滅し，大気圧表示が工場出荷時の状態に変更されます。

TAJ001569

アドバイス

- 大気圧表示は工場出荷時の状態に変更されますが，お客様が変更された表示単位は工場出荷時の状態に変更されません。
- ファンクションボタンの「BACK」を押すと前の画面に戻すことができます。

3. 設定後，INFOボタンを押して情報画面に戻します。

モニター部のお手入れ

J00615500018

モニター部が指紋などで汚れたときは，乾いたガーゼなどのやわらかい布で軽くふき取ってください。

アドバイス

- 水に濡らした布やO/A用のクリーナーはモニター部に使用しないでください。
  モニター部をいためるおそれがあります。

ライトスイッチ

J00604000837

手動で使うときは

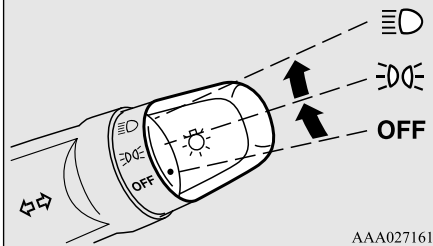
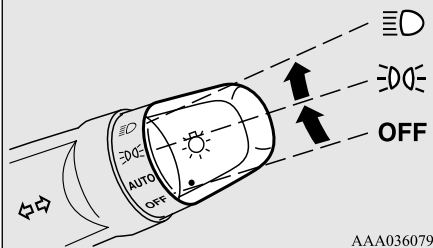
エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。
レバー先端のツマミを回すと下表の○印のランプが点灯します。

ツマミの位置	≡D	≡D0≡
ヘッドライト	○	—
車幅灯	○	○
尾灯	○	○
番号灯	○	○
計器類照明灯	○	○

AAA027161

AAA036079

⚠注意

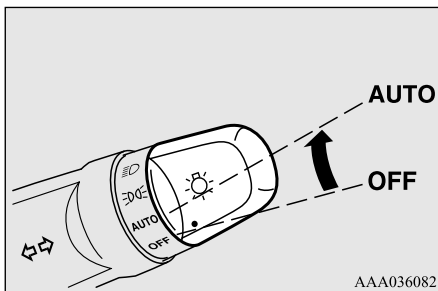
- 点灯中および消灯直後は，レンズの表面が高温になっているため触らないでください。やけどをするおそれがあります。

アドバイス

- 雨の日や洗車後などにレンズの内側が曇ることがあります。これは湿気の多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。ランプを点灯すると熱で曇りは取れます。ただし，ランプ内に水がたまっているときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

自動で使うときは（オートライトコントロール）

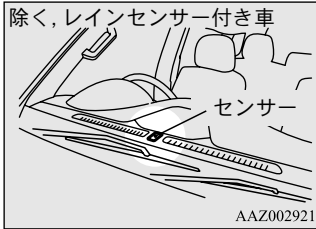
タイプ別装備

エンジンスイッチが ON のときに使用できます。レバー先端のツマミを AUTO 位置にすると，車外の明るさに応じてヘッドライト，車幅灯，尾灯，番号灯などが自動的に点灯・消灯します。
エンジンスイッチを OFF にすると自動的に消灯します。

AAA036082

アドバイス

- 自動点灯センサーの感度を調整することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

アドバイス

- エンジンスイッチ“ON”の状態でオートライトによりヘッドライトが消灯するとフロントフォグランプ（タイプ別装備）とリヤフォグランプも消灯します。
  再度オートライトによりヘッドランプが点灯したときフロントフォグランプは同時に点灯しますが，リヤフォグランプは点灯しません。リヤフォグランプを再度点灯させたいときは，もう一度スイッチを操作してください。
- 除く，レインセンサー付き車は自動点灯・消灯装置のセンサーの上には物を置いたり，ガラスクリーナーなど吹きかけないでください。
  センサーが車外の明るさを検知できなくなり，ライトが自動に点灯・消灯しなくなるおそれがあります。

- レインセンサー付き車は，フロントガラスにステッカーやラベルを貼ってセンサーを覆わないでください。
  また，フロントガラスにコーティングをしないでください。
  センサーが車外の明るさを検知できなくなり，ライトが自動に点灯・消灯しなくなるおそれがあります。

  フロントガラスの交換・センサー付近のガラス補修をするときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- AUTOの位置で点灯・消灯しないときは，手動でスイッチを操作し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト [*1] オートカット機能（自動消灯）

J00606000567

[*1] ヘッドライトやフォグランプなどの車外照明

- ライトスイッチが≣Dまたは≡D◁≡の位置でも，エンジンスイッチをOFFにし，運転席ドアを開くと，ランプ類が自動的に消灯します。
  - キーを抜き運転席ドアを開いた場合は，ブザーが「ピーッ」と鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
  - キーを差したまま運転席ドアを開いた場合は，ブザーが断続的に「ポーン，ポーン」と鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。
- ライトスイッチが≣Dまたは≡D◁≡の位置でも，エンジンスイッチをOFFにし，運転席ドアを開かないまま約3分たつとランプ類が自動的に消灯します。

6

◆ 降車後，照明として利用するときは

降車後も約 3 分間ランプ類を点灯させておくことができます。

1. ライトスイッチOFF，エンジンスイッチをLOCKにします。
2. ライトスイッチを≣Dの位置にし，降車します。

アドバイス

- ライトスイッチを ƐDOƐ 位置にすると降車後照明として利用できません。（自動消灯せず通常通り，ランプ類が点灯し続けます。）
- 運転席から降車するとき，キーが抜かれていればライト消し忘れ警告ブザー（ピーッ）が鳴り，キーが差さっていればキー抜き忘れ警告ブザー（ポーン，ポーン）が鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。

3. 約 3 分後にランプ類が自動消灯します。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - ライトスイッチが ƐDOƐ 位置でも降車後照明として利用できるようにする。
  - ランプ類のオートカット機能を働かなくする。

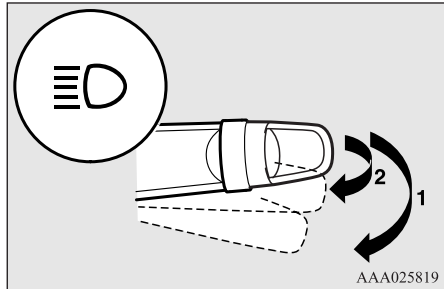
ライト消し忘れブザー

J00606100018

ライトスイッチが≣Dまたは ƐDOƐ の位置のままでキーを抜き，運転席のドアを開くと，ブザーが「ピーッ」と鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
ヘッドライトオートカット機能が働く，ライトスイッチをOFFにする，またはドアを閉じればブザーは止まります。

上下切り換え

J00606200295

レバーを(1)まで引くたびにヘッドライトの照らす方向が上向き，下向きと交互に切り換わります。
レバーを(2)まで軽く引くと，引いている間ヘッドライトが上向きになり，メーター内の表示灯も点灯します。

アドバイス

- ライトスイッチがOFF位置でも，レバーを(2)まで軽く引いている間ヘッドライトが上向きで点灯します。
- ヘッドライトを上向きにしたまま戻し忘れても，次回ライトスイッチを≣Dの位置にすると必ず下向きで始まります。

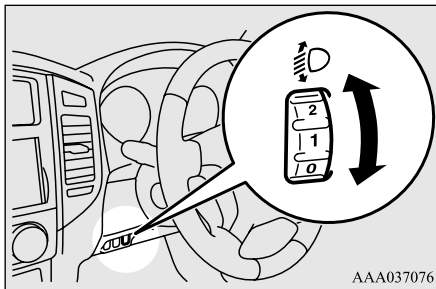
ヘッドライトレベリング

J00604100388

ヘッドライトレベリングダイヤル

J00610300079

除く，ディスチャージヘッドライト付き車

ヘッドライトの照らす方向（光軸）は，乗員の人数や荷物の重さなどによって変化します。人や荷物をのせて，ヘッドライトの光軸がいつもより上向きになった場合は，ダイヤルを回してヘッドライトの光軸を下向きに調整します。ダイヤルの数字が大きくなるほど下向きになります。

乗員の人数や荷物の重さに応じて下記の表を目安にダイヤル位置を調整してください。
人や荷物をおろした後は，必ずダイヤルを“０”の位置に戻してください。

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

〈5人乗り〉

乗員やラゲッジルームの積載状態		ダイヤル位置
	運転席乗車時	0
	運転席＋助手席乗車時	0
	全席乗車時	2
	全席乗車時＋ラゲッジルーム最大積載時	3
	運転席乗車時＋ラゲッジルーム最大積載時（後席折りたたみ）	4

〈7人乗り〉

乗員やラゲッジルームの積載状態		ダイヤル位置
	運転席乗車時	0
	運転席＋助手席乗車時	0
	運転席＋助手席＋サードシート2人乗車時	2
	全席乗車時	2
	全席乗車時＋ラゲッジルーム最大積載時	3
	運転席乗車時＋ラゲッジルーム最大積載時(サードシート格納)	4

アドバイス

- 車検等で光軸調整をするときは，ダイヤルを“０”の位置（光軸が一番上向きの位置）にしてから行ってください。

ヘッドライトオートレベリング

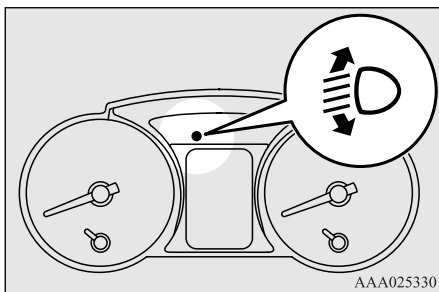
J00610400041

ディスチャージヘッドライト付き車

乗員の人数や荷物の重さなどによる車両姿勢の変化に応じて，ヘッドライトの照らす方向（光軸）を自動的に調整する装置です。
エンジンスイッチが ON のときにヘッドライトが点灯すると，停車時にヘッドライトの光軸を自動的に調整します。

◆ ヘッドライトオートレベリング警告灯

J00611300034

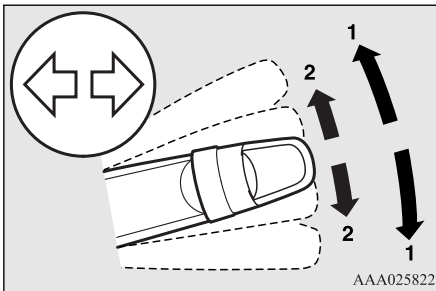
正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。

注意

- エンジンスイッチを ON にしても警告灯が点灯しない，または点灯したままのときは装置の故障が考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

方向指示レバー

J00604200507

エンジンスイッチが ON のときにレバーを(1)まで操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。
レバーはハンドルを戻すと自動的に戻ります。ゆるいカーブなどで戻らないときは手で戻してください。
車線変更などのときは，レバーを(2)まで軽く操作すると操作している間だけ方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。
また，レバーを(2)まで軽く操作し，すぐ離すと3回, 方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。

AAA025822

1- 方向指示
2- 車線変更

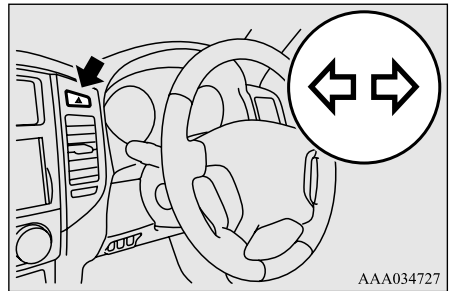
アドバイス

- 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - 方向指示灯の点滅に合わせてブザーを鳴らす。
  - エンジンスイッチがONまたはACCのときにレバーを操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯を点滅させる。
  - 車線変更時，方向指示灯の3回点滅機能を働かなくする。
  - 3 回点滅機能のレバー操作時間を調整することができます。

非常点滅灯スイッチ

J00604300058

故障したときなど，やむを得ず路上に車を止めたいときに使用します。
スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し，メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。

AAA034727

アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長時間使用するとバッテリーが上がり，エンジンがかからなくなることがあります。
- 方向指示灯の点滅に合わせてブザーを鳴らすことができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

6

フォグランプスイッチ

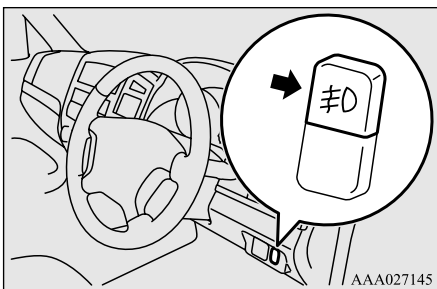
J00604400020

フロントフォグランプスイッチ

タイプ別装備

J00606300049

霧の出ているとき，雨や雪などの降る夜間など視界が悪いときに使用します。
ヘッドライトまたは尾灯が点灯しているときにスイッチを押すと，フロントフォグランプが点灯し，メーター内の表示灯も点灯します。消灯するときはもう一度スイッチを押します。

AAA027145

アドバイス

- ヘッドライトと尾灯が消灯すると，フロントフォグランプも自動消灯します。
  再度点灯させたいときは，ヘッドライトまたは尾灯が点灯しているときに，もう一度スイッチを押します。

リヤフォグランプスイッチ

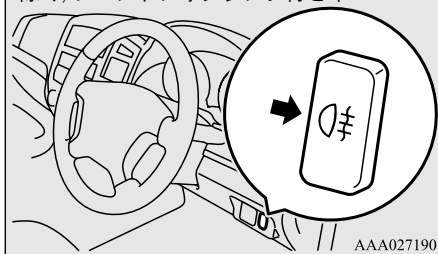
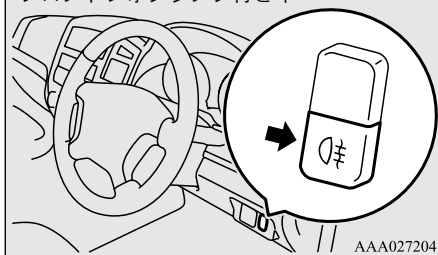
J00606400053

霧の出ているとき，雨や雪などの降る夜間など視界が悪いときに使用します。
ヘッドライトまたはフロントフォグランプが点灯しているときにスイッチを押すと，リヤフォグランプが点灯し，メーター内の表示灯も点灯します。消灯するときはもう一度スイッチを押します。

除く，フロントフォグランプ付き車

AAA027190

フロントフォグランプ付き車

AAA027204

⚠注意

- リヤフォグランプは視界が悪いときに，自車の存在を後続車に知らせ，追突されるのを防ぐためのものです。視界が悪いとき以外，または市街地走行時などは後続車の迷惑になりますので使用しないでください。

アドバイス

- ヘッドライトと尾灯が消灯すると，フォグランプも自動消灯します。
  再度点灯させたいときは，ヘッドライトまたはフロントフォグランプが点灯しているときに，もう一度スイッチを押します。

ワイパー／ウォッシャースイッチ

J00604800776

⚠注意

- 寒冷時にウォッシャーを使用するとガラスに噴きつけられたウォッシャー液が凍結し，視界を妨げることがあります。ウォッシャー使用前にヒーターやリヤウインドウデフォッガーを使って，ガラスを暖めてください。

アドバイス

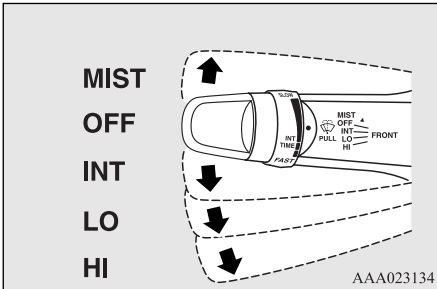
- ガラスがほこりや泥で汚れているときは，洗車するかウォッシャー液を噴射してからワイパーを使用してください。
  汚れたままでワイパーを動かすとガラスに傷がつくことがあります。
- ウォッシャー液が出ないとき，ウォッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
  →「ウォッシャー液の点検・補給」P. 11-3
- 凍結などでワイパーブレードがガラスに張り付いたまま作動させないでください。ガラスに張り付いたまま作動させるとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーターが故障するおそれがあります。
  凍結のおそれがあるときや長時間ワイパーを使用しなかったときは，ワイパーブレードがガラスに張り付いていないことを確認してください。
- ワイパーを作動中，積雪等によりワイパーブレードが途中で止まったときはワイパースイッチをOFFにしてもモーターに電流が流れておりエンジンスイッチをOFFにしないとモーターが焼き付くことがあります。必ず車を安全な場所に止めてエンジンスイッチを OFF にし，ワイパーブレードが作動できるように積雪等を取り除いてください。

フロントワイパースイッチ

J00615400163

◆ 除く，レインセンサー付き車

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

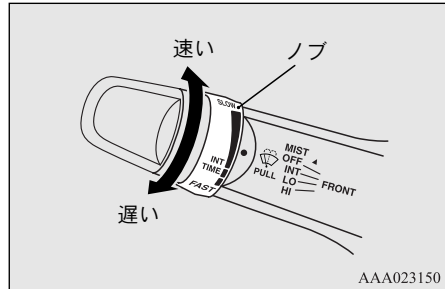
AAA023134

MIST 1回作動（ワイパーミスト機能）
OFF 停止
INT 間けつ作動（車速感応）
車速に応じてワイパーが間けつ作動します。
車速が速くなると間けつ時間が短くなります。
LO 低速作動
HI 高速作動

アドバイス

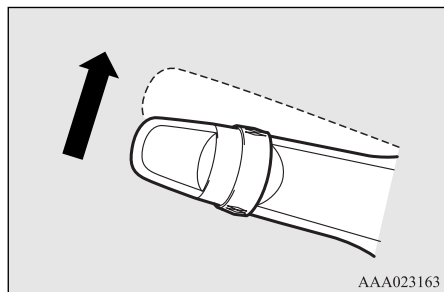
- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - 車速感応の機能を働かなくする。
  - オートライトコントロール付き車は，ワイパーが作動している間，ヘッドライトを自動的に点灯させる。（ライトスイッチがAUTO位置のときのみ）

間けつ時間の調整のしかた

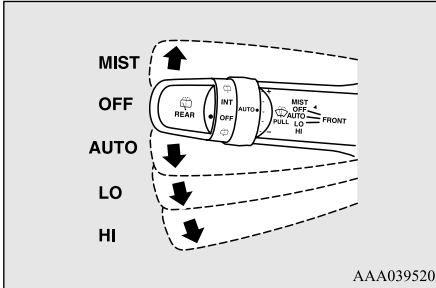
レバーがINT（間けつ作動）位置のときにノブを回すと間けつ時間を調整できます。

AAA023150

ワイパーミスト機能

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。
レバーを MIST 位置に上げて離すとワイパーが1回だけ作動します。
霧雨のときなどにご使用ください。
レバーを MIST 位置に上げている間はワイパーが連続作動します。

AAA023163

◆ レインセンサー付き車

J00618500035

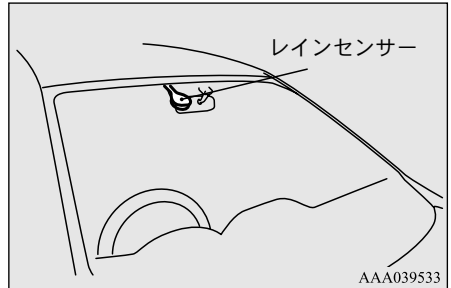
エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

MIST	1回作動（ワイパーミスト機能）
OFF	停止
AUTO	自動作動（雨滴感応） 雨の程度に応じて，自動的にワイパーが作動します。
LO	低速作動
HI	高速作動

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - 自動作動（雨滴感応）を間けつ作動（車速感応）に変更する。
  - 自動作動（雨滴感応）を間けつ作動（除く車速感応）に変更する。

レインセンサー

エンジンスイッチが ON のときに使用できます。レバーをAUTOの位置にすると，雨の程度（雪やその他の液体，ほこりなどを含む）をレインセンサーが感知し，ワイパーが自動作動します。
ただし，つぎのような場合，フロントガラスに傷がついたり，ワイパブレードを傷めるおそれがありますので，レバーをOFFの位置にしてください。

- 晴れた日が続き，フロントガラスが汚れているとき
- 空気が乾燥し，フロントガラスが汚れているとき

⚠注意

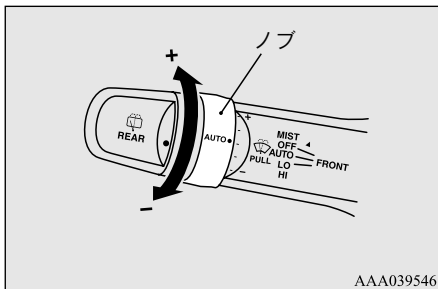
- エンジンスイッチが ON の位置で，レバーが AUTO の位置のとき，つぎのような場合，ワイパーが自動作動することがあります。手や指をはさむと，けがをしたり，ワイパーを損傷するおそれがありますのでエンジンスイッチを OFF にするか，レバーを OFF にして，レインセンサーを停止するよう注意してください。
  - フロントガラス掃除の際，レインセンサーをフロントガラス越しに触れたとき。
  - フロントガラス掃除の際，レインセンサーをフロントガラス越しに拭いたとき。
  - 自動洗車機を使用するとき。
  - フロントガラスに衝撃を与えたとき。
  - レインセンサーに衝撃を与えたとき。

アドバイス

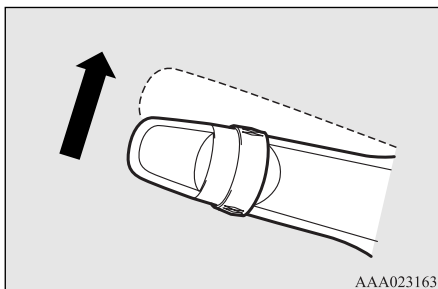
- フロントガラスにステッカーやラベルを貼ってレインセンサーを覆わないでください。また，フロントガラスにコーティングをしないでください。レインセンサーが雨を検知できなくなり，ワイパーが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- つぎのような場合は，レインセンサーの故障が考えられます。
  三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - 雨の程度が変化しているにもかかわらず，ワイパーが一定間隔作動しているとき。
  - 雨が降っているにもかかわらず，ワイパーが動かないとき。
- フロントガラスのレインセンサー部分に虫や異物などが付着したり，フロントガラスが凍結しているときは，ワイパーが自動的に作動することがあります。ワイパーでフロントガラスの付着物を取り除けないときは，ワイパーが自動的に停止します。ワイパーを作動させたいときは，レバーを LO または HI の位置にしてください。
  また，強い直射日光や電磁波等の原因によってもワイパーが自動的に作動することがあります。ワイパーを停止させたいときは，レバーを OFF の位置にしてください。
- フロントガラスの交換・レインセンサー付近のガラス補修をするときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

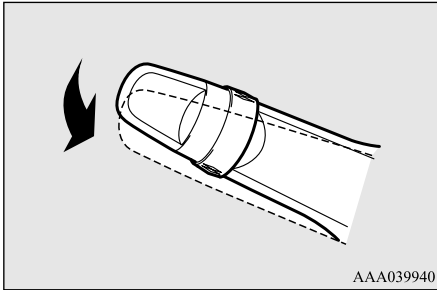
- ワイパーのゴム部分を保護するため，エンジン始動後，車両を止めた状態で，外気温が低いとき（約 0°C 以下のとき）ワイパーは作動しません。

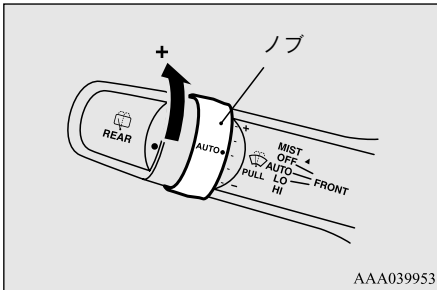
雨滴感応の調整のしかた

レバーが AUTO の位置のときに，ノブを回すとレインセンサーの感度を調整できます。

＋ 高感度（雨に反応しやすい）
- 低感度（雨に反応しにくい）

ワイパーミスト機能

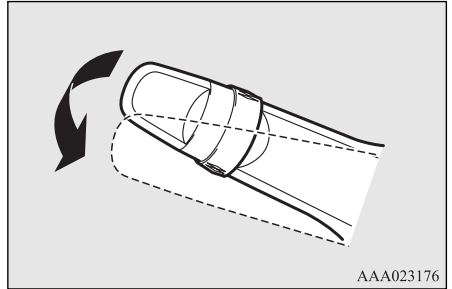
つぎのようにレバーまたは，ノブを操作するとワイパーが1回だけ作動します。霧雨のときなどにご使用ください。
エンジンスイッチが ON または ACC のときにレバーを MIST 位置に上げて離すとワイパーが1回だけ作動します。
レバーを MIST 位置に上げている間はワイパーが連続作動します。

エンジンスイッチがONのとき，レバーをAUTO の位置にして，手前に少し引くとワイパーが1回作動します。

AAA039940

エンジンスイッチがONのとき，レバーをAUTOの位置にして，ノブを+側に回すとワイパーが1回作動します。

AAA039953

フロントウォッシャースイッチ

J00604900461

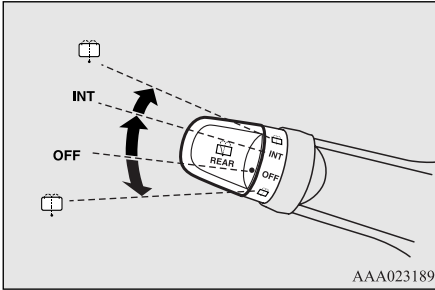
レバーを手前に引いている間ウォッシャー液が噴射します。
ワイパーが作動していないときや間けつ作動中にウォッシャー液を噴射するとワイパーが数回作動します。

AAA023176

アドバイス

- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバーをOFFの位置にして手前に引いた状態でエンジンスイッチをＯＮまたはＡＣＣにするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。
- ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させないようにすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

リヤワイパー／ウォッシャースイッチ

J00605000430

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

レバー先端のツマミを回すとつぎの通り作動します。

INT　間けつ作動（約8秒）おき

OFF　停止

[ウォッシャー記号]　この位置に回している間，ウォッシャー液を噴射。同時にワイパーが数回作動。

アドバイス

- 後方の視界を確保するため，INTの位置で間けつ作動中にセレクターレバーをⓇに入れるとワイパーが自動的に数回作動し，その後間けつ作動に戻ります。
- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバー先端のツマミを[ウォッシャー記号]の位置に回した状態でエンジンスイッチを ON または ACC にするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - ワイパーの間けつ作動時間を調整する。この調整をした場合，間けつ作動だけでなく 1 秒以内にレバー先端のツマミを INT（間けつ作動）の位置に 2 回繰り返して回すと，ワイパーを連続作動に切り換えることができます。（連続作動モード）
  - ワイパーの間けつ作動を連続作動にする。
  - ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させない。

ワイパーディアイサースイッチ

J00605300068

フロントワイパーがフロントガラスに凍結（ワイパー停止位置）しているとき，フロントガラスを暖めてワイパーを作動できるようにします。エンジンスイッチが ON のときにリヤウインドウデフォッガースイッチを押すと作動します。
スイッチは約 20 分後に自動的に切れます。途中でスイッチを切りたい場合は，もう一度スイッチを押します。
→「リヤウインドウデフォッガースイッチ」P. 6-74

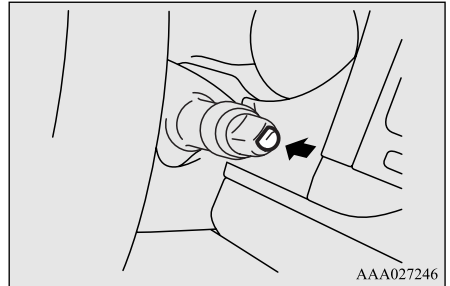
ヘッドライトウォッシャースイッチ

タイプ別装備

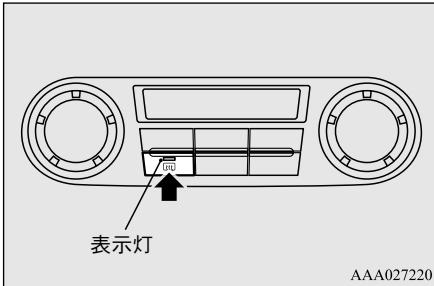
J00605400043

ヘッドライトが汚れたときなど，ウォッシャー液をヘッドライトに噴射してきれいにすることができます。
エンジンスイッチが ON または ACC でヘッドライトが点灯しているときに使用できます。
スイッチを押すとウォッシャー液が約 0.5秒間噴射します。

アドバイス

- 車が止まっているときにスイッチを操作するとヘッドライトに噴射したウォッシャー液が周囲の人や物にかかるおそれがありますので必ず周囲を確認してから行ってください。運転しているときでも周囲の確認を行ってください。
- ウォッシャー液が不足している場合は，ウォッシャー液を補給してください。
→「ウォッシャー液の点検・補給」P. 11-3

リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ

J00605500376

リヤガラスにプリントされた電熱線でガラスを暖めて曇りを取ると同時に，ガラス表面の霜や氷を取り除きやすくします。
エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと作動し，表示灯が点灯します。
もう一度押すとスイッチが切れます。

デフォッガースイッチを押すと同時にウインドウガラスが暖まりワイパーが作動できるようになります。
→「ワイパーディアイサー」P. 6-73
また，ヒーテッドドアミラー付き車は，デフォッガースイッチを押すと同時にドアミラーの曇りも取ることができます。
→「ヒーテッドドアミラー」P. 7-7

アドバイス

- エンジン停止時に使用しないでください。バッテリーが上がり，エンジンがかからなくなることがあります。
- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたらスイッチを切ってください。
  万一，スイッチを切り忘れても約20分後に自動的に切れます。
- リヤガラス付近に物を置かないでください。車の振動で物が当たると電熱線が切れることがあります。
- リヤガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないように柔らかい布を使い電熱線に沿ってふいてください。

ホーンスイッチ

J00605600306

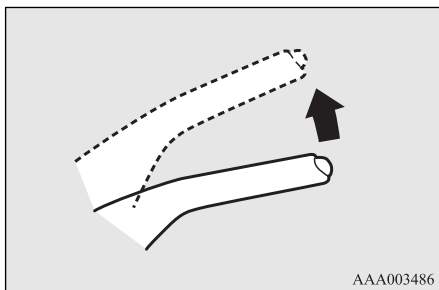
ハンドルのマーク部付近を押すとホーン(警音器)が鳴ります。

運転装置

駐車ブレーキ

J00700101128

かけるときは

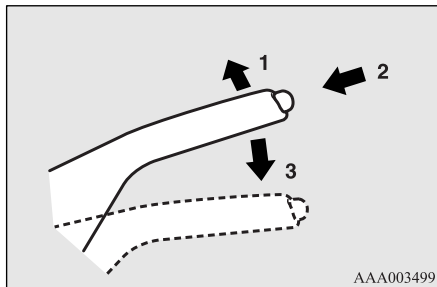
ブレーキペダルを踏んだまま，ボタンを押さずに駐車ブレーキレバーをいっぱいまで引きます。

AAA003486

⚠注意

- 坂道に駐車するときは駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れてください。
- 駐車ブレーキをかけるときはブレーキペダルをしっかり踏み，完全に車を止めてから駐車ブレーキレバーを引いてください。
  車が動いているうちに駐車ブレーキレバーを引くと後輪がロックして車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
  また，駐車ブレーキの故障の原因になります。

解除するときは

1. ブレーキペダルを踏んだまま，レバーを少し引き上げ
2. ボタンを押したまま
3. 完全に戻します。

解除したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。

AAA003499

⚠注意

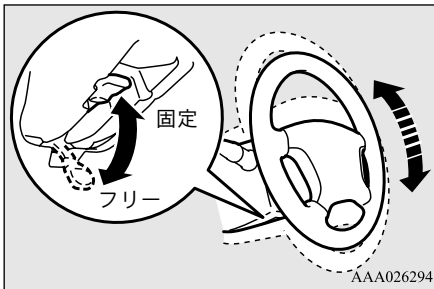
- 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

チルトステアリング

J00700200249

> ⚠注意
>
> ● 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルを手で支えてレバーを押し下げ，ハンドルを上下に動かして調整します。
レバーをいっぱいまで引き上げると固定できます。
調整後はハンドルを上下に動かして固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

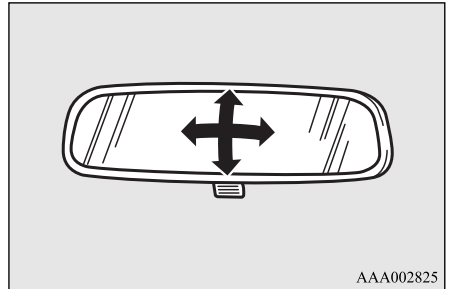
AAA026294

ルームミラー

J00700300413

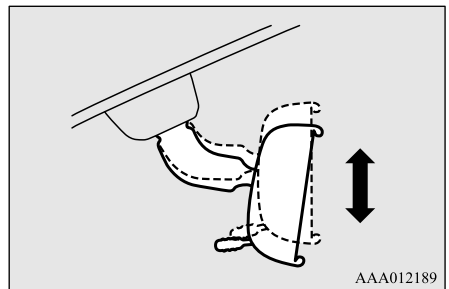
> ⚠注意
>
> ● 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ミラーの角度調整

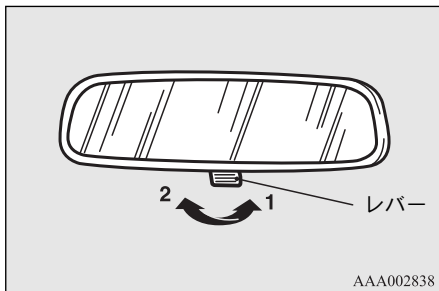
ミラーの本体を上下左右に動かして調整します。

AAA002825

ミラーの上下位置調整

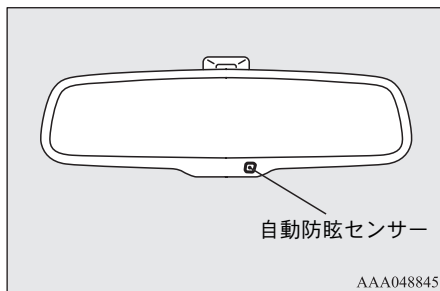
ミラーの本体を上下方向に動かして調整します。

AAA012189

防眩切り換え

Aタイプ

レバーを動かしてミラーの位置を切り換えることができます。

1- 通常はレバーを前方に押した状態で使用します。
2- 後続車のライトがまぶしいときはレバーを手前に引きます。

Bタイプ

後続車のライトがまぶしいとき，まぶしさの度合いに応じて自動的に防眩機能が作動します。
エンジンスイッチを ON にすると自動防眩機能が作動します。

アドバイス

- 自動防眩センサーの周辺にアクセサリーを取り付けたり，ガラスクリーナーをかけたりしないでください。
  自動防眩機能が誤作動する原因になります。
- 外気温が低いときは自動防眩機能の切り換え速度が遅くなります。

ドアミラー

J00700500907

ミラーの角度調整

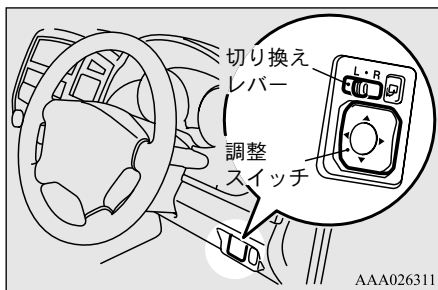
⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。
- ドアミラーは凸面鏡を採用しています。
  凸面鏡は平面鏡に比べ，物が遠くに見え，実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

エンジンスイッチがONまたはACCのときに操作できます。

1. 切り換えレバーを調整したい方向に動かします。
   L：左側ミラーの調整
   R：右側ミラーの調整
2. 調整スイッチを押して角度を調整します。

アドバイス

- 調整が終わったら切り換えレバーは中央の位置に戻してください。

AAA026311

ドアミラーの格納・復帰

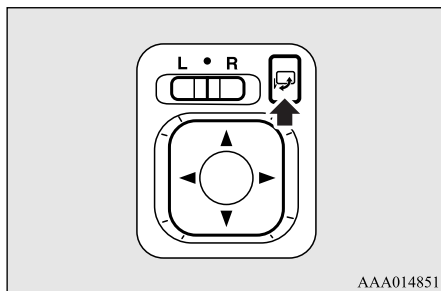
J00718300018

⚠注意

- ミラーを倒したままで運転しないでください。ミラーによる後方確認ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ 格納スイッチによるミラーの格納・復帰

J00718400123

エンジンスイッチがONまたはACCのとき，格納スイッチを押すとミラーが格納されます。もう一度押すと元の位置に戻ります。
エンジンスイッチをLOCKにした後でも，約30秒間はミラーを格納・復帰することができます。

AAA014851

⚠注意

- ミラーは手で倒すことも戻すこともできますが，格納スイッチの操作で倒したミラーは手で戻さず，再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。
  格納スイッチで倒したミラーを手で戻すとミラーの固定が不完全になり，走行中の振動および風の影響などでミラーが動き，後方の確認ができなくなります。

アドバイス

- ミラーが動いているときは手などをはさまないように注意してください。
- キーレスエントリーのリモコンスイッチでもミラーの格納，復帰操作ができます。
→「キーレスエントリー」P. 4-4
- 手でミラーを動かしたり，人や物に当たってミラーが動いたあとは，格納スイッチでミラーを元の位置に戻せないことがあります。
このようなときは，一度格納スイッチを押してミラーを格納状態にしたあと，再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。
- バッテリーの電圧不足のとき，ミラーの復帰作動中にエンジンを始動すると，ミラーが途中で止まることがあります。
このようなときは，一度格納スイッチを押してミラーを格納状態にしたあと，再度格納スイッチを押してミラーを復帰してください。
- 凍結などによりドアミラーが動かないときはミラー格納スイッチを何回も操作しないでください。モーターが焼き付くことがあります。

◆ ミラーの自動復帰

J00718500052

ミラーを格納した状態でエンジンスイッチを ON にした後，走行スピードが約 30km/h になると，安全のためミラーが自動的に復帰します。

アドバイス

- エンジン始動後に，格納スイッチを押して一度ミラーを格納したり，手動で格納した場合は，自動復帰しません。
この場合は，格納スイッチを押してミラーを復帰してください。
エンジンスイッチを LOCK にすれば自動復帰の状態に戻ります。
- つぎのとおり機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - エンジンスイッチONで自動復帰，エンジンスイッチOFF後, 運転席ドアを開くと自動格納する
  - キーレスエントリーのリモコンスイッチですべてのドア（含む，バックドア）を施錠，解錠すると自動格納，自動復帰する
  - 自動格納・復帰の機能を働かなくする

7

ヒーテッドドアミラー

タイプ別装備

J00706800289

エンジンスイッチが ON のときにリヤウインドウデフォッガースイッチを押すと，ドアミラー内部のヒーターが作動し，ミラーの曇りを取ります。
もう一度押すとヒーターは切れます。スイッチを切り忘れても約 20 分後に，自動的に切れます。
→「リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ」P. 6-74

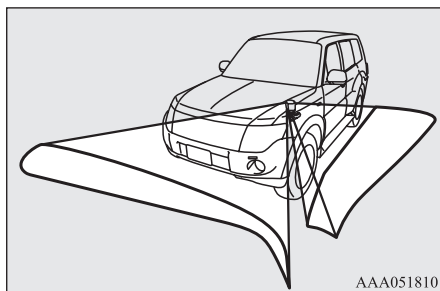
サイドアンダーミラー

J00700600201

発進時またはごく低速時に車両前方および助手席側の車両側面を確認するときに使用します。

⚠注意

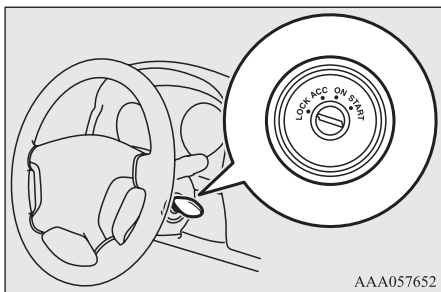
- 後方の確認はルームミラー，ドアミラーで行ってください。
- 車の直前，後方および左斜め前方は運転席からでは十分に確認しにくい箇所です。駐車場などで前進または後退を行うときはミラーだけにたよらず，一度車から降りて周りの状況をよく確認して車を動かしてください。
- 信号待ちなどで一旦停止したときでも周りの状況に注意し，安全を十分に確認してから発進してください。

ミラーに映るおよその範囲

アドバイス

- サイドアンダーミラーの鏡面は固定式です。鏡面を動かしてミラーの調整はできません。

エンジンスイッチ

J00700800968

AAA057652

各位置の働き

LOCK （ロック）	ハンドルがロックされる位置 キーを抜き差しできます
ACC （アクセサリー）	エンジンを止めたままでもオーディオ，アクセサリーソケットなどが使用できる位置
ON （オン）	エンジン回転中の位置 すべての電気系統が働きます
START （スタート）	エンジンを始動する位置 エンジンがかかったらキーから手を離してください。自動的にONの位置へ戻ります

アドバイス

- エンジン停止時はエンジンスイッチをLOCK にしてください。エンジンスイッチをONまたはACCのままオーディオなどの電気製品を長時間使用すると，バッテリー上がりを起こし，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジンが回転しているときは，キーをSTARTの位置に回さないでください。スターチングモーターが破損することがあります。
- キーがLOCKからACCに回らないときはハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回してください。

エンジンスイッチ照明灯

J00712300120

つぎのようなときにエンジンスイッチの照明灯が点灯し，キーの抜き差しを容易にします。

- いずれかのドアまたはバックドアを開けると点灯し，閉じると減光しながら約15秒後に消灯します。
- すべてのドアおよびバックドアが閉まっているときにキーを抜くと点灯し, 徐々に減光しながら約15秒後に消灯します。

ただし，照明灯が点灯中でもつぎのようなときはすぐに消灯します。

- すべてのドアおよびバックドアを閉じてエンジンスイッチをONにしたとき
- センタードアロックの機能を使って施錠したとき
- キーレスエントリーの機能を使って施錠したとき

アドバイス

- インテリアランプスイッチを消灯（〇）の位置にすると，エンジンスイッチ照明灯は点灯しなくなります。
- 消灯までの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- ルームランプ＆マップランプまたはリヤパーソナルランプの消灯時間を調整すると，エンジンスイッチ照明灯の消灯時間も同時に変更されます。
  また，ルームランプ＆マップランプまたはリヤパーソナルランプが消灯するまでの時間を0秒にする（遅延消灯機能を働かなくする）とエンジンスイッチからキーを抜いてもエンジンスイッチ照明灯は点灯しなくなります。
  →「カスタマイズ（機能の設定変更）」P. 14-11

キーを抜くときは

J00706200573

LOCKまで回して抜きます。

セレクターレバーがⓅでないとキーを抜くことはできません。

7

エンジンのかけ方

J00700901676

⚠警告

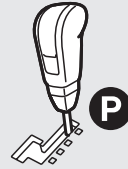
- 車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
- 排気音が変わったり，車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は排気系や燃料系の異常が考えられますので，必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジン回転中にエンジン警告灯が点灯または点滅したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
→「エンジン警告灯」P. 6-14

アドバイス

- バッテリー上がりやスターチングモーターの故障を防ぐため，START にして 10 秒以上スターチングモーターを回さないでください。10 秒以上たってもエンジンがかからなかったときは，一旦キーをLOCKに戻し，2～3秒待ってから再度エンジンをかけてください。エンジンやスターチングモーターが止まらないうちに始動の操作を繰り返すと関連部品の故障の原因となります。
- エンジンが冷えているときや，再始動直後はエンジン保護のため高回転させたり，高速運転は避けてください。
- エンジン始動直後にカチカチ音がすることがありますがエンジンの構造的なものです。しばらくすれば音は止まります。

1. 正しい運転姿勢をとります。
ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
→「フロントシート」P. 5-5
2. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
3. セレクターレバーがⓅにあることを確認します。

アドバイス

- セレクターレバーがⓅまたはⓃ以外ではエンジンがかかりません。
安全のため車輪が固定できるⓅでエンジンをかけてください。

7

4. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠警告

● アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

● エンジンがかからないときはつぎの手順にしたがってください。
- ブレーキペダルを踏んだままアクセルペダルを半分程度踏みながらエンジンをかけてください。
- エンジンがかかったらアクセルペダルをすみやかに戻してください。

5. つぎの方法でエンジンをかけます。

ガソリン車

J00720900024

エンジンスイッチを START に回してエンジンをかけます。

7

ディーゼル車

J00701000026

◆ エンジンが暖かいとき

1. エンジンスイッチを ON の位置まで回します。
2. メーター内のグロー（予熱）スタート表示灯が消灯していることを確認します。
   →「グロー（予熱）スタート表示灯」P. 6-12
3. アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチを START に回してエンジンをかけます。

◆ エンジンが冷えているとき

1. エンジンスイッチを ON の位置まで回します。
   エンジンの予熱が始まり，メーター内のグロー（予熱）スタート表示灯が点灯します。
   →「グロー（予熱）スタート表示灯」P. 6-12
2. グロー（予熱）スタート表示灯が消灯するまで，エンジンスイッチを ON のまま保持します。
   エンジンの予熱が完了すると，グロー（予熱）スタート表示灯は自動的に消灯します。
3. アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチを START に回してエンジンをかけます。

アドバイス

- エンジンが冷えているときは，グロー（予熱）スタート表示灯の点灯時間が長くなります。
- グロー（予熱）スタート表示灯が消灯した後，しばらくの間エンジンをかけなかったときは，エンジンスイッチを ACC に戻し，再度グロープラグの予熱を行ってからエンジンをかけてください。
- 長い間車を使用しなかったときは，数回スターチングモーターを回してもエンジンがかからないことがあります。
  これはディーゼル車の燃料系統にエア（空気）が入りエンジンがかからなくなっているためです。燃料系統のエア抜きを行ってください。
  (エア抜きの方法については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。)

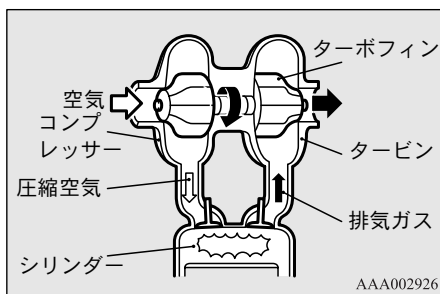
ターボ車の取り扱い

J00701200262

ディーゼル車

⚠注意

- エンジンをかけた直後は，空ぶかしや急加速などでエンジンを高回転させないでください。
- 高速走行または登坂走行をした後は，低速走行やアイドリング運転でターボが冷えるのを待ってからエンジンを止めてください。

ターボとは…

正式にはターボチャージャーといい，シリンダー内へ大量の空気を過給してより大きなパワーを引きだします。ターボフィンは超高速で回転し，高温下で使われ，潤滑はエンジンオイル，冷却はエンジンオイルと冷却水で行っています。エンジンオイルは定められた時期に交換しないとターボ軸受部の固着，異音の発生などの原因となります。

ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF)

J00721000022

ディーゼル車

ディーゼルパティキュレートフィルター(DPF)は，ディーゼルエンジンの排気ガスに含まれるすすを燃焼・除去する装置です。

DPF で集めたすすは，運転中に自動的に燃焼・除去されます。

ただしつぎのような場合，燃焼・除去されないことがあります。

- 低速で長時間走行を続けたとき。
- 短時間または短距離走行を繰り返したとき。

⚠警告

- 枯草や紙など燃えやすいものの近くには車を止めないでください。
  走行後の DPF および排気管は，高温になっているため，火災になるおそれがあります。

⚠注意

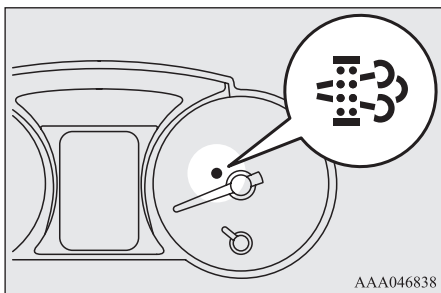
- 指定以外の燃料およびエンジンオイルを補給しないでください。また，燃料添加剤や水抜き剤などを使用しないでください。DPF に悪影響をおよぼすおそれがあります。
  →「メンテナンスデータ：燃料の量と種類」P. 14-2
  →「メンテナンスデータ：オイル類の量と種類」P. 14-3

アドバイス

- 運転中に自動ですすを燃焼・除去しているとき，排気ガスの臭いが変化したりアイドル回転数が高くなることがありますが異常ではありません。

DPF表示灯

J00721100010

正常なときは，エンジンスイッチをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。DPF表示灯が点灯したままのとき，または点滅したときは，つぎの方法で処置してください。

AAA046838

◆ DPF表示灯が点灯したときは

DPF で集めたすすを，燃焼・除去する必要があります。
DPF に集めたすすの燃焼・除去を促進させるため，低速での連続走行や短距離走行の繰り返しを避け，つぎのことを目安に走行してください。

<走行の目安>
水温計の中間近くで指針が安定した状態で，約20km/h以上で走行する。

通常であれば数分後に，DPF にたまったすすの燃焼・除去を開始します。
燃焼・除去中は，グロー（予熱）スタート表示灯が点灯します。通常30分程度の走行でDPF表示灯とグロー（予熱）スタート表示灯が消灯し，燃焼・除去を終了します。
→「グロー（予熱）スタート表示灯」P. 6-12

上記の条件で走行してもDPF表示灯が点灯したままのときは，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

⚠注意

- 必ず目安の条件で連続走行をしなければならないわけではありません。常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。

アドバイス

- DPF 表示灯が点灯しても，すぐに問題があるわけではありません。
  表示灯が点灯してからも，50km以内の距離であればそれまで通りの使用を続けても問題ありません。

◆ DPF表示灯が点滅したときは

DPF 関連システムに何らかの異常が発生しています。できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

- DPF 表示灯が点滅したまま走行を続けると，エンジンの不調およびDPF の破損につながるおそれがあります。

燃料噴射量学習機能

J00721200011

ディーゼル車

排気ガスの濃度およびエンジン音を低く抑えておくために，燃料噴射量の学習を自動的に行ないます。
学習中，エンジン音がわずかに変化しますが異常ではありません。

オートマチックトランスミッション

J00701900269

INVECS-II　スポーツモード 5A/T

INVECS:　Intelligent ＆ Innovative Vehicle Electronic Control System

INVECS-II スポーツモード 5A/T は，路面や走行状況に応じて，適切にシフトチェンジを行い，低燃費でスムーズな走行を実現します。

◆ 上り坂では

アクセルペダルを戻しても不必要なシフトアップを防止し，スムーズな走りを実現します。

◆ 下り坂では

状況に応じてシフトチェンジのタイミングを変更して，運転者のフットブレーキを踏む回数を低減します。

⚠注意

- エンジンブレーキの効きが弱いと感じた時は，必要に応じてフットブレーキを踏んだり，スポーツモードを使ってシフトダウンしてください。なお，滑りやすい路面ではシフトダウンするとタイヤがスリップする恐れがありますので，常に道路状況に合った安全な運転を心がけてください。

◆ スポーツモード

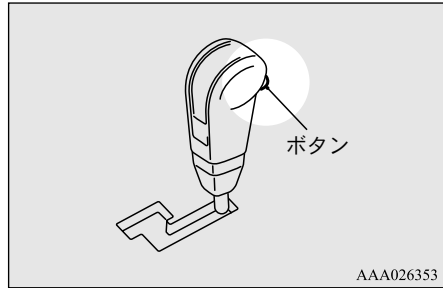
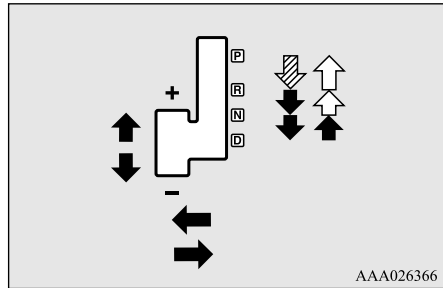
「スポーツモード」では，マニュアルトランスミッション感覚でスポーティな運転を楽しむことができます。
→「スポーツモード」P. 7-19

「安全なドライブのために：オートマチック車の取り扱い」も合わせてお読みください。
→P. 2-16

アドバイス

- 新車のときやバッテリーを外した後はスムーズに変速しないことがありますが異常ではありません。これは電子制御システムの学習内容が消去されたためで，数回変速を繰り返した後にはスムーズに変速するようになります。

セレクターレバーの動かし方

J00702000313

- （斜線矢印）ブレーキペダルを踏んだまま，ボタンを押して操作します。
- （黒矢印）ボタンを押さずに操作します。
- （白矢印）ボタンを押したまま操作します。

⚠警告

- ⬇の操作は必ずボタンを押さずに行ってください。いつもボタンを押したまま操作すると誤ってⓅ，Ⓡに入れてしまい，思わぬ事故の原因となり重大な傷害を受けるおそれがあります。
- セレクターレバーをⓃ→ⒹまたはⓃ→Ⓡに操作するときは，安全のため必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

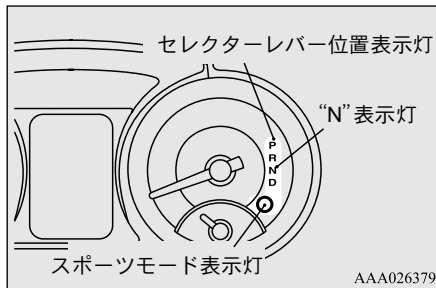
- ブレーキペダルを踏んでいないと，シフトロック装置が働いてⓅから他の位置に操作できません。また，キーが LOCK 位置のときはブレーキペダルを踏んでもⓅから他の位置に操作できません。
- ⇩の操作はブレーキペダルを先に踏んでから行ってください。ブレーキペダルを踏む前に操作すると，セレクターレバーが動かなくなることがあります。
- ⒹからⓇ, ⓇからⒹおよびⓅに入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み，完全に車を止めてから入れてください。車が動いているうちにⓅやⓇに入れるとトランスミッションの故障の原因になります。

セレクターレバー位置表示灯／“N”表示灯

J00702200386

セレクターレバーの位置をランプで表示します。

→「スポーツモード表示灯」P. 7-20

⚠注意

- Ⓓまたはスポーツモードで走行中に“N”表示灯が点滅したときは，トランスミッションに何らかの異常が発生し，安全装置が働いていると考えられます。できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

セレクターレバーの位置・働き（メインゲート）

J00702500451

	（パーキング） 駐車およびエンジンをかけるとき	車輪が固定されます。駐車のときは必ず駐車ブレーキをかけてⓅにしてください。 Ⓟでのみエンジンスイッチからキーが抜けます。
	（リバース） 後退させるとき	Ⓡにするとブザーが鳴り, Ⓡにあることを運転者に知らせます。

⚠注意

- ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。

	（ニュートラル） 中立	動力が伝達されません。 この位置でもエンジンをかけることができますが安全のためⓅで行ってください。
	（ドライブ） 通常走行	発進から高速走行まで自動的に変速されます。 （1速から5速まで自動的に変速されます。）

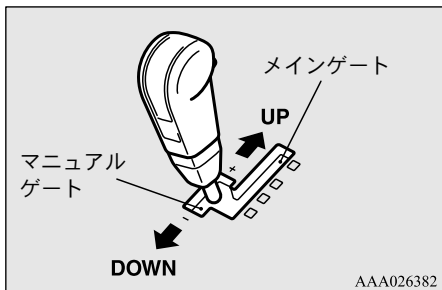
アドバイス

- マニュアルゲートの使い方は「スポーツモード」の項をご覧ください。→P. 7-19

スポーツモード

J00702600247

停車中や走行中にⒹからセレクターレバーをマニュアルゲートに入れることで，スポーツモードが選択されます。通常のⒹ走行に戻りたいときは，セレクターレバーをメインゲートに戻します。

スポーツモードでは，セレクターレバーを前後に動かすだけで，素早くシフトチェンジすることができます。
マニュアルトランスミッションと違って，アクセルペダルを踏み込んだままシフトチェンジをすることができます。
カーブの手前の軽快なシフトダウンによる減速とすばやいコーナーの立ち上がりなど，スポーティなドライブを楽しむことができます。

＋(UP): 1操作で1段ずつシフトアップ
－(DOWN): 1操作で1段ずつシフトダウン

⚠注意

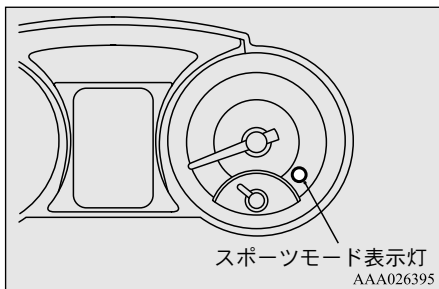
- スポーツモードでは，エンジン回転数がレッドゾーンに入らないよう道路状況に合わせた適切なシフトチェンジをしてください。
- 急激なエンジンブレーキや急加速はスリップの原因になります。道路状況，スピードに合ったシフトダウンを心がけてください。

アドバイス

- 1速から5速の前進ギヤしか選択できません。後退，駐車するときはセレクターレバーをⓇ, Ⓟに入れてください。
- －(DOWN)側へすばやく2回操作すると3速→1速，4速→2速，5速→3速とシフトダウンすることができます。
- スポーツモードで走行中に車速が下がると自動的にシフトダウンし, 停車前に1速に入ります。
- 滑りやすい路面での発進性を良くするため，停止中に＋(UP)側へ1回操作すると2速で発進できます。－(DOWN)側へ操作すると1速に戻ります。
- 走行性能を確保するため，車速によっては＋(UP)側へ操作してもシフトアップしない場合があります。また，エンジンの過回転を防止するため，車速によっては－(DOWN)側へ操作してもシフトダウンしない場合があります。

◆ スポーツモード表示灯

J00712800011

スポーツモードで走行中は変速段をメーター内に表示します。

アドバイス

- スポーツモードを選択しているときは“D”表示灯は消灯しています。

7

オートマチック車の運転のしかた

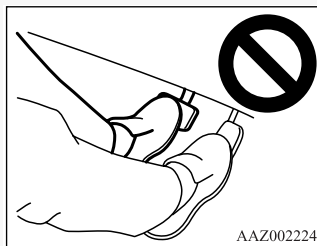
J00702901234

発進

1. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠警告

- ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。
  左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- セレクターレバーをⓅ，Ⓝ以外の位置（前進または後退の位置）に入れるとクリープ現象により，ブレーキペダルから足を離すとアクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。
  特にエアコン作動中などエンジン回転数が高くなるとクリープ現象が強くなりますので，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
  →「クリープ現象」P. 2-16

2. セレクターレバーを前進はⒹ，後退はⓇに入れます。

> ⚠警告
>
> ● セレクターレバーの操作は必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

3. セレクターレバーの位置を確認します。

4. 周囲の安全を確認し，駐車ブレーキを解除します。
5. ブレーキペダルを徐々にゆるめ，アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

◆ 急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないよう駐車ブレーキをかけたまま，ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら，車が動き出す感触を確認し，駐車ブレーキを解除して発進します。

走 行

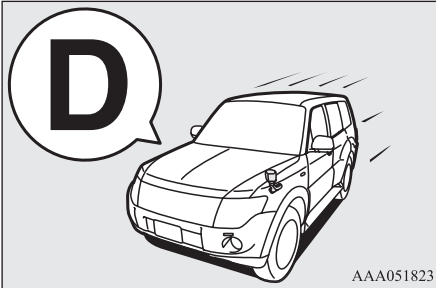
> ⚠警告
>
> ● 走行中はセレクターレバーをⓃに入れないでください。エンジンブレーキがまったく効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。また，誤ってⓅ，Ⓡに入れてしまった場合，トランスミッションの故障の原因になります。

> ⚠注意
>
> ● セレクターレバーは走行状況に合った正しい位置で使用してください。
> 坂道などで，前進の位置（Ⓓまたはスポーツモード）にしたまま惰性で後退したり，後退の位置Ⓡにしたまま惰性で前進しないでください。
> エンストしてブレーキの効きが非常に悪くなったり，ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

7

◆ 通常走行

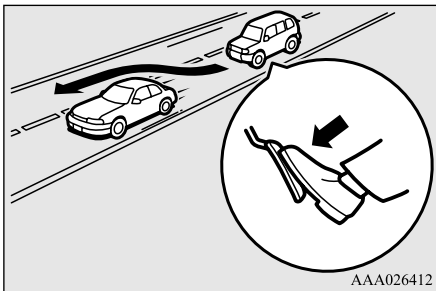
セレクターレバーをⒹで走行します。
発進するとスピードに応じて自動的に変速されます。

AAA051823

セレクターレバーをマニュアルゲートに入れるとスポーツモードが選択され，マニュアルトランスミッションのような走行が楽しめます。
→「スポーツモード」P. 7-19

◆ 急加速したいとき

アクセルペダルを深く踏み込みます。
自動的に低速ギヤに切り換わって急加速ができます。これをキックダウンといいます。

AAA026412

停 車

1. セレクターレバーはⒹのままブレーキペダルをしっかりと踏みます。

⚠注意

- エアコン作動時などは，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかり踏んでください。

2. 必要に応じて駐車ブレーキをかけます。

⚠注意

- 急な上り坂ではクリープ現象が働いても，車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み，しっかりと駐車ブレーキをかけてください。
- 上り坂でブレーキペダルを踏まずに，アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。トランスミッションの故障の原因になります。

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときはセレクターレバーをⓃに入れます。

⚠注意

- 停車中はむやみに空ぶかしをしないでください。万一，セレクターレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていると思わぬ急発進の原因になります。

4. 再発進するときは，セレクターレバーがⒹ位置にあることを確認してから発進してください。

アドバイス

- セレクターレバーがⓅまたはⓃに入っているときにアクセルペダルを踏み込んだ場合，エンジン回転数の上昇が制限されることがあります。

駐 車

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. セレクターレバーをⓅに入れます。

⚠注意

- Ⓟでは車輪が固定されるため，車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずセレクターレバーがⓅに入っていることを確認してください。
- 車が完全に止まらないうちにⓅに入れると，急停止してけがをするおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

アドバイス

- 坂道では，まず駐車ブレーキをかけてからつぎにセレクターレバーをⓅに入れてください。駐車ブレーキをかけずにⓅに入れると発進時にセレクターレバーの操作力が重くなる場合があります。

4. エンジンを止めます。

⚠注意

- 車から離れるときは必ずエンジンを止め，キーを抜いてください。
エンジンをかけたままにしておくと，万一，セレクターレバーがⓅ以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

スーパーセレクト4WD II

J00707900014

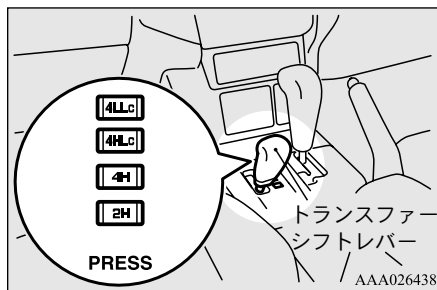
スーパーセレクト 4WD II は，トランスファーシフトレバーの操作により走行状況に合わせて 4 種類の駆動モードを選択できる4WDシステムです。

トランスファーシフトレバー

J00709300067

路面の状態に応じてトランスファーシフトレバーを各位置に切り換えます。

◆ トランスファーシフトレバー位置

J00709400084

トランスファーシフトレバー位置／駆動モード		2WD/4WD作動表示灯	働き
2H	2WD	4L	乾いた一般道路や高速道路を経済的に走行するときの位置です。
4H	フルタイム4WD	4L	スーパーセレクト4WD IIの基本位置です。 一般道路, 高速道路や滑りやすい路面を走行するときの位置です。
4HLc	ハイレンジセンターデフロック4WD	4L	悪路, 砂地, 深い雪道走行するときの位置です。
4LLc	ローレンジセンターデフロック4WD	4L	急登坂, 急降坂, 砂地, ぬかるみなどの悪路を走行するとき(特に大きな駆動力が必要な低速走行)の位置です。

⚠注意

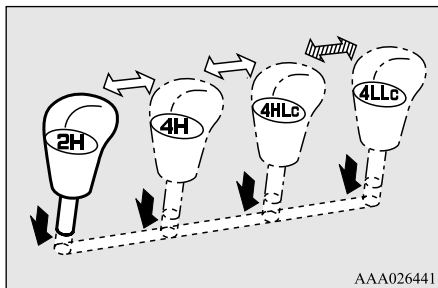
- 「4LLc」では約70km/hを超えないようにしてください。
  オートマチックトランスミッション保護のため，エンジン制御が働くことがあります。

アドバイス

- 「4LLc」では5速に変速しません。

◆ トランスファーシフトレバーの操作

J00709500056

レバーを押し下げながら操作します。

AAA026441

⇔ : 2H ↔ 4H ↔ 4HLc

走行中でも停車中でも操作できます。

停車中
セレクターレバーを🅝（ニュートラル）に入れ，トランスファーシフトレバーを操作します。

走行中
セレクターレバーを🅓（ドライブ）に入れ，車を直進状態にします。
つぎにアクセルペダルを戻した状態でトランスファーシフトレバーを操作します。

⇔ : 4HLc ↔ 4LLc

停車して操作します。

アクセルペダルを戻した状態でセレクターレバーを🅝（ニュートラル）に入れ，トランスファーシフトレバーを操作します。

⚠ 注意

- 雪道等で後輪を空転させたまま，トランスファーシフトレバーを操作しないでください。
- 乾いた舗装道路は「4H」または「2H」で走行してください。特に乾いた高速道路は絶対に「4HLc」または「4LLc」で走行しないでください。
  乾いた舗装道路を「4HLc」または「4LLc」で走行すると燃料の消費量が多くなったり，騒音，タイヤの早期摩耗を発生することがあります。
  また，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなど重大な故障の原因となるおそれがあります。
  必ず「4H」または「2H」で走行してください。

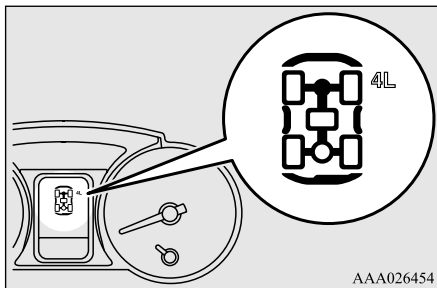
7

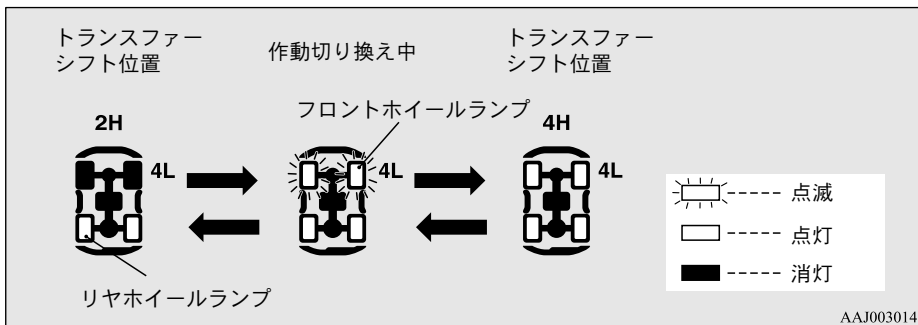
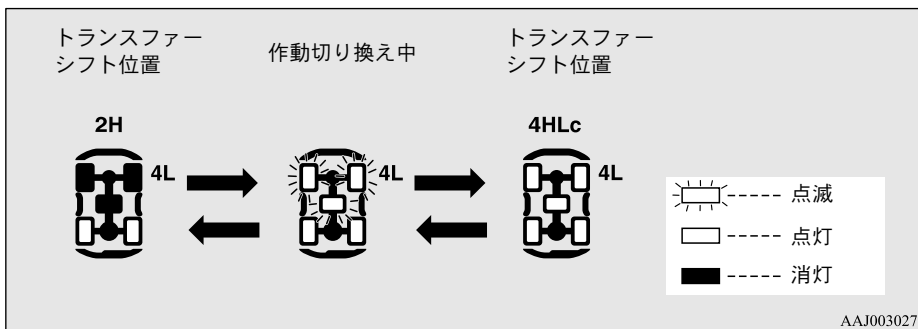
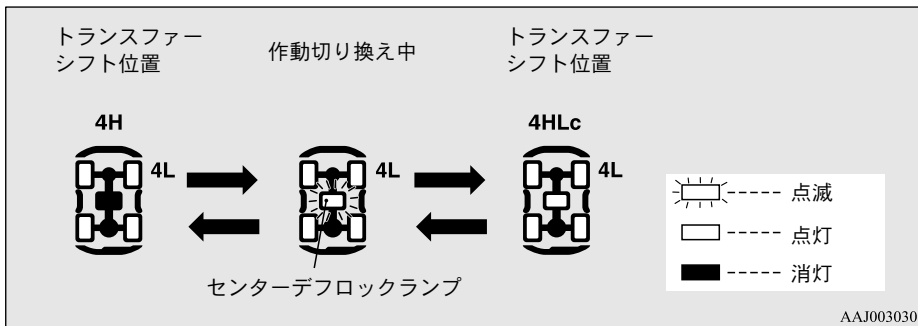
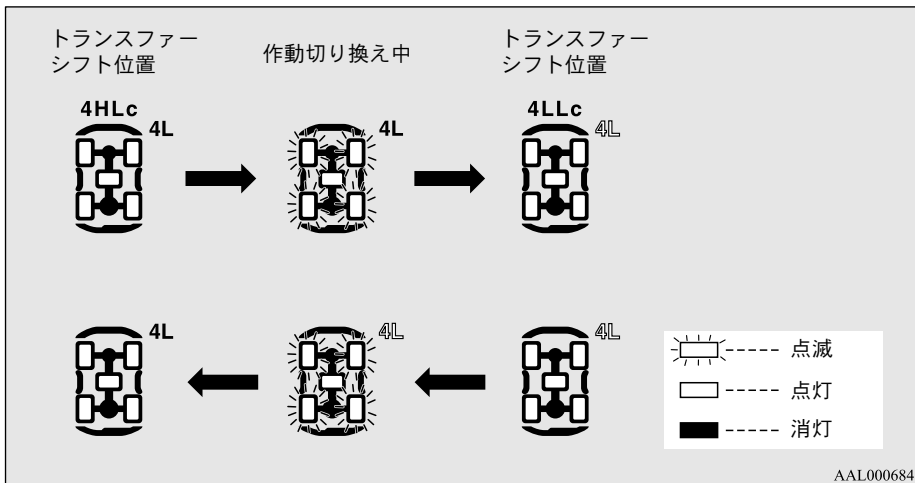
アドバイス

- 「2H」↔「4H」↔「4HLc」の切り換えは時速100km/h以下で行ってください。
- 「4HLc」↔「4LLc」の切り換え中にセレクターレバーを操作するとギヤ鳴り音がする場合があります。2WD/4WD 作動表示灯で「4HLc」または「4LLc」に切り換わったことを確認してからセレクターレバーを操作してください。
- 寒冷時に, 走り始めてすぐに「2H」→「4H」に切り換えるとギヤ鳴り音がする場合があります。寒冷時は停車して切り換えてください。
- 停車中に「2H」↔「4H」↔「4HLc」に切り換え 2WD/4WD 作動表示灯が点滅しているときは，作動切り換え中です。徐行し，表示灯が点滅から点灯状態になったことを確認してから，通常走行してください。
  →「2WD/4WD 作動表示灯」P. 7-26
- クルーズコントロール付き車は，クルーズコントロールが作動中に「2H」↔「4H」↔「4HLc」に切り換えると，ギヤ鳴り音がすることがあります。

2WD/4WD作動表示灯

J00708200085

エンジンスイッチがONのとき, メーター内の 2WD/4WD 作動表示灯が数秒間点灯した後，トランスファーの切り換え状態を表示します。

各トランスファーシフト位置での2WD/4WD作動表示灯の点灯状態はつぎの通りです。

「2H」↔「4H」

「2H」↔「4HLc」

「4H」↔「4HLc」

「4HLc」↔「4LLc」

7

⚠注意

- トランスファーシステムに何らかの異常が発生し安全装置が働くと, フロント／リヤホイールランプが消灯するとともにセンターデフロックランプが点滅して，トランスファーの切り換えができなくなります。

- センターデフロックランプが点滅したときは，つぎの手順で処置してください。
  1. 安全な場所に停車し，エンジンを止めます。
  2. 再度エンジンをかけ，通常の表示に戻れば元のように走行できます。点滅しつづけるときや，たびたび点滅するときは最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

アドバイス

● 作動切り換え中は各ランプ部が点滅します。
点滅状態のときはつぎのことに注意してください。
- ハンドルを切りながら発進するとギヤ鳴り音がする場合や切り換わらない場合があります。
直進状態で切り換えてください。
- 停車中に「2H」↔「4H」↔「4HLc」の切り換え操作をした後，フロントホイールランプまたはセンターデフロックランプが点滅したままのときは，車を直進状態にして前進してください。
- 走行中に「2H」↔「4H」↔「4HLc」の切り換え操作をした後，フロントホイールランプまたはセンターデフロックランプが点滅したままのときは，車を直進状態にして，アクセルペダルをゆっくり数回踏んでください。
- 「4HLc」↔「4LLc」の切り換え操作をした後，フロント／リヤホイールランプが点滅したまま切り換わらないときは，トランスファーシフトレバーを切り換え前の位置に戻し，車を直進状態にして前進した後，停車してアクセルペダルを戻します。マニュアル車はクラッチペダルをいっぱいに踏み込み，セレクターレバーをⓃ（ニュートラル）に入れてから，再度切り換え操作を行ってください。

●「4HLc」↔「4LLc」の切り換えをしてもフロント／リヤホイールランプの点滅が早いとき（1秒間に約2回）は，「4HLc」↔「4LLc」の切り換えができません。
必ず停車してアクセルペダルを戻し，セレクターレバーをⓃ（ニュートラル）に入れてから切り換えてください。

AAZ002875

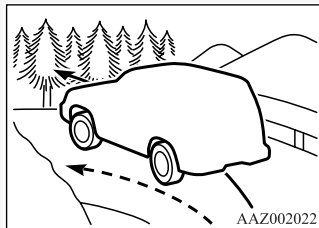
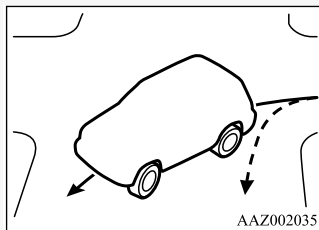
リヤデフロック

タイプ別装備

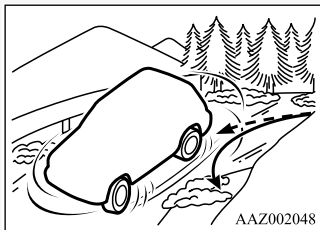
J00708300031

リヤデフロックは片輪が空転し，4輪駆動でも抜け出せなくなったときにリヤデフロック切り換えスイッチの操作で，リヤディファレンシャルを固定（リヤデフロック状態）して脱出を容易にする装置です。

⚠警告

● トランスファーシフトレバーを「4HLc」または「4LLc」に入れ，リヤデフロック状態のまま走行するとつぎのような現象があらわれ大変危険です。
一般走行時には必ずリヤデフロックを解除してください。
- 舗装路では直進する力が非常に強くなりハンドルが切れにくくなることがあります。

- カーブを曲がるときや交差点などで右折，左折するときに旋回ができず直進するおそれがあります。

⚠警告

● 雪上，氷結路では安定した旋回ができにくくなります。

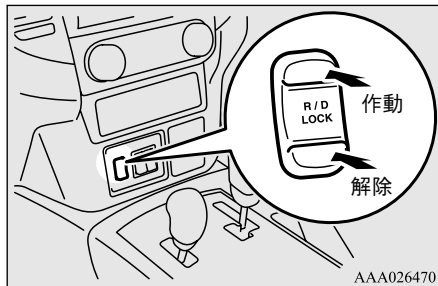
AAZ002048

また，左右のタイヤの接地する路面状況が異なるとき（例：片側アスファルト，他方氷上など）にエンジンブレーキをかけたり，加速すると車両の向きが急に変わることがあります。

リヤデフロック切り換えスイッチの操作

⚠注意

● スイッチを操作するときは，必ず空転しているタイヤを止めて操作してください。タイヤが空転している状態でスイッチを操作すると車両が思わぬ方向へ飛び出すおそれがあります。

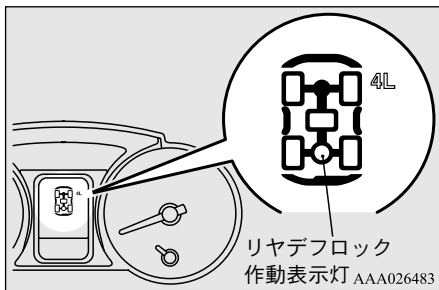
1. トランスファーシフトレバーを「4HLc」または「4LLc」に入れます。
   →「トランスファーシフトレバーの操作」P. 7-25
2. リヤデフロックを作動させるときは，リヤデフロック切り換えスイッチの上側（作動）を押します。
3. リヤデフロックを解除するときは，リヤデフロック切り換えスイッチの下側（解除）を押します。

AAA026470

アドバイス

● トランスファーシフトレバーが「4H」または「2H」のときはリヤデフロックは作動しません。
● トランスファーシフトレバーを「4H」または「2H」に操作することにより，リヤデフロックを解除することができます。

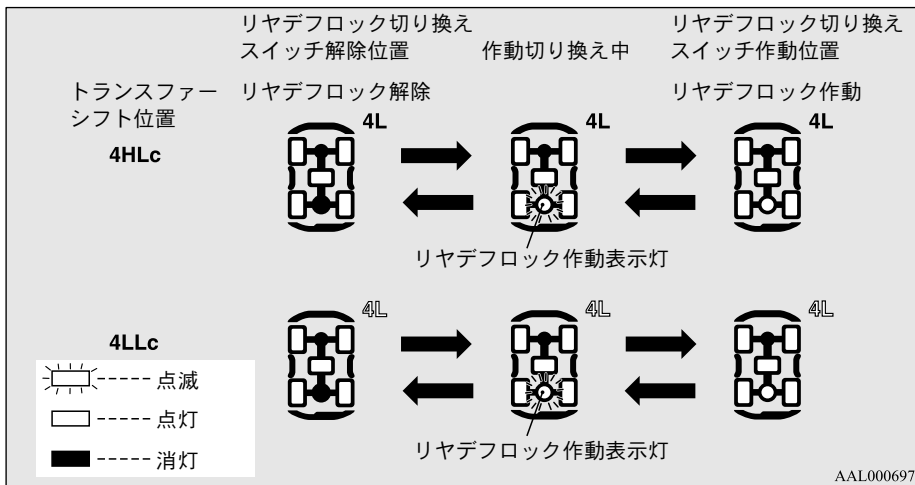
リヤデフロック作動表示灯

J00708400045

エンジンスイッチがONのとき，メーター内のリヤデフロック作動表示灯が数秒間点灯した後，リヤデフロックの作動状態を表示します。

アドバイス

- 2WD/4WD 作動表示灯も数秒間点灯します。
→「2WD/4WD 作動表示灯」P. 7-26

つぎの通り作動状態を表示します。

7

⚠注意

- リヤデフロックシステムに何らかの異常が発生し安全装置が働くと，センターデフロックランプおよびフロント／リヤホイールランプが消灯するとともにリヤデフロックランプが点滅して，リヤデフロックの作動を停止します。

- リヤデフロックランプが点滅したときは，つぎの手順で処置してください。
  1. 安全な場所に停車し，エンジンを止めます。
  2. 再度エンジンをかけ，通常の表示に戻れば元のように走行できます。再度リヤデフロックを作動させたときに点滅する場合は最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

アドバイス

- 作動切り換え中はリヤデフロック作動表示灯が点滅し，リヤデフロックの切り換えが完了すると点灯または消灯します。
- リヤデフロックを作動させると，ASTC表示灯，アクティブスタビリティコントロール機能OFF表示灯，ABS警告灯およびブレーキ警告灯が点灯し，ASTCおよびABSの機能を停止しますが故障ではありません。
  リヤデフロックを解除すると各表示灯，警告灯は消灯し，再度ASTCおよびABSが機能し始めます。
  →「ブレーキ警告灯」P. 6-13
  →「ABS警告灯」P. 7-42
  →「ASTC表示灯」P. 7-45
  →「アクティブスタビリティコントロール機能OFF表示灯」P. 7-47
- リヤデフロック切り換えスイッチを解除にしても，リヤデフロック作動表示灯が点滅したままのときは，車を直進状態にして，アクセルペダルをゆっくりと数回踏んだり戻したりしてください。
- リヤデフロック切り換えスイッチを作動にしても，リヤデフロック作動表示灯が点滅したままのときはつぎのことに注意してください。
  - 車速が約12km/h以上のときは，車速を約6km/h以下にすると，リヤデフロックの切り換えが完了しリヤデフロック作動表示灯が点灯に変わります。
  - 車速が約12km/h以下のときは，リヤデフロック作動表示灯が点灯に変わるまでハンドルを左右に動かしてください。
    ぬかるみなどにはまり込んだ状態では，周囲の安全を確認して前進，後退を繰り返してください。リヤデフロックの切り換えが完了すると，リヤデフロック作動表示灯が点灯に変わります。

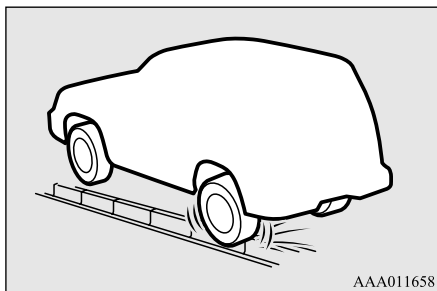
7

リヤデフロックの使用例

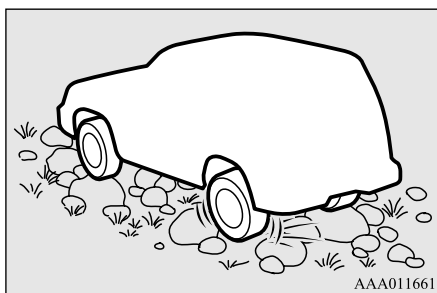
J00708500017

> **⚠ 注意**
>
> ● リヤデフロックはトランスファーシフトレバーを「4LLc」または「4HLc」に入れても脱出できない緊急時のみ使用してください。
> また緊急脱出後は，ただちにリヤデフロックを解除してください。

◆ 脱輪時

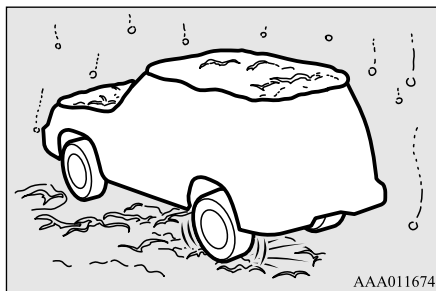
AAA011658

◆ 岩石路脱出時

片輪が宙に浮き，脱出できなくなった場合

AAA011661

◆ 雪上脱出時

片輪が雪上で他方がアスファルトなどで脱出ができない場合

AAA011674

7

4WD車の上手な運転

J00707400279

4WD車といってもどこでも走れるわけではありません。無理な運転はしないでください。路面や傾斜の状態に十分注意して安全運転を心がけてください。

アドバイス

- 運転姿勢はやや起こしぎみにして，ハンドル操作やペダル操作がしやすい位置にシートを調整し，シートベルトは必ず着用してください。
- オフロードを走行したあとは必ず車体各部を点検し，きれいな水で念入りに洗車してください。
  →「オフロードを走行した後は」P. 7-38

7

積雪路や凍結路を走行するときは

積雪や凍結（アイスバーン）の状態に応じてトランスファーシフトレバーを「4HLc」または「4H」に切り換えて走行します。

⚠注意

- 運転中の急加速，急ブレーキ，急なハンドル操作はスリップや横すべりが起こりやすいので行わないでください。

アドバイス

- タイヤチェーンや冬用タイヤを使用することをおすすめします。
- タイヤチェーンを装着した場合は，アンチロックブレーキシステム (ABS) が確実に作動するよう「4H」,「4HLc」,「4LLc」のいずれかで走行してください。
- 車間距離を十分に取り，急ブレーキは絶対に避けて，エンジンブレーキを上手に使ってください。

砂地やぬかるみを走行するときは

砂地，ぬかるみの状態を確認してトランスファーシフトレバーを「4HLc」または「4LLc」に入れ，アクセルペダルを徐々に踏み込んで発進し，アクセルはできるだけ一定にして，低速で走行します。

⚠注意

- 砂地では無理な走行をしないでください。一般道路にくらべてエンジンや駆動系部品への負担が大きくなり，思いがけない故障の原因になります。
- 走行中，水温計の指針が「H」表示部に近づいたときや，メーター内のA/T油温警告灯が点灯したときは，ただちに安全な場所に停車して処置してください。
  →「オーバーヒートしたときは!」P. 13-25
  →「A/T油温警告灯」P. 6-15

アドバイス

- ぬかるみでは，路面の状況がわかりにくいため，深みにはまり込むことがありますので，できれば車から降りて路面の状況を確かめてから運転してください。
- 特にひどいぬかるみを走行する必要があるときは，タイヤチェーンをかける（後輪）と有効です。
- 運転中の急加速，急ブレーキ，急なハンドル操作はスタック（タイヤが砂や泥に埋もれて車が動かなくなる）しやすくなりますので，極力避けてください。
- 車がスタックしたときは，前進と後退を繰り返し，車の反動を利用して脱出します。
  タイヤが空回りして車が動かないときは，アクセルペダルを軽く踏み，駐車ブレーキを軽く引いたまま脱出します。
- 海辺を走行したときは，海水の塩分により，車にさびが発生しやすくなりますので早めに洗車してください。

急な坂道を登るときは

トランスファーシフトレバーを「4LLc」に入れ，エンジンの出力を有効に使います。

⚠注意

- 斜めに蛇行しながら登坂することは避け，できるだけまっすぐに登坂してください。

アドバイス

- 石，砂および凸凹の少ないところを選び，登り始めと終わりはなだらかな傾斜を選んでください。
- 登る前には，車がその斜面を登れるかどうか，一度自分の足で頂上まで歩いて確認してください。

急な坂道を降りるときは

トランスファーシフトレバーを「4LLc」に入れ，タイヤがロックしないようにエンジンブレーキを使いゆっくり降ります。

⚠注意

- 斜めに蛇行しながら降りることは避け，できるだけまっすぐに降りてください。

アドバイス

- 坂を降りているとき，前方に障害を見つけてあわててブレーキをかけると，車のコントロールを失うことがあります。できるだけ降りる前に歩いて斜面の状態を確認してください。
- 坂を降りているときに，途中で変速することを避けて，あらかじめ坂の状態に応じた変速ギヤを選んでおくことが必要です。

渡河など水中走行するときは

4WD車といっても水に対して万全ではありません。電気系統が浸水すれば走行不能となります。水中走行はできるだけ避けてください。
やむをえず水中走行しなければならないときは必ずつぎのことをお守りください。

- 水中走行する前に，あらかじめ川の深さや地形を確認してください。
- 水深70cm以上の場所には入らないでください。
- 海水など塩分を含んだ水には入らないでください。
- トランスファーシフトレバーを「4LLc」に入れてください。
- できるだけ浅い場所を選び5km/hぐらいで波が立たないようにゆっくり走行してください。
- 河川に対し，直角または下流方向へ横断し，途中変速は避けて一気に渡ってください。

⚠注意

- 水中走行は緊急を要する場合に一時的に行ない，長時間の水中走行は避けてください。
- 水中走行後はブレーキの効きが悪くなります。前後の車に十分注意して低速で走行しながらブレーキペダルを軽く数回踏んで効きを回復してください。

アドバイス

- 水深 50cm 以上の場所に入ると室内に水が侵入しますので，必ず三菱販売会社で点検を受けてください。
- ひんぱんに水中走行することは車の寿命に大きく影響します。水中走行後は三菱自動車販売会社にご相談の上，適切な処置および点検を行ってください。

オフロードを走行した後は

J00706500068

- 路面の突起物（石など）により損傷した箇所がないか点検してください。
- きれいな水で念入りに洗車してください。特に砂浜や凍結防止剤の散布された道路を走行したときは塩分で車にさびが発生しやすくなります。

⚠注意

- 洗車後は，低速で走行しながら数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
  ブレーキの効き具合が悪いときは，ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください

- ラジエーターの目詰まりとなる虫や枯れ草などを取り除いてください。
- 渡河など水中走行したあとは，必ず三菱自動車販売会社でつぎの項目を点検し，必要な処置を行ってください。
  - ブレーキの効き具合を点検します。必要な場合は分解整備を行ってください。
  - エンジン，トランスミッション，トランスファー，ディファレンシャルの各オイルまたはグリース量と濁りを点検します。白く濁っている場合は水が混入していますので，オイルまたはグリースを交換してください。
  - プロペラシャフトのグリースアップを行ってください。
  - 室内への水の浸入がないかを点検します。水が浸入している場合はカーペットなどを乾燥させてください。
  - ヘッドライト内への水の浸入がないかを点検します。水が浸入している場合は水抜きを行ってください。

4WD車取り扱い上の注意

J00706600926

乾燥した舗装道路，高速道路を走行するときは

⚠注意

- 乾いた舗装道路は「4H」または「2H」で走行してください。
  特に乾いた高速道路は絶対に「4HLc」または「4LLc」で走行しないでください。
  乾いた舗装道路を「4HLc」または「4LLc」で走行すると燃料の消費量が多くなったり，騒音，タイヤの早期摩耗を発生することがあります。
  また，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなど重大な故障の原因となるおそれがあります。
  必ず「4H」または「2H」で走行してください。

急なカーブを回るときは

「4HLc」または「4LLc」で急なカーブを低速で旋回した場合，ブレーキをかけた状態と同じような現象が発生することがあります。
これはタイトコーナーブレーキング現象と呼ばれているもので，4つのタイヤの軌跡（回転差）が違うために発生する4輪駆動車特有の現象です。
このような現象が発生したときには，ハンドルを直進状態に戻すか後輪駆動に切り換えることによって解消することができます。

⚠注意

- 急旋回したときは，タイトコーナーブレーキング現象を起こし，運転しにくくなりますので，急な旋回は避けてください。

タイヤ，ホイールについて

4WD車は4輪に駆動力がかかるため，タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。タイヤには細心の注意をしてください。

- 4輪とも指定のタイヤ，ホイールを装着してください。
  →「タイヤ，ホイールのサイズ」P. 14-8
- タイヤ，ホイールを交換するときは4輪とも交換してください。
- タイヤのローテーションは10, 000kmごとに行ってください。
  →「タイヤローテーション」P. 11-4
- タイヤの空気圧は定期的に点検してください。
  タイヤの空気圧が適正でないと，駆動モード切り換え時にギヤ鳴り音やショックが発生することがあります。
  →「タイヤの空気圧」P. 14-10

⚠注意

- 同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄および摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に悪影響をおよぼしたり，故障など思わぬ事故につながるおそれがあります。

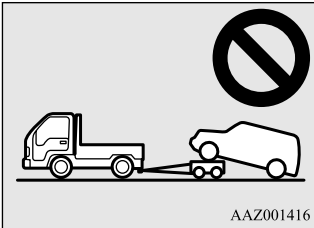
けん引について

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。
ただし，つぎの場合は三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。

⚠注意

- 必ず2WD（後輪駆動）に切り換えてけん引してください。また，4WD（4 輪駆動）のまま前輪または後輪だけを持ち上げたけん引はしないでください。
駆動系部品が損傷したり，車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。
→「けん引」P. 13-27

AAZ001416

- 2WD（後輪駆動）に切り換わらないときや，駆動系部品が故障したと思われるとき（車輪が動かない，異音がするなど）は，必ず 4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください。

アドバイス

- レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て三菱自動車販売会社へ依頼してください。

ジャッキアップするときは

⚠警告

- ジャッキアップ中はエンジンをかけたり，ジャッキアップした車輪を回転させたりしないでください。
接地しているタイヤが回ってジャッキから車体が外れ，重大な事故につながるおそれがあります。

ブレーキアシスト

J00722200119

ブレーキアシストは，緊急制動時などにブレーキペダルを強く踏み込めない運転者を補助し，より大きな制動力を確保する装置です。
ブレーキペダルを素早く踏み込んだときにブレーキが強くかかるようになります。

⚠注意

- ブレーキアシストはブレーキ性能以上の制動力を発揮させる装置ではありません。ブレーキアシストを過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。

アドバイス

- いったんブレーキアシストが作動すると，ブレーキペダルをゆるめても大きな制動力を保持します。
  ブレーキアシストの作動を停止させたいときは，ブレーキから完全に足を離してください。
- 走行中にブレーキアシストが作動すると，ブレーキペダルが固く感じられることがあります。また作動音とともにペダルが小刻みに動いたり，車体やハンドルに振動を感じることがあります。これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- ABS 警告灯が点灯しているときは，ブレーキアシストは作動しません。

アンチロックブレーキシステム(ABS)

J00703000349

アンチロックブレーキシステム (ABS) とは，急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだときに車輪のロックを防止し，制動力を維持し，かつ安定した車体姿勢とハンドル操舵性を保つ装置です。

⚠注意

- ABS は制動時の車体安定性を確保するためのもので必ずしも制動距離が短くなるとはかぎりません。ABS を過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。
- 雪道を走行した後は足回りに付いた雪や泥を取り除いてください。足回りを清掃するときはホイール付近に付いている車速感知装置や配線などを傷付けないよう十分注意してください。
- 4輪とも同一サイズ，同一種類の指定タイヤを装着してください。
  サイズや，種類の異なるタイヤを混用すると，ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル (LSD) を装着しないでください。ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

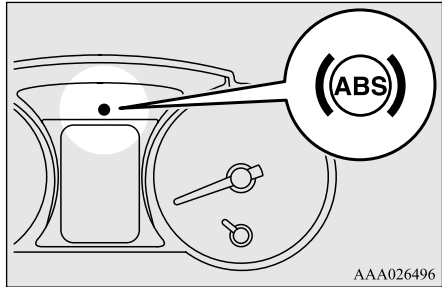
- つぎのような場合は，ABS の付いていない車に比べて制動距離が長くなることがありますので，速度は控えめにし，車間距離を十分とって運転してください。
  - 砂利道や深い新雪路を走行するとき
  - タイヤチェーンを装着しているとき
  - 道路の継ぎ目や段差を乗り越えるとき
  - 凸凹道などを走行するとき
- タイヤチェーンを装着した場合は，ABS が確実に作動するようトランスファーシフトレバーを「4H」，「4HLc」または「4LLc」のいずれかに入れて走行してください。
- マンホール，工事用の鉄板，白線の上，段差を乗り越えるときなど，車輪が滑りやすい状況では，車輪のロックを防止するため急制動以外でもABSが作動することがあります。
- ABSが作動すると車体，ハンドル，ブレーキペダルに振動を感じたり，作動音が聞こえます。
  また，ブレーキペダルを踏み込んだときに固く感じることがあります。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- エンジン始動後または走行開始後に，エンジンルーム内から作動音が聞こえたりブレーキペダルにショックを感じることがあります。これは ABS 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
- ABSは，発進後車速が約10km/hになるまで作動しません。また，車速が約 5km/h まで下がると作動を停止します。

ABS警告灯

J00704500950

正常なときは, エンジンスイッチをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。

注意

- 点灯したままのときまたは点灯しないときは装置の故障が考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- ブレーキペダルを何度も繰り返して踏み込むと，ABS 警告灯とブレーキ警告灯が点灯しブザーが鳴ります。ASTC表示灯，アクティブスタビリティコントロール機能OFF表示灯も同時に点灯します。）しばらくして各警告灯，表示灯が消灯しブザーが止まれば異常ではありません。
- リヤデフロック付き車は，リヤデフロックを作動させると，ASTC 表示灯，アクティブスタビリティコントロール機能OFF表示灯，ABS警告灯およびブレーキ警告灯が点灯し，ASTC および ABS の機能を停止しますが故障ではありません。
  リヤデフロックを解除すると各表示灯，警告灯は消灯し，再度 ASTC および ABS が機能し始めます。
  →「ブレーキ警告灯」P. 6-13
  →「ASTC 表示灯」P. 7-45
  →「アクティブスタビリティコントロール機能OFF表示灯」P. 7-47

走行中に警告灯が点灯したときは

J00704600209

◆ ABS 警告灯のみ点灯したときは

- 急ブレーキや高速走行を避け安全な場所に車を止めます。
  エンジンを停止し，再度エンジンをかけ，その後しばらく走行して点灯しなければ異常ありません。
  しばらく走行しても点灯したままのときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。この場合，ABSは作動せず，普通のブレーキとして作動します。
- バッテリーが電圧不足のときにエンジンをかけると，警告灯が点灯することがありますが ABS の故障ではありません。
  このようなときは，しばらくアイドリング回転でバッテリーを充電してください。
  充電しても点灯したままのときや，たびたび点灯するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ ABS 警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したときは

ブレーキ力の配分機能が作動しないため，急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
急ブレーキや高速走行を避け，車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へ連絡してください。

油圧パワーステアリング

J00703100366

エンジン回転中にパワーアシストが作動し，ハンドルの操作力を軽くする装置です。
もしパワーアシストが作動しなくなったときは，ハンドルが重くなります。この場合は，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠警告

- **走行中はエンジンを止めないでください。エンジンを止めると，ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。**

⚠注意

- ハンドルをいっぱいに回した状態を長く続けないでください。装置が損傷するおそれがあります。

アクティブスタビリティ＆トラクションコントロール（ASTC）

J00709600044

アクティブスタビリティ＆トラクションコントロール (ASTC) はアンチロックブレーキシステム，アクティブスタビリティコントロール機能およびアクティブトラクションコントロール機能を総合的に制御し，車両姿勢を安定させると共に駆動力を確保する装置です。つぎの項も合わせてお読みください。

→「アンチロックブレーキシステム (ABS)」P. 7-41
→「アクティブスタビリティコントロール機能」P. 7-46
→「アクティブトラクションコントロール機能」P. 7-48

⚠注意

- ASTCを過信しないでください。ASTCが作動した状態でも車両の安定確保には限界があり，無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。
- 4輪とも指定サイズで同一サイズ，同一種類のタイヤを装着してください。指定以外のものや異なったサイズ，種類のものを装着すると ASTC が正常に作動しない場合があります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル（LSD）を装着しないでください。ASTCが正常に作動しなくなるおそれがあります。

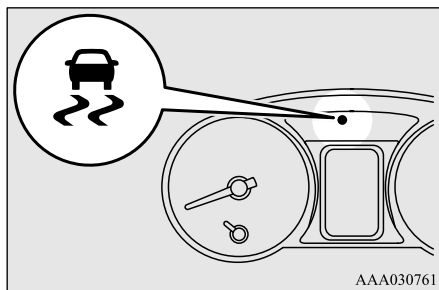
アドバイス

- つぎのような場合は，エンジンルーム内より作動音がすることがあります。また，ブレーキペダルにショックを感じることがあります。これは ASTC 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
  - エンジンスイッチをONにしたとき
  - エンジンをかけてしばらく走行したとき
- ASTCが作動すると，車体に振動を感じたり，エンジンルーム内より作動音が聞こえたりします。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。
- ABS警告灯が点灯しているときは，ASTCは作動しません。
- リヤデフロック付き車は，リヤデフロックを作動させると，ASTC 表示灯，アクティブスタビリティコントロール機能OFF表示灯，ABS警告灯およびブレーキ警告灯が点灯し，ASTC および ABS の機能を停止しますが故障ではありません。
  リヤデフロックを解除すると各表示灯，警告灯は消灯し，再度ASTC および ABSが機能し始めます。
  →「ブレーキ警告灯」P. 6-13
  →「ABS 警告灯」P. 7-42
  →「ASTC 表示灯」P. 7-45
  →「アクティブスタビリティコントロール機能OFF表示灯」P. 7-47

ASTC表示灯

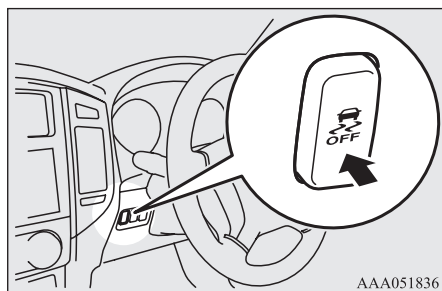
J00713000036

ASTC 表示灯はアクティブスタビリティコントロール機能およびアクティブトラクションコントロール機能の作動状況などを表示します。
詳しくはつぎの項をお読みください。
→「アクティブスタビリティコントロール機能表示灯」P. 7-47
→「アクティブトラクションコントロール機能表示灯」P. 7-48

AAA030761

ASC OFFスイッチ

J00716200039

エンジンスイッチを ON にすると自動的にアクティブスタビリティコントロール機能はONになります。アクティブスタビリティコントロール機能をOFFにしたいときは停車して ASC OFF スイッチを押します。スイッチを押すと，メーター内のアクティブスタビリティコントロール機能OFF表示灯が点灯します。もう一度押すとONになります。

AAA051836

⚠注意

- 安全のため，ASC OFFスイッチの操作は停車しているときに行ってください。
- 通常走行時は必ずアクティブスタビリティコントロール機能を ON にしてください。

ASC OFFスイッチを使うときは

J00716000011

ぬかるみや砂地，新雪などからの脱出時に，トランスファーシフトレバーを「2H」，「4H」または「4HLc」に入れていると，アクセルを踏み込んでもASTCの働きによりエンジン回転が上がらない場合があります。
エンジン回転が上昇せず抜け出せないときは，トランスファーシフトレバーを「4LLc」に入れるかASC OFFスイッチをOFFにしてください。抜け出しやすくなります。
（アクティブスタビリティコントロール機能をOFFにしてもアクティブトラクションコントロール機能のブレーキ制御は作動し続けます。）

アドバイス

- トランスファーシフトレバーが「2H」，「4H」または「4HLc」のときアクティブスタビリティコントロール機能がOFFでも，車速が約80km/h以上になるとアクティブスタビリティコントロール機能が自動的に作動を開始します。
アクティブスタビリティコントロール機能の作動を再度停止するときは一旦停車し，ASC OFFスイッチを押します。

アクティブスタビリティコントロール機能

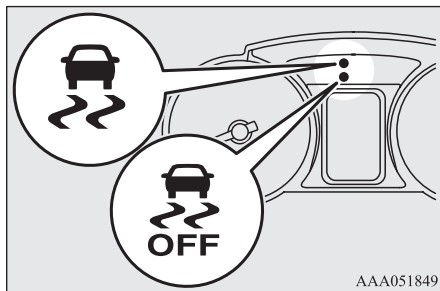
J00709700032

アクティブスタビリティコントロール機能は，障害物回避時の急激なハンドル操作や滑りやすい路面のカーブに進入したときなどに生じる車両の横滑りを，各車輪のブレーキとエンジン出力を制御することにより抑制し，車両の安定性を向上させる装置です。

アドバイス

- トランスファーシフトレバーが「4LLc」のときアクティブスタビリティコントロール機能は作動しません。
トランスファーシフトレバーが「2H」，「4H」または「4HLc」のとき「4LLc」に入れると，アクティブスタビリティコントロール機能は自動的に作動を停止しメーター内のアクティブスタビリティコントロール機能OFF表示灯が点灯します。

◆ アクティブスタビリティコントロール機能表示灯

J00709900050

- アクティブスタビリティコントロール機能表示灯

OFF - アクティブスタビリティコントロール機能OFF表示灯

正常なときは, エンジンスイッチをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。
エンジンスイッチを ON にしても表示灯が点灯しない，または点灯したままのときはシステムの異常が考えられます。
三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

表示灯は，アクティブスタビリティコントロール機能が作動すると点滅します。

OFF表示灯は，つぎの操作でアクティブスタビリティコントロール機能がOFFになると点灯します。

- ASC OFFスイッチを押す
- トランスファーシフトレバーを「4LLc」に入れる

⚠注意

- 表示灯が点滅したときは路面が滑りやすい状態か，加速しすぎています。アクセルペダルをゆるめて控えめな運転をしてください。
- ABS警告灯または表示灯とOFF表示灯が点灯したときは装置の故障が考えられます。安全な場所に停車し，エンジンを止めます。再度エンジンをかけ消灯すれば元のように走行できます。消灯しないときや，たびたび点灯するときは，通常走行には支障はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- バッテリー端子を外し，再接続すると，OFF表示灯が点灯しアクティブスタビリティコントロール機能の作動を停止しますが故障ではありません。

  そのまま走行しOFF表示灯が消灯すればアクティブスタビリティコントロール機能は再び作動します。
  再度点灯する場合やバッテリーを取り外していないのに点灯する場合は，バッテリーの電圧不足などが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

7

アクティブトラクションコントロール機能

J00710000035

アクティブトラクションコントロール機能は，エンジン出力の制御と空転する駆動輪に自動的にブレーキをかける制御により，滑りやすい路面で駆動輪が空転するのを防止し車両の駆動力を確保する装置です。
エンジンスイッチを ON にすると自動的にアクティブトラクションコントロール機能は ON となります。

⚠注意

- 滑りやすい路面などでブレーキ制御が連続で作動し，ブレーキ装置内部の温度が上昇しすぎた場合は，警告ブザーを断続的に鳴らして運転者に知らせます。
  警告ブザーが鳴ったあとも走行を続け，さらに温度が上昇した場合は，表示灯が点灯してブザー（連続音で約3 秒間）が鳴り，ブレーキ装置を保護するためにアクティブトラクションコントロール機能の作動を一時停止します。（通常走行に問題はありません。）
  車を一旦停止し，表示灯が消灯すれば，アクティブトラクションコントロール機能は再び作動します。

◆ アクティブトラクションコントロール機能表示灯

J00710100049

表示例： 右前輪を制御しているとき

正常なときは, エンジンスイッチをON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
エンジンスイッチを ON にしても表示灯が点灯しない，または点灯したままのときはシステムの異常が考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

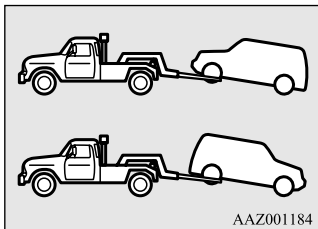
アクティブトラクションコントロール機能が作動すると表示灯(1)が点滅し，同時に空転を制御している車輪(2)を点滅で表示します。

アドバイス

- アクティブスタビリティコントロール機能故障中は表示灯と表示灯が同時に点灯するため，アクティブトラクションコントロール機能の作動表示は空転を制御している車輪(2)の点滅のみになります。

⚠注意

- エンジンスイッチを ON にして前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，アクティブトラクションコントロール機能が作動し思わぬ事故につながるおそれがあります。前輪を持ち上げてけん引する場合はエンジンスイッチをLOCK またはACC に，後輪を持ち上げてけん引する場合はACCの位置にしてください。
→「けん引」P. 13-27

AAZ001184

クルーズコントロール（自動定速走行装置）

タイプ別装備　J00704000098

クルーズコントロールはアクセルペダルを踏まずに一定のスピード（約40km/h~100km/h）で定速走行する装置です。

⚠注意

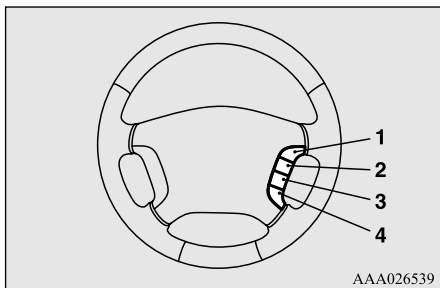
- つぎのような道路では安全のため，使用しないでください。
  - 交通量が多く車間距離が十分取れない道路
  - 急なカーブや見通しの悪い道路
  - 滑りやすい道路（凍結路，積雪路，じゃり路，濡れた道路）
  - 長い急な下り坂
- 定速走行しないときは，安全のためクルーズコントロール機能を停止してください。

アドバイス

- 上り坂や下り坂では，状況により一定の速度を保てない場合があります。
- 上り坂では，設定した車速を下回ることがあります。
このような場合は，アクセルペダルを踏んで希望の車速まで加速してください。
- 下り坂では，設定した車速を上回ることがあります。
ブレーキペダルを踏んで減速してください。
この場合，定速走行は終了します。

7

クルーズコントロールスイッチ

J00705600046

1- ACC RESスイッチ
設定車速を上げたり，定速走行を終了した後，元の設定車速に戻すときに使用します。
2- COAST SETスイッチ
設定車速を下げたり，定速走行する車速をセットするときに使用します。
3- ON OFFスイッチ
クルーズコントロール機能を作動または停止するときに使用します。
4- CANCELスイッチ
定速走行を終了するときに使用します。

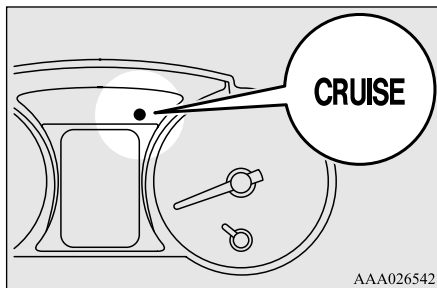
アドバイス

- クルーズコントロールスイッチを操作するときは，個々のスイッチを確実に押してください。
2個以上のスイッチを同時に押すと，定速走行が自動的に終了することがあります。

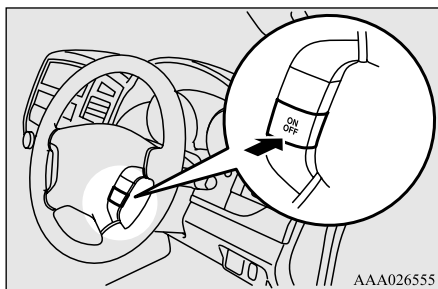
7

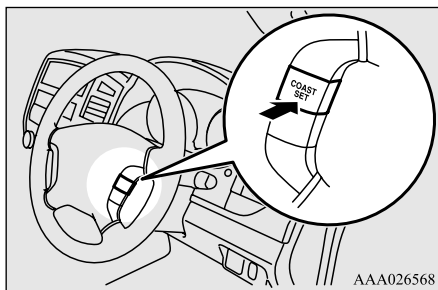
クルーズコントロール表示灯

J00705700047

エンジンスイッチがONのときに，ON OFFスイッチを押してクルーズコントロール機能を作動させると点灯します。

希望車速をセットし，定速走行するときは

J00705800048

1. エンジンスイッチがONのときON OFFスイッチを押すとクルーズコントロール機能が作動し，メーター内の表示灯が点灯します。

AAA026555

2. 希望する車速まで加速または減速し，COAST SETスイッチを押して手を離すと，定速走行が開始されます。

AAA026568

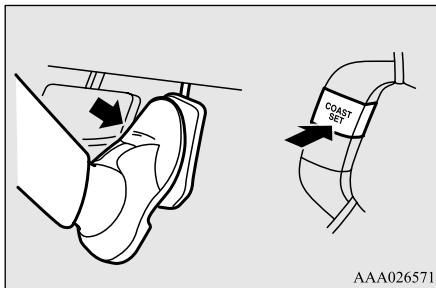
アドバイス

- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。
- エンジンを止めるとクルーズコントロール機能は自動的に停止します。

設定車速を変更するときは

J00705900065

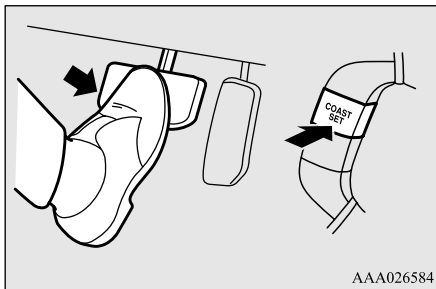
◆ アクセルペダルを使って

希望する車速まで加速し，COAST SETスイッチを押して手を離します。

AAA026571

アドバイス

- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。

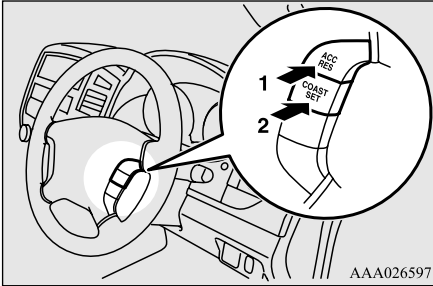
◆ ブレーキペダルを使って

希望する車速まで減速し，COAST SETスイッチを押して手を離します。

AAA026584

アドバイス

- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。

◆ クルーズコントロールスイッチを使って

ACC RESスイッチまたはCOAST SETスイッチを押し続け，希望する車速になったら手を離します。

AAA026597

1- 加速したいとき
2- 減速したいとき

アドバイス

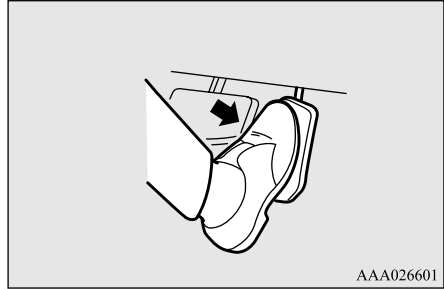
- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。
- ACC RESスイッチまたはCOAST SETスイッチを押してすぐに手を離すと，設定車速を約 1.5km/h ずつ微調整することができます。

一時的に加速または減速したいときは

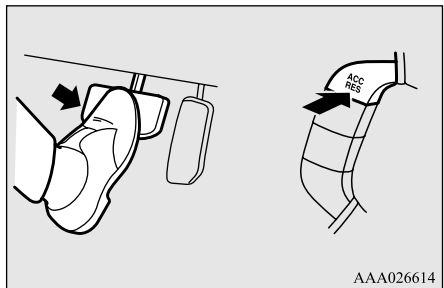
J00712900012

◆ 一時的に加速したいときは

アクセルペダルを踏んで加速します。
アクセルペダルから足を離すと自動的に元の設定車速に戻ります。

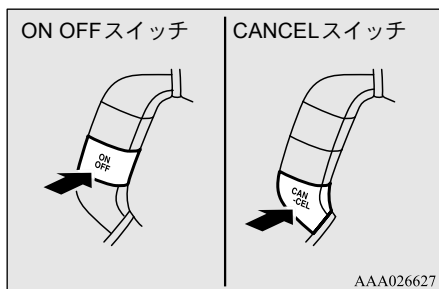
AAA026601

◆ 一時的に減速したいときは

ブレーキペダルを踏んで減速します。
元の設定車速に戻すときは，ACC RESスイッチを押します。
→「定速走行終了前の設定車速に戻すときは」P. 7-54

AAA026614

定速走行を終了するときは

J00706000135

つぎのいずれかの操作で定速走行が終了します。

- ON OFFスイッチを押す
- CANCELスイッチを押す
- ブレーキペダルを踏む

つぎの場合も自動的に定速走行が終了します。

- セットした速度より車速が約 15km/h 以上下がったとき
- 車速が約35km/h以下になったとき
- アクティブスタビリティ＆トラクションコントロール (ASTC) が作動したとき
  →「アクティブスタビリティ＆トラクションコントロール(ASTC)」P. 7-44

⚠警告

- セレクターレバーをⓃにしても定速走行は自動的に終了しますが，走行中はセレクターレバーをⓃに入れないでください。エンジンブレーキが効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

また，つぎの場合にも定速走行が自動的に終了することがあります。

- エンジン回転数がタコメーターのレッドゾーン（赤色表示部）付近まで上昇したとき

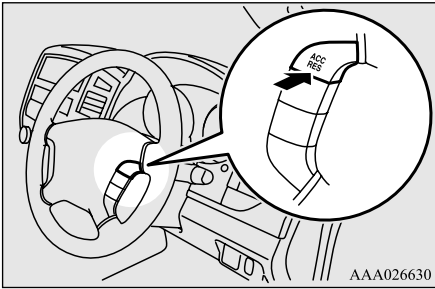
アドバイス

- 上記以外のときに定速走行が自動的に終了した場合は，クルーズコントロールに何らかの異常が発生していると考えられます。
  ON OFF スイッチを押してクルーズコントロール機能を停止し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

定速走行終了前の設定車速に戻すときは

J00706100093

定速走行を終了した後でも車速が約 40km/h 以上であれば，ACC RES スイッチを押すことにより，元の設定車速に戻すことができます。

AAA026630

ただし，つぎの場合はACC RESスイッチを押しても，元の設定車速に戻すことはできません。もう一度車速をセットし直してください。

- エンジンを切ったとき
- ON OFFスイッチを押したとき
- 車速が約 40km/h以下になったとき
- クルーズコントロール表示灯が消灯しているとき

リヤビューカメラ

タイプ別装備

J00704200159

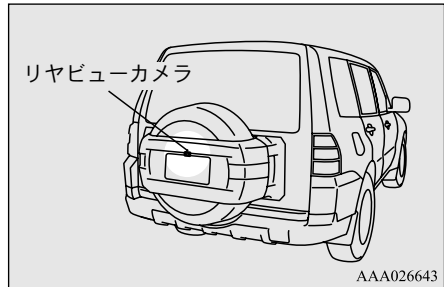
リヤビューカメラは，車両後方の映像を三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)の画面に表示させる装置です。

⚠注意

- リヤビューカメラは，車両後方の障害物などを確認するための補助装置です。
  映像を表示できる範囲は限られていますので過信せず，リヤビューカメラが付いていない場合と同じように慎重な運転を心がけてください。
- 必ず自分の目で周囲の安全を確認してください。
  リヤビューカメラだけを頼りに運転しないでください。

リヤビューカメラの取り付け位置

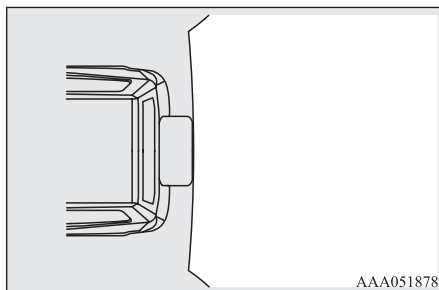
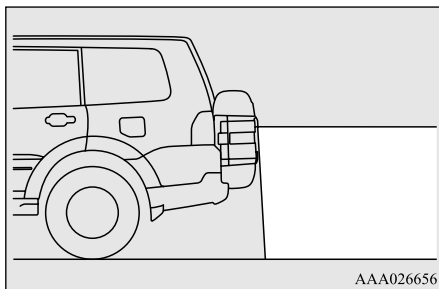
カメラはスペアタイヤガーニッシュに内蔵されています。

AAA026643

画面に表示できる範囲

リヤビューカメラが映像を表示できる範囲は図の範囲に限られています。車体から張り出した位置（スペアタイヤガーニッシュ）にカメラが内蔵されているため，スペアタイヤガーニッシュ下部および車体（リヤバンパーおよびバックドア）直後の映像は表示できません。
後退するときは必ず周囲の安全を確認しながら運転してください。

◆ リヤビューカメラの表示範囲

AAA026656

AAA051878

使い方

J00707200251

エンジンスイッチがONのときに，セレクターレバーをⓇに入れると，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) の画面に車両後方の映像が自動的に表示されます。
セレクターレバーをⓇ以外の位置にすると，元の画面に戻ります。

⚠注意

- リヤビューカメラは特殊レンズを使用しているため，画面の映像は実際と距離感覚が異なりますので注意してください。
- 線（赤）はリヤバンパー後端から約50cm後方の地点を示しています。
  リヤバンパー後端からライセンスキャリアが後方へ約 30cm 張り出していますので注意してください。

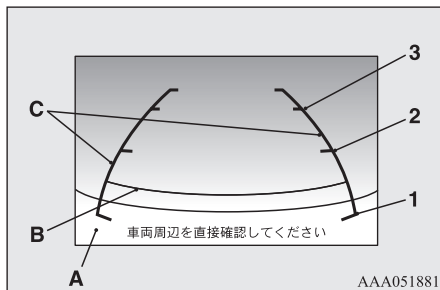
アドバイス

- リヤビューカメラは特殊なレンズを使用しているため，駐車場などの区画線は，画面内では平行に見えないことがあります。
- つぎのような場合，画面が見づらくなることがありますが異常ではありません。
  - 暗いところ（夜間）
  - 太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに入ったとき
- カメラが熱いとき，雨や洗車などでレンズ付近の温度が低くなるとレンズが曇ることがありますが，故障ではありません。
- カメラのレンズが汚れていると，障害物が十分に確認できません。水滴，雪，泥または油汚れなどが付着したときはレンズを傷つけないようにていねいにふき取ってください。
- カメラの故障の原因となりますので，つぎのことをお守りください。
  - 衝撃を与えない
  - ワックスを付着させない
  - 熱湯をかけない
  - 分解しない
- 後退時のブザーはセレクターレバーがⓇにあることを知らせるもので，障害物があることを警告するブザーではありません。
- リヤビュー画面を表示中，三菱マルチコミュニケーションシステム操作パネルのボタンを押すと，操作したボタンの画面に切り換わります。

リヤビュー画面の見方

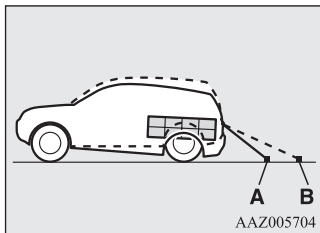
J00722900031

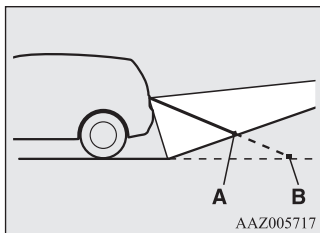
距離と車幅の目安となる線とリヤバンパー上面(A)が画面に表示されます。

- 赤色の線 (B) は，リヤバンパーから約50cmの地点を示しています。
- 2本の緑色の線(C)は，車体幅から外側に約20cmの地点を示しています。

1- おおよそのリヤバンパー後端位置
2- リヤバンパー後端から約100cm
3- リヤバンパー後端から約200cm

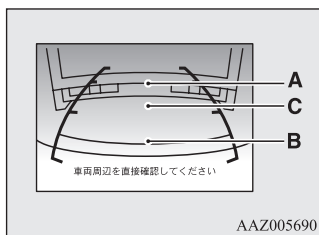
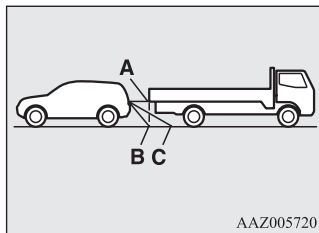
アドバイス

● 乗車人数，積み荷の状態または路面の状態などにより車両が傾いている場合，画面内の線の表示が実際と異なることがあります。
画面内の線は水平な路面上などを基準としています。このため，つぎの場合，画面に映る障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。
• 人や荷物の重みで車両後部が下がっているとき

AAZ005704

A：実際の障害物
B：画面に映る障害物
• 車両後方に上り坂があるとき

AAZ005717

A：実際の障害物
B：画面に映る障害物

アドバイス

● 画面内の線は道路などの平面物を対象にしています。このため，張り出し部分のある立体物との間の距離感覚が実際と異なることがあります。画面内の線を立体物までの距離の目安にしないでください。
例：画面の映像では手前からのB，C，Aの順に見えますが，実際にはA，Bが同じ距離，CがA，Bよりも遠い距離にあります。

AAZ005720

AAZ005690

室内装備

サンバイザー

J00900100660

前面だけでなく，フックから外せば側面にも回せます。

バニティーミラー

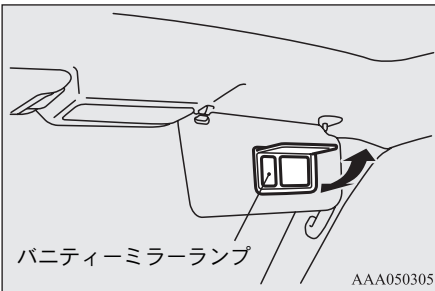
J00912700171

サンバイザーの裏側にあります。
バニティーミラーランプ付き車は，リッドを開くとランプが点灯します。

カードホルダー

J00912800185

バニティーミラーのリッドの表側に通行券などをはさむことができます。

アクセサリーソケット

J00900500664

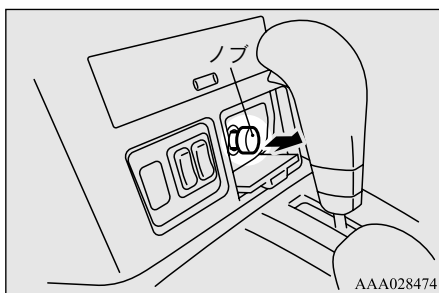
エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。
必ず，12Vで電気容量が120W以下の電気製品を使用してください。

アドバイス

- 2つのソケットを同時に使用するときは，消費電力の合計が 120W を超えないようにしてください。ヒューズが切れるおそれがあります。
- 市販の電気製品を使用しないでください。バッテリー上がりやアクセサリーソケットが損傷する原因となります。
- ノブをソケットから外したままにしたり，フタを開けたまま放置しないでください。アクセサリーソケットにゴミや金属片などの異物が入ると火災やショートの原因となるおそれがあります。
- エンジンがかかっていないときに長い間使用するとバッテリーが上がることがあります。

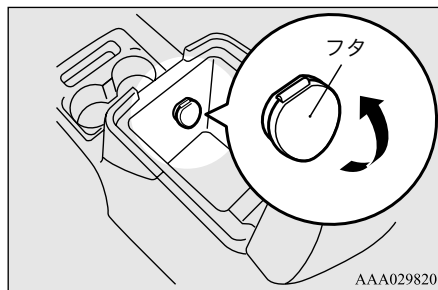
Aタイプ

ノブを引き抜き，プラグタイプの電気製品の電源としてご使用ください。

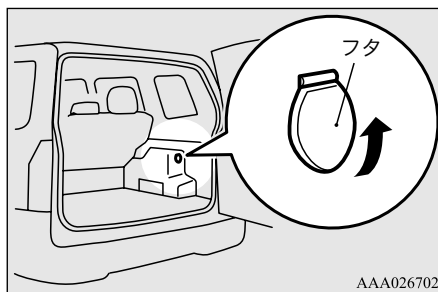
AAA028474

Bタイプ

フタを開け，プラグタイプの電気製品の電源としてご使用ください。

◆ フロント

AAA029820

◆ リヤ［ロング（5 ドア車）］

タイプ別装備

AAA026702

ACパワーサプライ

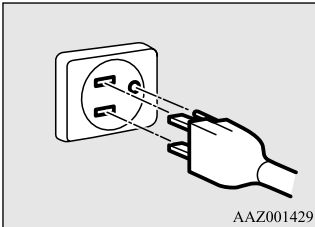
タイプ別装備　　J00900600056

ラゲッジルーム右側面にあります。
エンジンスイッチが ON のときに家庭用電気製品の電源として使用できます。
必ず, AC100Vで消費電力が100W以下の電気製品を使用してください。

使用例

- ビデオカメラの充電
- 携帯電話の充電
- 電気シェーバー

アドバイス

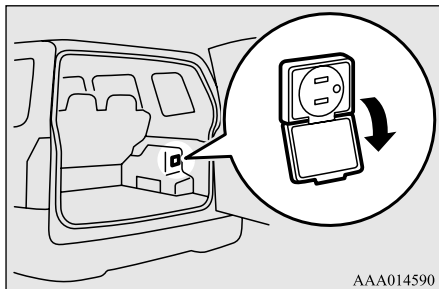
- アース付きプラグも使用できます。

- つぎのようなときは，保護回路が働き給電が停止する場合があります。使用中，給電が停止した場合は自動で復帰しますが，復帰しない場合はエンジンスイッチを一度 OFF にしてから，再度 ON にしてご使用ください。
  - 最大消費電力が100Wを越える電気製品を使用したとき
  - バッテリーの充電が不十分なとき
  - 車内が高温のとき
- エンジンスイッチが ON のときに使用できますが，できるだけエンジンをかけて使用してください。エンジンがかかっていないときに長い間使用するとバッテリーが上がることがあります。

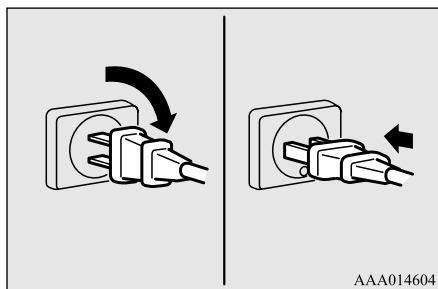
アドバイス

- 消費電力が 100W 以下でもつぎのような電気製品は正常に作動しないことがあります。
  - 最大消費電力が100Wを越える製品（ブラウン管式テレビ，コンプレッサー式冷蔵庫，電気ポンプ，電動工具など）
  - 電源周波数の切り換え(50/60Hz)のある製品（時計，オーディオ，ACアダプターなど）
  - 精密なデータを測定する製品（測定器など）
  - その他（電気毛布，照明器具など）
- 使用する電気製品によっては，ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。
- ACパワーサプライの電圧は，市販のテスターでは電圧を正確に測定できません。電圧の測定が必要な場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 医療機器のご使用は，絶対に避けてください。
- 使用する電気製品に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- アクセサリーソケットと同時に使用しないでください。
ヒューズが切れることがあります。

使用するときは

1. フタを開けます。

AAA014590

2. コンセントを矢印の方向に 90 度回してから，プラグを奥まで差し込みます。
   差し込み後は，プラグが確実に固定されていることを確認します。

AAA014604

使用後は，プラグを抜き取りフタを閉めます。

⚠注意

- コンセントの改造や分解，修理などは絶対にしないでください。
- 濡れた手でプラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

アドバイス

- AC パワーサプライを使わないときは，プラグを抜き取りフタを閉めてください。コンセントにたまったほこりにより，ショートするおそれがあります。
- プラグタイプ以外のものが差し込まれたり，飲み物などがかかったりすると，故障したり，ショートする可能性があります。

時計

タイプ別装備

J00900700363

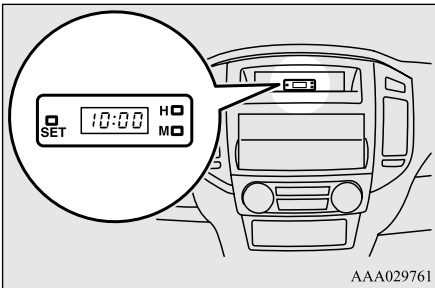
エンジンスイッチがONまたはACCのときに時刻を表示します。

時刻の合わせ方

それぞれのボタンを指で押して調整します。

H — “時”合わせ
押している間“時”を早送りします。

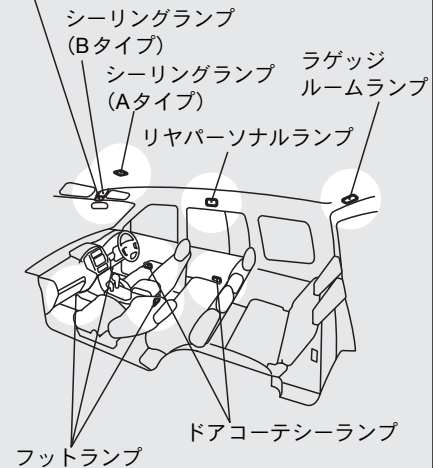
M — “分”合わせ
押している間“分”を早送りします。

SET — 時報合わせ
押すと同時につぎのように修正されます。
•0~29分は切り下げ
•30~59分は切り上げ

AAA029761

アドバイス

● バッテリー端子を外し，再接続したときは時刻を合わせてください。

室内灯

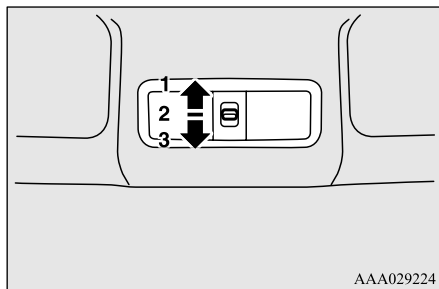
J00900800566

AAE002777

アドバイス

● エンジンがかかっていないときに長い間ランプを点灯させておくとバッテリーが上がることがあります。
車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

8

インテリアランプスイッチ

J00906500060

スイッチを操作することにより，ルームランプ＆マップランプおよびリヤパーソナルランプの点灯・消灯ができます。

1-（ ）

ドアまたはバックドアの開閉に関係なく，ルームランプ＆マップランプおよびリヤパーソナルランプが点灯します。

2-（DOOR）

いずれかのドアまたはバックドアを開けるとルームランプ＆マップランプおよびリヤパーソナルランプが点灯, 閉じると減光しながら約15秒後に消灯します。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。

- ドアおよびバックドアを閉じてエンジンスイッチをONにしたとき
- ドアおよびバックドアを閉じてセンタードアロックスイッチを使って施錠したとき
- キーレスエントリーのリモコンスイッチを使って施錠したとき

アドバイス

- ドアおよびバックドアが閉まっているときキーを抜くと点灯し，徐々に減光しながら約15秒後に消灯します。
- ルームランプ＆マップランプのスイッチがONのときは, ドアおよびバックドアを閉めても消灯しません。

アドバイス

- 消灯までの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

3-（〇）

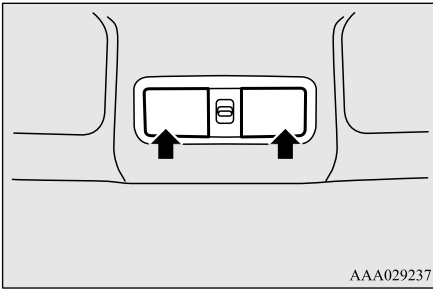
ドアまたはバックドアの開閉に関係なく，ルームランプ＆マップランプおよびリヤパーソナルランプが消灯します。

アドバイス

- ルームランプ＆マップランプのスイッチがONのときは, インテリアランプスイッチで消灯することはできません。

ルームランプ &マップランプ

J00900900684

AAA029237

ドアおよびバックドアを閉じてインテリアランプスイッチの位置がDOORまたは○のときに，レンズを押すとランプが点灯し，もう一度押すと消灯します。
インテリアランプスイッチの位置がDOORのときに，いずれかのドアまたはバックドアを開けると点灯，閉じると減光しながら約15秒後に消灯します。

アドバイス

- いずれかのドアまたはバックドアが開いているとき，またはインテリアランプスイッチの位置が⌔のときは，レンズを押してもルームランプ&マップランプは消灯しません。

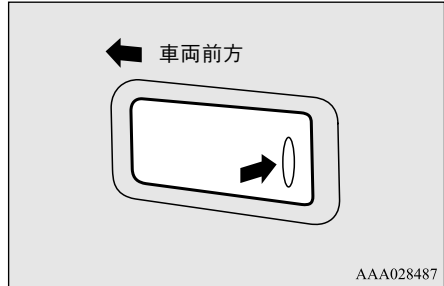
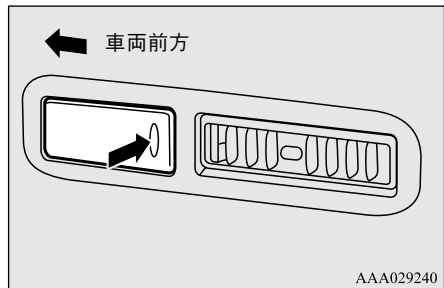
リヤパーソナルランプ

J00901400149

◆ Aタイプ

AAA028487

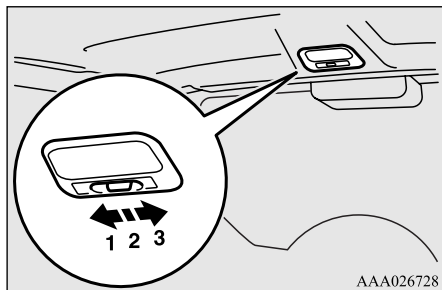
◆ Bタイプ

AAA029240

ドアおよびバックドアを閉じてインテリアランプスイッチの位置がDOORのときに，レンズを押すとランプが点灯し，もう一度押すと消灯します。
いずれかのドアまたはバックドアを開けると点灯，閉じると減光しながら約15秒後に消灯します。

アドバイス

- インテリアランプスイッチの位置が○のときは，レンズを押したり，いずれかのドアまたはバックドアを開けても点灯しません。

ラゲッジルームランプ

J00901500401

AAA026728

1-（〰）

すべてのドアおよびバックドアの開閉に関係なく点灯します。

2-（o）

いずれかのドアおよびバックドアを開けると点灯，閉じると減光しながら約15秒後に消灯します。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。

- エンジンスイッチをONにしたとき
- キーレスエントリーのリモコンスイッチまたはセンタードアロックスイッチを使って，すべてのドアおよびバックドアを施錠したとき

アドバイス

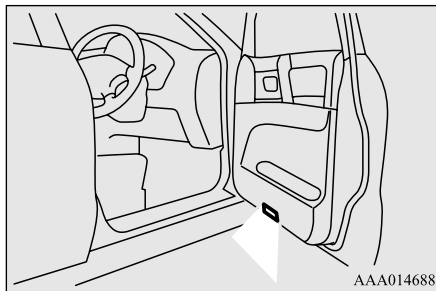
- ドアおよびバックドアが閉まっているときに，キーを抜くと点灯し，徐々に減光しながら約15秒後に消灯します。
- 消灯までの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

3-（〇）

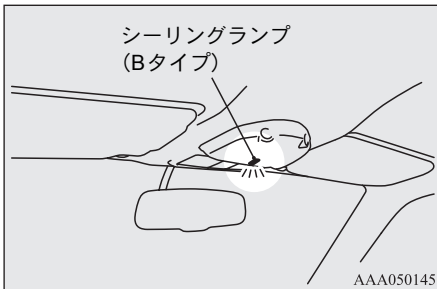
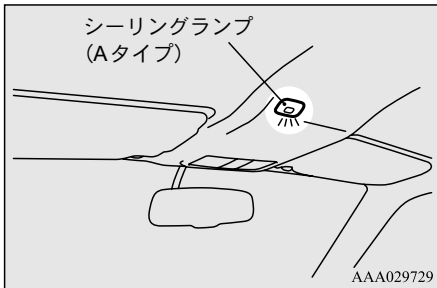
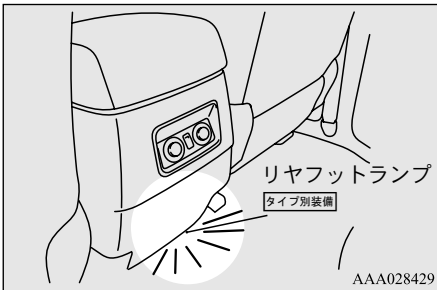
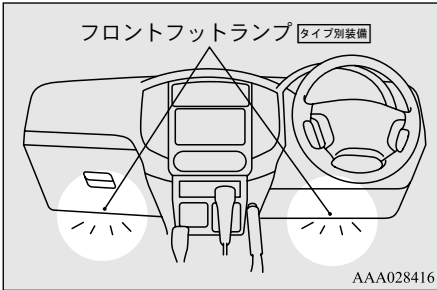
ドアまたはバックドアの開閉に関係なく消灯します。

ドアコーテシーランプ

J00906300039

ドアを開くと点灯し，閉じると消灯します。

AAA014688

フットランプ＆シーリングランプ

J00909200055

フットランプとシーリングランプは，インテリアランプスイッチがDOORの位置でつぎのようなときに点灯します。

- いずれかのドアまたはバックドアを開けたとき
- エンジンスイッチをONにしたとき
- キーレスエントリーのリモコンスイッチまたはセンタードアロックスイッチを使って解錠したとき

アドバイス

- つぎのようなとき，フットランプとシーリングランプは約15秒点灯しつづけた後消灯します。
  - エンジンスイッチをONの位置からACCまたはLOCKの位置にしたとき
  - キーレスエントリーのリモコンスイッチまたはセンタードアロックスイッチを使って解錠したとき
- エンジンスイッチがON以外の位置で，ドアまたはバックドアを開けると点灯，閉じると約30秒点灯しつづけた後消灯します。
  ただし，キーレスエントリーのリモコンスイッチまたはセンタードアロックスイッチを使って施錠したときは，ただちに消灯します。
- 走行中フットランプとシーリングランプを消灯したいときは，インテリアランプスイッチの位置を○にしてください。

8

インテリアランプ[*1]　オートカット機能（自動消灯）

J00901700403

[*1] ルームランプ＆マップランプなどの室内照明

- エンジンスイッチがONまたはACC以外の状態で，室内照明を点灯したままにすると, 約30分後に照明が自動的に消灯します。
- エンジンスイッチをONまたはACC位置にしたり，ドアおよびバックドアの開閉やキーレスエントリーの操作をすると再び点灯します。

アドバイス

- インテリアランプオートカット機能（自動消灯）を働かなくすることができます。また，自動消灯までの時間を調整することもできます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

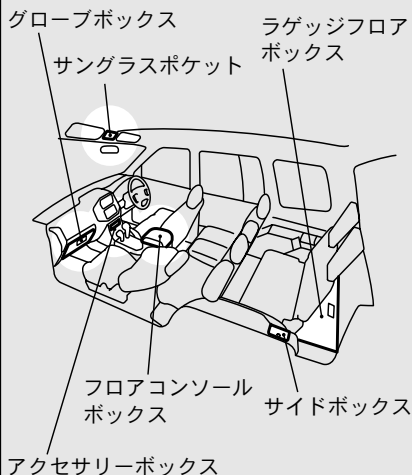
小物入れ

J00906700613

⚠注意

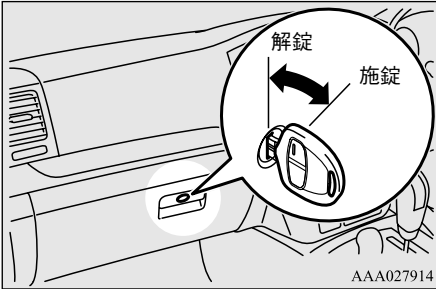
- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しないでください。ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。
- 走行中は小物入れのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

アドバイス

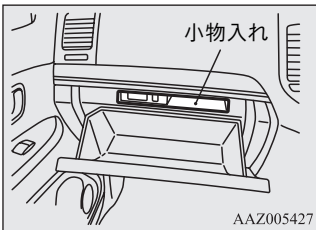
- 車を離れるときは小物入れに貴重品を入れたままにしないでください。

グローブボックス

J00907200585

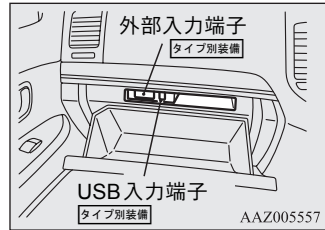
レバーを引くと開きます。キーで施錠・解錠ができます。

AAA027914

アドバイス

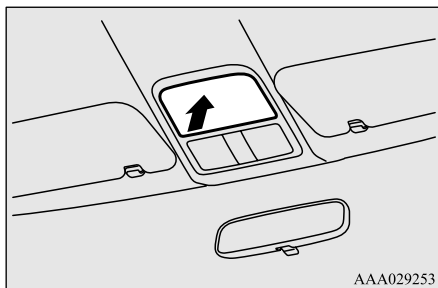
- グローブボックスランプ付き車は，ライトスイッチが AUTO の位置でランプ類が点灯しているとき,または ≡D0≡, ≡D の位置のとき，グローブボックス内のランプが点灯します。
- グローブボックスの上方に小物が収納できる箱があります。グローブボックスは上側と下側に分かれていますので，収納するものに応じて使い分けてください。

AAZ005427

アドバイス

- グローブボックスの上方に外部入力端子（音声入力，映像入力端子），USB 入力端子があります。詳しくはつぎの項をお読みください。
→「外部音声入力機能を使うときは」P. 10-27
→「USB入力端子」P. 8-20

AAZ005557

サングラスポケット

タイプ別装備 J00907500168

リッドを押すと開きます。

AAA029253

閉めるときはロックするまで押します。

⚠注意

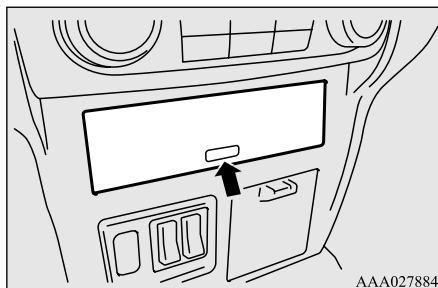
- サングラス以外の重いものを入れないでください。落下して思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

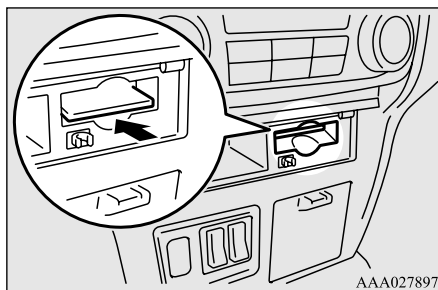
- サングラスの形状によっては収納できない場合がありますので，確かめてからご使用ください。

アクセサリーボックス

タイプ別装備 J00907800161

フタを押すと開きます。

AAA027884

◆ カードホルダー

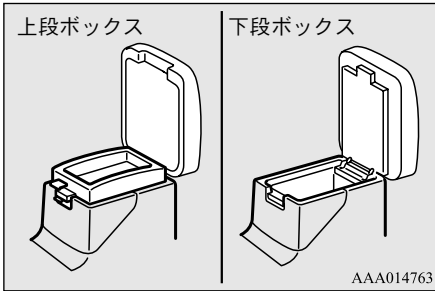
カードを奥まで差し込んで収納します。
取り出すときは，カードを引き出します。

AAA027897

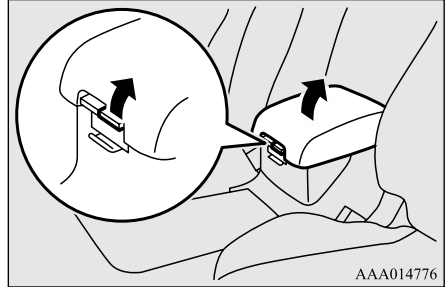
アドバイス

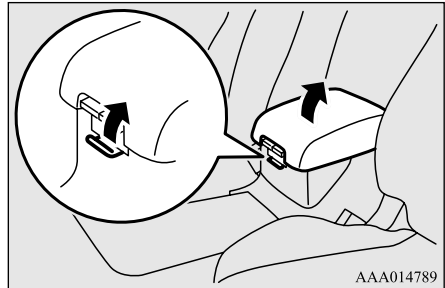
- カードは3枚まで収納できます。
- 領収書などの薄い紙は差し込まないでください。

フロアコンソールボックス

J00908200029

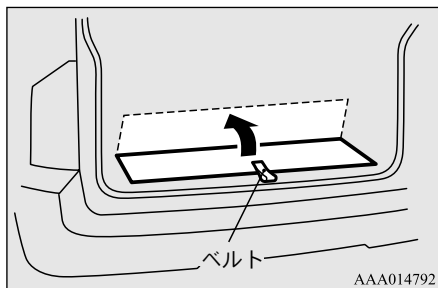
上段ボックスと下段ボックスに分かれています。
上段ボックスのフタはアームレストとしても使用できます。
→「アームレスト」P. 5-9

◆ 上段ボックス

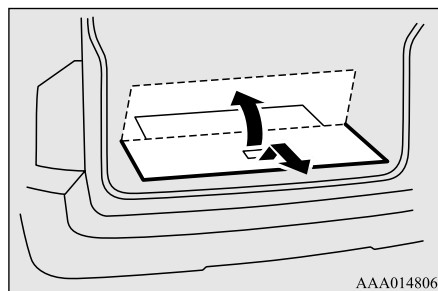
左側のレバーを引きながらフタを開けます。
閉じるときはロックされるまで押します。

◆ 下段ボックス

下側のレバーを引きながらフタを開けます。
閉じるときはロックされるまで押します。

ラゲッジフロアボックス

J00908300020

ショート（3ドア車）

ベルトを引き上げラゲッジフロアを開くと，ラゲッジフロアボックスがあります。

ロング（5ドア車）

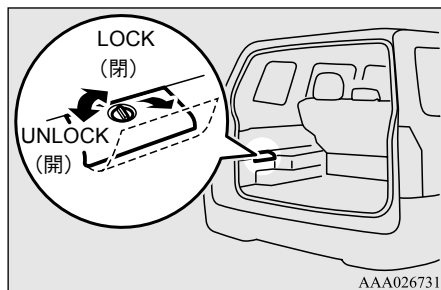
ラゲッジフロアボードを持ち上げると，ラゲッジフロアボックスがあります。

アドバイス

- ロング（5ドア車）はラゲッジフロアボードを取り外すことにより大きな荷物を積むことができます。

サイドボックス

タイプ別装備

J00908400034

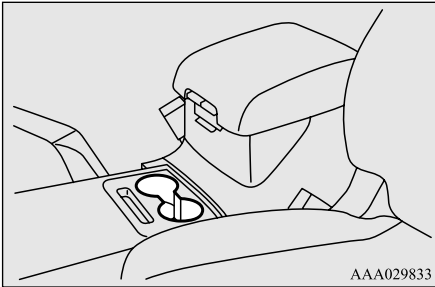
ラゲッジルーム左側面にあります。
収納スペースとして使用できます。

カップホルダー

J00903800394

⚠注意

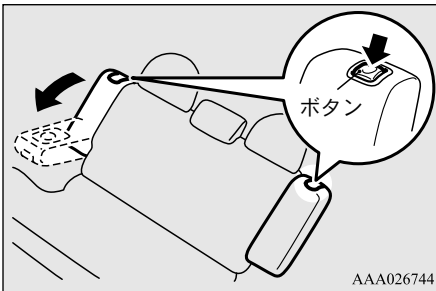
- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合，やけどをするおそれがありますので注意してください。

フロントシート用

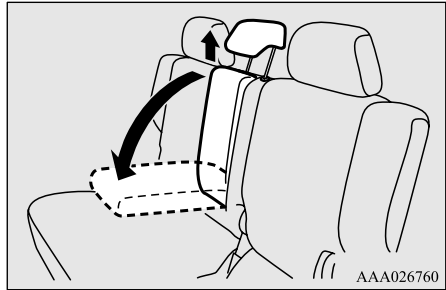
AAA029833

リヤシート／セカンドシート用

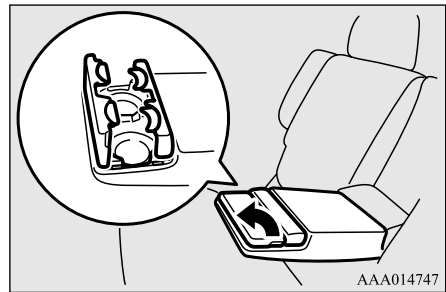
ショート（3ドア車）

ボタンを押しながらアームレストを前に倒して，使用します。

AAA026744

ロング（5ドア車）

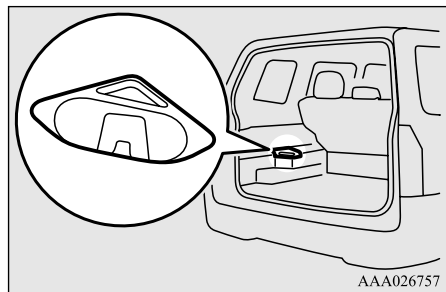
1. ヘッドレストを引き上げ，アームレストを前に倒します。

AAA026760

2. フタの横に手をかけて，開いて使用します。

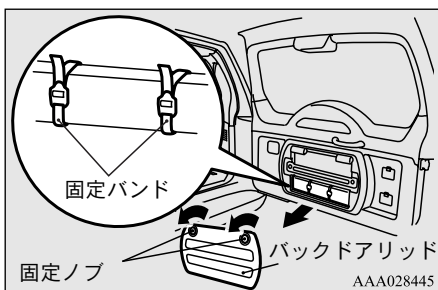
AAA014747

サードシート用

タイプ別装備

ロング（5ドア車）に装備されています。

AAA026757

停止表示板固定バンド

J00905500063

バックドアにバンドがあります。停止表示板の固定用としてご使用ください。
停止表示板にベルトを掛けて固定します。
バックドアリッド付き車は，バックドアリッドの固定ノブを反時計方向に回してバックドアリッドを取り外します。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。また，市販品は三菱自動車純正のものとサイズが異なるため，格納位置に収まらないことがありますので，ご注意ください。

リヤシェルフ

J00904800056

ショート（3ドア車） タイプ別装備

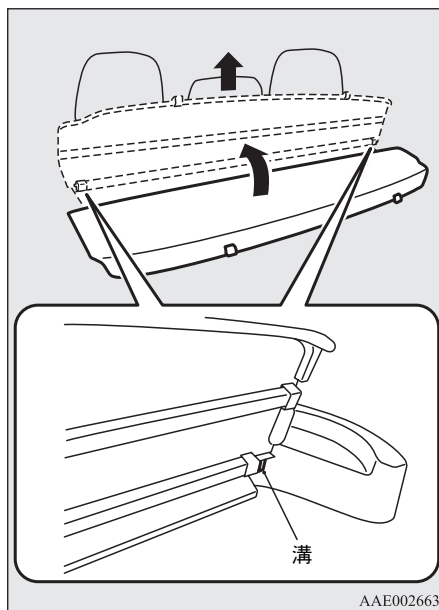
室内と荷室を仕切るためのものです。

アドバイス

- リヤシェルフの上に荷物などを載せないでください。

大きな荷物を載せるときは取り外します。

取り外すときは

リヤシェルフを引き上げてから上に持ち上げ，荷室側面の溝から取り外します。

取り付けるときは

取り外すときの逆の手順で行います。

8

ラゲッジフック

J00905100333

荷室の側面および床面にフックがあります。
荷物の固定用としてご使用ください。

⚠注意

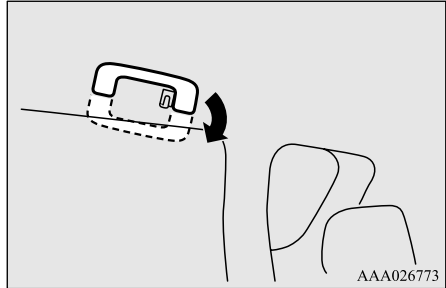
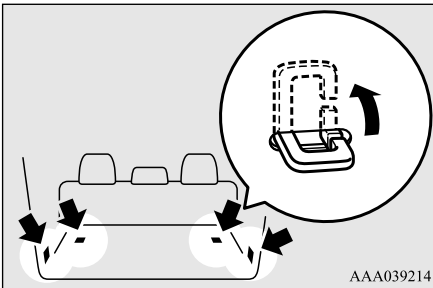
● 室内にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また,荷物は確実に固定してください。
後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたときに荷物が飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。

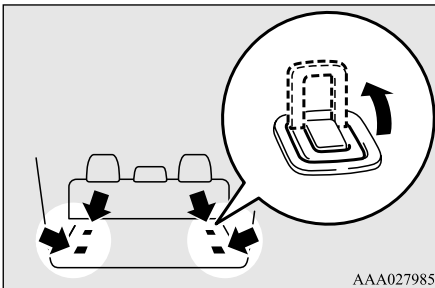
ショート（3ドア車）

ロング（5ドア車）

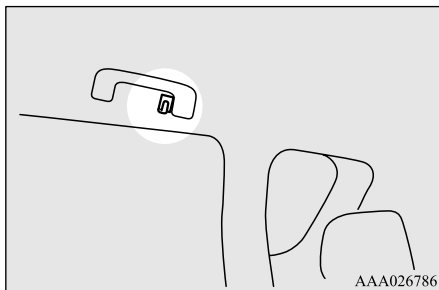
アシストグリップ

J00912900287

座ったときに，手で身体を支えるためのグリップです。

⚠注意

● アシストグリップに手をかけて乗り降りしないでください。
アシストグリップが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

コートフック

J00909700135

リヤ，セカンドシートのアシストグリップにコートフックがあります。

AAA026786

⚠警告

- コートフックには，アクセサリーなどを取り付けたりしないでください。服をかけるときは，ハンガーを使用せずに直接コートフックにかけてください。
  SRS カーテンエアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

フロアマット

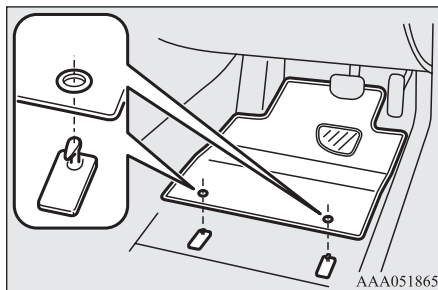
タイプ別装備

J00922800058

お客様のお車には，専用のフロアマットが設定されています。
フロアカーペットに装着されている固定クリップを使用し，つぎの手順で確実に固定してください。

固定のしかた

J00922900189

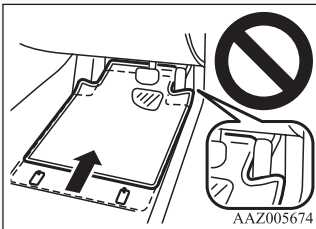
1. フロアマットを床の形状に合わせて敷きます。
2. フロアマットの取り付け穴に固定クリップを通し，確実に固定します。

AAA051865

アドバイス

- 車種により，フロアマットの形状や固定クリップの数が異なる場合があります。詳しい固定方法はフロアマットの取扱説明書をお読みください。

⚠警告

● 運転席にフロアマットを敷くときは，つぎのことを必ずお守りください。お守りいただかないと，フロアマットがずれて各ペダルと干渉し，思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど重大な事故につながるおそれがあります。
- 固定クリップを使用し確実に固定する
- フロアマットを前後逆さまにしたり，裏返して使用しない
- フロアマットでペダルをおおわない
- フロアマットの上または下に，別のフロアマットを重ねて敷かない
- アクセルペダルの下に敷かない
- 三菱自動車純正フロアマットであっても，他車種または年式の異なるフロアマットを使用しない

AAZ005674

● 運転する前につぎのことを確認してください。
- フロアマットがすべての固定クリップで正しく固定されていることを定期的に確認し，車内の清掃などでフロアマットを取り外した後は必ず確認する
- エンジン停止時およびセレクターレバーがⓅ（オートマチック車）またはシフトレバーがⓃ（マニュアル車）のときに，各ペダルをいっぱいに踏み込み，フロアマットと干渉がなく運転に支障がないことを確認する

USB入力端子

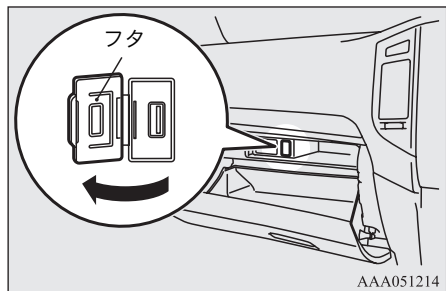
タイプ別装備　J00965100070

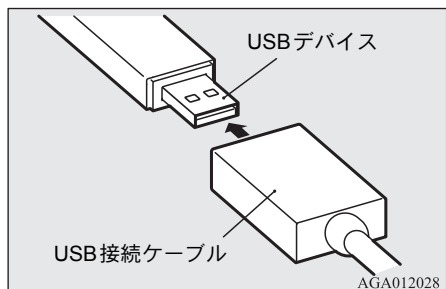
USBデバイスまたはiPod*を接続し，保存されている音楽ファイルを再生することができます。
ここではUSBデバイスまたはiPodの接続方法および取り外し方法について説明します。
*: “iPod”は米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

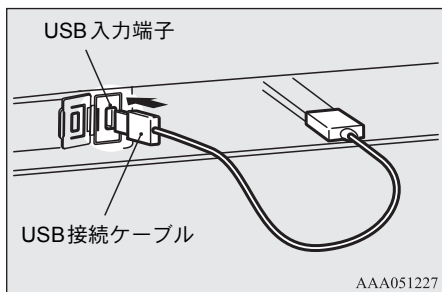
USBデバイス(機器)の接続のしかた

J00971500109

1. 安全な場所に車両を停車して，エンジンスイッチをLOCKにします。
2. グローブボックスの中にある USB 入力端子のフタを開けます。

AAA051214

3. 市販の USB 接続ケーブルを USB デバイスに接続します。

AGA012028

4. USB 接続ケーブルを USB 入力端子に接続します。

⚠注意

- 走行中はグローブボックスのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

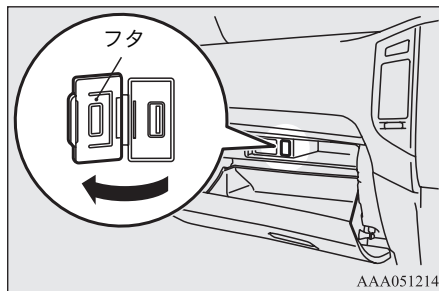
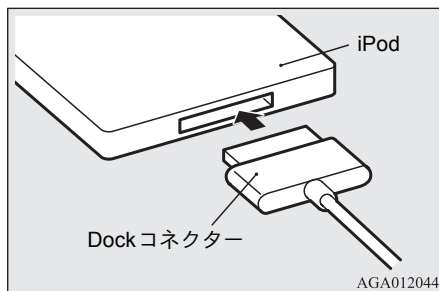
アドバイス

- USBデバイスをUSB入力端子に直接接続しないでください。
- グローブボックスを閉める際，USB 接続ケーブルをはさまないように注意してください。

5. USB 接続ケーブルを取り外すときは，エンジンスイッチを LOCK にしてから，取り付けるときと逆の手順で取り外します。

iPodの接続のしかた

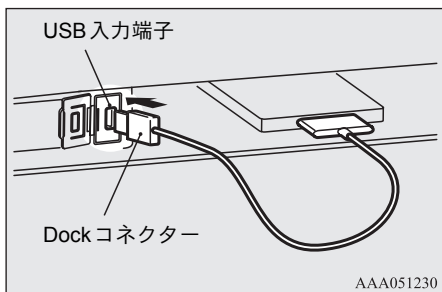
J00971600083

1. 安全な場所に車両を停車して，エンジンスイッチをLOCKにします。
2. グローブボックスの中にある USB 入力端子のフタを開けます。

3. iPodにDockコネクターを接続します。

アドバイス

- Dock コネクターは Apple Inc. 純正品を使用してください。

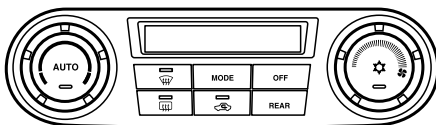
8

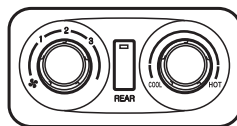
4. USB 入力端子に Dock コネクターを接続します。

⚠ 注意

- 走行中はグローブボックスのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合, フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

5. Dock コネクターを取り外すときは, エンジンスイッチを LOCK にしてから, 取り付けるときと逆の手順で取り外します。

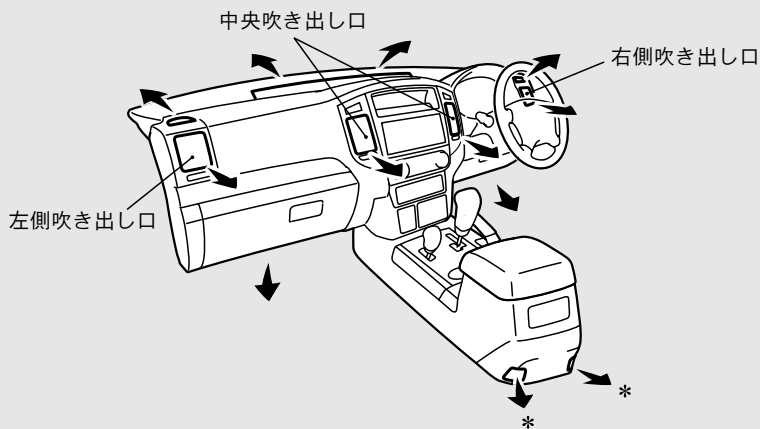
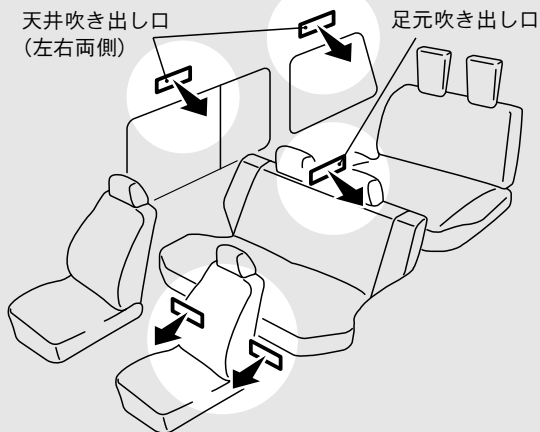
エアコン

フロントオートエアコンP. 9-4

AAI000322

リヤエアコンP. 9-15

AAI000423

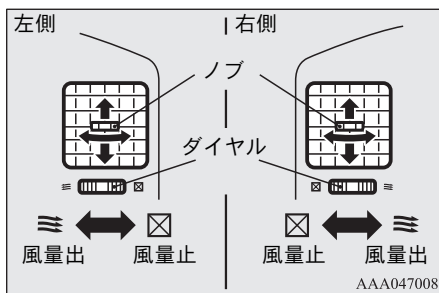
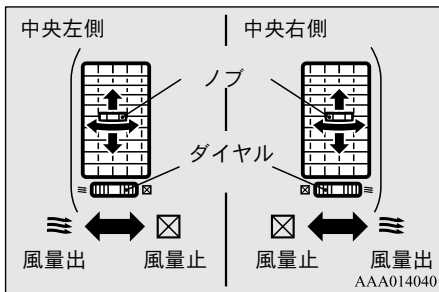
9

吹き出し口

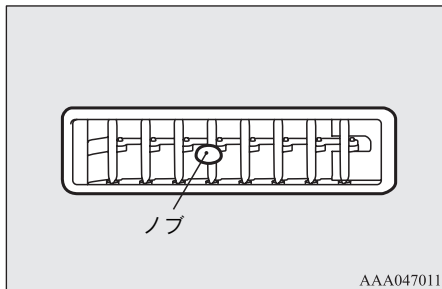
J01000100815

＊： ガソリン車でリヤエアコン付き車の場合，＊の吹き出し口からの送風はしません。

風量・風向き調整

J01000300657

◆ フロント

風量調整ダイヤル，風向き調整ノブを動かして調整します。

◆ リヤ

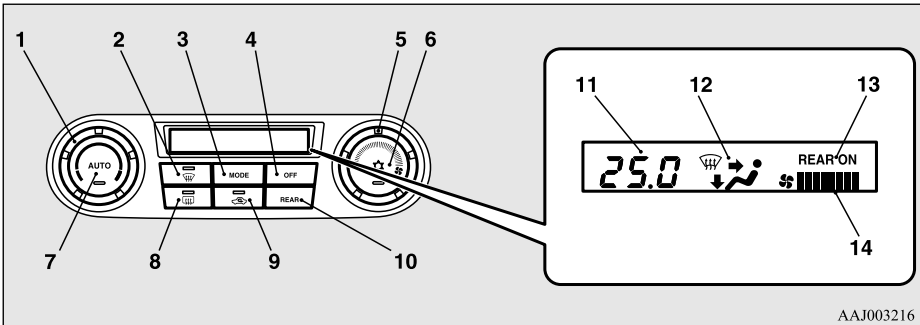
天井吹き出し口 タイプ別装備

風向き調整ノブを動かして調整します。

アドバイス

- 冷房時，まれに吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが，これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので異常ではありません。
- 冷房，除湿効果が悪いときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

フロントオートエアコン

J01002400388

エンジンスイッチがONのときに使用できます。

1- 温度調整ダイヤル→P. 9-5
2- デフロスタースイッチ→P. 9-7
3- 吹き出し口切り換えスイッチ→P. 9-7
4- OFFスイッチ→P. 9-6
5- 風量調整ダイヤル→P. 9-5
6- エアコンスイッチ→P. 9-6
7- AUTOスイッチ→P. 9-6
8- リヤウインドウデフォッガースイッチ→P. 6-74
9- 内外気切り換えスイッチ→P. 9-5
10- リヤファンスイッチ→P. 9-15
11- 設定温度表示灯
12- 吹き出し口表示灯
13- リヤファン表示灯
14- 風量表示灯

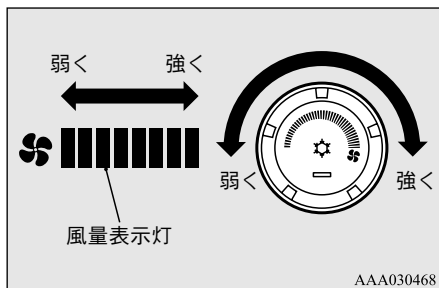
● スイッチの使い方P. 9-5
● 吹き出し口の切り換えP. 9-7
● 通常の使い方（自動で使うとき）P. 9-9
● 手動で使うとき
  • 急速暖房したいときはP. 9-11
  • ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときはP. 9-12
  • 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときはP. 9-13

スイッチの使い方

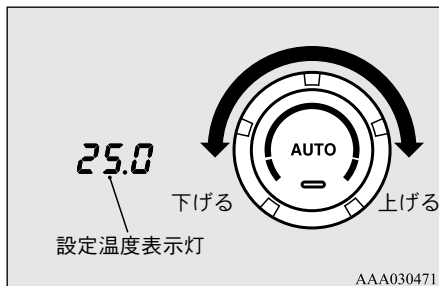
J01002500174

◆ 風量調整ダイヤル

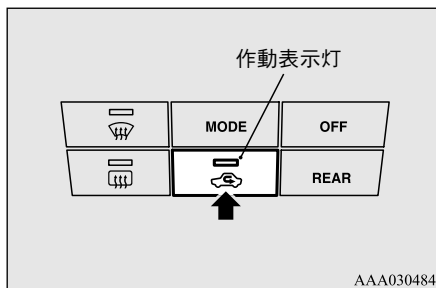
J01002800265

風量を強くするときは右へ，弱くするときは左へ回します。
選択した風量は風量表示灯に表示されます。

◆ 温度調整ダイヤル

J01003000381

室内温度を調整します。
温度を上げるときは右へ，下げるときは左へ回します。
選択した温度は設定温度表示灯に表 示されます。

◆ 内外気切り換えスイッチ

J01003400255

スイッチを押すと外気導入（外気を車内に入れる）と内気循環（外気をしゃ断する）の切り換えができます。
内気循環に切り換わるとスイッチ内の表示灯が点灯します。

⚠注意

- 窓の曇りを防止するため通常は外気導入で使用してください。
- 早く冷房したいときは内気循環にします。ただし，長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

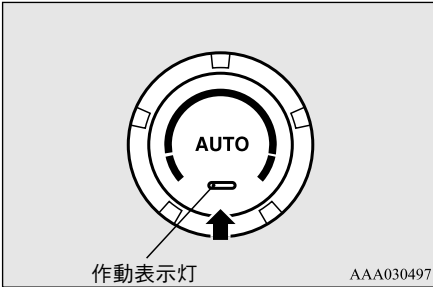
アドバイス

- 手動操作後，AUTOスイッチを押すと，内外気切り換えスイッチも自動制御されます。

9

◆ AUTOスイッチ

J01002600029

スイッチを押すと作動表示灯が点灯し，吹き出し口（除く），風量調整，内外気切り換え，温度調整およびエアコンのON/OFFを自動調整します。

◆ エアコンスイッチ

J01003500559

スイッチを押すとエアコン（冷房・除湿機能）が作動し，スイッチ内の作動表示灯が点灯します。もう一度押すとエアコンは停止します。

⚠注意

- オートマチック車は，エアコン作動中はエンジン回転数が高くなりクリープ現象が強くなりますので，停車中はしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
  →「クリープ現象」P. 2-16

アドバイス

- エアコン作動表示灯が点滅したときは，エアコン装置に何らかの異常が考えられます。安全な場所に車を止めて，エンジンをOFFにしてからもう一度エンジンをONにしてください。これでエアコン作動表示灯が点滅しなければ異常ありません。
  再び点滅する場合は三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 高圧洗車機などを使用して，大量の水がコンデンサに付着した場合は，洗車後エアコン作動表示灯が一時的に点滅することがありますが，異常ではありません。安全な場所に車を止めて，エンジンをOFFにしてからもう一度エンジンをONにしてください。水分が蒸発していれば点滅は止まります。

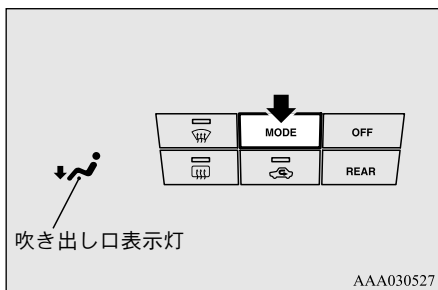
◆ OFFスイッチ

J01002700017

エアコンシステムを停止します。

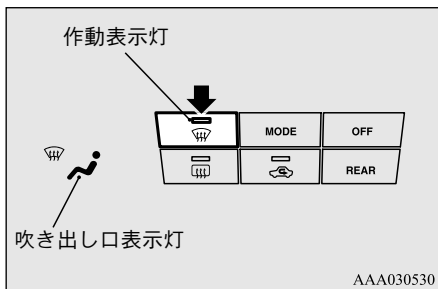
◆ 吹き出し口切り換えスイッチ

J01003300010

スイッチを押すごとに吹き出し口を →→→→ の順に切り換えます。選択した吹き出し口は吹き出し口表示灯に表示されます。

→「吹き出し口の切り換え」P. 9-7

◆ デフロスタースイッチ

J01003800015

スイッチを押すと吹き出し口がに切り換わり，スイッチ内の作動表示灯が点灯します。選択した吹き出し口は吹き出し口表示灯に表示されます。

→「吹き出し口の切り換え」P. 9-7

アドバイス

- デフロスタースイッチを押すと，エアコンが自動的に作動し、内外気切り換えは外気導入に切り換わります。
  →「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」P. 9-12

吹き出し口の切り換え

J01011400036

吹き出し口切り換えスイッチまたはデフロスタースイッチを押し，使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。

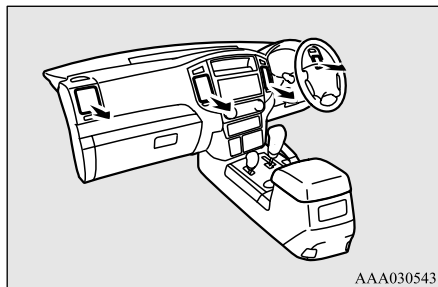
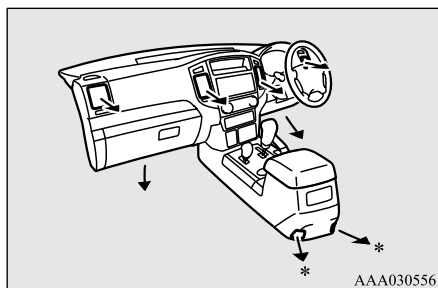
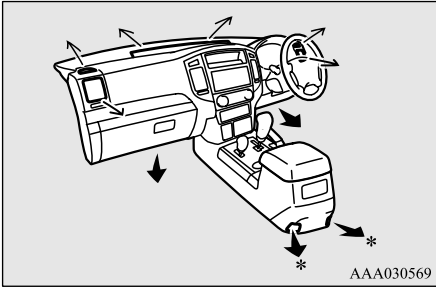
→「吹き出し口切り換えスイッチ」P. 9-7
→「デフロスタースイッチ」P. 9-7

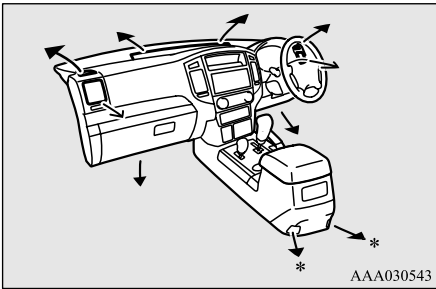
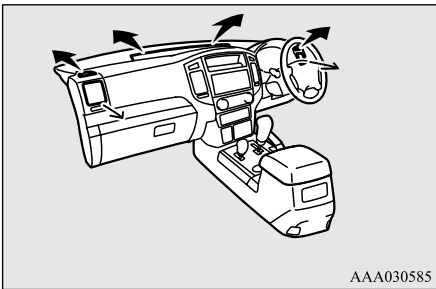
→：風量弱

➔：風量中

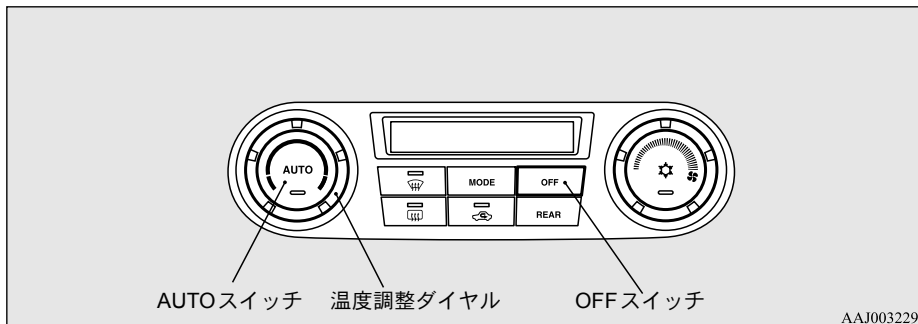
➜：風量強

＊：ガソリン車でリヤエアコン付き車の場合，＊の吹き出し口からの送風はしません。

上半身に送風したいとき

上半身と足元に送風したいとき

足元に送風したいとき

足元とウインドウガラスに送風したいとき

ウインドウガラスに送風したいとき

通常の使い方（自動で使うとき）

J01004000939

AAJ003229

吹き出し口，風量，エアコンのON/OFFおよび，内外気の切り換えを自動的に調整します。

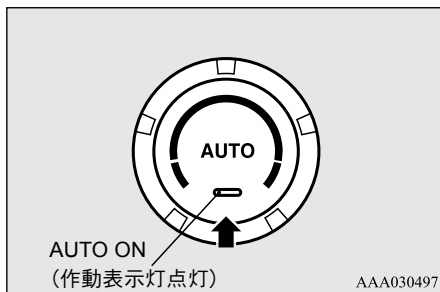
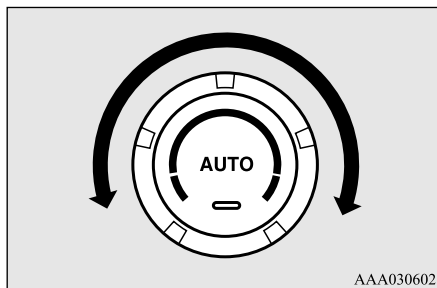
アドバイス

- AUTO 作動中に温度調整ダイヤル以外のスイッチやダイヤルを操作すると，操作した機能が優先されます。このときAUTO作動表示灯は消灯しますが，操作した機能以外は自動制御されます。

1. AUTOスイッチを押します。

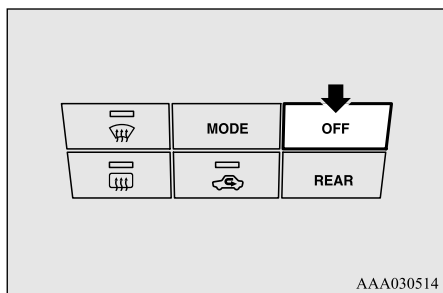
AAA030497

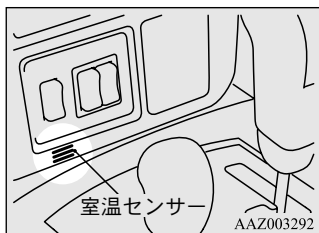
2. 温度調整ダイヤルで希望温度を設定します。設定温度を18~32 の間で調整できます。

AAA030602

アドバイス

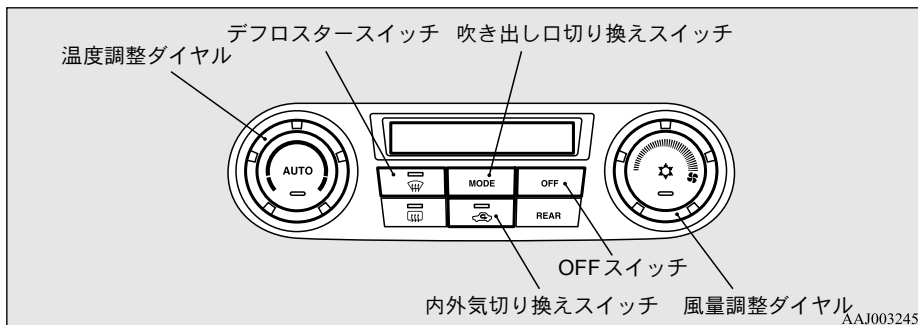
- 25 を基準に，お好みの温度に調整してください。
- エンジン冷却水温が低いときに温度調整ダイヤルを動かしても送風温度は変わりません。
- AUTO 作動中に温度を最高または最低に設定すると，内外気およびエアコンの状態がつぎのとおり自動的に切り換わります。
  自動的に切り換わったあとに手動操作した場合は，操作した機能が優先されます。
  - 急速暖房（最高温度に設定）
    外気導入
  - 急速冷房（最低温度に設定）
    内気循環，エアコン作動

9

3. 作動を止めたいときは OFF スイッチを押します。

アドバイス

- 室温センサーをふさいだりしないでください。

手動で使うとき

J01004100581

AAJ003245

お好みに合わせてダイヤルとスイッチを操作してください。AUTO（自動）作動中でも，温度調整ダイヤル以外のスイッチやダイヤルを操作すると，操作した機能が優先されます。このときAUTO作動表示灯は消灯しますが，操作した機能以外は自動制御されます。停止するときはOFFスイッチを押します。

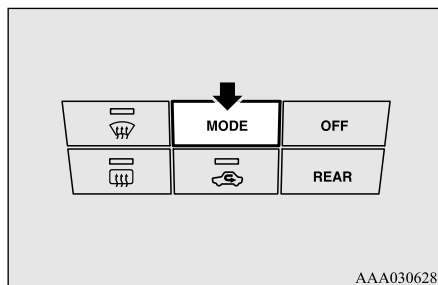
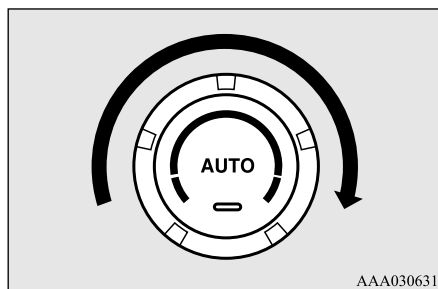
◆ 急速暖房したいときは

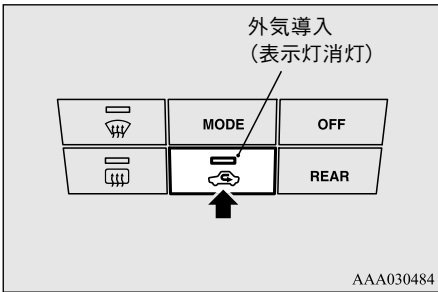
J01011000090

1. 吹き出し口切り換えスイッチを押して にします。

AAA030628

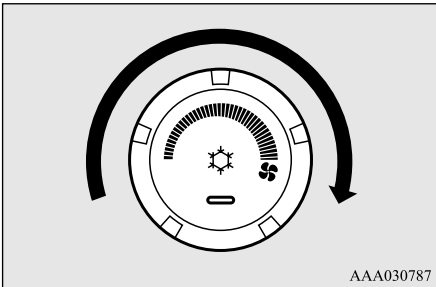
2. 温度調整ダイヤルを右に回し，設定温度表示灯を32.0に設定します。

AAA030631

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

AAA030484

⚠注意

- 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

4. 風量調整ダイヤルを右に回し，風量表示灯を風量最大に設定します。

AAA030787

◆ ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは

J01004200524

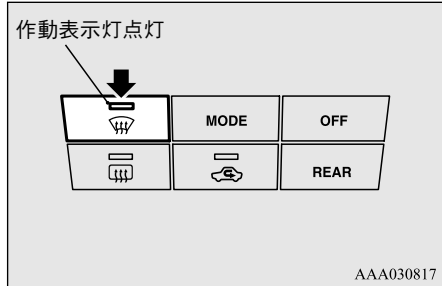
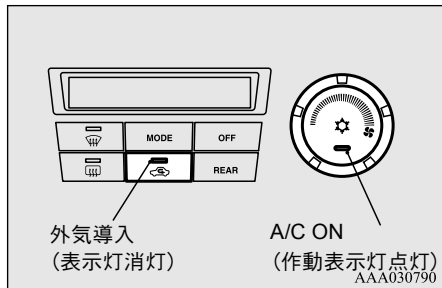
⚠注意

- 安全のため，ウインドウガラスの曇りや霜は早めに取り除いて視界確保に努めてください。

1. デフロスタースイッチを押します。

AAA030817

エアコンが自動的に作動し，内外気切り換えは外気導入に切り換わります。

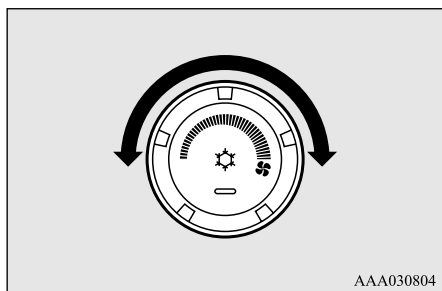
AAA030790

⚠注意

- 吹き出し口切り換えスイッチをにしてもウインドウガラスの曇り，霜を取ることができますが，自動的にエアコンは作動しません。また，外気導入にも切り換わりません。エアコンの作動および外気導入への切り換えは，エアコンスイッチおよび内外気切り換えスイッチを操作してください。

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

アドバイス

- 曇り，霜を早く取りたいときは温度を最高に設定します。
  デフロスタースイッチを押したときは設定温度を最低温度付近にしないでください。ウインドウガラスの外側に露が付くことがあります。
- サイドウインドウガラスの曇りを早く取りたいときは，左右の吹き出し口を開（≋）にして，サイドウインドウガラスに向けてください。

3. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

アドバイス

- 曇り，霜を早く取りたいときは風量を最大に設定します。

◆ 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは

J01004300033

トンネルや渋滞など外気が汚れているときは内外気切り換えスイッチを押して内気循環にします。

→「内外気切り換えスイッチ」P. 9-5

9

スタートアップヒーター（ディーゼル寒冷地仕様車）

タイプ別装備

J01010900047

エンジン冷却水の温度が低いとき，暖房性能を向上させるための電気式ヒーターです。顔ほてりを防止するため，足元から吹き出す風に効果があるよう設定されています。

通常の使い方（自動で使うとき）

AUTO スイッチを押し，温度調整ダイヤルでお好みの温度に設定してください。エンジン冷却水と車室内の温度から判断して自動で作動，停止を行います。

手動で使うとき

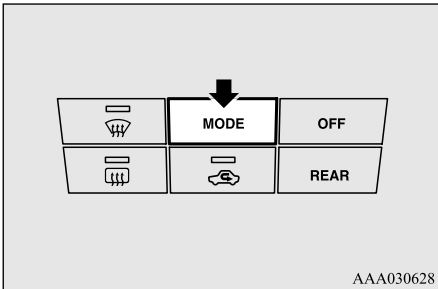
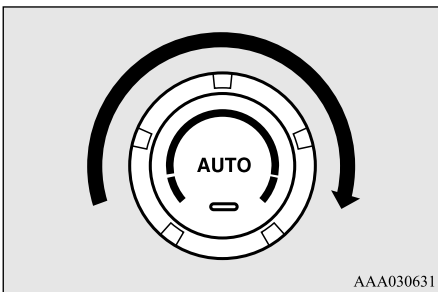
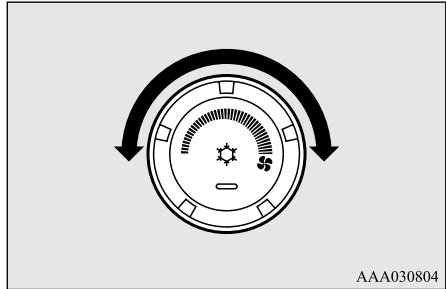
1. 吹き出し口切り換えスイッチを押して または にします。

AAA030628

2. 温度調整ダイヤルを右に回し，設定温度表示灯を32.0に設定します。

AAA030631

3. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

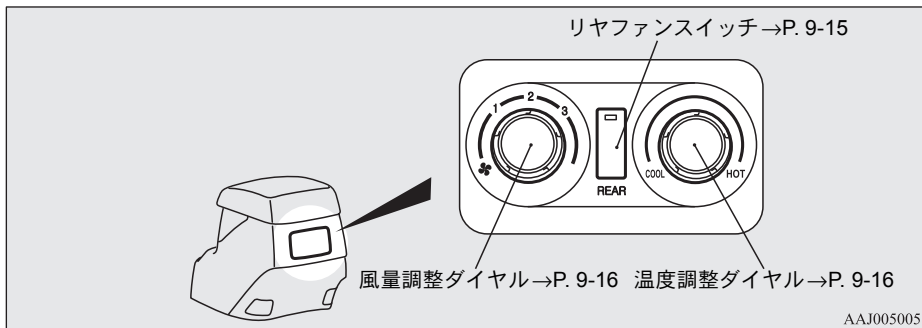
AAA030804

アドバイス

- 吹き出し口表示灯を , , にするか，設定温度を下げると停止します。

リヤエアコン

J01004500051

ロング（5ドア車） タイプ別装備

エンジンスイッチがONのときに使用できます。
フロントエアコンがONのとき，後席用エアコンとして作動します。

AAJ005005

● スイッチの使い方P. 9-15
● 使い方P. 9-16

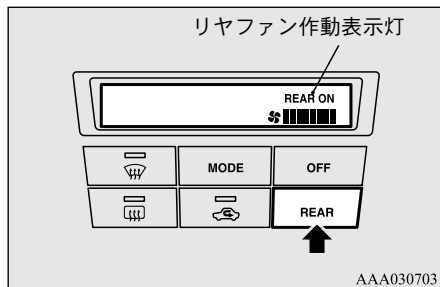
スイッチの使い方

J01004600023

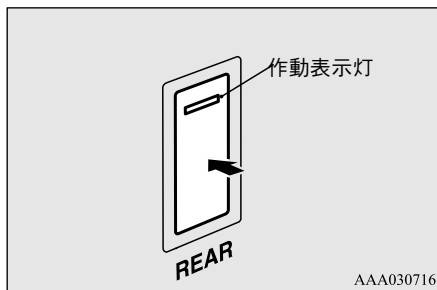
◆ リヤファンスイッチ

J01004900026

前席用

リヤファンスイッチを押すとリヤファンが作動し，リヤファン作動表示灯にREAR ONが表示されます。
もう一度押すと作動は停止します。

AAA030703

後席用

スイッチを押すとリヤファンが作動し，スイッチ内の作動表示灯が点灯します。
もう一度押すと停止します。

AAA030716

アドバイス

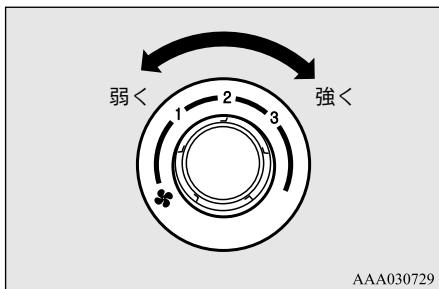
- リヤファンの作動停止はスイッチ内の作動表示灯で確認してください。作動中は作動表示灯が点灯します。
- 前席用または後席用どちらのスイッチを押してもリヤファンの作動，停止が行えます。

9

◆ 風量調整ダイヤル

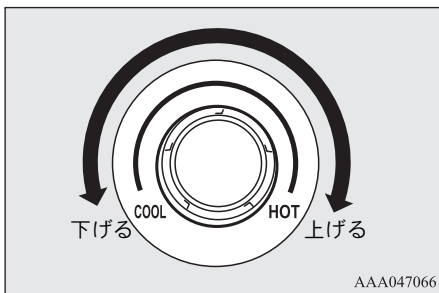
J01005200039

風量を強くするときは右へ，弱くするときは左へ回します。

AAA030729

◆ 温度調整ダイヤル

J01005400044

送風温度を調整します。
温度を上げるときは右へ，下げるときは左へ回します。

AAA047066

アドバイス

- エンジン冷却水温が低いときに温度調整ダイヤルを動かしても送風温度は変わりません。
- フロントエアコン（冷房・除湿機能）を作動していないと，冷房ができませんので，必ずフロントのエアコン（冷房・除湿機能）を作動させてから操作してください。
  フロントのエアコンが作動していないときは送風のみとなります。

使い方

J01010500014

◆ 作動させるときは

1. 前席用または後席用のリヤファンスイッチを押します。
2. 風量調整ダイヤル，温度調整ダイヤルをお好みに合わせて調整します。

◆ 作動を停止したいときは

前席用または後席用のリヤファンスイッチを押します。

9

エアコンの上手な使い方

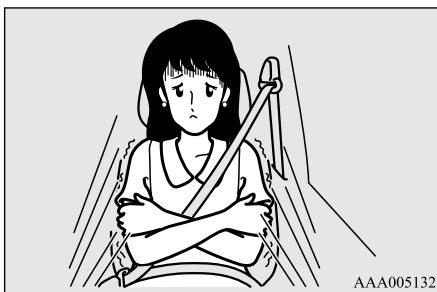
J01009400651

長時間炎天下に駐車したときは

車室内の温度は大変高くなります。
このようなときはドアガラスを開けて車車内の熱気を車外に追い出してください。

AAA014200

冷やしすぎに注意

長時間冷風を直接身体に当てないでください。冷やしすぎは身体によくありませんので，少し涼しいと感じる温度に調整してください。

AAA005132

定期点検を忘れずに

暑い季節になる前に冷媒ガス量の点検を行ってください。冷媒ガスが不足すると冷房効果が悪くなります。

⚠注意

- エアコンの冷媒ガスを充填する場合は，エンジンルーム内に貼付のエアコン冷媒ラベルに記載されている冷媒量をお守りください。規定量を超えて充填した場合，エアコンコンプレッサが故障し，エンジン停止や始動不能になるおそれがあります。

アドバイス

- エアコンの効きが悪い場合は冷媒ガスが不足またはないことが考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

クリーンエアフィルター（脱臭機能付き）

J01009500359

花粉，ほこり，たばこおよび排気ガスの臭いなどを取り除くフィルターを内蔵しています。フィルターに花粉やほこりなどが付着すると効果が低下しますので，フィルターは定期的に交換することをおすすめします。

アドバイス

- 使用地域やエアコンの使用頻度によってはフィルターの寿命が短くなります。吹き出し風量が極端に減少したりガラスが曇りやすくなったときは交換時期ですので三菱自動車販売会社にご相談ください。
  （交換時期の目安:1年または12,000kmのいずれか早いとき）

オーディオ

10

● 三菱マルチコミュニケーションシステム付き車用オーディオ，DVD内蔵後席9インチワイド液晶ディスプレイの操作については，別冊の取扱説明書をご覧ください。

AM/FMチューナー＆6連奏 CDチェンジャー（MP3再生対応）

タイプ別装備

J01100100669

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

10

音量・音質調整のしかた

J01100300296

AAL002284

◆ 音量調整

J01102300258

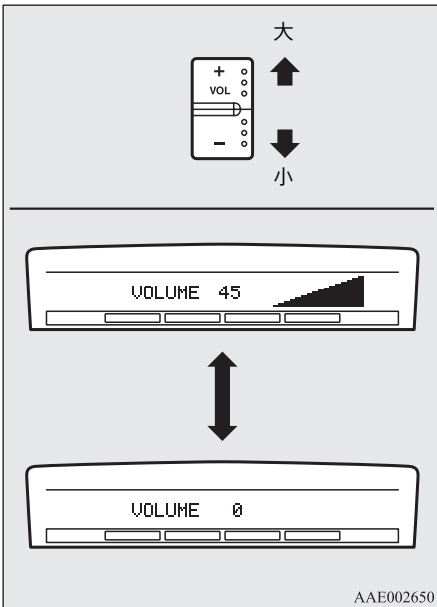
音量調整ボタン(1)で調整します。
調整状態は表示部に表示されます。

AAE002650

⚠注意

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 調整終了後, 約2秒後に元の表示に戻ります。
  音量調整ボタン(1)を押して2秒以上放置したり他のボタンを操作すると，元の表示に戻ります。

◆ オーディオコントロール調整

J01120600022

音質，音量バランスを調整することができます。

1. サウンド選択ボタン (2) を押して，調整したいモードを選択します。調整モードはボタンを押すごとに切り換わり，表示部に表示されます。

除く，プレミアムサウンドシステム付き車

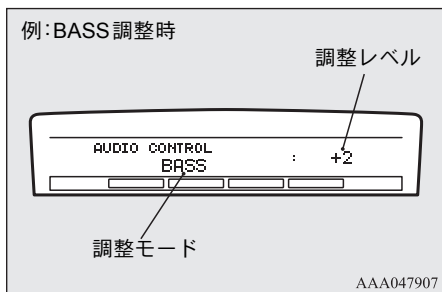
EQUALIZER TYPE → LISTENER SIDE → SOUND FIELD → BASS（低音）→ MID（中音） → TREBLE（高音） → FADER （前後音量） → BALANCE （左右音量） → 調整モード解除

プレミアムサウンドシステム付き車

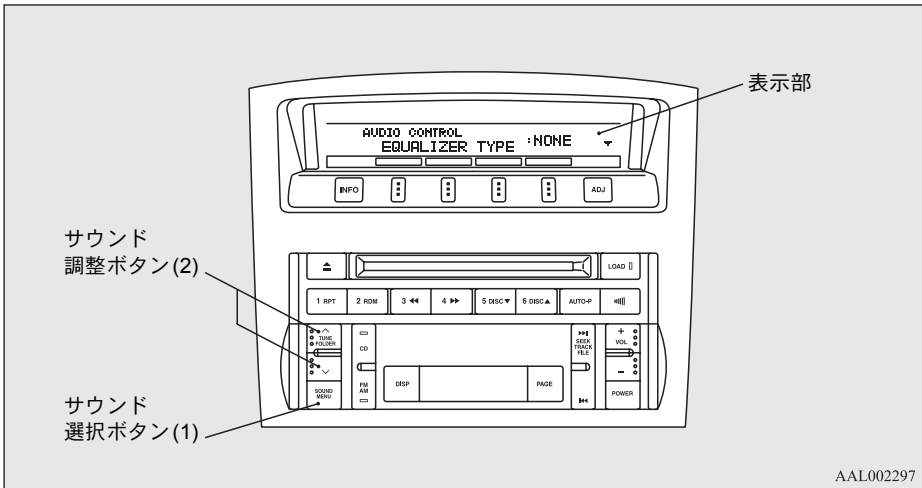
AUDIO CONTROL/SURROUND CONTROL → SUBWOOFER GAIN → EQUALIZER TYPE → LISTENER SIDE → SOUND FIELD → BASS（低音）→ MID（中音） → TREBLE（高音） → FADER （前後音量） → BALANCE （左右音量） → 調整モード解除

モード	内容
AUDIO CONTROL / SURROUND CONTROL	お好みのサラウンド･サウンドを選択することができます。
SUBWOOFER GAIN	サブウーハー(重低音再生専用スピーカー)の音量を選択することができ, お客様のお好みに合わせた重低音レベルを調整することができます。
EQUALIZER TYPE	音楽ソースに合わせてお好みの音響特性を選択することができます。
LISTENER SIDE	お客様の座席位置に合わせてより適した音響特性を選択することができます。
SOUND FIELD	お好みの音場空間を選択することができます。
BASS (低音調整)	お客さまの好みに合わせた低音の音量を調整することができます。
MID (中音調整)	お客さまの好みに合わせた中音の音量を調整することができます。
TREBLE (高音調整)	お客さまの好みに合わせた高音の音量を調整することができます。
FADER (前後音量バランスの調整)	前側スピーカーと後側スピーカーの音量バランスを調整することができます。
BALANCE (左右音量バランスの調整)	左側スピーカーと右側スピーカーの音量バランスを調整することができます。

2. サウンド調整ボタン (3) を押してお好みに合わせて調整します。

AAA047907

モード	調整範囲	サウンド調整スイッチ操作	
		∨側を押す	∧側を押す
AUDIO CONTROL / SURROUND CONTROL	→P. 10-12		
SUBWOOFER GAIN	-9~+6	弱くなる	強くなる
EQUALIZER TYPE	→P. 10-8		
LISTENER SIDE	LEFT or RIGHT	RIGHT (右)	LEFT (左)
SOUND FIELD	→P. 10-10		
BASS	-6~+6	弱くなる	強くなる
MID			
TREBLE			
FADER	R11~F11	R (後側) 大	F (前側) 大
BALANCE	L11~R11	L (左側) 大	R (右側) 大

アドバイス

- 調整レベルが“0”（センター位置）のときに，音が“ピッ”と鳴ります。
- 調整終了後，約10秒後に元の表示になります。
  サウンド選択ボタン(2)を操作して10秒以上放置したり他のボタンを操作すると，調整モードが解除され，元の表示に戻ります。
- 速度が上がっても，停車時とほぼ同等な音量感，音質感で聴けるように自動で補正します。この機能は作動させないようにすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ イコライザータイプ調整モード

J01109900035

音楽ソースに合わせてお好みの音響特性を選択することができます。
イコライザータイプ調整モードは, 5種類の音楽ソースに合わせて調整した音響設定の中から，お好みの設定をお楽しみいただく機能です。

1. サウンド選択ボタン (1) を押して，表示部に“EQUALIZER TYPE”を表示させます。
2. サウンド調整ボタン (2) を押して，表示部にお好みのイコライザータイプを表示させます。

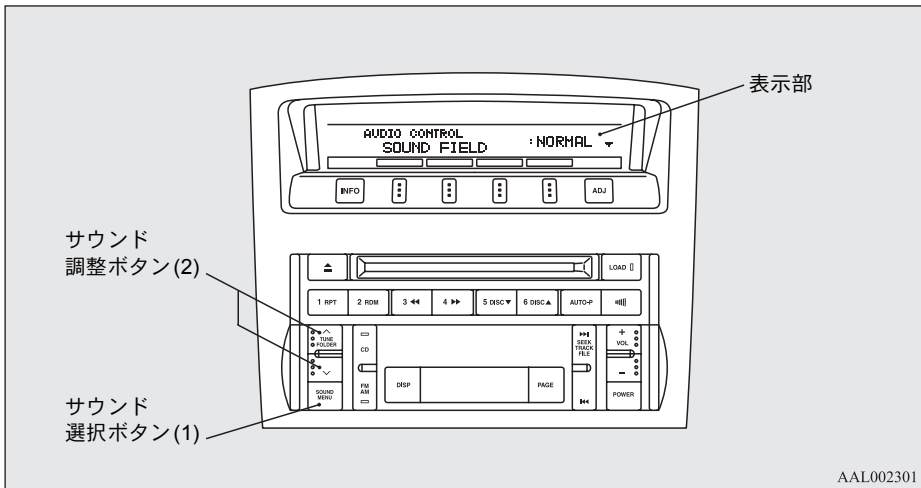
   NONE → ROCK → POP → COUNTRY → R&B

3. サウンド調整ボタン (2) を押して聞きたいイコライザータイプを選択します。

イコライザータイプメニュー

メニュー	内容
NONE	全体的な音のバランスをフラットにした音を必要とするジャズやクラシックに最適な音響特性です。
ROCK	中低音を強調したスピード感のある音を必要とするロックミュージックに最適な音響特性です。
POP	低音域と高音域にメリハリをつけた歯切れのよいボーカルを必要とするポップミュージックに最適な音響特性です。
COUNTRY	中音域を重視し, ボーカルを強調するカントリーミュージックに最適な音響特性です。
R&B	高音域, 重低音を強調するR&Bミュージックに最適な音響特性です。

アドバイス

- イコライザータイプ調整モードはサウンドタイプメニューで“CINEMA”を選択したときは調整できません。
(プレミアムサウンドシステム付き車のみ)
- 調整終了後，約10秒後に元の表示になります。
サウンド選択ボタン(1)を操作して10秒以上放置したり他のボタンを操作すると，調整モードが解除され，元の表示に戻ります。

◆ サウンドフィールドタイプ調整モード

J01110000094

お好みの音場空間を選択することができます。
サウンドフィールドタイプ調整モードは, 4種類の音場空間の中からお好みの設定をお楽しみいただく機能です。

1. サウンド選択ボタン (1) を押して，表示部に“SOUND FIELD”を表示させます。

2. サウンド調整ボタン (2) を押して，表示部にお好みのサウンドフィールドタイプを表示させます。

   NORMAL → STUDIO → CLUB → CONCERT

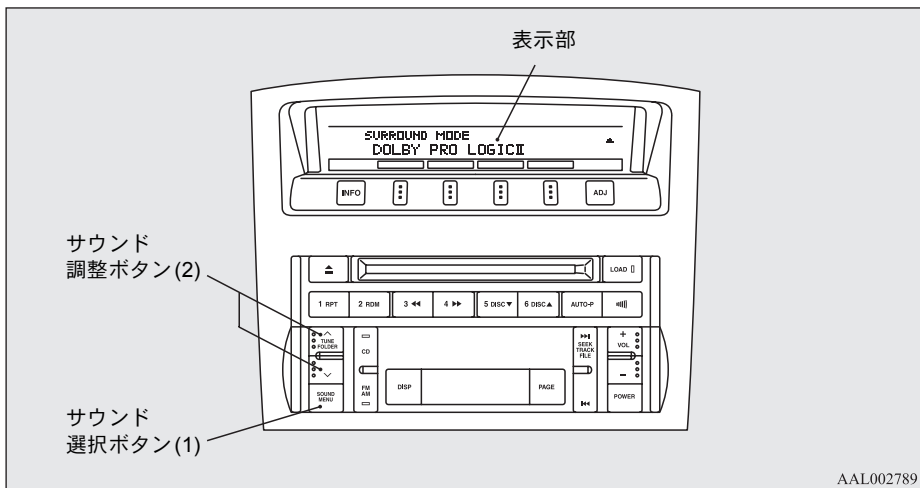
3. サウンド調整ボタン (2) を押して聞きたいサウンドフィールドタイプを選択します。

サウンドフィールドタイプメニュー

機能名	内容
NORMAL	ボーカルを前方に残しながら, 楽器音がリスナーを包み込むように演出したサウンドイメージをお楽しみいただけます。
STUDIO	運転者の目の前にボーカルや楽器がいるような, スタジオを演出したサウンドイメージをお楽しみいただけます。
CLUB	前後左右からの音に包まれるようなクラブ会場を演出したサウンドイメージをお楽しみいただけます。
CONCERT	コンサート会場独特の残響効果を演出し, あたかもコンサートホールにいるようなサウンドイメージをお楽しみいただけます。

10

アドバイス

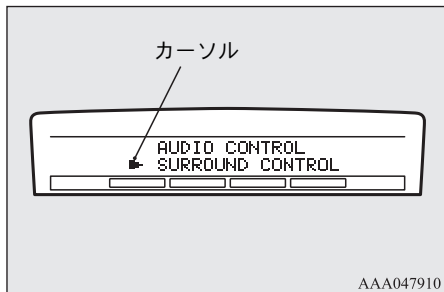
- サウンドフィールドタイプ調整モードはサラウンドモードメニューの設定が“DOLBY PRO LOGIC II”のときは調整できません。
  (プレミアムサウンドシステム付き車のみ)
- 調整終了後，約10秒後に元の表示になります。
  サウンド選択ボタン (1) を操作して 10 秒以上放置したり他のボタンを操作すると，調整モードが解除され，元の表示に戻ります。

表示部
SURROUND MODE
DOLBY PRO LOGICⅡ
サウンド
調整ボタン(2)
サウンド
選択ボタン(1)
AAL002789

◆ サラウンドコントロール調整

J01118300048

プレミアムサウンドシステム付き車

お好みのサラウンド・サウンドを選択できます。
サラウンドコントロール調整は, 2種類のサラウンド・サウンドの中からお好みの設定をお楽しみいただく機能です。

1. サウンド選択ボタン (1) を押して, “AUDIO CONTROL, SURROUND CONTROL”を表示させます。
2. サウンド調整ボタン (2) を押して, “SURROUND CONTROL”にカーソルを合わせ, サウンド選択ボタン (1) を押すとサラウンドコントロール調整モードに入ります。

サウンド選択ボタン(2)を押すごとに, 調整モードが切り換わります。
SURROUND MODE → SOUND TYPE → LISTENING POSITION → 調整モード解除

3. サウンド調整ボタン (2) を押して, お好みに合わせて調整します。
調整状態は表示部に表示されます。

サラウンドモードメニュー

機能名	内容
DOLBY PRO LOGIC II	CDのような通常音声から，立体的な音場空間を再現します。臨場感豊かなサラウンド音声をお楽しみください。
2CH STEREO SOUND	12個のスピーカーシステムの本格的なステレオ音声をお楽しみください。

アドバイス

- ドルビーデジタルはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー，DOLBY，およびダブルD記号DDはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。
  DTS はデジタルシアターシステムズ社からの実施権に基づき製造されています。DTS, およびDTS Digital Surroundはデジタルシアターシステムズ社の登録商標です。

サウンドタイプメニュー

メニュー	内容
CINEMA	映画を楽しむのに適した設定です。
MUSIC	音楽を楽しむのに適した設定です。

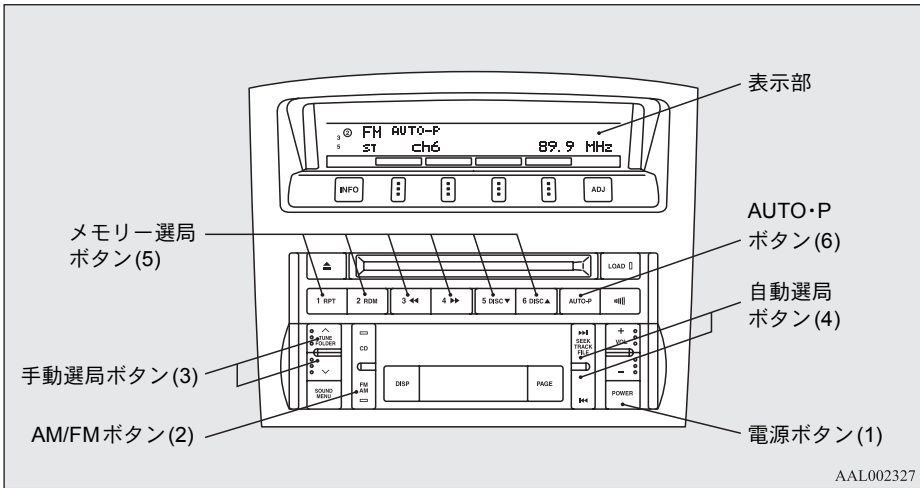
リスニングポジションメニュー

メニュー	内容
1ST SEATS	フロントシートでサラウンド音声を楽しむのに適した設定です。
2ND SEATS	セカンドシートでサラウンド音声を楽しむのに適した設定です。
ALL SEATS	全席でサラウンド音声を楽しむのに適した設定です。

アドバイス

- 選択した音質調整モードによっては一部使用できない調整モードがあります。
  つぎのようなとき調整はできません。
  - サラウンドモードのメニューの設定が“STEREO”のとき
    →サウンドタイプメニュー，リスニングポジションメニュー
  - サラウンドモードメニューの設定が“DOLBY PRO LOGIC II”のとき
    → サウンドフィールドタイプ調整モード
  - サウンドタイプメニューで“CINEMA”を選択したとき
    →イコライザータイプ調整モード
- 調整終了後，約10秒後に元の表示になります。
  サウンド調整スイッチ (1) を操作して 10秒以上放置したり他のボタンを操作すると，調整モードが解除され，元の表示に戻ります。

ラジオを聞くときは

J01100500315

AAL002327

1. 電源ボタン (1) を押して電源を入れます。電源を切りたいときはもう一度ボタンを押します。
2. AM/FMボタン(2)を押します。
   ラジオ以外の状態のときはラジオに切り換わり前回受信していたバンドの放送局をよびだします。ラジオの状態のときはAM/FMが切り換わります。
3. 手動選局ボタン (3) を押すか，自動選局ボタン (4) を押して聞きたい放送局を選びます。

◆ 放送局を選局するときは

J01103500039

手動で選局するときは

手動選局ボタン(3)を押します。

- 周波数の高いほうへ選局するときは
  ︿ 側
- 周波数の低いほうへ選局するときは
  ﹀ 側

自動で選局するときは

自動選局ボタン(4)を押します。

- 周波数の高いほうへ選局するときは
  ▶▶I 側
- 周波数の低いほうへ選局するときは
  I◀◀ 側

解除するときは同方向にもう 1 回ボタンを押します。

アドバイス

- 受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。
- FMステレオ放送を受信したときは，表示部に“ST”と表示されます。また，すべてのAM放送をモノラルで受信します。
- 自動選局動作中，手動選局ボタンで動作を中断したときは，そのまま手動選局モードに移行されます。

◆ 放送局を記憶させるときは

J01103600317

手動で放送局を記憶させるときは

自動で記憶させた放送局とは別に AM, FM放送局を各6局まで記憶させることができます。

1. AM/FMボタン(2)を押して, AMまたはFM放送を選びます。
2. 手動選局ボタン (3) を押すか，自動選局ボタン (4) を押して記憶させたい放送局を受信します。
3. メモリー選局ボタン(5) [1~6]のいずれか1つを押し続け，ピッという音がしたら完了です。表示部には記憶されたボタン番号と周波数が表示されます。
4. 次回からはメモリー選局ボタン (5) を軽く押すと，そのボタンに記憶されている放送局を受信します。

アドバイス

- 選局ボタン1つにつきAM1局, FM1局の2局を記憶することができます。
- バッテリー端子を外したときは記憶が取り消されます。

自動で放送局を記憶させるときは

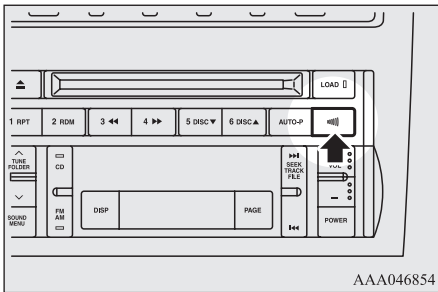
手動で記憶させた放送局とは別に受信可能な AM，FM 放送の各 6 局を受信状態の良好な順に自動で記憶することができます。

周波数や放送局がわからない地域で記憶するときに有効です。

1. AM/FMボタン(2)を押して, AMまたはFM放送を選びます。
2. AUTO・Pボタン(6)をピッという音がするまで押し続けます。
3. 表示部に“AUTO・P”と表示され選局がはじまります。
4. メモリー選局ボタン (5)[1~6] に自動で記憶されch1に記憶された放送局を受信します。
5. 次回からはAUTO・Pボタン(6)を軽く押して表示部に“AUTO・P”と表示させてから，メモリー選局ボタン (5) を軽く押すと，そのボタンに記憶されている放送局を受信します。

アドバイス

- 受信可能な放送局が 6 局より少ない場合はその受信可能局数だけ記憶します。
- バッテリー端子を外したときは記憶が取り消されます。
- 表示部の“AUTO・P”表示は AUTO・P ボタン(6)を軽く押すたびに点灯／消灯します。

◆ 交通情報を聞くときは

J01103800234

交通情報を行っている地域で交通情報をワンタッチで受信します。
交通情報ボタンを押すと交通情報局(1620kHz)を受信します。
もう一度押すと解除されます。

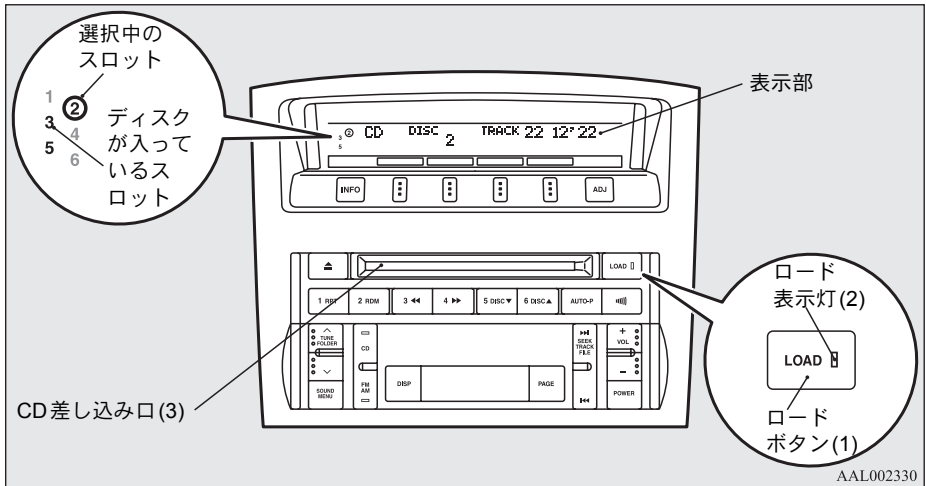
アドバイス

- 1620kHz の交通情報を受信できないときは自動的に1629kHzの交通情報局を受信します。
  どちらも受信できないときは約 5 秒後に交通情報ボタンを押す前の状態に戻ります。
- CD を聞いているときでも交通情報ボタンを押すと交通情報を受信することができます。

10

CDチェンジャーでCDを聞くときは

J01100900032

CDチェンジャーは12 cmディスク対応で最大6枚まで収納できます。

◆ 1枚だけCDをセットするときは

J01118400036

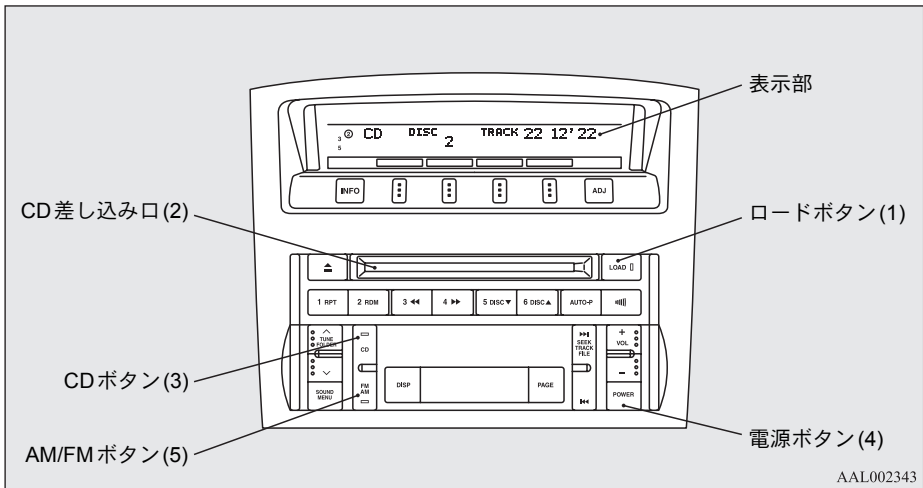
1. ロードボタン(1)を押します。
2. 空スロットが選択されます。
3. CD 挿入待機状態になるとロード表示灯(2)が点灯し, 表示部に“LOAD DISC [1~6]”と表示されます。
4. ディスクのラベル面を上にしてCD差し込み口 (3) に入れて，軽く押し込むと再生が始まり，表示部に“CD”を表示します。

アドバイス

- 電源が入っていないときでも，ロードボタン(1)を押すと電源が入り，CD挿入待機状態を開始します。
- ロードボタン(1)を押した後, 15秒以上放置したり他のボタンを操作すると，CD挿入待機状態が解除され，元のモードに切り換わります。

アドバイス

- ロード表示灯(2)が消灯中は, CDを挿入することができません。

10

◆ CD を連続してセットするときは

J01118500024

1. ロードボタン (1) をピッという音がするまで押し続けます。
2. 空スロットが選択されます。
3. CD 挿入待機状態になるとロード表示灯が点灯し，表示部に“LOAD DISC [1~6]”と表示されます。
4. ディスクのラベル面を上にしてCD差し込み口 (2) に入れます。その後，自動的につぎの空スロットが選択されますので，つぎのディスクをいれます。
5. 全てのディスクを挿入すると，最後に挿入したディスクから再生します。

アドバイス

- CD 挿入待機状態にもう一度ロードボタン (1) を押すと，CD 挿入待機状態は解除されます。
- 空スロットがなくなったときは，表示部に“FULL DISC”が表示されます。

アドバイス

- ロードボタン(1)を押した後，15秒以上放置したり他のボタンを操作すると，CD挿入待機状態が解除され，元のモードに切り換わります。

◆ CDを聞くときは

J01118600025

1. CD ボタン (3) を押して，CD モードを選択すると，再生が始まります。
2. CDを止めるときは電源ボタン(4)を押して電源を切るか，AM/FM ボタン (5) を押して他のモードにします。

アドバイス

- CD-ROM，CD-RおよびCD-RWを再生することができます。
- CDシングル（8 cmディスク）は使用できません。入れても自動で出てきますが，無理に入れると故障の原因になります。
- 1 枚目のCDの演奏が終了したあとは自動的に 2 枚目の演奏を開始し，3 枚目→4 枚目→5 枚目→6 枚目→1 枚目と順番に続けて演奏します。

◆ MP3 CDを聞くときは

J01118700039

このCDチェンジャーは，CD-ROM，CD-RおよびCD-RWにISO9660レベル1/レベル2，JolietおよびRomeoフォーマットで記録されたMP3ファイルを再生することができます。
各ディスクは，1枚のディスク当たり，最高16の階層，100のフォルダおよび255のファイルを持つことができます。
MP3再生中に，ID3タグ情報を表示することができます。
→「表示を切り換えるときは」P. 10-25

MP3 CDをCD差し込み口に入れ，軽く押し込むと，表示部に“READING”と表示され，再生が始まります。

MP3とは…

MPEG-1 Audio Layer3の略称です。
MPEGはビデオCDなどに採用されている映像圧縮規格です。MP3はMPEGの音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式のひとつで，人間の耳に聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を削る処理などにより，音質を保ったまま小さなファイルに圧縮することができます。
約10分の1に圧縮できるので，音楽CD約10枚分の音楽データをCD-R/RW1枚に書き込むことができます。（ビットレート128 kbps，サンプリング周波数44.1 kHzで，容量650 MBのCD-R/RWに書き込んだ場合のおよその数値）

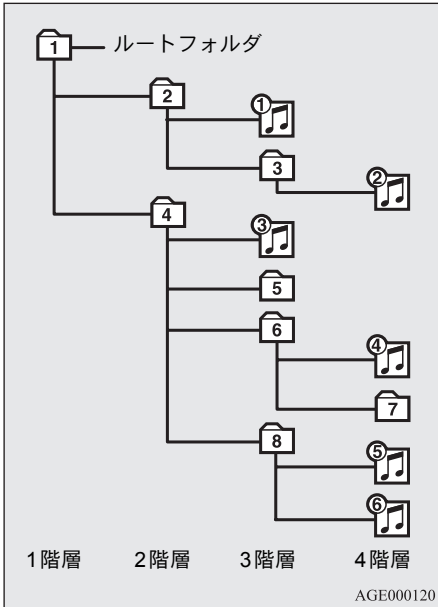
⚠ 注意

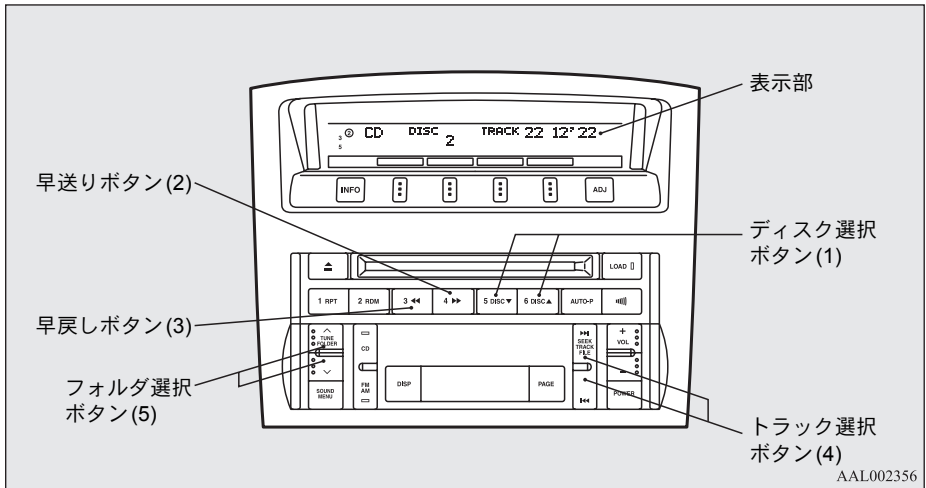
- MP3ファイル以外の音楽データには，拡張子「.MP3」を付けないでください。スピーカーが破損したり，雑音がでて耳に重大な障害を受けるおそれがあります。

アドバイス

- CD-DA（音楽用CD）およびMP3ファイルが両方とも記憶されたディスクの場合，CD-DAを再生中，CDボタン(3)をピッという音がするまで押し続けることにより，MP3ファイルに切り換えることができます。
- CD-DAおよびMP3ファイルの両方を含んでいるディスクでは，CD-DAファイルが優先的に再生されます。
- 再生時の音質は，使用したエンコーダーソフトやビットレートなどの設定によって異なります。詳しくは，エンコーダーソフトの取扱説明書をご覧ください。
- ディスク上のファイル／フォルダ配置によって，再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- MP3変換ソフトおよび書込みソフトは付属されておりません。
- 使用した書込みソフトやCDレコーダー（CD-R/RWドライバ），またはその組合わせによって正常に再生されなかったり，正しく表示されない場合があります。
- 多くのフォルダやMP3以外のファイルを書き込むと，再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- このCDチェンジャーはMP3ファイルを記録することができません。

◆フォルダ選択順序とMP3ファイル再生順序（例）

J01118800030

フォルダ選択順序

ファイル選択順序

◆ ディスクを選択するときは

J01107000016

ディスク選択ボタン(1)を押して聞きたいディスクナンバーを選択します。

▲ ディスクナンバーが増加
▼ ディスクナンバーが減少

アドバイス
- ディスク選択ボタン(1)を押すごとに表示部のディスクナンバーが変わります。

◆ 早送り，早戻しをするときは

J01107100017

再生中，早送りするときは早送りボタン(2)を押します。
再生中，早戻しするときは早戻しボタン(3)を押します。

ボタンを押している間，早送り，早戻しとなります。

◆ トラックを選択するときは

J01118900015

トラック選択ボタン(4)を押して聞きたい曲のトラックナンバーを選択します。

▶▶I トラックナンバーが増加
I◀◀ トラックナンバーが減少

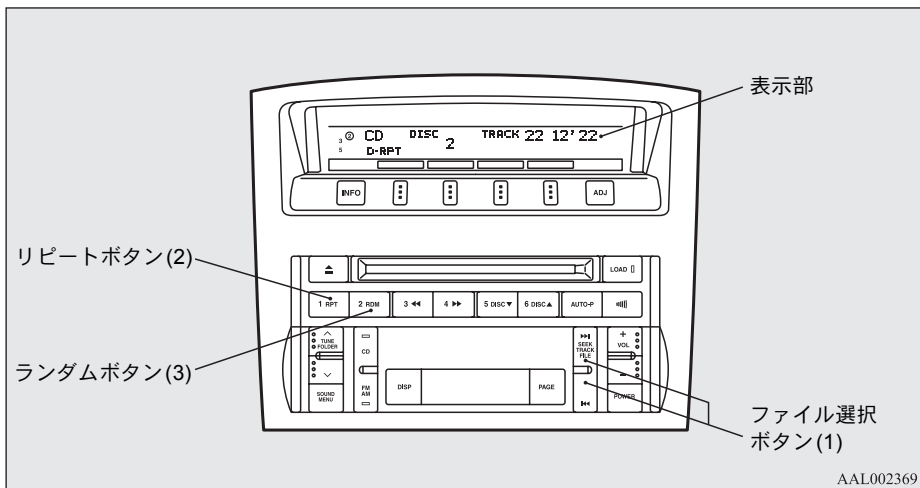
聞いている曲の途中でボタンのI◀◀側を1回押すと，その曲の頭に戻り再生します。

アドバイス
- トラック選択ボタンを押すごとに表示部のトラックナンバーが変わります。

◆ フォルダを選択するときは

J01119000039

MP3

フォルダ選択ボタン(5)を押します。
- フォルダナンバーの大きいほうへ選択するときは∧側
- フォルダナンバーの小さいほうへ選択するときは∨側

◆ ファイルを選択するときは

J01119100014

MP3

ファイル選択ボタン(1)を押して聞きたいファイルナンバーを選択します。

▶▶I ファイルナンバーが増加

I◀◀ ファイルナンバーが減少

ボタンを押している間，ファイルナンバーが増加または減少します。

◆ 同じトラックを繰り返し聞くときは

J01120400020

除く MP3

再生中，リピートボタン(2)を押して表示部に“RPT”を表示させます。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

◆ 同じファイルを繰り返し聞くときは

J01119200028

MP3

再生中，リピートボタン(2)を押して表示部に“RPT”を表示させます。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

◆ 同じディスクを繰り返し聞くときは

J01107500024

除く MP3

再生中，リピートボタン(2)をピッという音がするまで押し続けて，表示部に“D-RPT”を表示させます。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

◆ 同じフォルダを繰り返し聞くときは

J01119400020

MP3

再生中，リピートボタン(2)をピッという音がするまで押し続けて，表示部に“D-RPT”を表示させます。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

アドバイス
● CD-DAとMP3ファイルが1つのディスクに混在しているときは，どちらかのフォーマットだけを繰り返し再生します。

◆ ランダムな曲順で聞くときは

J01107600025

除くMP3

ランダムボタン(3)を押します。表示部に“RDM”と表示されます。
再生中のディスクからプレーヤーがランダムに選曲し，再生します。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

◆ フォルダをランダムな曲順で聞くときは

J01119300029

MP3

ランダムボタン(3)を押します。表示部に“RDM”と表示されます。
再生中のフォルダからプレーヤーがランダムに選曲し，再生します。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

◆ すべてのディスクをランダムな曲順で聞くときは

J01119500021

除くMP3

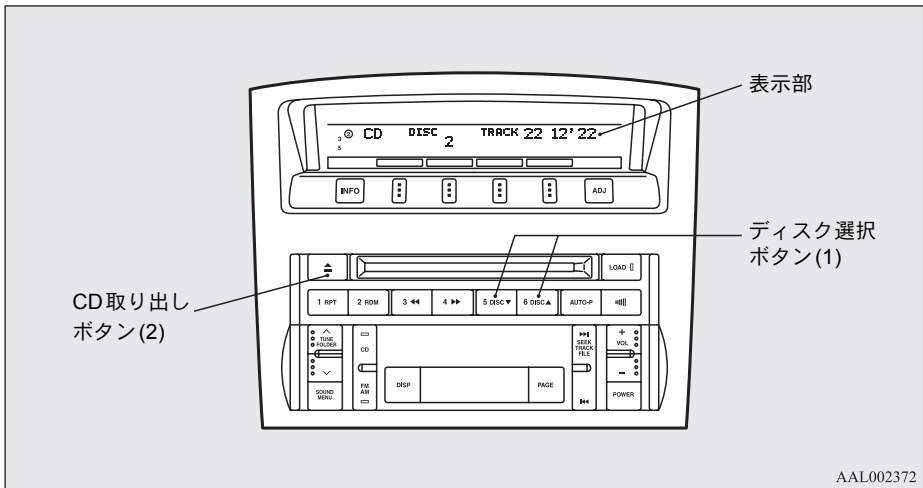
ランダムボタン(3)をピッという音がするまで押し続けます。表示部に“D-RDM”と表示されます。
セットしたすべてのディスクからチェンジャーがランダムに選曲し，再生します。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

◆ すべてのフォルダをランダムな曲順で聞くときは

J01120500047

MP3

ランダムボタン(3)をピッという音がするまで押し続けます。表示部に“D-RDM”と表示されます。
再生中のディスクのすべてのフォルダからプレーヤーがランダムに選曲し，再生します。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

アドバイス
● CD-DAとMP3ファイルが1つのディスクに混在しているときは，どちらかのフォーマットだけをランダム再生します。

◆ 1 枚だけ CD を取り出すときは

J01119600022

ディスク選択ボタン(1)を押して取り出したいディスクナンバーを選択します。
CD取り出しボタン(2)を押すと自動的にCDが出て元のモードに切り換わります。

◆ CD を連続して取り出すときは

J01119700036

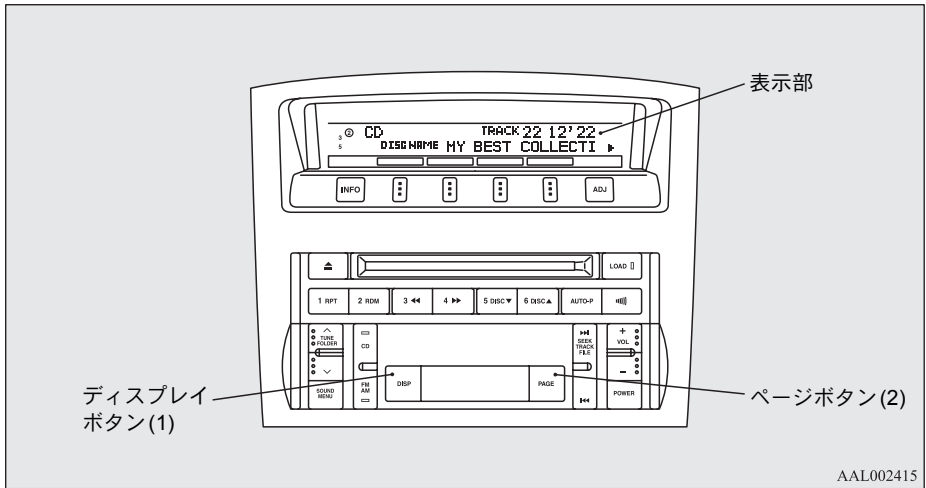
1. CD取り出しボタン(2)をピッという音がするまで押し続けます。
2. 出てきたディスクを抜きとるとつぎのディスクが出てきます。

すべてのディスクが取り出されるまで繰り返されます。

アドバイス

- 電源が入っていないときでも CD 取り出しボタン(2)を押すと，CDを取り出すことができます。
- “LOAD DISC[1~6]”と表示されているときに，CD取り出しボタン(2)を押すとCD挿入待機状態は解除され，つぎのディスクが出てきます。
- CDを取り出した後，差し込み口にCDを残したままにすると，約15秒後にプレーヤー内に引き込まれます。ただし，引き込まれたディスクは再生されません。

表示を切り換えるときは

J01101500136

このプレーヤーは，ID3 タグ情報を含むCDテキスト，MP3タイトルおよびMDタイトルを表示することができます。

◆ CDテキスト

J01119900041

ディスプレイボタン(1)を押すごとに，表示部がつぎのように切り換わります。

ディスクタイトル → トラックタイトル → 通常表示

アドバイス

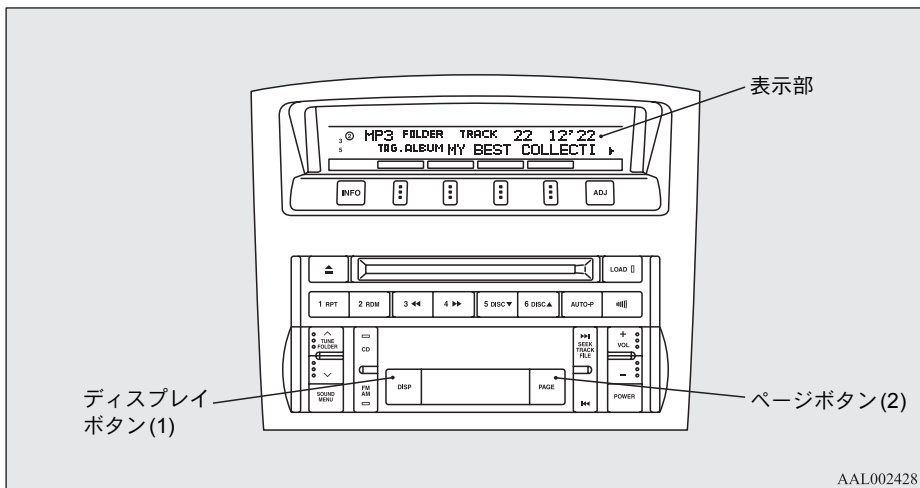
- 表示部に一度に表示できる文字数は半角で16文字，全角で7文字です。タイトルが最後まで表示しきれないときは，ページボタン(2)を押す毎につぎの文字を表示します。
- タイトルが入っていないときは，表示部に“NO TITLE”が表示されます。
- 表示することができない文字は“　”と表示されます。

◆ MP3タイトル

J01120000042

MP3

ディスプレイボタン(1)を押すごとに，タイトル表示部がつぎのように切り換わります。

フォルダタイトル → トラックタイトル → 通常表示

◆ ID3タグ情報

J01120100043

MP3

ID3 タグ情報が記録された MP3 ファイルは, タイトル表示部にID3タグ情報を表示することができます。

1. ディスプレイボタン (1) をピッという音がするまで押し続けて，表示部に“TAG”と表示されます。
2. 軽くボタンを押すごとに，表示部がつぎのように切り換わります。

アルバムタイトル → トラックタイトル → アーティスト名 → 通常表示

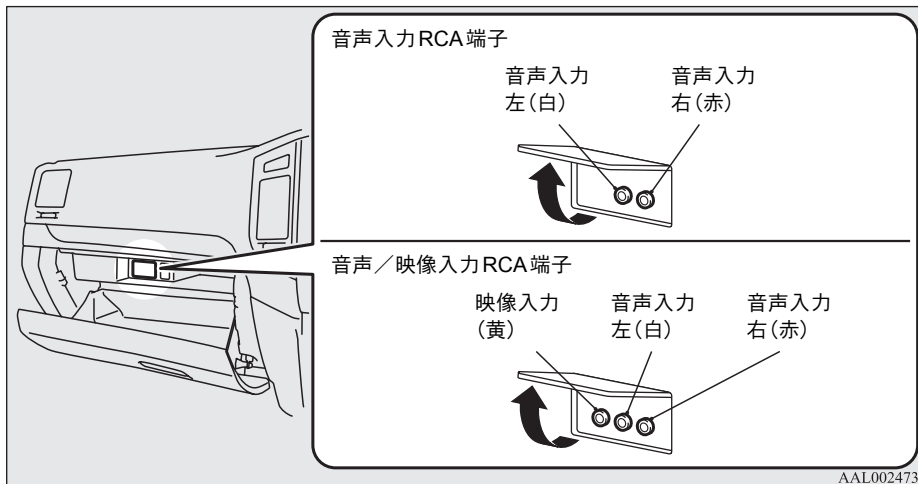
アドバイス

- もう1 回ディスプレイボタン(1)をピッという音がするまで押し続けると, ID3タグ情報からフォルダタイトル表示に戻ります。
- タイトルが入っていないときは，表示部に“NO TITLE”が表示されます。
- 表示部に一度に表示できる文字数は半角で16文字，全角で7文字です。タイトルが最後まで表示しきれないときは，ページボタン(2)を押す毎につぎの文字を表示します。
- フォルダタイトル，トラックタイトルは32文字まで，ID3タグ情報は30文字まで表示できます。
- 表示することができない文字は“　”と表示されます。

10

外部音声入力機能を使うときは

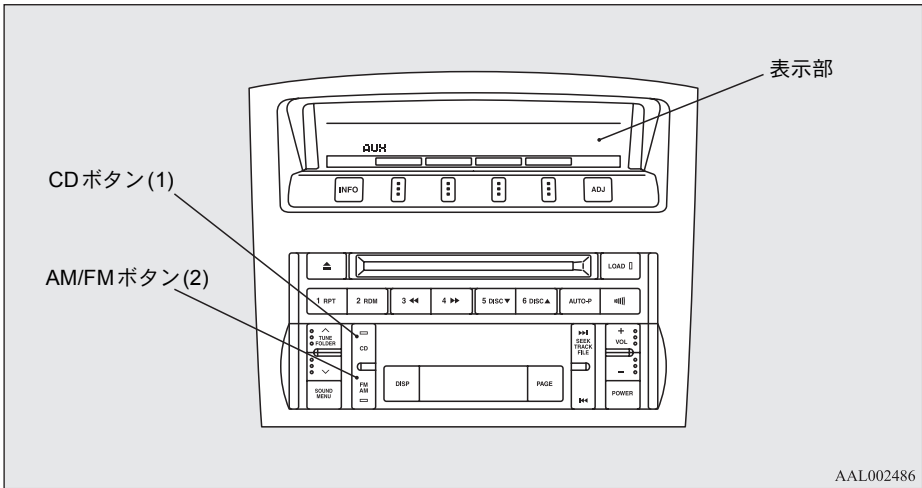
タイプ別装備

J01121900077

外部入力端子の音声入力端子にポータブルオーディオ等の市販のオーディオ機器を接続して，その音声を車両のスピーカーで聞くことができます。

アドバイス

- 三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車または後席ディスプレイ付き車については，別冊の取扱説明書をご覧ください。

外部音声入力モードにするときは

J01128500069

1. 市販のオーディオケーブルを使用してオーディオ機器を音声入力端子に接続します。
2. CDボタン(1)をピッという音がするまで押し続けます。
   表示部に“AUX”と表示され外部音声入力モードになります。
3. 外部音声入力モードを解除するにはAM/FMボタン(2)またはCDボタン(1)を押して他のモードにします。

⚠注意

- 走行中に接続したオーディオ機器の操作をしないでください。操作に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 本機からは，接続したオーディオ機器の操作はできません。
- オーディオ機器の接続，操作については各機器の取扱説明書を参照してください。
- 接続するオーディオ機器によってはノイズが発生することがあります。

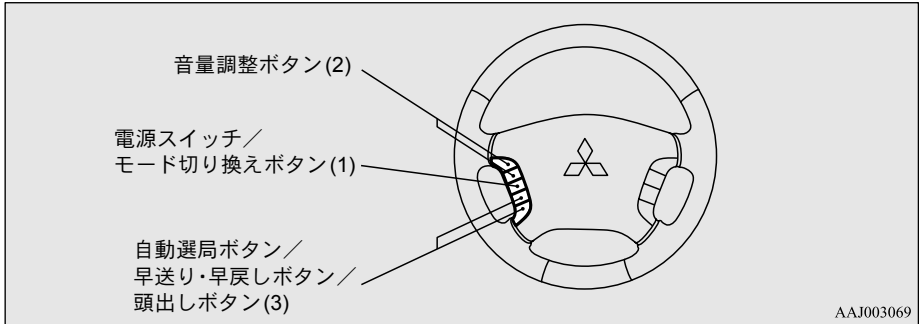
アドバイス

- 接続するオーディオ機器の電源は，機器に付属のバッテリー等を使用してください。車両に装着されているアクセサリーソケットで充電しながら使用すると，スピーカーよりノイズが発生することがあります。
- オーディオ機器を何も接続していないときは，外部音声入力モードを選択しないでください。何もオーディオ機器を接続しないで外部音声入力モード選択状態にしていると，スピーカーよりノイズが発生することがあります。
- 外部音声入力モードのときにオーディオ機器を接続すると，接続の際にスピーカーよりノイズが発生することがあります。外部音声入力モードを解除した状態，または音量を下げてオーディオ機器を接続してください。

ステアリングホイール オーディオリモコンスイッチの使い方

タイプ別装備

J01117900151

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

ハンドルの左側にあるスイッチで，つぎのオーディオ操作をすることができます。

アドバイス

- ステアリングホイール オーディオリモコンスイッチを操作するときは，複数のスイッチを同時に操作しなでください。
- 三菱マルチコミュニケーションシステム付き車のスイッチ操作については，別冊の取扱説明書をご覧ください。

電源を入れるときは

J01127600018

電源スイッチ (1) を押して電源を入れます。電源を入れると，前回操作を終了したときのモードが表示されます。電源を切りたいときは，電源スイッチ(1)を2秒以上押し続けます。

音量調整

J01127700019

音量調整ボタン(2)で調整します。

+	音量が増加
−	音量が減少

ボタンを押している間，音量が増加，減少し続けます。

ラジオを聞くときは

J01127800010

モード切り換えボタン (1) を押して，AMまたはFMモードを選択します。

◆ 放送局を選局するときは

自動選局ボタン(3)を押します。

- 周波数の高いほうへ選局するときは ∧ 側
- 周波数の低いほうへ選局するときは ∨ 側

10

CDを聞くときは

J01127900011

モード切り換えボタン (1) を押して，CD モードを選択します。

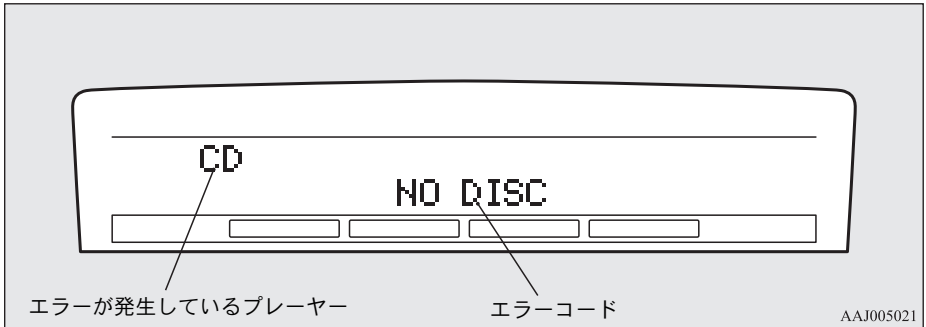
◆ 早送り，早戻しをするときは

再生中，早送りするときは早送り・早戻しボタン (3) の **∧** 側を，早戻しするときは，**V** 側を押し続けます。
ボタンを押している間，早送り，早戻しとなります。

◆ 頭出しをするときは

頭出しするときは頭出しボタン (3) の **∧** 側を押します。
聞いている曲の途中でボタンの **V** 側を 1 回押すと，その曲の頭に戻り再生します。

エラーコード

J01102000369

表示部にエラーコードが表示されたときは，下表に従ってください。

エラーコード	原因	処置
NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。
ERROR HOT	プレーヤー，またはチェンジャー内部が高温になっている。（再生が一時中断となる。）	しばらく放置してください。 温度が適温に戻るとエラーコードが消え，自動的に再生されます。
ERROR 01 ERROR 02	主にディスクの異常	ディスクを数枚交換してください。 ● 特定のディスクのみのエラー表示 →ディスクの傷，汚れなどが原因 （異常ディスクの使用を止めてください。） ● 全ディスクでエラー表示 →機器内部の結露，汚れなどが原因 （数時間後も全ディスクでエラー表示する場合は，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。）
ERROR 03 ERROR	主に機器側の異常	三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
ERROR DC	オーディオ，または別体アンプスピーカー出力の異常	オーディオ本体および別体アンプの異常と思われます。 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

10

オーディオの上手な使い方

J01102100458

- エンジンを止めて聞くときは，必ずエンジンスイッチを ACC にしてください。
- 走行中は安全のため車外の音が聞こえる程度にしてください。
- 走行中は電波状態が変動するため，受信状態が不安定になることがあります。
- 車内で携帯電話を使用すると，オーディオから雑音が出ることがありますが，オーディオの故障ではありません。
  このときは，携帯電話をオーディオからできるだけ離して使用してください。
- 万一の場合（異物が入った，水がかかった，煙が出る，変な匂いがするなど）は，ただちに使用を中止し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。自分で修理しようとしたり，そのままご使用にならないでください。

コンパクトディスク(CD)の取り扱い

J01128100010

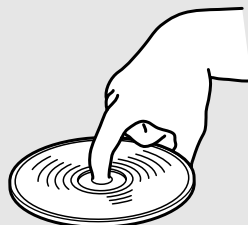
- 寒いときのヒーターを入れた直後など，急に温度が上がると，ディスクやオーディオ内部に露（水滴）が付いて正常に作動しないことがあります。このような場合には，しばらく待ってからご使用ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合，音とびすることがあります。
- 必ずケースに入れて保管してください。また直射日光の当たる場所や高温，多湿の場所などに置かないでください。

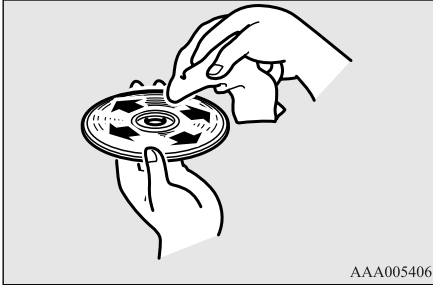
CDについて

J01128200011

- 下のマークのついた CD 以外は使用できません。
  下のマークのついた CD でも，CD-R/RW ディスクは CD ディスクに比べてディスクの反射率が若干低いため，使用できない場合があります。

AAA005389

  ハート型，八角形など JIS 規格に合致しない特殊形状のディスクを使用するとプレーヤーの故障原因になります。
- ラベルが貼っていない面に直接触れるとディスクが汚れ，音が悪くなる場合がありますので，必ずディスクの中心の穴と端をはさんでお持ちください。

AAA005392

- 汚れを取るときは，やわらかい布でディスクの内側中心から外側へ直角方向にふきとってください。ベンジン，シンナー，レコードスプレー，帯電防止剤，化学ぞうきんなどは使用しないでください。

- ヒビがはいったり，大きくそったディスクは使用しないでください。プレーヤーの故障原因になります。
- ラベル面や演奏面にボールペンやサインペンなどで文字を書いたり紙やシールなどを貼りつけないでください。

CD-R/RWについて

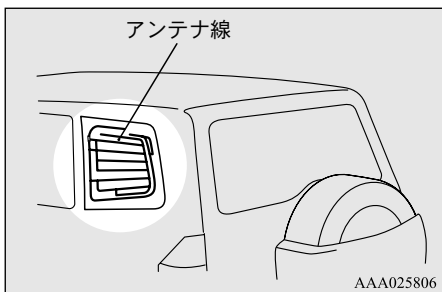
J01128300012

- CD レコーダで記録された CD ディスク（CD-R/RW ディスク）は，その特性・傷・汚れなどによりご使用になれない場合があります。
- CD-R/RW ディスクは，通常の音楽用 CD より高温および高い湿度にそれほど強くありません。
  直射日光や磁気のあるものは避けて保存してください。
- 使用したライティングソフトやドライブ，またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり，正しく表示されない場合があります。
- データを書き込んだディスクは必ずクローズセッションしてください。
  クローズセッションしていない場合，このプレーヤーは CD-R/RW ディスクを再生することができません。
- このプレーヤーは CD-DA または MP3 以外にデータ（ビデオ CD など）を含んでいる CD-R/RW ディスクを再生することができません。
- 必ず CD-R/RW ディスク，ライティングソフトおよびドライブに添付の取扱説明書をご覧ください。

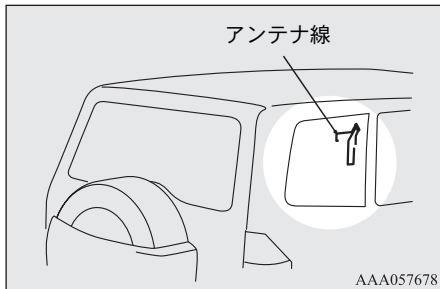
アンテナ

J01102200941

ガラスアンテナ

ラジオ用アンテナ線が左のリヤクォーターガラスの内側にプリントされています。

テレビアンテナ

タイプ別装備

テレビ用アンテナ線が左右のリヤクォーターガラスの内側にプリントされています。

アドバイス

- リヤクォーターガラスを清掃するときは，アンテナ線を傷つけないようにアンテナ線に沿って柔らかい布でふいてください。
- リヤクォーターガラスに鏡面タイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けると，受信感度が低下する原因となります。
  また，フィルムを貼り付ける際，カッターなどでアンテナ線を傷つけると受信感度が低下するおそれもあります。

10

簡単な整備・車のお手入れ

簡単な整備

車のお手入れ

エンジンオイルの補給

J01200100787

エンジンオイルはエンジンの性能や寿命，始動性に大きく影響しますので，必ず指定のオイルおよび粘度のものを使用してください。
エンジンオイル量を点検しオイルが不足している場合は，三菱自動車純正エンジンオイルを補給してください。または，ガソリン車はオイル缶にILSAC認証マークの入ったエンジンオイルを補給してください。

→「エンジンオイル注入キャップ，エンジンオイルレベルゲージ」P. 1-8
→「オイル類の量と種類」P. 14-3

ILSAC認証マーク

AAA005581

アドバイス

- エンジンオイルは通常走行でも，走行状況に応じて消耗します。
  オイル量を点検しオイルが不足している場合は，補給してください。
- エンジンオイルの点検，補給方法，交換時期については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

燃料噴射装置の洗浄

J01200800218

燃料噴射装置の洗浄を行うことにより，本来のエンジン性能を引き出すことができます。
洗浄剤には三菱自動車純正品のインジェクタークリーナーを使用してください。

⚠注意

- 三菱自動車純正品以外の洗浄剤を使用しないでください。燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
- 他の添加剤と同時に使用しないでください。エンジンに悪影響をおよぼすおそれがあります。

アドバイス

- 新車時の性能を長く維持していただくため，15,000kmまたは1年ごとの使用をおすすめします。

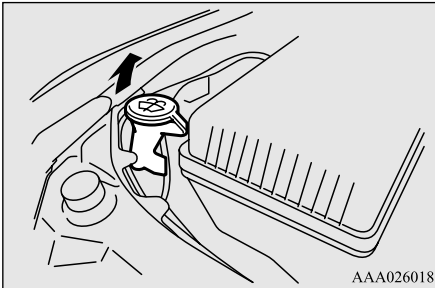
ウォッシャー液の点検・補給

J01200200775

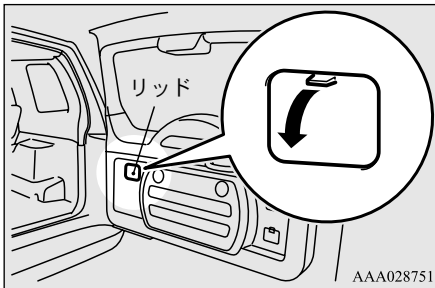
つぎの方法で液量を点検します。

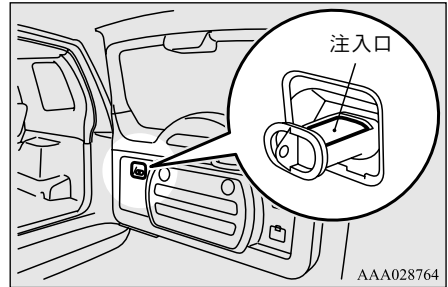
フロント用

タンク内の液面の位置で液量を点検します。

AAA026018

リヤ用

1. バックドア内側のリッドを外します。

AAA028751

2. 注入口を引き出して液量を点検します。

AAA028764

ウォッシャー液が不足している場合は，三菱自動車純正ウォッシャー液を気温に適した濃度で補給してください。

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液1に水2	-10℃程度
寒冷地の冬期	原液1に水1	-20℃程度
極寒冷地の冬期	原液のまま	-50℃程度

⚠注意

- 冬期は，ウォッシャー液を薄めすぎると液がウインドウガラスに凍りついてしまうことがあります。

アドバイス

- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを使用すると，ノズルのつまり，塗装のしみなどの原因となることがありますので使用しないでください。

11

ブレーキ液量の点検

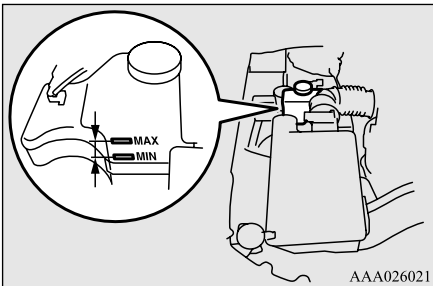
J01200300011

つぎの手順で液量を点検します。

1. エンジンフードを開けます。
→「エンジンフード（ボンネット）」P. 4-28
2. ブレーキ液タンク内の液量が上限(MAX)と下限(MIN)の間にあるかを目視により点検します。

液量が下限 (MIN) 以下のときはつぎの要領で点検します。

1. エンジンスイッチをLOCKまたはACCにします。
2. ブレーキペダルが硬くなるまで繰り返し踏みます。(約40回)
3. ブレーキ液タンク内の液量が上限(MAX)と下限(MIN)の間にあるかを目視により点検します。

AAA026021

タイヤメンテナンス

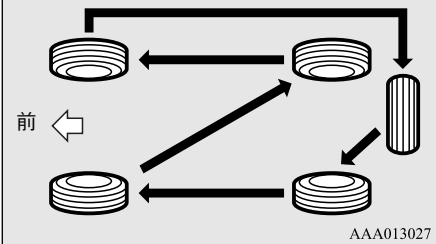
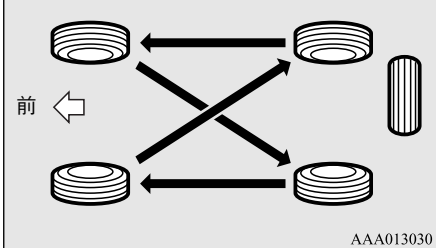
J01202100260

タイヤローテーション

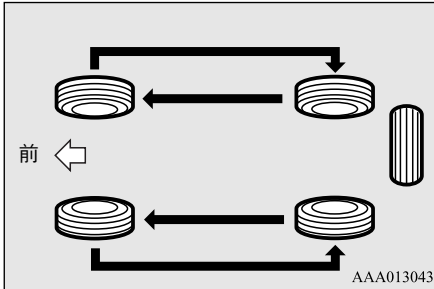
タイヤの摩耗を均一にして寿命を延ばすため，タイヤローテーションを10,000km走行ごとに行ってください。

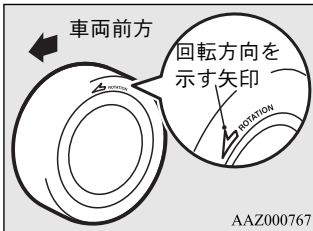
回転方向を示す矢印が付いていない場合

AAA013027

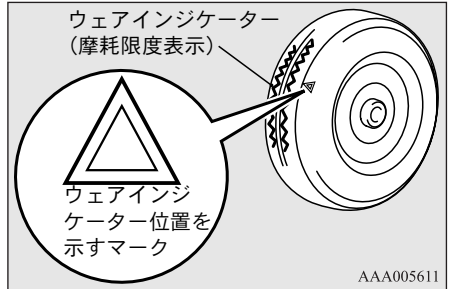
AAA013030

＊：スペアタイヤホイールが，標準タイヤホイールと異なった種類の場合は，使用しないでください。

11

回転方向を示す矢印が付いている場合

⚠注意

- タイヤに回転方向を示す矢印が付いているときは，4輪で前後ローテーションを行ってください。
  タイヤを取り付けるときは車両前進時の回転方向と矢印の向きが同じになるように取り付けてください。矢印の向きが異なるとタイヤの性能が十分に活かされません。

- 種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので避けてください。

タイヤの摩耗

ウェアインジケーター（溝の深さ 1.6mm 以下）が現れたら，スリップしやすくなり危険ですのでタイヤを交換してください。

アドバイス

- ウェアインジケーターのマークや位置は，タイヤメーカーによって異なります。

タイヤ空気圧の点検・調整

タイヤの空気圧は定期的に点検し，必ず規定の空気圧に調整してください。

→「タイヤの空気圧」P. 14-10

⚠警告

- **タイヤの空気圧が不足したまま走行すると，タイヤが偏摩耗したり，車の安定性や操縦性を確保できなくなるおそれがあります。また，バースト（破裂）するなど重大な事故につながるおそれがあります。**

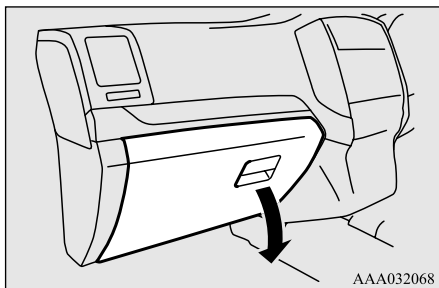
アドバイス

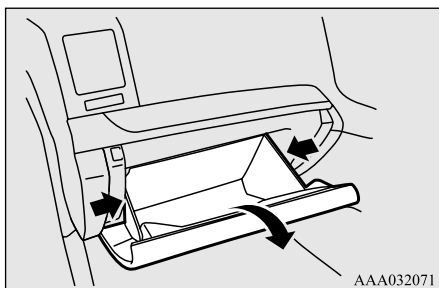
- 点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 規定の空気圧は運転席ドアを開けたボデー側のラベルにも表示しています。

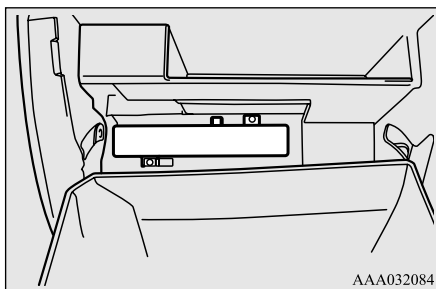
クリーンエアフィルターの交換のしかた

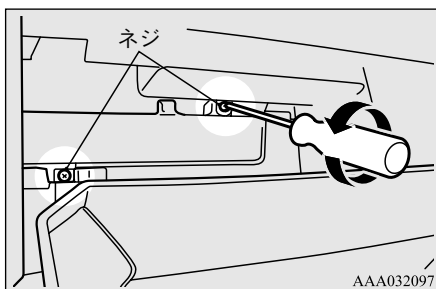
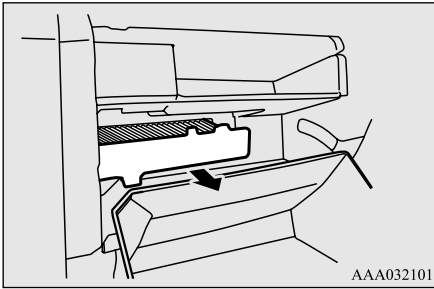
J01202000344

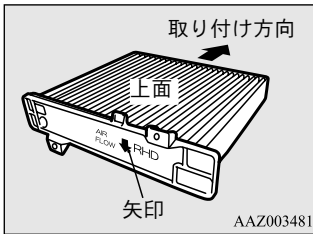
1. グローブボックスを開けます。

AAA032068

2. グローブボックスの側面を押しながら，左右のストッパーを外し，グローブボックスを下ろします。

AAA032071

3. グローブボックスの奥にクリーンエアフィルターがあります。

AAA032084

4. クリーンエアフィルターの上下にあるネジを外して，カバーを外します。

AAA032097

5. クリーンエアフィルターを取り出して新品と交換します。

アドバイス

- クリーンエアフィルターを交換するときは，エンジンを止めてから行ってください。
- クリーンエアフィルターを取り付けるときは，フィルターの矢印が図のようになるように取り付けてください。取り付け方向を間違えると，フィルターの効果を十分に発揮しません。

6. 元に戻すときは，取り外したときと逆の手順で取り付けます。

内装品のお手入れ

J01200600867

1. 電気掃除機などでほこりを取り除きます。
2. ガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，軽くふき取ります。
3. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。
4. 水分をよくふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠注意

- シリコンやワックスを含むクリーナーや保護剤を使用しないでください。
  インストルメントパネルなどに使用すると使用箇所がウインドウガラスに映り込み，視界の妨げになるおそれがあります。
  また，各種スイッチなどに付着すると電装品の故障につながるおそれがあります。
- シートの下など，見えにくい場所や狭い場所のお手入れをするときは，手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

アドバイス

- ベンジン，ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみ，割れの原因になります。
  また，各種クリーナー類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。
- 液体芳香剤は，こぼれないよう容器を確実に固定してください。
  また，インストルメントパネルの上やランプ類，メーターの近くには置かないでください。
  含まれる成分によって樹脂部品や布材の変色，ひび割れをおこすおそれがあります。

本革

タイプ別装備

J01202700077

1. ガーゼなどの柔らかい布に，ウール用中性洗剤の 5% 水溶液を含ませて，汚れをふき取ります。
2. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をふき取ります。
3. 乾いた柔らかい布で水分をふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

アドバイス

- 水をこぼしたり，雨などでぬれたときは，乾いた柔らかい布で早めに水分をふき取ってください。
- ナイロンブラシ，合成繊維類で強くこすると表面を傷つけるおそれがあります。
- 本革の汚れはカビなどの原因となります。油汚れなどは，早めに落としてください。
- 直射日光に長時間さらすと表面が日焼けしたり，硬くなって縮むことがあります。できるだけ日陰に駐車してください。

外装品のお手入れ

J01200701113

お車を美しく保つために，走行後は塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としてください。
つぎのような汚れは，そのままにしておきますと，腐食，変色，しみになるおそれがありますので，できるだけ早く洗車してください。

- 海水や道路凍結防止剤など
- 工場のばい煙，油煙，粉じん，鉄粉，化学物質（酸，アルカリ，コールタールなど）など
- 鳥のふん, 虫の死がい, 樹液, 花粉など

⚠注意

- 下まわりやホイールを洗うときは，厚手のゴム手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

洗車のしかた

J01202800658

1. 水をかけながら，車体の下まわりを洗います。
2. 車体上部から水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で完全に洗い落とします。
4. 鳥のふんや虫の死がいなどの汚れは，水で洗い落とし，必要に応じてワックスで汚れを落とします。
5. 柔らかい布またはセーム皮で，塗装面にはん点が残らないよう水分をふき取ります。

⚠注意

- 洗車後は，低速で走行しながら数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
  ぬれたままにしておくとブレーキの効きが悪くなったり，凍結やさびによってブレーキが固着し，走行できなくなることがあります。

アドバイス

- 三菱自動車純正ワックスの使用をおすすめします。
- エンジンルーム内には水をかけないでください。車体の下まわりを洗車するときも，エンジンルーム内に水が入らないようにしてください。
  エンジン始動不良などの原因になります。
- 自動洗車機を使用すると塗装面にブラシの傷がつき, 塗装の光沢が失われたり, 劣化を早めるおそれがあります。
- 洗浄機（コイン洗車機など）は機種によって高温，高圧のものがあります。
  車体樹脂部品の熱変形, 破損, 接着式マーク類のはがれ，室内への水侵入などのおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
  - 洗車ノズルと車体との距離を十分離す。（約50cm以上）
  - ドアガラスまわりを洗うときは，洗車ノズルをガラス面に垂直に向け, 洗車ノズルとガラスとの距離を十分離す。（約50cm以上）
- 自動洗車機を使用するときは，部品が破損したり，車両を傷つけるおそれがありますので，ドアミラーを格納してください。
  ルーフレールおよびリヤデフレクター付き車は，使用する前に必ず係員にご相談ください。係員のいないコイン洗車機などは，操作要領にしたがって洗車してください。

ワックスのかけ方

J01202900460

月に 1~2 回または，水をはじかなくなったときにかけます。

11

ワックスがけは，洗車後の塗装面が体温以下のときに直射日光を避けて行ってください。
塗装面が熱いときにワックスをかけると，しみの原因になります。

アドバイス

- 三菱自動車純正ワックスの使用をおすすめします。
- コンパウンド（研磨剤）入りのワックスは使用しないでください。
  コンパウンド入りのワックスを使用すると，汚れ落ちはよくなりますが，塗装面やメッキ面を削り取るため光沢が失われる原因になります。
  また，使用した布に色が付着し色落ちするおそれがあります。
  特に濃彩色は変色部分がめだちやすくなります。
- サンルーフ開口部周囲のワックスがけを行うときは，ウェザーストリップ（黒いゴム）にワックスを付着させないでください。
  ワックスが付着するとサンルーフとの密着が悪くなります。
  ワックスが付着したときは，柔らかい布できれいにふき取ってください。
- 黒色のつや消し塗装部にワックスをかけると，色むらなどが起こるおそれがありますので，ワックスをかけないでください。
  ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布できれいにふき取ってください。
- 洗車やワックスがけを行うときは，車体の一点に強い力がかからないよう注意してください。
  力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

TAZ000229

ウインドウガラスのお手入れ

J01203000266

ワイパーのふきが悪くなったときは，ウインドウガラス洗浄剤（ガラスクリーナー等）で清掃してください。

アドバイス

- 三菱自動車純正ウインドウガラス洗浄剤の使用をおすすめします。
- ガラスの内側を清掃するときは，電熱線やアンテナ線を傷つけないよう線に沿って柔らかい布でふいてください。

ワイパーのお手入れ

J01201100016

ワイパーゴムに異物が付着していたり，摩耗しているとふきが悪くなりますので，つぎのように処置してください。

- 異物が付着しているときは，水を含ませた柔らかい布でワイパーゴムを清掃してください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは，早めにワイパーゴムを交換してください。

アドバイス

- ワイパーゴムの交換については，別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

サンルーフのお手入れ

タイプ別装備

J01201200017

ガラスの内側を清掃するときは，柔らかい布で清掃してください。
汚れのひどいときは，つぎの要領で行います。

1. スポンジやガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤の5%水溶液を含ませて，汚れをふき取ります。
2. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。

アドバイス

- ガラスの内側には，表面処理がしてありますので，固い布や有機溶剤（ベンジン，シンナーなど）を使用すると表面処理がはげるおそれがあります。

樹脂部品のお手入れ

J01201500078

スポンジまたはセーム皮で清掃します。
黒色や灰色系統で表面がざらざらしている部分（バンパーやモールディングなど）およびランプ類にワックスが付着すると白くなることがあります。
ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布またはセーム皮などできれいにふき取ってください。

アドバイス

- たわしなどの硬いものは，表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りワックスは，樹脂の表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- ガソリン，軽油，ブレーキ液，エンジンオイル，グリース，塗装用シンナー，硫酸（バッテリー液）を付着させると，変色，しみ，ひび割れの原因になりますので，絶対に避けてください。
  万一，付着したときは，すみやかに中性洗剤の水溶液を用い柔らかい布またはセーム皮などでふき取ったあと，多量の水で洗い流してください。

アルミホイールのお手入れ

J01201600095

1. 水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
2. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で洗い落とします。
3. 柔らかい布またはセーム皮で水分をふき取ります。

アドバイス

- ブラシなどの硬いものは，ホイール表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨材）入りのクリーナーや，酸性およびアルカリ性のクリーナーは使用しないでください。
  ホイール塗装表面のはがれ，変色，しみの原因になります。
- スチームクリーナーなどで直接熱湯をかけないでください。
- 海水や道路凍結防止剤などが付着したときは，腐食するおそれがありますので早めに洗い落としてください。

塗装の補修

11

J01201700155

飛び石や引っかき傷などは，腐食の原因になります。
見つけたら早めにタッチアップペイントで補修してください。

アドバイス

- 三菱自動車純正タッチアップペイントの使用をおすすめします。

寒冷時の取り扱い

冬期前の点検と準備

J01300101062

エンジンオイル

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものに交換します。
→「メンテナンスデータ：オイル類の量と種類」P. 14-3

冷却水

冷却水が凍結するとエンジンを損傷します。不凍液（三菱自動車純正品）の濃度を50%にします。

ウォッシャー液

ウォッシャー液（三菱自動車純正品）の濃度を50%以上にします。
→「ウォッシャー液の点検・補給」P. 11-3

バッテリー

気温が下がるとバッテリーに負担がかかりエンジン始動に支障をきたすことがありますので液量，比重の確認をし，必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

アドバイス

- バッテリー液の補給は「メンテナンスノート」をお読みください。

タイヤチェーン，または冬用タイヤの準備

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正部品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。
→「タイヤチェーン」P. 12-6
冬用タイヤに取り換えるときは, 4輪とも交換します。
→「タイヤ交換のしかた」P. 13-19

ワイパー

寒冷地用ワイパーは，雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムでおおってあります。
寒冷地用ワイパーに交換するときは，必ず三菱自動車純正品をご使用ください。

フューエルフィルターの水抜き

ディーゼル車

別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

走行前の点検

J01300200659

日常点検時につぎの点検を追加してください。

ウインドウガラスの雪や霜を落とす

ウインドウガラスの雪や霜を落として視界を確保してください。また，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りついていないかも確認してください。

アドバイス

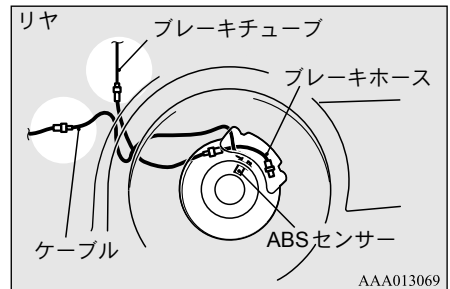
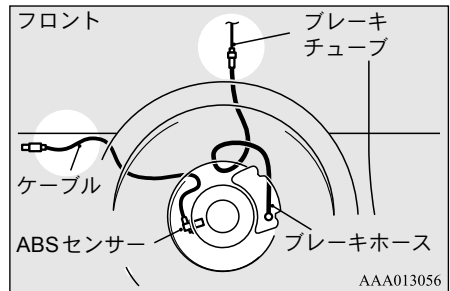
- 冬期はワイパーブレードが凍結しフロントガラスに張り付くことがあります。その場合はヒーターまたはワイパーディアイサーでフロントガラスを暖めてください。
  →「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」P. 9-12
  →「ワイパーディアイサースイッチ」P. 6-73
  フロントガラスに張り付いたまま動かすとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーター故障の原因となります。

足まわりの確認

足まわりに付着した氷塊を取り除いてください。走行中に氷塊が部品を損傷するおそれがあります。

⚠注意

- 足まわりにはブレーキ関連部品が集まっています。部品や配線などを損傷させないように注意して取り除いてください。

12

ドアの凍結

ドアが凍結したときに無理に開けようとするとドアまわりのゴムがはがれたり，き裂が入るおそれがあります。お湯をかけて氷を溶かしてください。その後すみやかに水分を十分ふき取ってください。

アドバイス

- キー穴部にはお湯をかけないでください。凍結すると，キーが差し込めなくなります。

車に乗る前に

ペダルのすべりや，ウインドウガラスの曇りを防止するため，靴についた雪はよく落としてから乗車してください。

ペダル，ハンドル，ブレーキの効きの確認

- ペダルやハンドルの動きは円滑かどうか確認してください。
- ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走り始めの極低速時にブレーキペダルを踏んで，効き具合を確認してください。

雪道，凍結路の走行

J01300300504

暖機運転について

長すぎる暖機運転は，燃料の無駄使いにつながります。
環境保護のためにも暖機運転は 1 分程度を目安として最小限にとどめてください。

雪道や凍結した道路はスリップに注意

- 速度はひかえめにし，タイヤチェーンを後輪に装着，または4輪とも冬用タイヤに交換してください。
- 橋の上，日陰，水たまり，トンネルの出入口付近などは路面が凍結していることがあります。慎重な運転を心がけ，急ブレーキ，急ハンドル，急なアクセル操作は避けてください。

車間距離は十分に

雪道，凍結路は滑りやすいため，ブレーキの効きが悪くなります。走行中は車間距離を十分にとってください。

フェンダー内の雪は早めに取り除く

走行中にはね上げた雪がフェンダー内に着氷しハンドルの切れが悪くなることがあります。氷塊を取り除いてください。

ブレーキの効き具合を確認

雪道走行時にブレーキ装置に着氷し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走行中は前後の車や道路状況に注意し，ときどき軽くブレーキペダルを踏んで効き具合を確認してください。

駐車後の発進は慎重に

ブレーキ装置への着氷により車輪がロックしていることがあります。
車のまわりの安全を十分確認してからゆっくり発進してください。

⚠注意

● 急にアクセルペダルを踏み込まないでください。着氷によるロックが外れたときに急発進し，思わぬ事故につながるおそれがあります。

洗車は早めに

寒冷地では道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。さびの原因になりますので早めに洗車してください。特に下まわりを念入りに洗車してください。

寒冷地での駐車

J01300400576

駐車ブレーキが凍結するおそれがあります。駐車ブレーキはかけず，セレクターレバーをⓅに入れさらに輪止めをしてください。
また軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪や積雪の重みで車の屋根などがへこむことがあります。

アドバイス

● 車の前方を風下に向けて駐車しておくと，エンジンの冷えすぎを防ぐことができます。
● ワイパーアームを立てておけば，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りつくのを防ぐことができます。
● 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
● 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

ディーゼル車の使用燃料

J01300600031

ディーゼル車の使用燃料（軽油）は，外気温が低くなると凍結し，燃料パイプなどが詰まってエンジンの始動ができなくなったり，停止するなど故障の原因になります。
寒冷地域（スキー場など）に移動するときは，現地に着くまでに燃料の残量が1/2以下になるようにしておき，到着後はできるだけ早く下表の寒冷地用の燃料を補給してください。

アドバイス

- フェリーを利用して寒冷地域に移動するときは，到着後すぐに寒冷地用の燃料を補給できるよう，乗船前の燃料の残量を1/2以下にしておいてください。
- 使用温度範囲は，使用条件や環境により多少異なります。

使用温度範囲	使用燃料
-5℃以上	JIS2号　低硫黄軽油 （S10ppm以下）
-5℃～-15℃	JIS3号　低硫黄軽油 （S10ppm以下）
-15℃～-25℃	JIS特3号　低硫黄軽油 （S10ppm以下）

タイヤチェーン

J01300700452

後輪駆動を主とした四輪駆動車ですので，タイヤチェーンは後輪に装着してください。

⚠注意

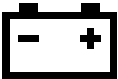
- タイヤチェーンは前輪に取り付けないでください。

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正部品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。
三菱自動車純正部品以外のタイヤチェーンを装着すると，ボデーなどにあたり傷をつけるおそれがあります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
取り付け要領は，タイヤチェーンに添付の取扱説明書をご参照ください。

⚠注意

- 路上でタイヤチェーンをかけるときは，交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所を選びます。また，非常点滅灯や停止表示板で後続車に注意を促し同乗者は安全な場所に待機させてください。

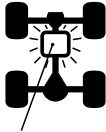
アドバイス

- アルミホイールにタイヤチェーンを取り付けるとホイールが傷つくおそれがあります。チェーンや金具がホイールにあたらないように装着してください。
- タイヤチェーンを装着した場合は，アンチロックブレーキシステム (ABS) が確実に作動するよう，トランスファーシフトレバーを「4H」,「4HLc」または「4LLc」のいずれかに入れて走行してください。
- タイヤチェーンを装着したときは30km/h以下で走行してください。
- 雪道，凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので，避けてください。

もしものときの処置

警告灯が点灯または点滅したときは！

J01400101063

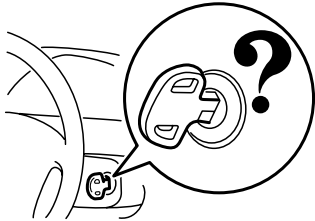
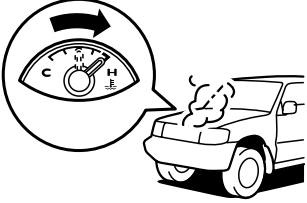
ただちに安全な場所に停車し，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

	充電警告灯	P. 6-14

安全な場所に停車し，まずお車を点検してください。点検後も消灯しないときは，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

	ブレーキ警告灯	P. 6-13		A/T油温警告灯	P. 6-15
	油圧警告灯	P. 6-14			

安全な場所に停車し，エンジンを停止してください。
再度エンジンをかけ，その後しばらく走行しても点灯または点滅しなければ異常ありません。
消灯しないときやたびたび点灯または点滅するときは，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください 。

ABS	ABS警告灯	P. 7-42	点滅	センターデフロックランプ	P. 7-26

すぐに停車する必要はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

	SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯	P. 5-30, 5-48	P R N D	“N”表示灯（1秒間に約1回点滅）	P. 7-17
	エンジン警告灯	P. 6-14		アクティブスタビリティコントロール作動表示灯 アクティブトラクションコントロール作動表示灯（点灯）	P. 7-47, 7-48

参照ページをお読みになり処置してください。

	シートベルト警告灯	P. 5-28		燃料残量警告灯	P. 6-8
	半ドア警告灯	P. 6-15		ヘッドライトオートレベリング警告灯	P. 6-64
	DPF表示灯	P. 7-14			

こんなことでお困りのときは!

J01400301834

現象	処置
水たまりに入った後にブレーキの効きが悪い。	前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み, ブレーキを乾かしてください。 「雨天時や水たまりを走行するときは」→ P. 2-12
走行中にエンストした。	通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。 「万一, 走行中にエンストしたときは」→ P. 2-15
キーが回らない。	**LOCKからACCに回らない** ハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回してください。 **ACCからLOCKに回らない** セレクターレバーがⓅに入っているか確認してください。 「キーを抜くときは」→ P. 7-9
セレクターレバーがⓅから動かない。	ブレーキペダルを踏んでからセレクターレバーを操作してください。 エンジンスイッチがONになっているか確認してください。 「セレクターレバーの動かし方」→ P. 7-16
雨の日, 湿気の多い日などに窓が曇る。	外気導入になっているか確認してください。 エアコンを入れると効果的です。 「ウインドウガラスの曇り, 霜を取りたいときは」 → P. 9-12
パンクした。	1. あわてずに, ハンドルをしっかり持ち, 安全な場所に車を停止します。 2. スペアタイヤに交換します。 「タイヤ交換のしかた」→ P. 13-19

現象	処置
エンジンがかからない。 ライトが点灯しない, 暗い。 ホーンが鳴らない, 音が小さい。	バッテリー上がりが考えられます。 「バッテリー上がりのときは!」→ P. 13-23
水温計の針が「H」表示部に近づいていたり, エンジンの出力が急に低下する。 エンジンルームから蒸気が出ている。	オーバーヒートが考えられます。 「オーバーヒートしたときは!」→ P. 13-25

現象	処置
タイヤがスリップして発進できない。 (ぬかるみ, 雪道, 凍結路などの発進時)	スリップしているタイヤの前後にある土や雪などを取り除きます。 ● 1. 毛布か布などがあるときは, それをスリップしているタイヤの前に差し入れて滑り止めにします。 2. トランスファーシフトレバーを「4HLc」または「4LLc」に切り換えます。 3. ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進します。 ● 何も滑り止めにするものがないときは, 前後進をくり返して車の反動を利用して脱出します。

⚠注意

- 車の反動を利用して脱出するときは, 車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- ぬかるみなどにはまったときは，むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み，かえって脱出しにくくなります。また，エンジンの高回転を続けるとオーバーヒートやトランスミッションの故障につながるおそれがあります。数回試して脱出できないときは，専門業者に依頼してください。

現象	処置
オートマチックトランスミッションが変速しない。 発進時の出足が鈍い。	オートマチックトランスミッションに異常が発生し, 安全装置が働いていると考えられます。 そのままお近くの三菱自動車販売会社まで運転し, 点検を受けてください。 発進しにくいときは, セレクターレバーをスポーツモードの2速に入れて発進し, その後はⒹに戻して走行してください。 故障の内容によってはこの方法でも効果がないときもあります。

13

故障したときは！

J01400400434

故障して動けなくなったときは，同乗者または付近の人に応援を求め，安全な場所まで車を押して移動します。

このとき，セレクターレバーを🅝に入れてください。

踏切内で動けなくなったときは

踏切内で脱輪やエンストなどで，すぐに車を動かせないときは，すみやかに同乗者を避難させ，踏切の非常ボタンを押します。

⚠注意

- 電車が近づいているときや，緊急を要するときは，発炎筒で合図してください。

アドバイス

- エンジンスイッチをSTARTの位置で保持しても，緊急避難的に車を動かすことはできません。

一般道路での故障表示

追突などの事故を防ぐため，車を路肩に寄せ，非常点滅灯を点滅させるか，停止表示板などで故障表示します。

高速道路，自動車専用道路での故障表示

高速道路や自動車専用道路では，車両後方に停止表示板を置くことが義務づけられています。

人は車内に残らず，路肩を歩いて安全な場所に避難してください。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

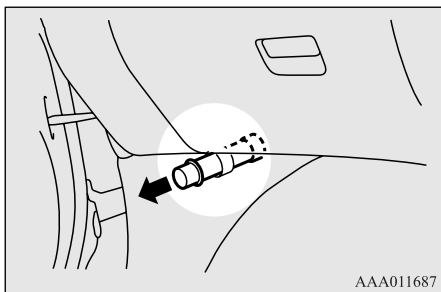
修理の連絡先

別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

発炎筒を使うときは！

J01400500262

発炎筒は，高速道路や踏切などで故障したときに使用します。
使用したときや期限切れのときは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
発炎筒は，グローブボックスの左下部に備えつけてあります。

AAA011687

⚠警告

- お子さまには，発炎筒をいじらせないでください。
- 人の顔や体に向けて絶対に使用しないでください。やけどをするおそれがあります。
- ガソリンなど燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
  火災をまねくおそれがあります。
- トンネル内では使用しないでください。煙により視界が悪くなり，重大な事故につながるおそれがあります。非常点滅灯など他の方法を用いてください。

アドバイス

- 使い方は発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。
- 発炎時間は約5分です。非常点滅灯など他の方法を併用してください。
  →「非常点滅灯スイッチ」P. 6-65
- 発炎筒には，有効期限（発炎筒に記載）があります。

工具とジャッキ，ジャッキハンドル

J01400600595

⚠注意

- ジャッキは，タイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使用しないでください。
- 車両に搭載されているジャッキは，お客様のお車専用です。他の車両に使用したり，他の車両のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

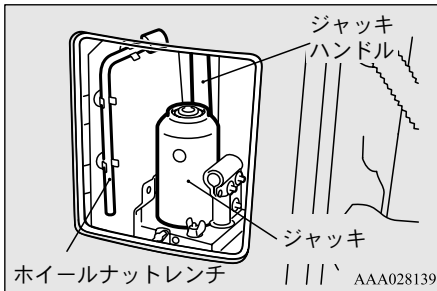
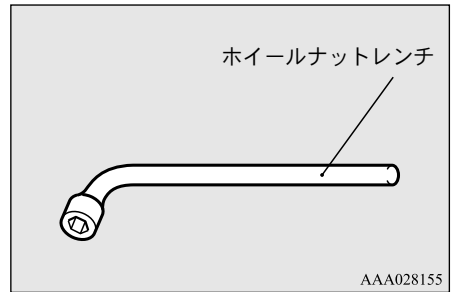
- 工具の種類，ジャッキの使い方は，万一のとき困らないようあらかじめ確認しておきましょう。

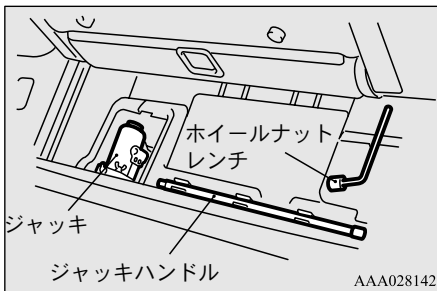
13

格納場所

J01405800084

ショート（3ドア車）

ホイールナットレンチ，ジャッキおよびジャッキハンドルは，車内後部の右側に格納されています。

ロング（5ドア車）

ホイールナットレンチ，ジャッキおよびジャッキハンドルは，ラゲッジフロアボックスに格納されています。

⚠注意

- ホイールナットレンチやジャッキを使用した後は，元の位置に確実に格納してください。
  室内などに放置すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

工具の種類

J01404300255

13

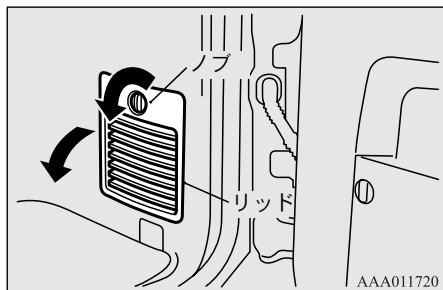
工具，ジャッキおよびジャッキハンドルの脱着

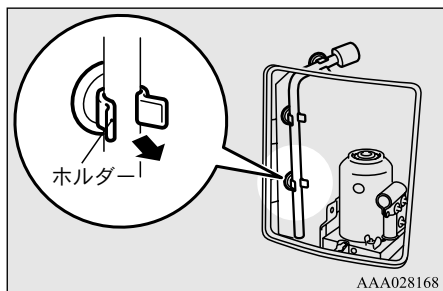
J01405700041

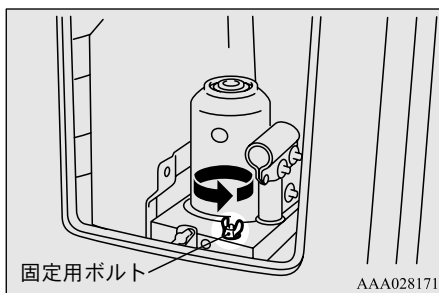
◆ 取り出すときは

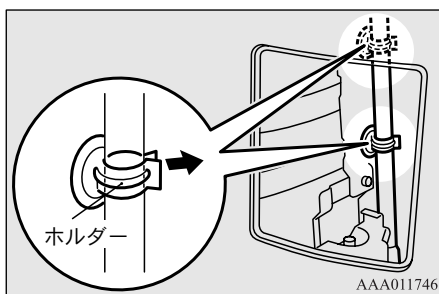
ショート（3ドア車）

1. ノブを左に回し，リッドを外します。

AAA011720

2. ホイールナットレンチをホルダーから外し，取り出します。

AAA028168

3. 固定用ボルトを左へ回して外し，ジャッキを取り出します。

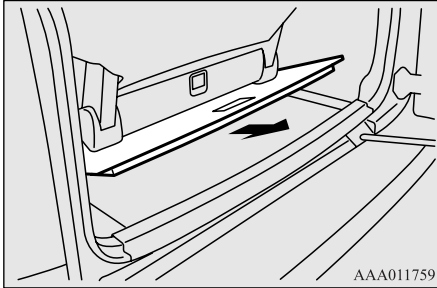
AAA028171

4. ジャッキハンドルをホルダーから外し，取り出します。

AAA011746

5. ホイールナットレンチを取り出します。

13

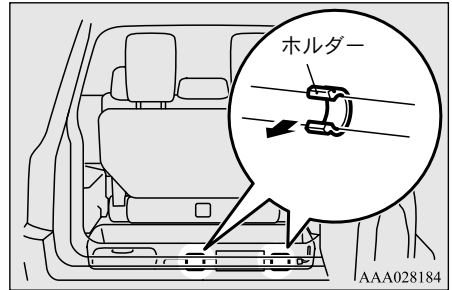
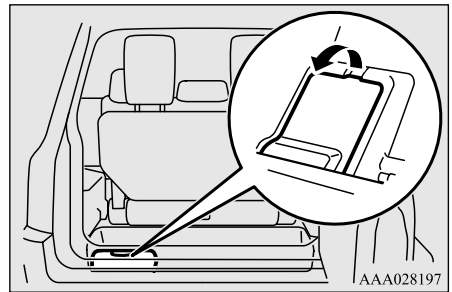
ロング（5ドア車）

1. サードシートが格納されているときは，サードシートを起こして，元に戻します。
   →「サードシートの格納」P. 5-17
2. リッドを外します。

AAA011759

3. ジャッキハンドルおよびホイールナットレンチをホルダーから外し，取り出します。

AAA028184

4. リッドを引いて取り外します。

AAA028197

5. 固定用ボルトを左へ回して外し，ジャッキを取り出します。

AAA028201

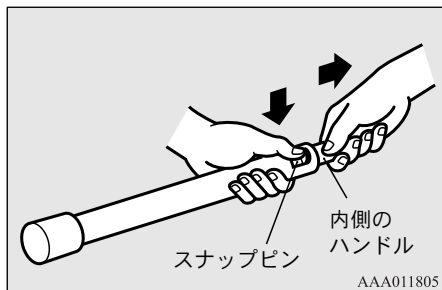
◆ 格納するときは

取り出すときと逆の手順で元の位置に戻します。

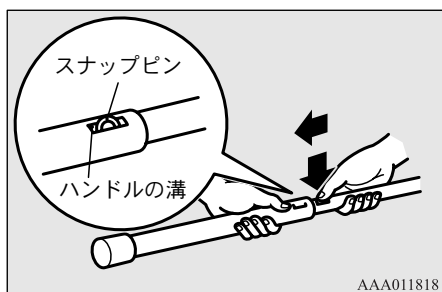
ジャッキハンドル

J01406000038

◆ 使用するときは

1. スナップピンを押しながら，内側のハンドルを抜き取ります。

2. 内側のハンドルを逆向きにして，スナップピンを押しながら外側のハンドルに差し込みます。

アドバイス

- スナップピンとハンドル（外側）の溝を合わせ固定してください。

◆ 戻すときは

使用するときと逆の手順で元に戻します。

アドバイス

- スナップピンとハンドル（外側）の溝を合わせ固定しておいてください。

ジャッキアップのしかた

J01400701623

⚠警告

- ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキが外れたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- ジャッキアップするときは安全のため，つぎのことを必ず守ってください。万一のとき，ジャッキが外れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - エンジンをかけたままにしない。
  - 人や荷物を乗せたままにしない。
  - 地面が平坦で固い場所以外では使用しない。
  - 凍結した路面では使用しない。
  - ジャッキの上や下に物をはさまない。
  - ジャッキアップ中に車をゆすらない。
  - ジャッキアップしたタイヤを回転させない。
  - ジャッキアップしたまま放置しない。

ジャッキアップするときは

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れて，エンジンを止めます。
3. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に置きます。

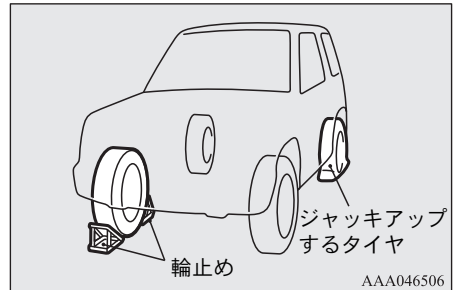
アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

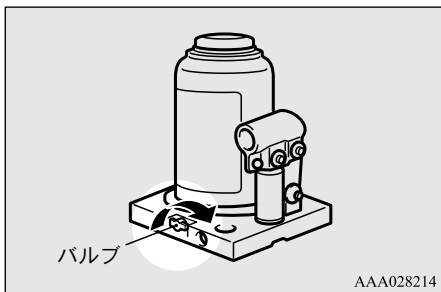
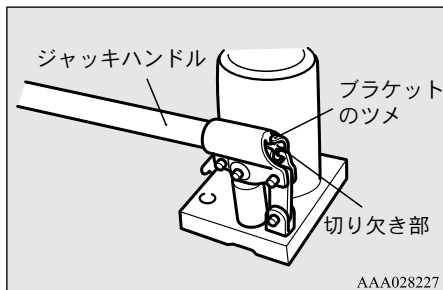
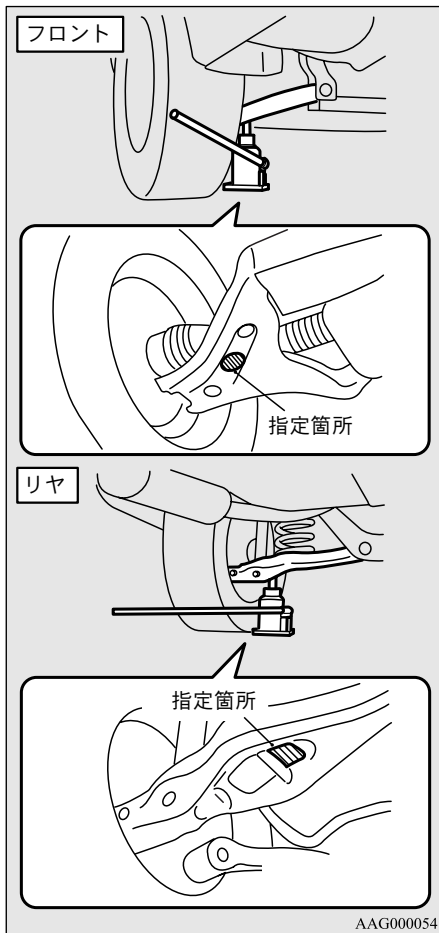
4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。

⚠注意

- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

13

アドバイス

- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

5. ジャッキとジャッキハンドルを取り出します。
→「工具，ジャッキおよびジャッキハンドルの脱着」P. 13-10
6. ジャッキのバルブが閉まっていることを確認します。

7. ジャッキハンドルをジャッキのブラケットに差し込み，ジャッキハンドル先端の切り欠き部をブラケットのツメにかけ固定します。

8. ジャッキハンドルを上下に動かして，ジャッキを指定箇所に当たる直前まで伸ばします。
9. ジャッキをジャッキハンドルで押して，交換するタイヤに近い指定箇所にセットします。

警告

- ジャッキをセットするときは，指定された位置以外にかけないでください。指定された位置以外にかけると，車体がへこんだり，ジャッキが倒れて重大な傷害を受けるおそれがあります。

10. ジャッキハンドルを上下に動かして，タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。

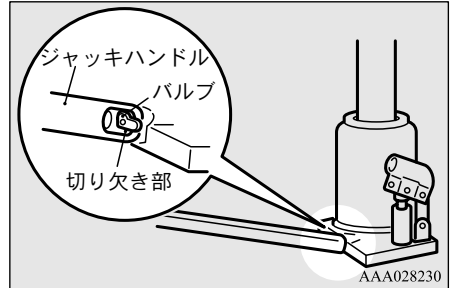
⚠注意

- 地面からタイヤが少し離れた高さ以上にジャッキアップしないでください。必要以上にジャッキアップすると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- このジャッキは3段伸縮タイプです。

降ろすときは

1. ジャッキハンドル先端の切り欠き部をジャッキのバルブにかけます。

2. ジャッキハンドルをゆっくりと左へ回して，ジャッキのバルブをゆるめます。

⚠注意

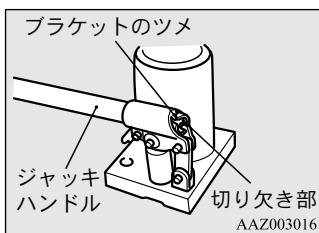
- ジャッキハンドルはゆっくりと回してください。早く回すと車が急激に下降し，ジャッキが外れて，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- バルブは 2 回転以上ゆるめないでください。
- 下降中の車を急に停止させないでください。ジャッキを破損するおそれがあります。

3. ジャッキを取り出します。

アドバイス

- 指定箇所から外れないときは，乗車して車を揺するとジャッキが下がり，取り外せます。
- 手で取り出しにくいときは，ジャッキハンドルをジャッキのブラケットに差し込み，ジャッキハンドル先端の切り欠き部をブラケットのツメにかけ固定し，ジャッキハンドルを引いてジャッキを取り出します。

4. 上からジャッキを押して，下へいっぱいまで縮めます。

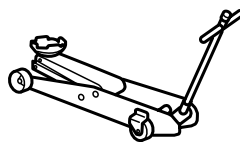
アドバイス

- ジャッキを縮めた後は，バルブを右にいっぱいまで回しておいてください。

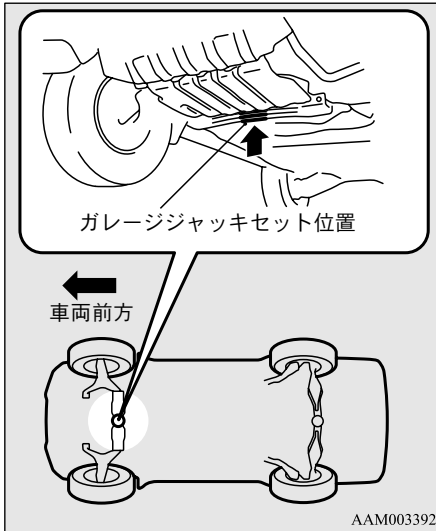
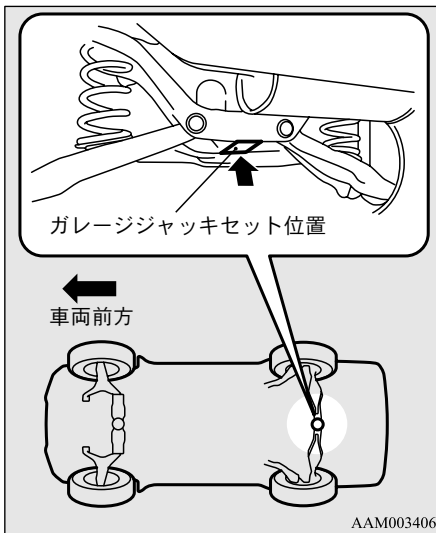
5. ジャッキとジャッキハンドルを元の位置に戻します。
→「工具，ジャッキおよびジャッキハンドルの脱着」P. 13-10

ガレージジャッキを使用するときは

⚠警告

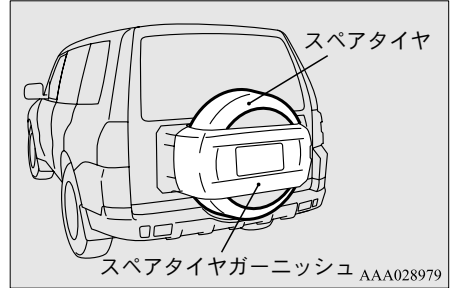
- ガレージジャッキを使用するときは，必ず指定のガレージジャッキセット位置に当ててジャッキアップしてください。指定された位置以外に当ててジャッキアップすると，車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

- リヤ側をジャッキアップするときは，リヤディファレンシャルにガレージジャッキを当ててジャッキアップしないでください。リヤディファレンシャルにガレージジャッキを当ててジャッキアップすると，車両を損傷するおそれがあります。

◆ ガレージジャッキセット位置

フロント

リヤ

スペアタイヤ

J01400800845

格納場所

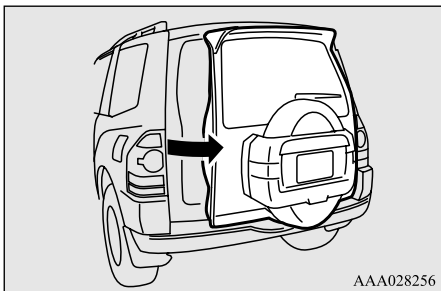
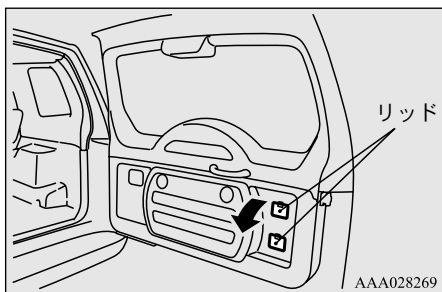
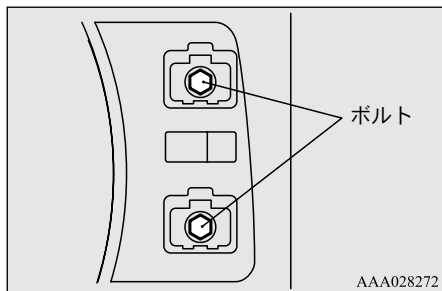
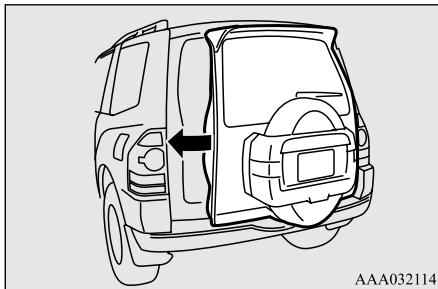
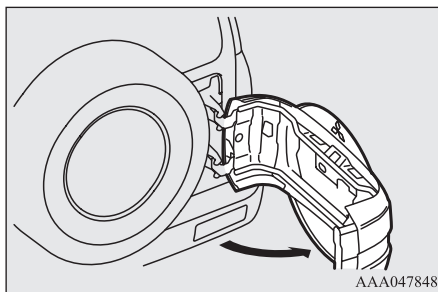
スペアタイヤは，バックドアに取り付けてあります。

⚠注意

- タイヤは非常に重いため，降ろすときおよび取り付けるときは，タイヤをしっかりと持ってください。
- ホイールの穴などに手をかけると，エッジでけがをするおそれがありますので手袋などをご使用ください。
- スペアタイヤの空気圧は，定期的に点検してください。空気圧が不足している状態で走行すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。空気圧が不足している場合は，最寄りの三菱自動車販売会社またはガソリンスタンドまで控えめな速度で走行し，指定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P. 14-10

アドバイス

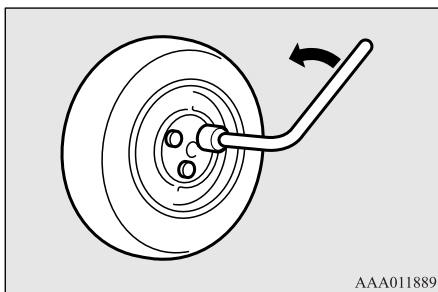
- スペアタイヤまたはスペアタイヤガーニッシュに足をかけないでください。

取り外すときは

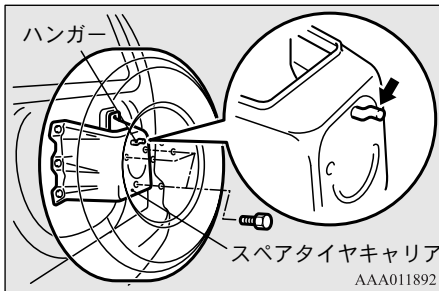
1. ホイールナットレンチを取り出します。
→「工具，ジャッキおよびジャッキハンドルの脱着」P. 13-10
2. バックドアを開けます。

3. バックドアの内側にあるリッドを取り外します。

4. ホイールナットレンチを使用してボルトを外します。

5. バックドアを閉めます。

6. スペアタイヤガーニッシュを開けます。

⚠注意

- スペアタイヤガーニッシュを開けたままバックドアを開けないでください。スペアタイヤガーニッシュが車両右側に飛び出し思わぬ事故につながるおそれがあります。

7. ホイールナットレンチを使用してホイールボルトを左に回して外し，スペアタイヤを取り外します。

13

取り付けるときは

1. タイヤをスペアタイヤキャリアのハンガーにかけ，ホイールボルトとボルトを手で右に回して取り付けます。最後に，ホイールナットレンチを使用して，確実に締め付けます。

締め付けトルク： 37～54N•m
{3.8～5.5kgf•m}
（車載のホイールナットレンチの先端で140～200N ｛14～20kgf｝の力）

2. 取り外しと逆の手順でスペアタイヤガーニッシュを元に戻します。

スペアタイヤガーニッシュ取り付けボルトの締め付けトルク：11～25N•m
{1.1～2.5kgf•m}
（車載のホイールナットレンチの先端で40～92N ｛4～9.2kgf｝の力）

3. ホイールナットレンチを元の位置に戻します。
→「工具，ジャッキおよびジャッキハンドルの脱着」P. 13-10

タイヤ交換のしかた

J01400901713

⚠注意

- タイヤは非常に重いため，作業をするときは，タイヤをしっかりと持ってください。
- ホイールの穴などに手をかけると，エッジでけがをするおそれがありますので手袋などをご使用ください。

タイヤを取り外すときは

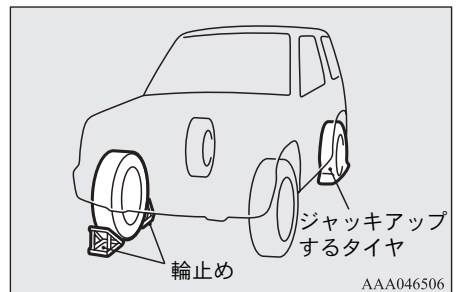
1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れて，エンジンを止めます。
3. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に置きます。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。

13

⚠注意

- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

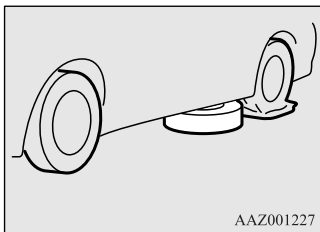
アドバイス

- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

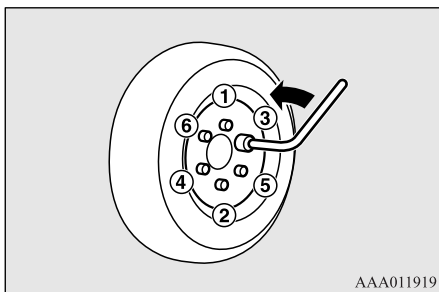
5. スペアタイヤ，ホイールナットレンチ，ジャッキおよびジャッキハンドルを取り出します。
→「工具，ジャッキおよびジャッキハンドルの脱着」P. 13-10
→「スペアタイヤ」P. 13-17

アドバイス

- 取り出したスペアタイヤは，万一ジャッキが外れたときのため，ジャッキ近くの車体の下に置いてください。

AAZ001227

6. 交換するタイヤに近い指定箇所にジャッキをセットします。
→「ジャッキアップのしかた」P. 13-13

7. ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に，手で回るくらいまで左に回してゆるめます。

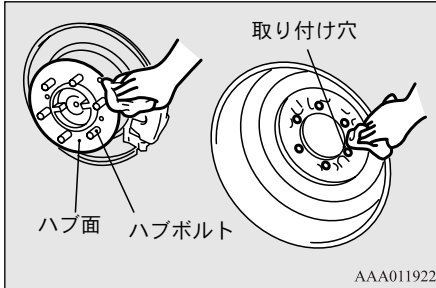
AAA011919

8. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。
9. ホイールナットを外し，タイヤを取り外します。

アドバイス

- タイヤを地面に置くときは，ホイール表面を上にして置いてください。
下にして置くと，ホイールに傷がつくおそれがあります。

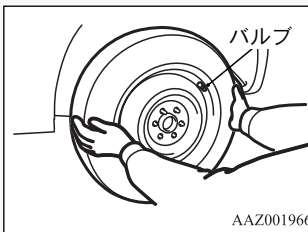
タイヤを取り付けるときは

1. ハブ面，ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取り除きます。

AAA011922

2. タイヤを取り付けます。

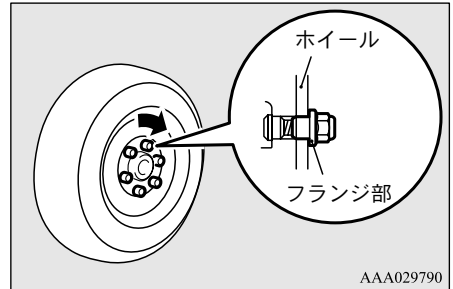
⚠警告

● タイヤを取り付けるときは，タイヤの裏表に注意し，バルブが車体外側を向くように取り付けてください。取り付けた際，バルブが見えなければ，タイヤが裏向きに取り付けられています。タイヤの裏表を間違えて取り付けると，車両に悪影響をおよぼし，思わぬ事故につながるおそれがあります。

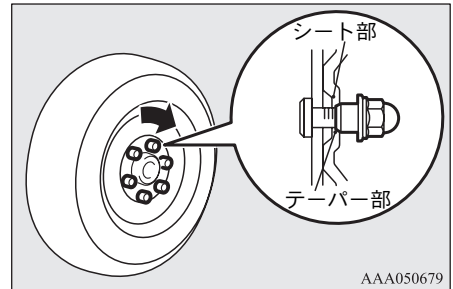
AAZ001966

3. 手でホイールナットを右へ回して仮締めします。

アルミホイール

ホイールナットのフランジ部がホイールに当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。

AAA029790

スチールホイール

ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。

AAA050679

⚠警告

● ハブボルト，ホイールナットには油やグリースを塗らないでください。
必要以上に締め付けられてボルトが破損したり，ホイールが損傷するおそれがあります。また，ナットがゆるんで走行中にタイヤが外れるなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

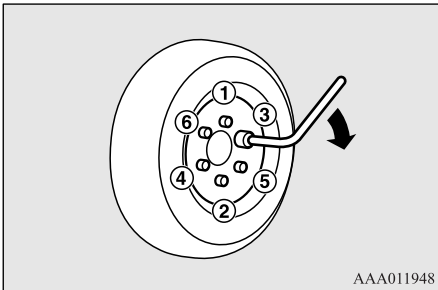
アドバイス

- 4 輪ともスチールホイールに変更するときは，テーパーナットを三菱自動車販売会社でお買い求めの上，ご使用ください。
- お客様のお車にはフランジナットが装着されています。フランジナットはスペアタイヤ（スチールホイール）にも使用できますが，できるだけ早く標準タイヤに戻してください。

4. タイヤが地面に接するまでジャッキを降ろし，ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に2~3回に分けて, 徐々に締め付けます。最後の締め付けは，確実に行ってください。

締め付けトルク： 105~125N•m
{11~12kgf•m}
（車載のホイールナットレンチの先端で390~460N｛39~46kgf｝の力）

注意

- ホイールナットを締め付けるときは，ホイールナットレンチを足で踏んだり，パイプなどを使用して必要以上に締め付けないでください。

5. タイヤの空気圧を点検します。
   →「タイヤの空気圧」P. 14-10
6. ホイールナットレンチ，ジャッキおよびジャッキハンドルを元の位置に戻します。
   →「工具，ジャッキおよびジャッキハンドルの脱着」P. 13-10
7. 交換したタイヤをスペアタイヤキャリアに取り付けます。
   →「スペアタイヤ」P. 13-17

注意

- タイヤ交換後，走行中にハンドルや車体に振動がでたときは，三菱自動車販売会社でタイヤバランスの点検を受けてください。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。

アドバイス

- タイヤ交換したときは，約 1,000km 走行後, 再度ホイールナットを締め付けて, ゆるみがないことを点検してください。

バッテリー上がりのときは！

J01401001450

つぎのような状態をバッテリー上がりといいます。

- スターターモーターが回らない。または，回っても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ライトが点灯しない。または，点灯してもいつもより暗い。
- ホーンが鳴らない。または，鳴ってもいつもより音が小さい。

ブースターケーブル（別売）を使用し，他車のバッテリーを電源として，エンジンをかけることができます。

⚠警告

- **救援車を依頼し，ブースターケーブルを使用してエンジンをかけるときは，取扱説明書にしたがって正しい手順で作業してください。取り扱いを誤ると，引火爆発や車両損傷のおそれがあります。**

1. ブースターケーブルが接続でき，かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。

⚠注意

- 救援車は必ず12Vで，自車と同容量以上のバッテリーを装着している車を使用してください。

2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
3. 救援車と自車の駐車ブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーをⓃ，オートマチック車はセレクターレバーをⓅに入れ，エンジンスイッチをLOCKまで回してエンジンを止めます。

⚠警告

- **ブースターケーブルの接続時は，救援車のエンジンも止めてください。**
  ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて，けがをするおそれがあります。
- **エンジン運転中は，ファンに手を近づけないでください。**

4. バッテリー液量を確認します。

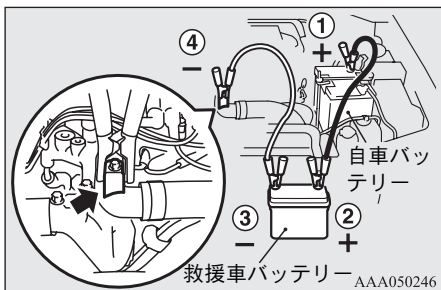
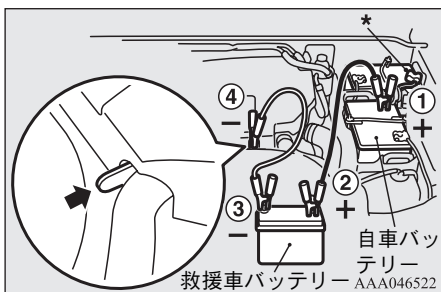
⚠警告

- **バッテリー液量が下限(LOWER LEVEL)以下のままで使用しないでください。バッテリーの劣化を早めたり，発熱や爆発するおそれがあります。**

アドバイス

- バッテリー液の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

5. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。
   ①自車のバッテリーの＋端子
   ②救援車のバッテリーの＋端子
   ③救援車のバッテリーの－端子
   ④図で指示の箇所（アースをとる）

ガソリン車

ディーゼル車

*：タイプ別装備

⚠警告

- 接続する順番は必ず①→②→③→④の順番で行ってください。
- ④の接続は必ずイラスト矢印の位置にしてください。バッテリーの─端子に直接つなぐと，バッテリーから発生する可燃性ガスに引火し爆発するおそれがあります。
- ブースターケーブルを接続するときは，＋と─端子を接触させないでください。火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

⚠注意

- ブースターケーブルのクリップは，確実に接続してください。エンジン始動時の振動で外れると，ケーブルがファンやドライブベルトに巻き込まれ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- バッテリーの＋端子は，カバーを外してからブースターケーブルを接続してください。
- ブースターケーブルは，バッテリーの容量に適したものを使用してください。
  ケーブル焼損の原因になることがあります。
- ブースターケーブルに破損および腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。

6. 接続した後，救援車のエンジンをかけ，エンジン回転数を少し上げます。
7. 自車のエンジンをかけます。
8. エンジンがかかったら，ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外します。

9. 最寄りのガソリンスタンドや三菱自動車販売会社でバッテリーの点検を受けてください。

⚠警告

- バッテリーを車両に搭載したままでの充電は，引火爆発や車両損傷の原因になることがあります。やむを得ず車両に搭載したままで充電するときは，バッテリーに接続されている車両側の－端子を取り外してください。
- 充電中はバッテリーに火気を近づけないでください。バッテリーからは可燃性ガスが発生しており，爆発するおそれがあります。
- 周囲の囲まれた狭い場所でバッテリーを充電するときは，換気を十分に行ってください。
- 充電するときは，すべてのキャップを外してください。
- バッテリー液は希硫酸です。皮膚についたり，目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い，速やかに専門医の治療を受けてください。

アドバイス

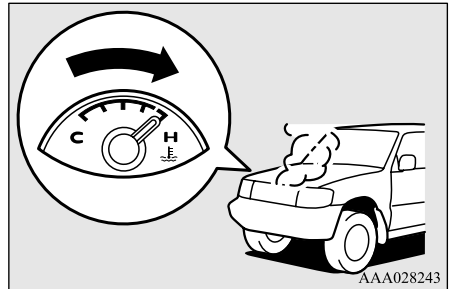
- 押しがけやけん引によりエンジンをかけることはできません。
- 充電が不十分のまま車を発進させると，エンジンの回転むらが生じ，ABS 警告灯が点灯することがあります。
→「走行中に警告灯が点灯したときは」P. 7-43

オーバーヒートしたときは！

J01401101057

つぎのような状態をオーバーヒートといいます。

- 水温計の指針が「H」表示部に近づいたり，エンジンの出力が急に低下する。
- エンジンルームから蒸気が出ている。

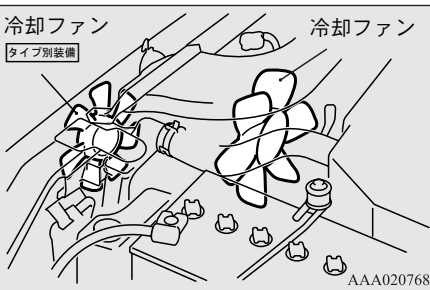
AAA028243

1. 車を安全な場所に止めます。
2. エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。

   [蒸気が出ていないとき]
   エンジンをかけたままでエンジンフード（ボンネット）を開け，風通しをよくします。

   [蒸気が出ているとき]
   エンジンを止め，蒸気が出なくなったら，風通しをよくするためにエンジンフード（ボンネット）を開け，エンジンをかけます。

⚠警告

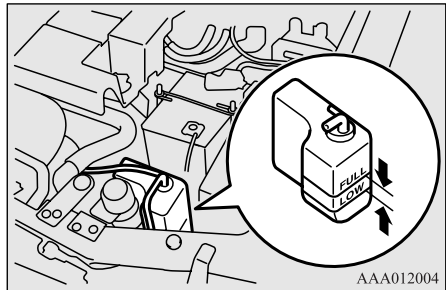
● エンジンルームから蒸気が出ているときは，エンジンフード（ボンネット）を開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。蒸気が出ていないときでも，熱湯が噴き出していたり，高温になっている部分がありますので，エンジンフード（ボンネット）を開けるときは注意してください。

3. 冷却ファンが回転していることを確認してください。

⚠警告

● 冷却ファンに手や衣服などを巻き込まれないように注意してください。

アドバイス

● 冷却ファンが回転していないときは，ファンベルトが切れています。エンジンを止めて自然冷却し，その後，すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

4. 水温計の指針が下がってきたら，エンジンを止めます。
5. エンジンが十分冷えてから，冷却水の有無を点検します。

⚠警告

● 通常はラジエーターキャップを外さないでください。
冷却水には圧力がかかっているため，冷却水の温度が高いときにキャップを外すと，蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。

アドバイス

● 冷却水の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

13

けん引

J01401201452

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。
つぎの場合は，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。

また，車輪が溝などに落ちたときは無理にけん引せず，三菱自動車販売会社または専門業者に依頼してください。

レッカー車に搬送してもらうとき

⚠注意

- 必ず2WD（後輪駆動）に切り換えてけん引してください。また，4WD（4 輪駆動）のまま前輪または後輪だけを持ち上げたけん引はしないでください。駆動装置が損傷したり，車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。
- エンジンスイッチを ON にして前輪または後輪だけを持ち上げたけん引はしないでください。アクティブトラクションコントロール機能が作動し思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 2WD（後輪駆動）に切り換わらないときや，駆動系部品が故障したと思われるとき(車輪が動かない，異音がするなど)は，必ず4輪を持ち上げてけん引してください。
- 駆動輪（後輪）を接地してけん引するときの速度は30km/h以下，けん引する距離は50km以内にしてください。この速度，距離を超えるとトランスミッションの故障の原因になります。

アドバイス

- レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て三菱自動車販売会社へ依頼してください。

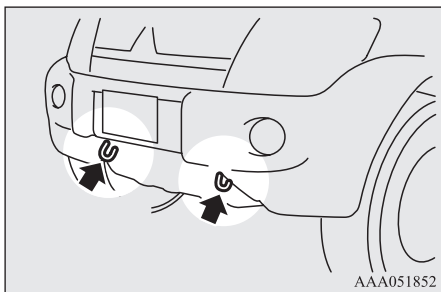
やむを得ず他車にロープでけん引してもらう，または故障車をけん引するときは，つぎの要領で行ってください。

他車にけん引してもらうとき

J01403901639

1. けん引ロープをけん引フックにかけます。

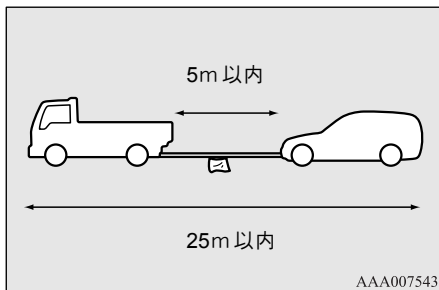
AAA051852

⚠注意

- けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。けん引フック以外にけん引ロープをかけると，車体が破損するおそれがあります。

アドバイス

- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使用すると，車体を傷つけるおそれがあります。ソフトロープを使用するか，車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどしてけん引してください。
- けん引ロープは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- けん引ロープは水平にしてけん引してください。水平でない位置にかけると，車体を傷つけるおそれがあります。
- けん引ロープはできるだけ同じ側のフックにかけて，斜めけん引とならないようにしてください。

2. けん引ロープには，30cm 平方（タテ 30cm×ヨコ 30cm）以上の白い布を必ずつけてください。

AAA007543

3. エンジンはできるだけかけておいてください。
   エンジンがかからないときは，エンジンスイッチを ACC または ON にします。

⚠警告

- エンジンが止まっているとブレーキの効きが非常に悪くなります。また，ハンドル操作が非常に重くなります。

⚠注意

- エンジンスイッチが LOCK 位置にあるとハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり，事故につながるおそれがあります。

4. セレクターレバーをⓃに入れます。
5. トランスファーシフトレバーを「2H」に切り換えます。
   →「トランスファーシフトレバー」P. 7-23

13

6. 後続車に注意をうながすため，けん引される車は非常点滅灯を点滅させます。
   →「非常点滅灯スイッチ」P. 6-65

⚠警告

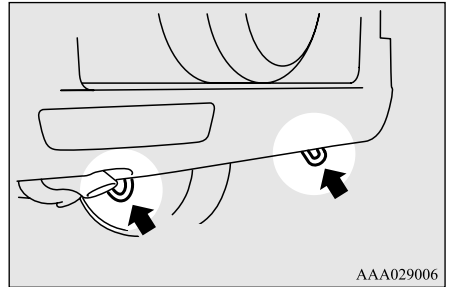
- けん引される車のエアコンは，内気循環に切り換えてください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
- 急ブレーキ，急発進，急旋回など，けん引フックやけん引ロープに大きな衝撃が加わるような運転は避けてください。けん引フックやけん引ロープが破損するおそれがあります。万一の場合，その破片が周囲の人などにあたり，重大な傷害をおよぼすおそれがあります。
- 長い下り坂ではブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。

⚠注意

- けん引される車は，けん引車のブレーキランプに注意して，常にけん引ロープをたるませないようにしてください。
- 安全のためにけん引するときの速度は30km/h 以下，けん引する距離は 50km以内にしてください。この速度，距離を超えるとトランスミッションの故障の原因になります。

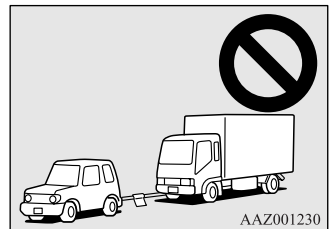
故障車をけん引するとき

J01404000148

やむを得ず故障車をけん引するときは，けん引フックにけん引ロープをかけてけん引してください。
その他は「他車にけん引してもらうとき」と同じ要領で行ってください。

AAA029006

⚠注意

- けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。けん引フック以外にけん引ロープをかけると，車体が破損するおそれがあります。
- 自車より重い故障車をけん引しないでください。
  車両重量については車載の「自動車検査証」をご参照ください。

AAZ001230

- 安全のためにけん引するときの速度は30km/h 以下，けん引する距離は 50km以内にしてください。

ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！

J01401300225

ディスクブレーキには，ブレーキパッドの摩耗量が使用限度近くになると走行中に金属摩擦音（キーキー）を発生して警告する装置が設けてあります。

アドバイス

- 金属摩擦音が聞こえたときは，三菱自動車販売会社でブレーキパッドを点検してください。

ヒューズが切れたときは！

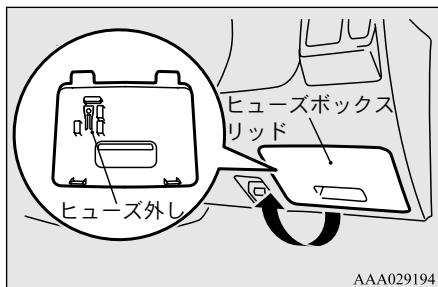
J01401500924

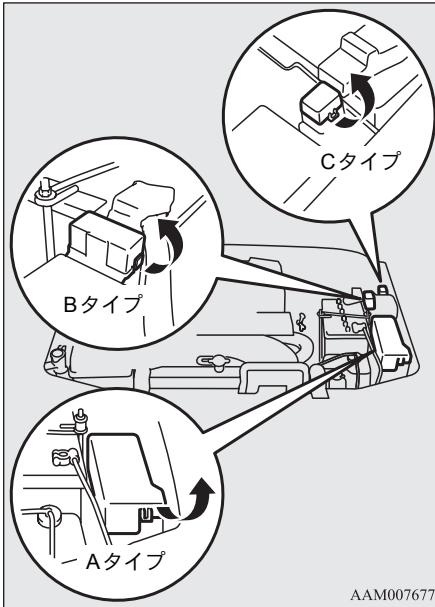
各種のランプが点灯しないときや，電気系統の装備が作動しないときは，ヒューズが切れているときがありますのでヒューズを点検し，切れているときは交換してください。

ヒューズボックスの位置

J01407500115

◆ 運転席足元

1. ヒューズボックスリッドを手前に引いて取り外します。

2. ヒューズボックスリッドの奥にヒューズボックスがあります。
   ヒューズ外しは，ヒューズボックスリッドの裏側にあります。

13

◆ エンジンルーム内

ヒューズの交換

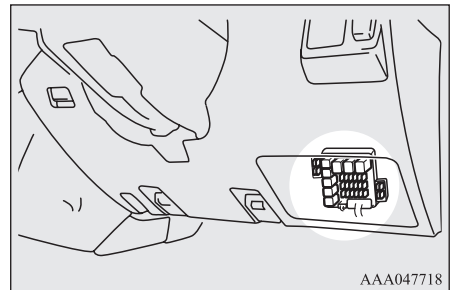
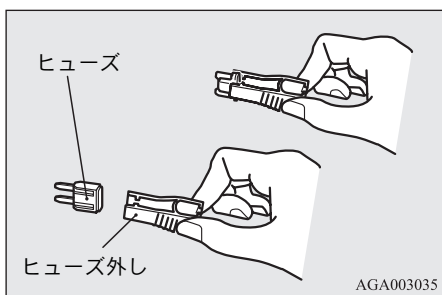
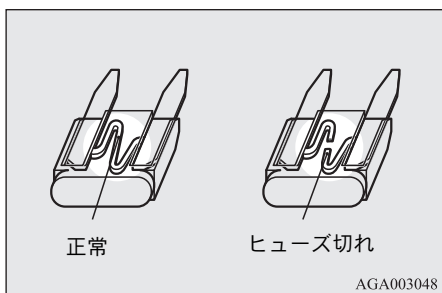
J01407600031

1. エンジンスイッチをLOCKにします。
2. 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。
→「各ヒューズの受け持つ装備および容量」P. 13-32

アドバイス

● 各ヒューズの受け持つ装備および容量は，運転席足元はヒューズボックスリッドの裏側に，エンジンルーム内はヒューズボックスふたの裏側に記載してあります。

3. 運転席足元のヒューズを交換するときは，ヒューズボックスリッドを外して行います。

13

4. ヒューズ外しを使用してヒューズを引き抜きます。

5. ヒューズを点検し，切れているときは予備ヒューズと交換します。

⚠警告

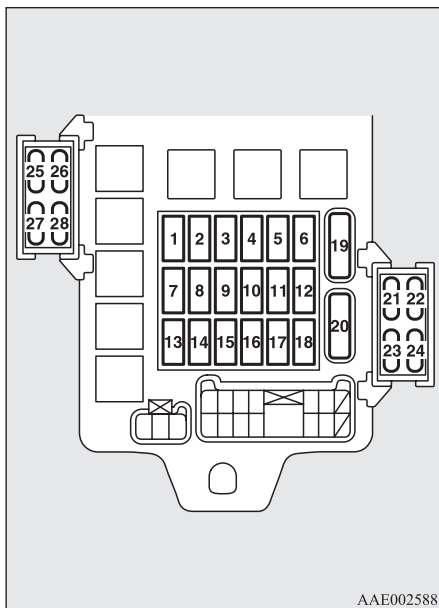
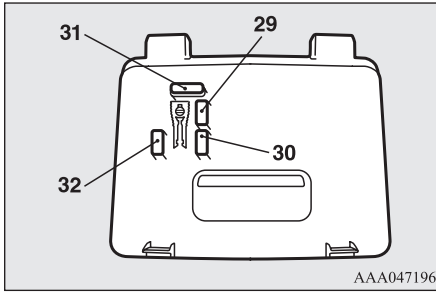
- **取り付けてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金，銀紙などを使用すると，電線の過熱により火災のおそれがあります。**

アドバイス

- ヒューズを交換しても再び切れるときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは，他の原因が考えられます。すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

各ヒューズの受け持つ装備および容量

J01403701363

◆ 運転席足元

◆ ヒューズボックスリッド裏側

NO.	表示	装備	容量
1		イグニッションコイル	10A
2		メーター	7.5A
3		後退灯(バックアップランプ)	7.5A
4	—	—	7.5A
5		リレー	7.5A
6		ヒーテッドドアミラー	7.5A
7	—	—	30A
8		エンジンコントロール	7.5A
9		シガレットライター	15A
10	—	—	—
11		電動リモコンドアミラー	7.5A
12		コントロールユニットリレー	7.5A
13	—	—	—
14		リヤワイパー	15A
15		ドアロック	15A
16		リヤフォグランプ	10A
17	—	—	—
18	—	—	—
19		ヒーター	30A
20		デフォッガー	30A
21		サンルーフ	20A
22	ABS	ABS	10A
23		シートヒーター	20A
24		アプローチランプ	10A
25		トランスファーコントロール	10A
26		ENG/POWER	10A
27		スターターモーター	10A
28	—	—	—
29	—	スペアヒューズ	20A
30	—	スペアヒューズ	10A
31	—	スペアヒューズ	30A
32	—	スペアヒューズ	25A

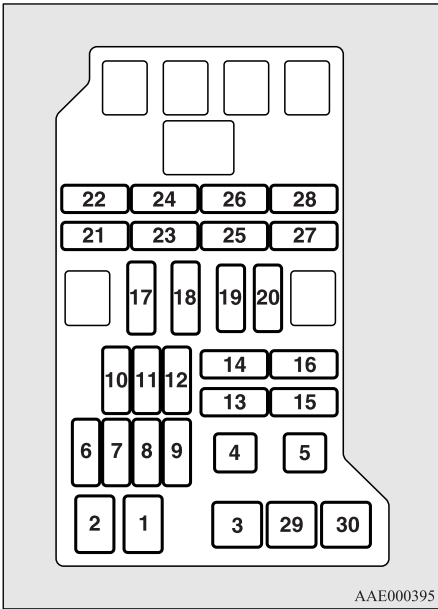
- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

7.5A，15A のスペアヒューズはありません。ヒューズが切れたときは，同容量のつぎのヒューズで代用してください。

7.5A：電動リモコンドアミラー

15A：シガレットライター

◆ エンジンルーム内

Aタイプ

NO.	表示	装備	容量
1		オルタネーター	140A
2		+B	60A
3		イグニッションスイッチ	40A
4		パワーウインドウ	30A
5		エンジンコントロール	20A
6		フューエルポンプ	20A
7		リヤヒーター	25A
8		アクセサリーソケット	25A
9		フューエルラインヒーター	25A
10		エアコンコンデンサーファンモーター	25A
11		リヤエアコン	20A
12		セキュリティーホーン	15A
		ワイパーディアイサー	
13		ホーン	10A
14	A/T	オートマチックトランスミッション	20A
15		非常点滅灯	10A
16	STOP	制動灯(ブレーキランプ)	15A
17		オーディオ	10A
18		室内灯(ルームランプ)	15A
19		エアコンコンプレッサー	10A
20		フロントフォグランプ	15A
21	—	—	—

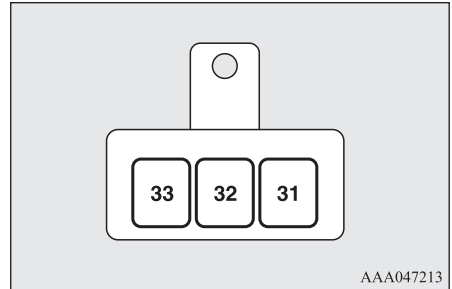
NO.	表示	装備	容量
22		フロントワイパー	20A
23		尾灯(テールランプ)(右)	7.5A
24		尾灯(テールランプ)(左)	7.5A
25		ヘッドライト(下向き)(右)	10A*1 20A*2
26		ヘッドライト(下向き)(左)	10A*1 20A*2
27		ヘッドライト(上向き)(右)	10A
28		ヘッドライト(上向き)(左)	10A
29		オーディオ	30A
30		ヒーター	50A

*1：除く，ディスチャージヘッドライト付き車

*2：ディスチャージヘッドライト付き車

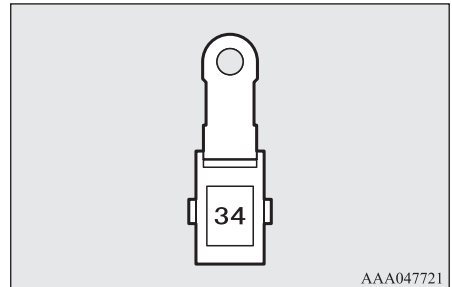
- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

Bタイプ

AAA047213

NO.	表示	装備	容量
31	ABS	ABS	60A
32		ブレーキ	40A
33		グロー(予熱)スタート	80A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

Cタイプ

AAA047721

NO.	表示	装備	容量
34		ヒーター	60A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

バルブ（電球）が切れたときは！

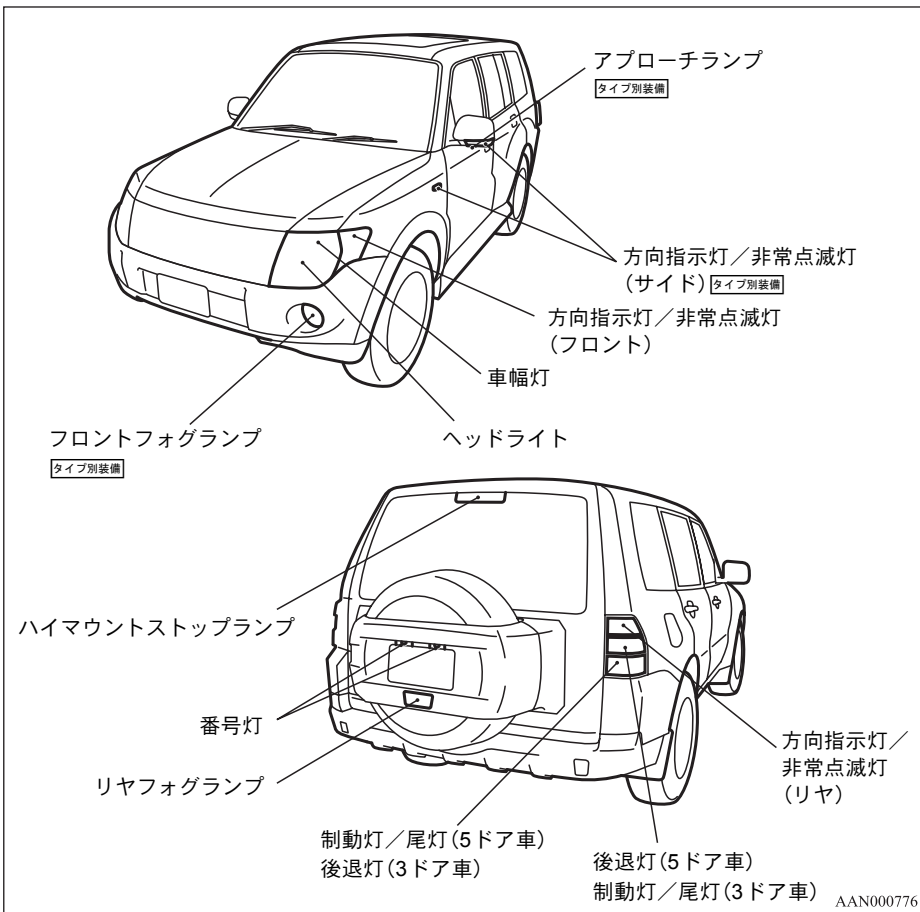
J01401600707

ヒューズが切れていないのにランプが点灯しないときは，バルブ（電球）が切れているときがあります。
バルブ（電球）を点検し，切れているときは交換してください。

バルブ（電球）のワット数

J01406200027

◆ 車外照明

J01406800573

<table>
<tr><td rowspan="4">ヘッドライト</td><td rowspan="2">除く, ディスチャージヘッドライト付き車</td><td>ハイビーム[ハロゲン球]</td><td>65W (H9)</td></tr>
<tr><td>ロービーム[ハロゲン球]</td><td>55W (H11)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ディスチャージヘッドライト付き車</td><td>ハイビーム[ハロゲン球]</td><td>65W (H9)</td></tr>
<tr><td>ロービーム[ディスチャージ球]</td><td>35W (D4S)</td></tr>
<tr><td colspan="3">車幅灯</td><td>5W (W5W)</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">フォグランプ</td><td>フロント タイプ別装備</td><td>55W (H11)</td></tr>
<tr><td>リヤ</td><td>21W (W21W)</td></tr>
<tr><td colspan="3">制動灯／尾灯</td><td>21/5W (W21/5W)</td></tr>
<tr><td colspan="3">後退灯</td><td>21W (W21W)</td></tr>
<tr><td colspan="3">番号灯</td><td>5W (W5W)</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">方向指示灯／非常点滅灯</td><td>フロント</td><td>21W (WY21W)</td></tr>
<tr><td>リヤ</td><td>21W (WY21W)</td></tr>
<tr><td colspan="3">ハイマウントストップランプ</td><td>16W (W16W)</td></tr>
</table>

●(　)内はバルブ（電球）の型式を示しています。

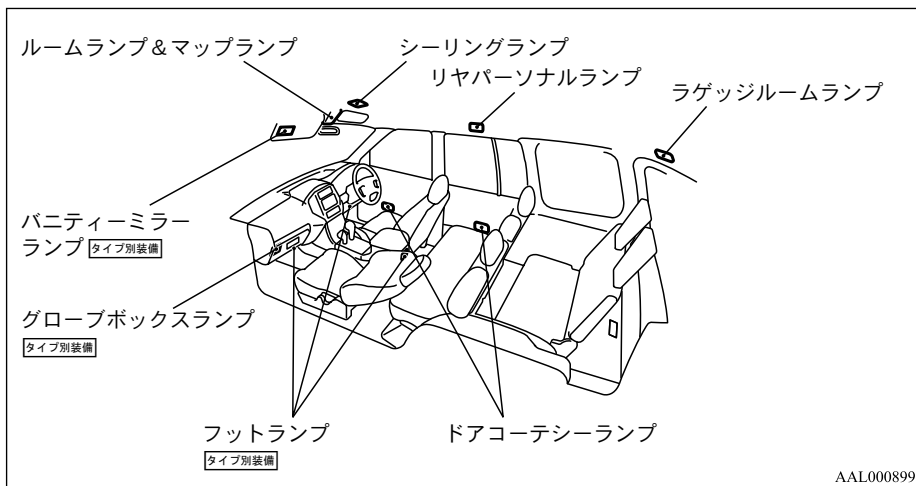
⚠注意

● ディスチャージヘッドライトの修理･バルブ交換の際は必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。
電源回路, バルブおよび電極部分には高電圧が発生しており, 感電するおそれがあります。

アドバイス

● フロントフェンダーに装着されている方向指示灯（サイド）およびアプローチランプの修理・交換は三菱自動車販売会社にご相談ください。
● ドアミラーに装着されている方向指示灯（サイド）はバルブ（電球）ではなくLEDを使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ 車内照明

J01406300060

ルームランプ＆マップランプ		8W
リヤパーソナルランプ		8W
ラゲッジルームランプ		8W
ドアコーテシーランプ	フロント	3.4W
	リヤ	3.4W
グローブボックスランプ タイプ別装備		1.4W
バニティーミラーランプ タイプ別装備		3W

アドバイス

- シーリングランプおよびフットランプはバルブ（電球）ではなくLEDを使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

バルブ（電球）の交換

J01401700766

ここではおもなバルブ（電球）の交換方法を記載しています。記載されていないバルブの交換については，三菱自動車販売会社にご相談ください。

1. 該当するランプのスイッチを OFF にして，エンジンスイッチをLOCKにします。
2. 該当するランプのワット数を確認します。
   →「バルブ（電球）のワット数」P. 13-36

⚠注意

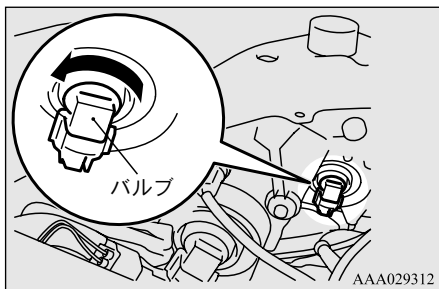
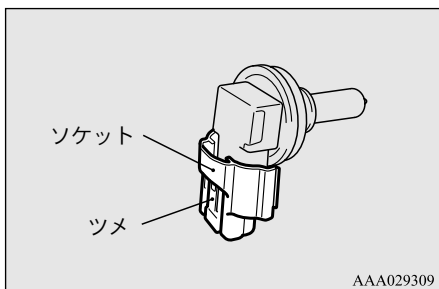
- 消灯直後はバルブの表面が高温になっているため，やけどをするおそれがあります。
  バルブの表面が十分冷えてから交換してください。

アドバイス

- バルブを交換するときは，同じワット（W）数，同じバルブ色のものを使用してください。
- 新しく交換するバルブの表面に触れないでください。
  油などが付着すると，点灯したときの熱で蒸発して，レンズ内側が曇ることがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の3％水溶液を含ませて，油をふき取ってください。
- ランプ本体やレンズを外すときは，車体を傷つけないよう十分注意してください。
- バルブを交換した後は，ランプが正しく点灯するか確認してください。
- 雨の日や洗車後などに，レンズ内側が曇ることがあります。
  これは湿気が多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。
  ランプを点灯すると熱で曇りはとれます。
  ただし，ランプ内に水がたまっているときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

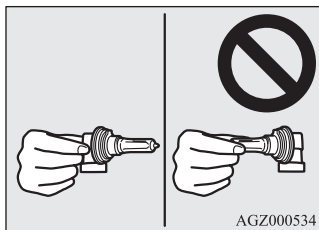
◆ ヘッドライト（ハイビーム）

J01401901518

1. バルブを反時計回りに回して外します。

2. ツメを押しながら，ソケットを引き抜きます。

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠注意

● ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。

⚠注意

● ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3％水溶液を含ませて，油をふき取ってください。

◆ ヘッドライト（ロービーム）

J01401901521

除く，ディスチャージヘッドライト付き車

1. バルブを反時計回りに回して外します。

AAA029325

2. ツメを押しながら，ソケットを引き抜きます。

AAA029309

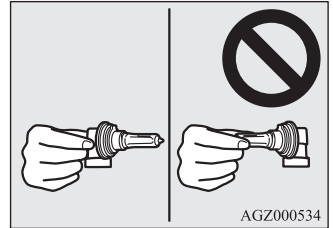
3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠注意

- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。

⚠注意

- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。

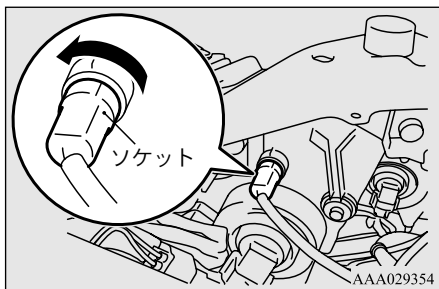
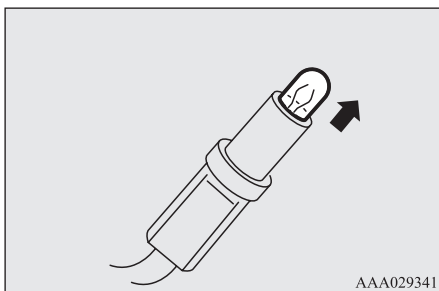
AGZ000534

◆ 車幅灯

J01402000359

1. ソケットを反時計回りに回して外します。

AAA029354

2. ソケットからバルブを引き抜きます。

AAA029341

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

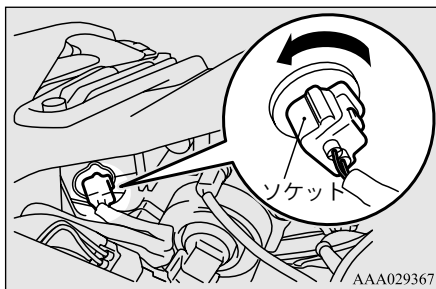
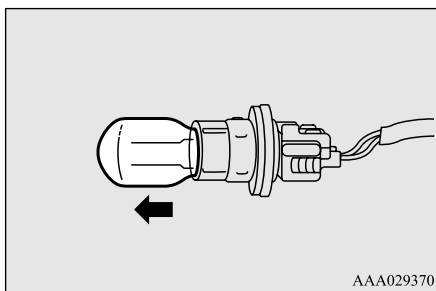
◆ 方向指示灯（フロント）

J01402100350

1. ソケットを反時計回りに回して外します。

AAA029367

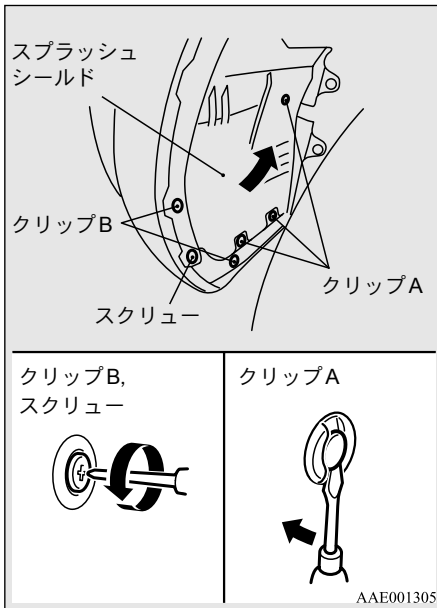
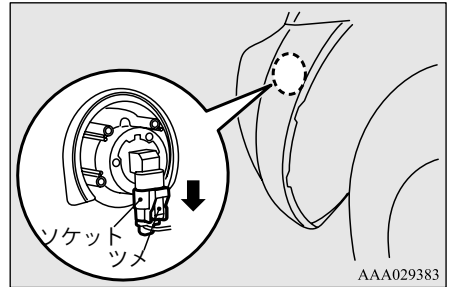
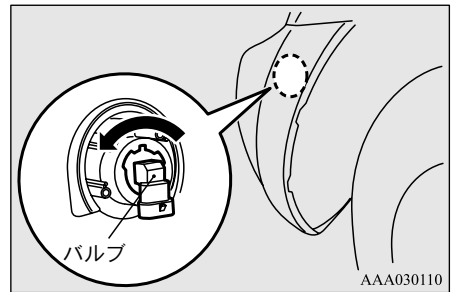
2. ソケットからバルブを引き抜きます。

AAA029370

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆フロントフォグランプ

タイプ別装備

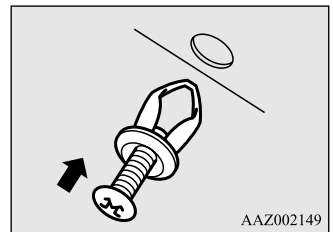
J01403200723

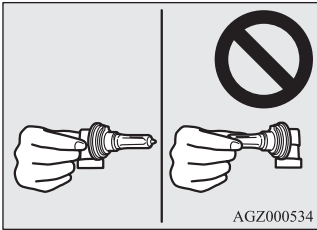
1. クリップA（3箇所）,クリップB（2箇所）およびスクリューを図の要領で外し,スプラッシュシールドをめくります。

2. ツメを押しながらソケットを引き抜きます。

3. バルブを反時計回りに回して外します。

4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

- クリップを取り付けるときは図の状態で穴に差し込み,押さえつけます。

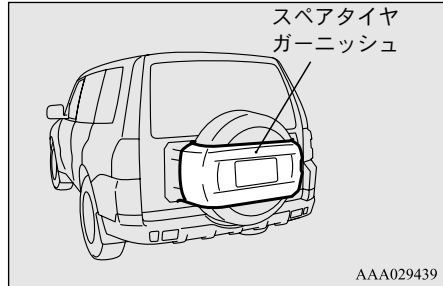
13

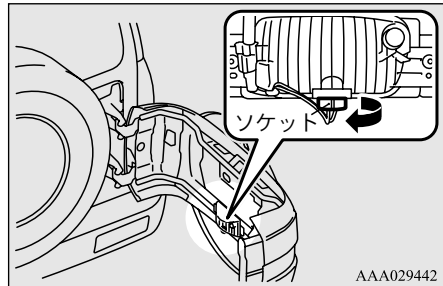
⚠注意

- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。

AGZ000534

◆ リヤフォグランプ

J01403300027

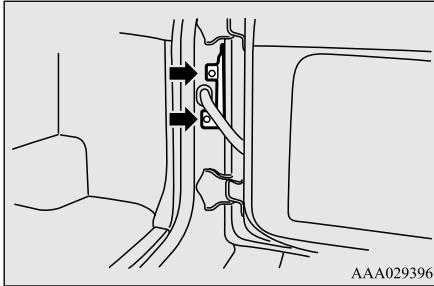
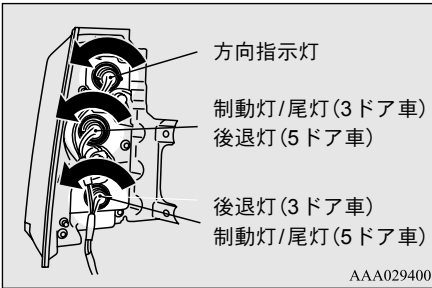
1. スペアタイヤガーニッシュを開けます。
   →「スペアタイヤ」P. 13-17

AAA029439

2. ソケットを反時計回りに回して外し，ソケットからバルブを引き抜きます。

AAA029442

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

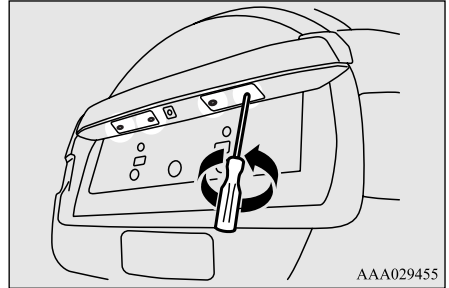
◆ リヤコンビネーションランプ

J01403000330

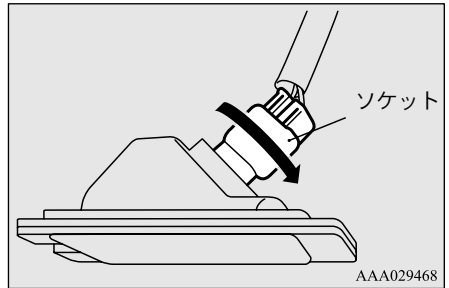
1. ネジ（2 箇所）を外し，ランプ本体を取り外します。

2. ソケットを反時計回りに回して外し，バルブを引き抜きます。

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

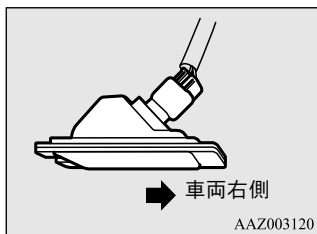
◆ 番号灯

J01402600355

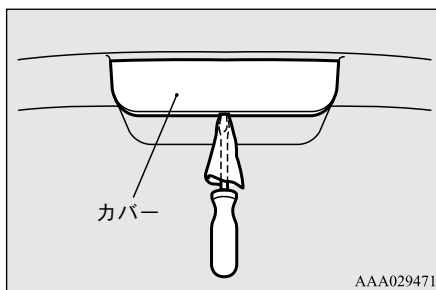
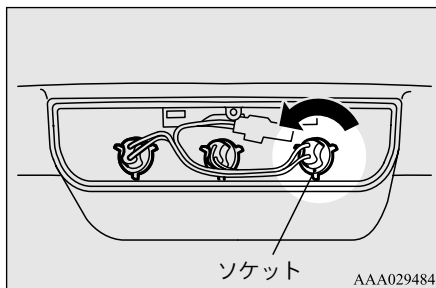
1. ネジ（2 箇所）を外し，ランプ本体を取り外します。

2. ソケットを反時計回りに回してランプ本体を取り外し，ソケットからバルブを引き抜きます。

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

13

アドバイス

- ランプ本体を取り付けるときは，ソケットが車両右側になるように取り付けます。

◆ ハイマウントストップランプ

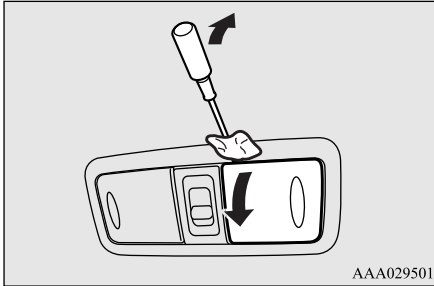
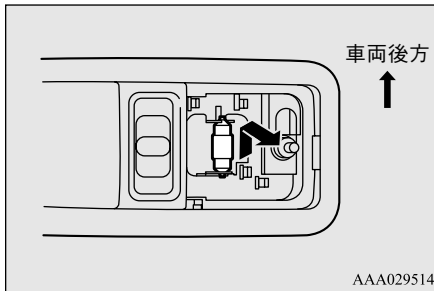
J01402700356

1. マイナスドライバーなどをカバーの切り欠きに差し込んで，こじて外します。

2. ソケットを反時計回りに回して外し，バルブを引き抜きます。

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆ ルームランプ＆マップランプ

J01404400344

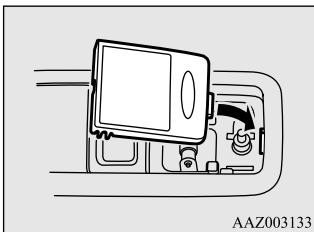
1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで，レンズをこじて外します。

AAA029501

2. バルブを車両後方に押しながら取り外します。

AAA029514

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

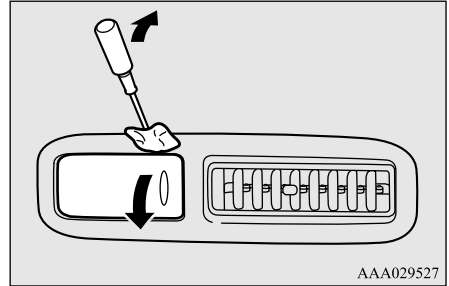
アドバイス

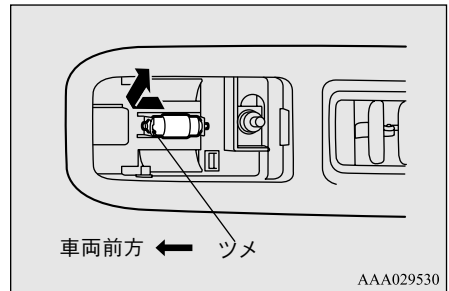
- レンズを取り付けるときは，ツメを車体側の穴に合わせて取り付けます。

AAZ003133

◆ リヤパーソナルランプ

J01404800104

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをレンズの切り欠き部に差し込んで，レンズをこじて外します。

AAA029527

2. ツメを車両前方に押しながら，バルブを取り外します。

AAA029530

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

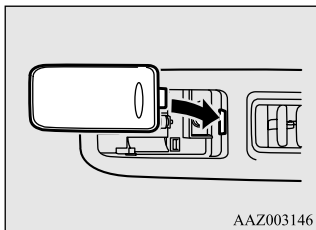
アドバイス

- バルブを交換するときは，インテリアランプスイッチの位置を○にしてください。

13

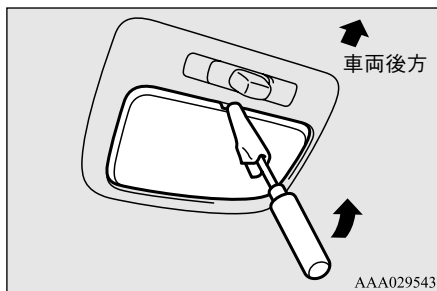
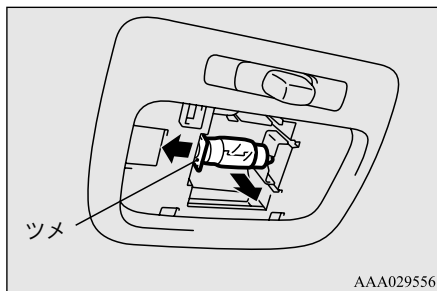
アドバイス

● レンズを取り付けるときは，ツメを車体側の穴に合わせて取り付けます。

AAZ003146

◆ ラゲッジルームランプ

J01404700174

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをレンズの切り欠き部に差し込んで，レンズをこじて外します。

AAA029543

2. ツメを押しながら，バルブを取り外します。

AAA029556

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

● レンズを取り付けるときは，ツメを車体側の穴に合わせて取り付けます。

AAZ003159

13

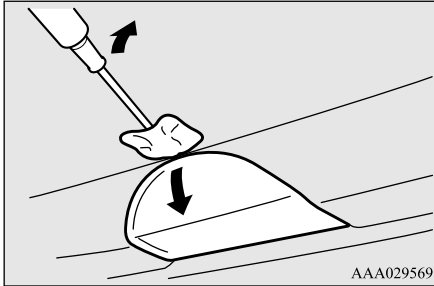
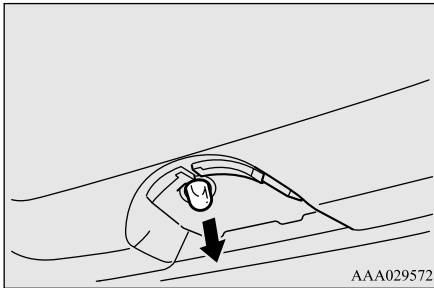
◆ドアコーテシーランプ

J01405300076

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで，レンズをこじて外します。

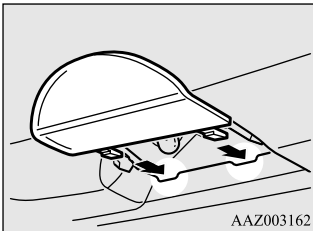
AAA029569

2. バルブを引き抜きます。

AAA029572

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

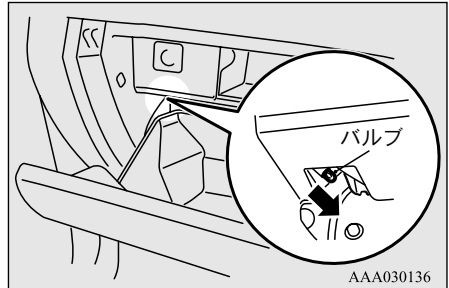
● レンズを取り付けるときは，ツメを車体側の切り欠きに合わせて取り付けます。

AAZ003162

◆グローブボックスランプ

タイプ別装備

J01405500108

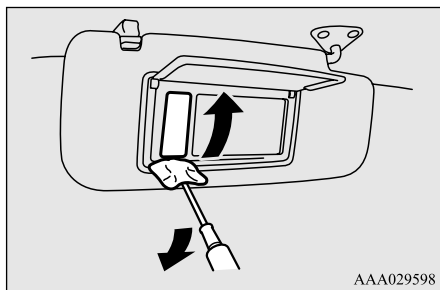
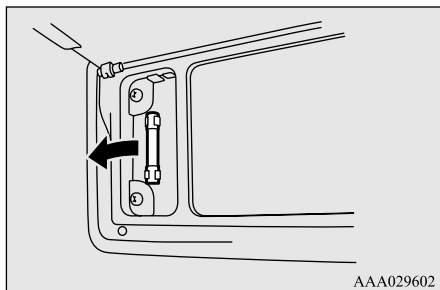
1. バルブを引き抜きます。

AAA030136

2. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆バニティーミラーランプ

タイプ別装備

J01405400077

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをレンズの切り欠き部に差し込んで，レンズをこじて外します。

2. バルブを取り外します。

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

サービスデータ

メンテナンスデータ

J01600101300

- 日常点検，定期点検の内容およびエンジンオイルなど油脂類の交換時期については，別冊の「メンテナンスノート」に詳しく記載してありますのでお読みください。
- 車両寸法（全長，全幅，全高），車両重量，エンジン型式，排気量については車載の「自動車検査証」をご参照ください。

燃料の量と種類

J01600500349

ガソリン車

項目	容量	使用銘柄
3ドア車	約69L	無鉛レギュラーガソリン
5ドア車	約88L	

- 燃料は指定されたものを補給してください。
  →「燃料は指定されたものを補給」P. 2-3

ディーゼル車

項目	容量	使用銘柄
3ドア車	約69L	軽油
5ドア車	約88L	

- 燃料は指定されたものを補給してください。
  →「燃料は指定されたものを補給」P. 2-3
  →「ディーゼル車の使用燃料」P. 12-6

オイル類の量と種類

J01601200734

ガソリン車

項目	容量	使用銘柄			
		三菱自動車 純正銘柄	API分類	ILSAC 規格	SAE 粘度番号
エンジン オイル	約4.6L (オイル フィル ター内 約0.3L を含む)	ダイヤクイーン SMエコ	SM	GF-4	0W-20
		ダイヤクイーン SM			5W-30
			SM/CF		10W-30
		ダイヤクイーンSL スーパー	SL相当	—	10W-30
		ダイヤクイーン SJ	SJ相当/CF	—	10W-30
		● エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを使用してください。			

-30 -20 -10 0 10 20 30 40 ℃
SAE 10W-30
SAE 0W-20,5W-30
AAM010424

アドバイス

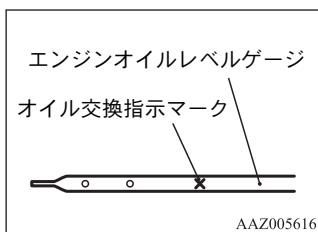
● 0W-20は最も省燃費性に優れたオイルです。
● 悪路や山道，登降坂路の走行，短距離走行の繰り返しなど厳しい条件（シビアコンディション）での走行は通常走行と比べてエンジンオイルの劣化が早くなります。このような使われ方をしたときは通常より早めに交換してください。

14

ディーゼル車

項目	容量	使用銘柄		
		三菱自動車純正銘柄	JASO規格	SAE粘度番号
エンジンオイル	約9.8L（オイルフィルター内約1.0L,オイルクーラー内約1.3Lを含む）	ダイヤクイーン ディーゼルオイル エコ　スーパーDL-1	DL-1	0W-30
		ダイヤクイーン ディーゼルオイルDL-1		5W-30
		● エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを使用してください。 -30 -20 -10 0 10 20 30 40 ℃ SAE 0W-30, 5W-30 AAM007752		

⚠注意

- 指定されたエンジンオイルを使用してください。指定外のオイルを使用すると，ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF)の劣化が早くなります。
- エンジンオイルの量を点検する場合は, エンジンオイルレベルゲージの表裏の面でエンジンオイルレベルが低い側を確認するようにしてください。
- DPF に集めたすすを燃焼・除去するとき，エンジンオイルに燃料が混ざり，エンジンオイル量が増えることがありますが異常ではありません。ただし，エンジンオイルレベルゲージのオイル交換指示マークに達した場合は，オイルを交換してください。

アドバイス

- 悪路や山道，登降坂路の走行，短距離走行の繰り返しなど厳しい条件（シビアコンディション）での走行は通常走行と比べてエンジンオイルの劣化が早くなります。このような使われ方をしたときは通常より早めに交換してください。

オイル類の量と種類

J01600600829

項目		容量	使用銘柄
オートマチックトランスミッションオイル	ガソリン車	約9.7L	三菱自動車純正ダイヤクイーン ATF SP III
	ディーゼル車	約10.9L	三菱自動車純正ダイヤクイーン ATF-PA
トランスファーオイル		約2.8L	三菱自動車純正ダイヤクイーン マルチギヤオイル75W-85W (GL-4)
ディファレンシャルオイル	フロント	約1.15L	三菱自動車純正ダイヤクイーン スーパーハイポイドギヤオイル SAE80 (GL-5)
	リヤ	約1.6L	
ブレーキ液		所要	三菱自動車純正ダイヤクイーン ブレーキフルード　スーパー4 (DOT4)
パワーステアリングオイル		所要	三菱自動車純正ダイヤクイーン パワステフルード

冷却水の量と種類

J01600700660

項目		容量	使用銘柄
冷却水（コンデンスタンク内約0.65Lを含む）	除く，リヤエアコン付き車	約9.0L	三菱自動車純正ダイヤクイーン スーパーロングライフクーラント
	リヤエアコン付き車	約10.5L	

ウォッシャー液の量と種類

J01600800485

項目		容量	使用銘柄
ウォッシャー液	フロント	約5.1L	三菱自動車純正ウォッシャー液
	リヤ	約1.4L	

点火プラグの種類

J01600900675

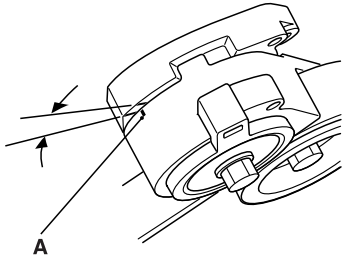
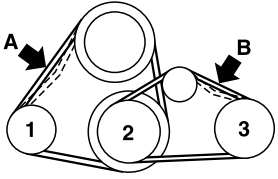
使用銘柄	電極部のすきま
NGK:日本特殊陶業製:DIFR6C11	1.0~1.1mm

● 点火プラグの点検，交換は三菱自動車販売会社に依頼してください。

バッテリーの種類

J01601400374

項目		形式
ガソリン車		80D26L
ディーゼル車	除く，寒冷地仕様車	80D26L
	寒冷地仕様車	80D26L x 2

⚠警告

● バッテリーの＋端子と－端子を間違えないように取り付けてください。
● バッテリーを取り付けるときは，＋端子から先に接続してください。－端子から先に接続した場合，万一，＋端子が他部品に接触すると火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

アドバイス

● バッテリーが2個搭載されている車のバッテリーを交換するときは，2個同時に交換してください。
1個のみを交換すると，バッテリーの寿命が短くなる原因となります。

14

整備基準値

J01601000660

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th colspan="6">サービスデータ</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="4">ブレーキ
ペダル</td><td colspan="5">遊び</td><td>3mm以下</td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="3">踏み込んだときの床板とのすきま
{踏力 約500N(約50kgf)}</td><td colspan="2">3ドア車</td><td rowspan="2">85mm以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5ドア車</td><td>3000車</td></tr>
<tr><td>3200車</td><td>80mm以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">駐車ブレーキ</td><td colspan="5">引きしろ{操作力 約200N(約20kgf)}</td><td>6~7ノッチ</td></tr>
<tr><td rowspan="5">ベルトの
たわみ量</td><td>ガソリン車</td><td>インジケータ(A)が範囲内にあること</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">ディーゼル車</td><td rowspan="4">ベルトの中央部を約100N(約10kgf)の力で押す</td><td colspan="5">1. オルタネーター　2. クランクシャフトプーリー
3. エアコンコンプレッサープーリー</td></tr>
<tr><td colspan="2">項目</td><td>新品ベルト装着時</td><td>使用中ベルト張り点検時</td><td>中古ベルト装着時および使用ベルト張り直し時</td></tr>
<tr><td>A</td><td>オルタネーター用</td><td>7.2~9.8mm</td><td>9.1~12.7mm</td><td>9.8~11.7mm</td></tr>
<tr><td>B</td><td>エアコンコンプレッサー用</td><td>6.0~6.5mm</td><td>7.0~8.0mm</td><td>7.0~8.0mm</td></tr>
</table>

14

タイヤ，ホイールのサイズ

J01600201792

タイヤ，ホイールを交換するときは，つぎのことをお守りください。

- 4輪とも同時に交換してください。
- 指定サイズのタイヤ，ホイールを装着してください。

タイヤ，ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。

⚠注意

- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
- 4WD車は4輪に駆動力がかかるため，必ず同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。お手持ちのものを使われるときは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 17x7 1/2J サイズアルミホイール（ラウンドリムタイプ）付き車にバランスウェイトを貼り付ける場合は, バランスウェイトをホイールの内側にある切り欠き溝よりもスポーク側の指定位置に貼り付けてください。
  指定位置以外に貼り付けるとブレーキ関連部品に干渉するおそれがあります。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

タイヤ	ホイール	3000車	3200車
265/70R16 112S	16×7J（46mm）〔139.7mm〕6穴	○	
265/65R17 112S	17×7J 1/2J（46mm）〔139.7mm〕6穴	○	○
265/65R17 112H	17×7 1/2J（46mm）〔139.7mm〕6穴	○	○
265/60R18 110H	18×7 1/2J（46mm）〔139.7mm〕6穴	○	○

○は，使用可能なサイズ
（　）内は，オフセット（インセット）量（ホイールの取り付け面とリムの中心との距離）
〔　〕内は，PCD（ホイール取り付け穴のピッチ円直径）
冬用タイヤなどについても表中のサイズのものをご使用ください。

タイヤの空気圧

J01600301012

タイヤサイズ	空気圧(kPa {kgf/cm²})	
	前輪	後輪
265/70R16 112S	220{2.2}	240{2.4}
265/65R17 112S	220{2.2}	240{2.4}
265/65R17 112H	220{2.2}	240{2.4}
265/60R18 110H	220{2.2}	240{2.4}

カスタマイズ（機能の設定変更）

J01600401228

つぎの機能をお好みの設定に変更することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

装備	調整機能		設定項目	出荷時の設定
キーレスエントリー	UNLOCKスイッチを押した後,自動的に施錠されるまでの時間 →P. 4-4		約30秒	○
			時間を長くする	
	リモコンスイッチで施錠・解錠したときの非常点滅灯による作動確認 →P. 4-5		施錠時:1回点滅 解錠時:2回点滅	○
			施錠時:1回点滅 解錠時:点滅しない	
			施錠時:点滅しない 解錠時:2回点滅	
			施錠時:2回点滅 解錠時:1回点滅	
			施錠時:2回点滅 解錠時:点滅しない	
			施錠時:点滅しない 解錠時:1回点滅	
			点滅しない	
	リモコンスイッチでできるパワーウインドウの開閉操作 →P. 4-5		閉じるのみ	○
			開ける, 閉じる	
			開閉しない	
セキュリティーアラーム	システムの設定*1 →P. 4-13	除く室内センサー付き車	警報作動する	
			警報作動しない	○
		室内センサー付き車	警報作動する	○
			警報作動しない	
	車体傾斜検知機能および室内侵入検知機能の感度（室内センサー付き車）→P. 4-18		標準	○
			感度を低くする	

*1：お客様自身でもカスタマイズ（機能の設定変更）可能です。
→「システム作動の設定変更のしかた」P. 4-15

<table>
<tr><th>装備</th><th>調整機能</th><th colspan="2">設定項目</th><th>出荷時の設定</th></tr>
<tr><td rowspan="5">パワーウインドウ</td><td rowspan="3">エンジンスイッチをOFFにした後に開閉できる時間(タイマー機能)→P. 4-22</td><td colspan="2">約30秒</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">時間を長くする</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">タイマー機能を働かなくする</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">ロックスイッチをONにしたときに運転席スイッチで開閉できるドアガラス→P. 4-22</td><td colspan="2">全席</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">運転席のみ</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">センタードアロック(オートマチック車)</td><td rowspan="3">エンジンスイッチがONのときにセレクターレバーをⓅに入れると解錠→P. 4-10</td><td rowspan="2">解錠する</td><td>常時</td><td></td></tr>
<tr><td>パワーウインドウロックスイッチをONにすると解錠しない</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">解錠しない</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">半ドア警告</td><td rowspan="2">半ドアのまま走行したときの, 警告灯の点滅とブザーによる警告→P. 6-15</td><td colspan="2">警告する</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">警告しない</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="9">ヘッドライト</td><td rowspan="3">自動点灯のタイミング(オートライトコントロールセンサーの感度調整)→P. 6-60</td><td colspan="2">標準</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">点灯を早くする</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">点灯を遅くする</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">ライトスイッチがAUTOの位置でフロントワイパーを動かすと自動的にヘッドライトが点灯→P. 6-68</td><td colspan="2">点灯する</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">点灯しない</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ヘッドライトオートカット機能(自動消灯)→P. 6-61</td><td colspan="2">作動する</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">作動しない</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">降車後照明として利用するときのライトスイッチの位置→P. 6-61</td><td colspan="2">≣Dのみ</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">≣D0≣と≣D</td><td></td></tr>
</table>

14

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
方向指示灯	方向指示灯の点滅に合わせてブザーが鳴る→P. 6-65	ブザーが鳴る	
		ブザーが鳴らない	○
	車線変更時の3回点滅機能→P. 6-65	作動する	○
		作動しない	
	車線変更時の3回点滅機能が作動するまでのレバー操作時間→P. 6-65	短い	○
		長い	
	方向指示灯が作動するエンジンスイッチの位置→P. 6-65	ON	○
		ONまたはACC	
フロントワイパー（除く，レインセンサー付き車）	車速感応→P. 6-68	有り	○
		無し	
フロントワイパー（レインセンサー付き車）	雨滴感応*2→P. 6-69	有り	○
		無し	
	車速感応*2→P. 6-69	有り	
		無し	○
リヤワイパー	間けつ作動時間→P. 6-72	約8秒	○
		時間を短くする*3	
		時間を長くする*3	
		連続作動にする	
フロント・リヤウォッシャー	ウォッシャー液を噴射させたときのワイパー作動→P. 6-71，6-72	連動する	○
		連動しない	

*2：雨滴感応ありと車速感応ありは同時に設定できません。

*3：連続作動モードあり
→「リヤワイパー／ウォッシャースイッチ」P. 6-72

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
ドアミラー	自動格納・復帰の条件 →P. 7-6	車速約30km/h以上で復帰	○
		エンジンスイッチに連動（ONで復帰，OFFで運転席ドアを開くと格納）	
		キーレスエントリーに連動（LOCKで格納，UNLOCKで復帰）	
		自動格納・復帰しない	
ルームランプ＆マップランプ*4 ラゲッジルームランプ*4 リヤパーソナルランプ*4 エンジンスイッチ照明灯*4	ドアを閉じたとき，キーを抜いたときに消灯するまでの時間（遅延消灯） →P. 7-9，8-7，8-9	約15秒	○
		時間を短くする	
		時間を長くする	
		遅延消灯機能を働かなくする*5	

*4：ルームランプ＆マップランプ，ラゲッジルームランプ，リヤパーソナルランプ，エンジンスイッチ照明灯の設定項目は同時に変更されます。

*5：この設定にすると，キーを抜いても点灯しません。

14

I

U

ア

イ

ウ

エ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

オ

カ

キ

ク

ケ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

コ

サ

シ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

15

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ナ

ニ

ネ

ハ

ヒ

フ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

へ

ホ

マ

ミ

メ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ユ

ヨ

ラ

リ

ル

レ

ワ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

純正品のおすすめ

- お客様のお車に最適な純正部品をご使用ください。
- 純正品は，厳しい検査に合格し，その品質が保証されています。
  また，三菱自動車販売会社を通じてお求めになれます。
- 新車時の性能と快適な乗り心地を長く維持していただくために，点検や交換の際は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 三菱自動車指定の純正品や油脂類以外のものを使用すると，故障などの原因になることがあります。
- 純正品には右のマークが貼ってあります。

MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

事故が起きたときは！

あわてずにつぎの処置をしてください。

● 継続事故防止

続発事故を防ぐため，車を路肩などの安全な場所に移動させ，エンジンを止めます。

● 負傷者の救護

- 医師，救急車などが到着するまでの間，可能な応急手当を行います。
  この場合，とくに頭部に傷などがあるときは，そのままの姿勢で動かさないようにしますが，続発事故のおそれがあるときは安全な場所に移動させます。
- 外傷がなくても医師の診断を受けてください。
  後になってから後遺症が出るおそれがあります。

● 警察への届け出

事故が発生した場所，状況および負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し指示を受けます。

● 相手方の確認とメモ

相手方の氏名，住所，電話番号を確認し，事故の状況をメモします。

● ご購入された販売会社と保険会社への連絡

万一にそなえて

安心のため，自賠責保険（強制保険）のほかに任意自動車保険にも加入しましょう。
詳しくは三菱自動車販売会社へご相談ください。